6.11 海域生物

6.11.1 調査

海域生物の調査項目及び調査状況は、表 6.11.1.1 に示すとおりである。

表 6.11.1.1　海域生物の調査項目及び調査状況

調査項目	文献等資料調査	埋立事業実施区域及びその周辺における調査	
		既存の現地調査	現地調査
(ア) 植物プランクトン	—	○	○
(イ) 動物プランクトン	—	○	○
(ウ) 魚卵・仔稚魚	—	○	○
(エ) 魚類	—	○	○
(オ) 漁獲物・胃内容物	—	○	○
(カ) 底生動物（マクロベントス）	—	○	○
(キ) 底生動物（メガロベントス）	—	○	○
(ク) 潮間帯生物	—	○	○
(ケ) 海藻草類	○	○	○
(コ) サンゴ類	○	○	○
(サ) カサノリ類	○	○	○
(シ) ウミガメ類	—	○	○
(ス) 海産哺乳類	—	○	○
(セ) 重要な種	○	○	○

(1) 文献等資料調査

「第 3 章　3.2.2 (4) 植物、動物及び生態系,2) 海域生物,（ア）海域植物,ア）文献その他の資料調査」及び「第 3 章　3.2.2 (4) 植物、動物及び生態系, 2) 海域生物,（イ）海域動物,ア）文献その他の資料調査」に示すとおりである。

(2) 既存の現地調査

「第 3 章　3.2.2 (4) 植物、動物及び生態系,2) 海域生物,（ア）海域植物,イ）既存の現地調査」及び「第 3 章　3.2.2 (4) 植物、動物及び生態系, 2) 海域生物,（イ）海域動物,イ）既存の現地調査」に示すとおりである。

(3) 現地調査

1) 調査項目

（ア）植物プランクトン

（イ）動物プランクトン

（ウ）魚卵・仔稚魚

（エ）魚類

（オ）漁獲物・胃内容物

（カ）底生動物（マクロベントス）

（キ）底生動物（メガロベントス）

（ク）潮間帯生物

（ケ）海藻草類

（コ）サンゴ類

（サ）カサノリ類

（シ）ウミガメ類

（ス）海産哺乳類

（セ）重要な種

2) 調査概要

海域生物の調査方法及び調査位置は表 6.11.1.2 及び図 6.11.1.1 に、調査期間は表 6.11.1.3 に示すとおりである。

表 6.11.1.2 (1)　海域生物の調査方法

調査項目	調査方法
植物プランクトン	●定点調査 「海洋調査技術マニュアル」(㈳海洋調査協会) 等に基づき、満潮時付近に、バンドーン型採水器を用いて、各地点の表層（海面下 0.5m 層）で 5L を採水し、現地でホルマリン固定して室内分析のための試料とした。持ち帰った試料について、出現種の同定、細胞数の計数、クロロフィル a 量の測定を行った。
動物プランクトン	●定点調査 「海洋調査技術マニュアル」(㈳海洋調査協会) 等に基づき、満潮時付近に、北原式定量ネットを用いて、各地点で海底上 1m から海面まで鉛直曳きし、採集したネット内の残渣を現地でホルマリン固定し、室内分析のための試料とした。持ち帰った試料について、出現種の同定、個体数の計数、沈殿量の計測を行った。

表 6.11.1.2（2）　海域生物の調査方法

調査項目	調査方法
魚卵・仔稚魚	●定点調査 「海洋調査技術マニュアル」(㈳海洋調査協会) 等に基づき、作業船により MTD ネット（口径 56cm、目合い 0.3mm）2 基を用いて下げ潮時に約 2 ノット程度で 10 分間水平曳網し、魚卵仔稚魚の採集を行い、そのうち 1 基は試料をホルマリンで固定後、種別個体数と体長範囲（仔稚魚のみ）を計測した。もう 1 基は採集後、ソーティングし、特徴ごとにタイプ分けを行い、出現数が多かったタイプをエタノールで固定し、DNA 分析に供した。 現場において STD を用いて水温、塩分を測定するとともに、曳網時刻、水深、気温、透明度を記録した。 【DNA 分析方法】 ホルマリンにて固定したサンプル採取と同時に、DNA 分析用に同じ手法にて DNA 用のサンプルを採取した。DNA 用のサンプルは、採取後分析室に持ち帰りソーティング及びタイプ分けを行い、100%エタノールにて固定した後に、ホルマリンサンプルと同じタイプの種を分析に供した。 DNA 分析は、KAPA Express Extract（日本ジェネティクス）を用いて DNA 抽出を行い、ダイレクトシーケンス法により、ミトコンドリア DNA 12S 領域の全長約 1000bp もしくは COI 領域の一部 658bp の塩基配列を取得した。取得した塩基配列は、国際塩基配列データベース（DDBJ/EMBL/GenBank）に対して相同性検索を行い、種を同定した。 ●砕波帯調査 砕波帯もしくは極浅海部における水深 1m 程度の海岸線において、それぞれ 2 人 1 組で砕波帯ネット（袖網目合い 1mm、袋網目合い 0.3mm）を用いて海岸線を平行に 100m 曳網し、仔稚魚を採集し、試料をホルマリンで固定後、種別個体数と体長範囲（仔稚魚のみ）を計測した。
魚類	●定点調査 「海洋調査技術マニュアル」((社)海洋調査協会)等に基づき、ダイバーが潜水し、30 分間の潜水目視観察を行い魚類の種別出現状況（CR 法：rr:1～5 個体、r：6～20 個体、+：21～50 個体、c：51～100 個体、cc：101 個体以上）を記録した。個体数については CR 法により定性的に把握した。 ●測線調査 測線上を 10m 毎に潜水目視観察により、魚類の種別出現状況を記録した。個体数については CR 法により定性的に把握した。
漁獲物・胃内容物	●区域調査 未成魚から成魚を対象とした魚類について、漁業者の漁具（刺網）を利用し、採捕される魚類及び魚類の食性を調査した。原則的に夕方に入網し、翌朝に揚網した。 採捕された漁獲物について、種別に全長、湿重量を測定し、消化管を採取するとともに、生殖腺を目視観察した。 胃内容物は、1 種 1 個体となるよう選別し分析に供した。試料は、消化管をホルマリン固定し、分析室において胃内容物を同定した。 なお、本調査は漁具を利用するため、沖縄県漁業調整規則（昭和 47 年 9 月 12 日）に則り、近隣の漁協に協力を依頼し、当該海域で操業している漁業者により実施した。

表 6.11.1.2（3）　海域生物の調査方法

調査項目	調査方法
底生動物	［マクロベントス］ ●定点調査 「海洋調査技術マニュアル」(㈱海洋調査協会）等に基づき、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用いて、1 地点あたり 2 回表層泥の採泥を行った。採取した表層泥は、1mm 目のふるいでこして、ふるい上の生物を試料とし、ホルマリンで固定し、光学顕微鏡を用いて同定、個体数の計数、湿重量の計測を行った。 ［メガロベントス］ ●定点調査 「海洋調査技術マニュアル」((社)海洋調査協会)等に基づき、礁池・礁縁域では、5m×5m のコドラートを設置し、ダイバーによる潜水目視観察により、干潟域では調査員による目視観察により、底生動物(メガロベントス)の種類及び出現状況（CR 法：rr:1～5 個体、r：6～20 個体、+：21～50 個体、c：51～100 個体、cc：101 個体以上、R は被度 1%未満）を記録。 ●測線調査 測線上を 10m 毎に潜水目視観察により、底生動物（メガロベントス）の種別出現状況を記録する。個体数については CR 法により定性的に把握する。 ●任意調査 干潟部で調査地点間において任意に調査員による目視観察により、底生動物(メガロベントス)の種類を記録。
潮間帯生物	［植物・動物］ ●定点調査 潮間帯に 30cm×30cm のコドラートを敷設し、坪刈り（調査地点のすべての生物を定量採取し、種類、湿重量、株数等を調査し、種類組成、現存量等を明らかにする方法）により試料を採取した。採取した試料は実験室に持ち帰り、出現種、個体数等の分析を行った。

表 6.11.1.2（4）　海域生物の調査方法

調査項目	調査方法
海藻草類	●定点調査 潜水目視観察によりコドラート（5m×5m）内の出現種（分類群）や種類別被度の生育状況、分布状況の観察、写真撮影により同定可能なレベルで主な出現種を同定し、種類別被度について5%間隔で記録を行った。 各地点の地形（砂面レベル変動、底質の概観、浮泥の堆積状況）、主な動物、食害生物（同時に実施したメガロベントス調査にて出現種類、個体数を記録）及び底生生物の生息孔数、浮泥等の堆積（目視による SPSS）、葉枯れ状況、波当たり、アオウミガメによる食み跡、水深、水温等を記録した。 また、光量子計を設置し、光量子について7日間の連続測定を実施した。 ●測線調査 測線上を 10m毎に潜水目視観察により、海藻草類の種類、被度を記録するとともに、周辺の主な動物（ウミガメ類など）や食み跡などについても定性的に観察した。 ●分布調査 マンタ法、箱メガネによる観察及びそれらを補完する任意の地点における潜水目視観察により、浦添ふ頭地区のリーフ内及びその周辺における藻場構成種の代表的な出現種とその分布状況について調査を行った。また、調査範囲内における代表点（スポット調査地点）において被度の目視観察及び写真撮影を行った。 調査結果は、10%未満、10%以上～30%未満、30%以上～50%未満の被度区分で分布図としてとりまとめ、藻場構成種の被度階級別の面積を算出した。
サンゴ類	●定点調査 潜水目視観察によりコドラート（5m×5m）内の出現種（分類群）、種類別被度、成育状況、分布状況の観察、写真撮影、各地点の地形（底質の概観、砂面レベル）、食害生物等を調査した。また、夏季のサンゴ類の白化要因検討のため 4 地点に水温計を設置した。 ●測線調査 測線上を 10m 毎に潜水目視観察により、サンゴ類の種類、被度を記録するとともに、オニヒトデやシロレイシダマシ類などの食害生物についても調査した。 ●分布調査 マンタ法、箱メガネによる観察及びそれらを補完する任意の地点における潜水目視観察により、サンゴ類の代表的な出現種とその分布状況について調査を行った。また、調査範囲内における代表点において主な出現種類、被度の目視観察及び写真撮影を行った。 調査結果は、1%未満、1%以上～5%未満、5%以上～10%未満、10%以上～30%未満、30%以上～50%未満、50%以上の被度区分で分布図としてとりまとめ、サンゴ類の被度階級別の面積を算出した。また、オニヒトデやシロレイシダマシ類などの食害生物についても調査した。

表 6.11.1.2（5）　海域生物の調査方法

調査項目	調査方法
カサノリ類	●分布調査 潜水目視観察や徒歩によりカサノリ類（カサノリ及びホソエガサ）の藻体の生育状況（被度）及び分布状況を記録した。 調査結果はカサノリ類の種別被度を記録し、分布図としてとりまとめた。 ●スポット調査 潜水目視観察や徒歩により、コドラート内（2m×2m）におけるカサノリ類について種別被度、株数、個体群の成長段階等について把握した。 さらに、狭範囲における詳細調査として、コドラート内（0.5m×0.5m）において、種別被度、株数、個体群の成長段階等について把握した。 また、底質の概観や砂の堆積厚、付着基盤の種類及びサイズ等を記録した。
ウミガメ類	●測線調査 上陸・産卵状況について、海岸線を日中に任意踏査し、上陸跡及び産卵跡を目視調査した)。また、海域での生息状況や死亡漂着個体について、他の調査時に確認された状況を整理した。 ●確認調査(ヒアリング調査) ウミガメ類について、文献等調査と併せて漁業者等に対するヒアリング調査により把握した。
海産哺乳類	●確認調査 海産哺乳類について、文献等調査と併せて漁業者に対するヒアリング調査により把握した。
重要な種	［海域動物・海域植物］ 上記の現地調査及び既存の現地調査の結果を基に、環境省及び沖縄県のレッドデータブック等に記載される重要な動物及び植物種の分布状況を整理した。

表 6.11.1.3（1）　海域生物の調査期間

調査名称	調査期間
植物プランクトン	夏季：令和6年8月8日 秋季：令和6年11月15日 冬季：令和7年1月19日 春季：令和7年4月16日
動物プランクトン	夏季：令和6年8月8日 秋季：令和6年11月15日 冬季：令和7年1月19日 春季：令和7年4月16日
魚卵・仔稚魚	●定点調査 夏季：令和6年8月9日 秋季：令和6年10月18日 冬季：令和7年1月15日 春季：令和7年4月30日 ●砕波帯調査 夏季：令和6年8月16日 秋季：令和6年10月30日 冬季：令和7年1月31日 春季：令和7年4月25日
魚類	●定点調査 夏季：　令和6年8月22～24日、9月5日 秋季：　令和6年10月9、10、22日、11月21日 冬季：　令和7年1月13、21日、2月20、21、25、26、28日 春季：　令和7年4月1、2、4、5日、5月1日 ●測線調査 夏季：　令和6年9月6～8、10～13日 秋季：　令和6年11月4、20、21日、12月1～3、6日 冬季：　令和7年1月18～21日、2月15、16、26、27日 春季：　令和7年4月14、16～18日、5月12～14、16日
漁獲物	●区域調査 夏季：令和6年9月2,3日 秋季：令和6年11月9,10日 冬季：令和7年1月30,31日 春季：令和7年4月10,11日
底生動物（ﾏｸﾛﾍﾞﾝﾄｽ）	●定点調査 夏季：令和6年8月6,8日、22日 秋季：令和6年10月21日、11月11,14,15日 冬季：令和7年1月22～24日、2月11日 春季：令和7年4月4日、7～9日

表 6.11.1.3 (2)　海域生物の調査期間

調査名称	調査期間
底生動物 (ﾒｶﾞﾛﾍﾞﾝﾄｽ)	●定点調査 夏季： 令和6年8月22～24日、9月5日 秋季： 令和6年10月9、10、22日、11月21日 冬季： 令和7年1月13、21日、2月20、21、25、26、28日 春季： 令和7年4月1、2、4、5日、5月1日 ●任意調査 夏季： 令和6年9月17、18日 秋季： 令和6年10月16、17日 冬季： 令和7年1月16、17日 春季： 令和7年5月13、14日 ●測線調査 夏季： 令和6年9月6～8、10～13日 秋季： 令和6年11月4、20、21日、12月1～3、6日 冬季： 令和7年1月18～21日、2月15、16、26、27日 春季： 令和7年4月14、16～18日、5月12～14、16日
潮間帯生物	●定点調査 夏季：令和6年8月19日 秋季：令和6年10月31日 冬季：令和7年1月30日 春季：令和7年4月16日
海藻草類	●定点調査 夏季： 令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日 秋季： 令和 6 年 10 月 9、10、22 日、11 月 21 日 冬季： 令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20、21、25、26、28 日 春季： 令和 7 年 4 月 1、2、4、5 日、5 月 1 日 ●測線調査 夏季： 令和 6 年 9 月 6～8、10～13 日 秋季： 令和 6 年 11 月 4、20、21 日、12 月 1～3、6 日 冬季： 令和 7 年 1 月 18～21 日、2 月 15、16、26、27 日 春季： 令和 7 年 4 月 14、16～18 日、5 月 12～14、16 日 ●分布調査 夏季： 令和 6 年 8 月 19～21 日、9 月 3、4 日 秋季： 令和 6 年 10 月 3、4、7、16 日 冬季： 令和 7 年 1 月 14～17 日 春季： 令和 7 年 4 月 11、28、30 日

表 6.11.1.3（3）　海域生物の調査期間

調査名称	調査期間
サンゴ類	●定点調査 夏季： 令和6年8月22～24日、9月5日 秋季： 令和6年10月9、10、22日、11月21日 冬季： 令和7年1月13、21日、2月20、21、25、26、28日 春季： 令和7年4月1、2、4、5日、5月1日 ●測線調査 夏季： 令和6年9月6～8、10～13日 秋季： 令和6年11月4、20、21日、12月1～3、6日 冬季： 令和7年1月18～21日、2月15～16日、26～27日 春季： 令和7年4月14、16～18日、5月12～14日、16日 ●分布調査 夏季： 令和6年8月13～16、26日 秋季： 令和6年10月7、8、11、21日、11月15日 冬季： 令和7年1月30、31日、2月1、28日、3月1日 春季： 令和7年4月7～10日
カサノリ類	●分布調査 第1回：令和7年1月14～16日 第2回：令和7年2月12～14日 第3回：令和7年3月13～14、17～18日 ●スポット調査 第1回：令和7年1月16日 第2回：令和7年2月14日 第3回：令和7年3月17日
ウミガメ類	●測線調査：5～9月に月2回 令和7年5月13、29日 令和7年6月12、27日 令和7年7月11、24日 令和7年8月8、25日 令和7年9月8、19日 ●確認調査(ヒアリング調査) 令和7年7月 4日（浦添宜野湾漁業協同組合）
海産哺乳類	●確認調査、ヒアリング調査：令和７年７月４日

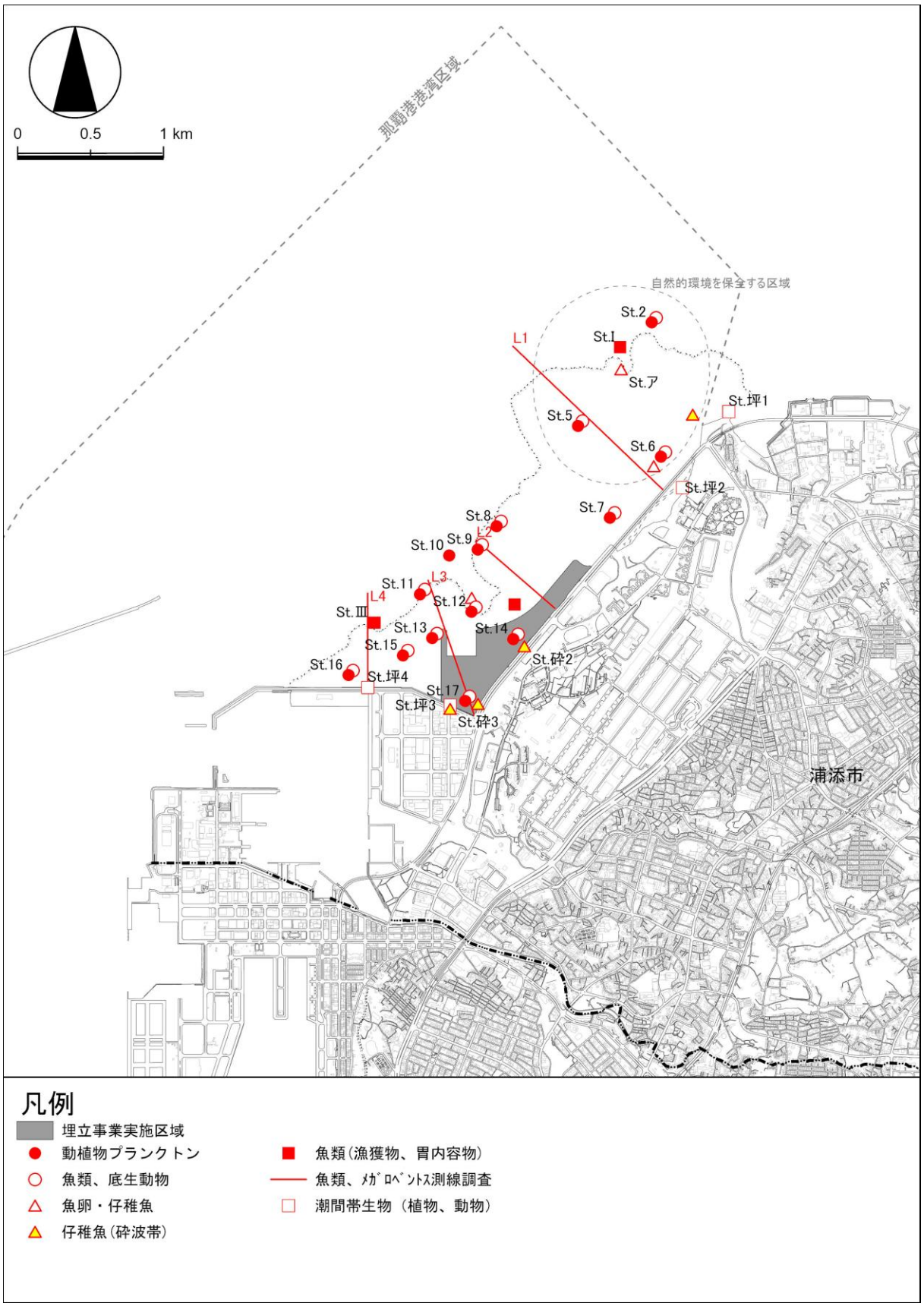


図 6.11.1.1（1）　調査位置（海域生物調査）

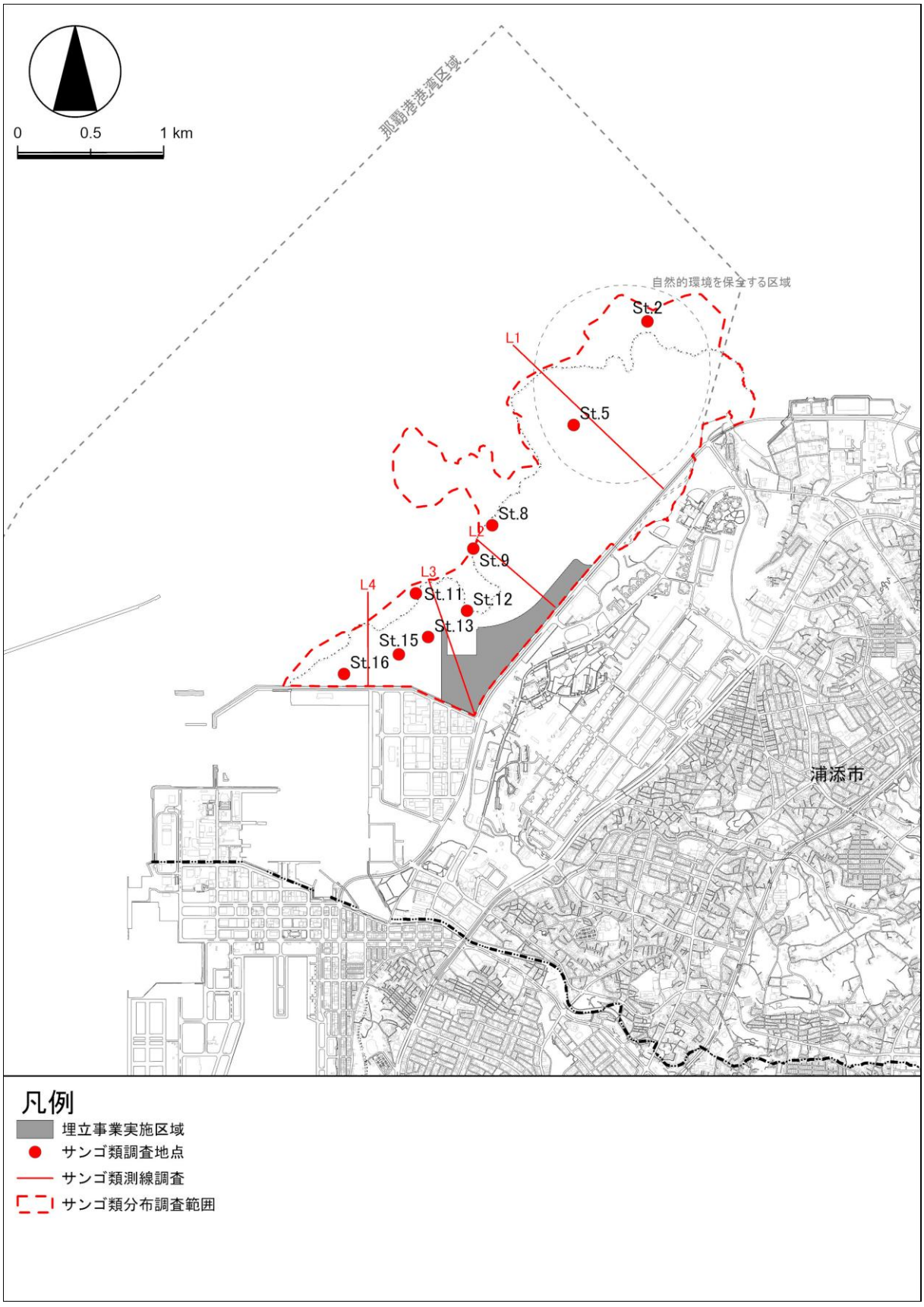


図 6.11.1.1（2）　調査位置（サンゴ類）

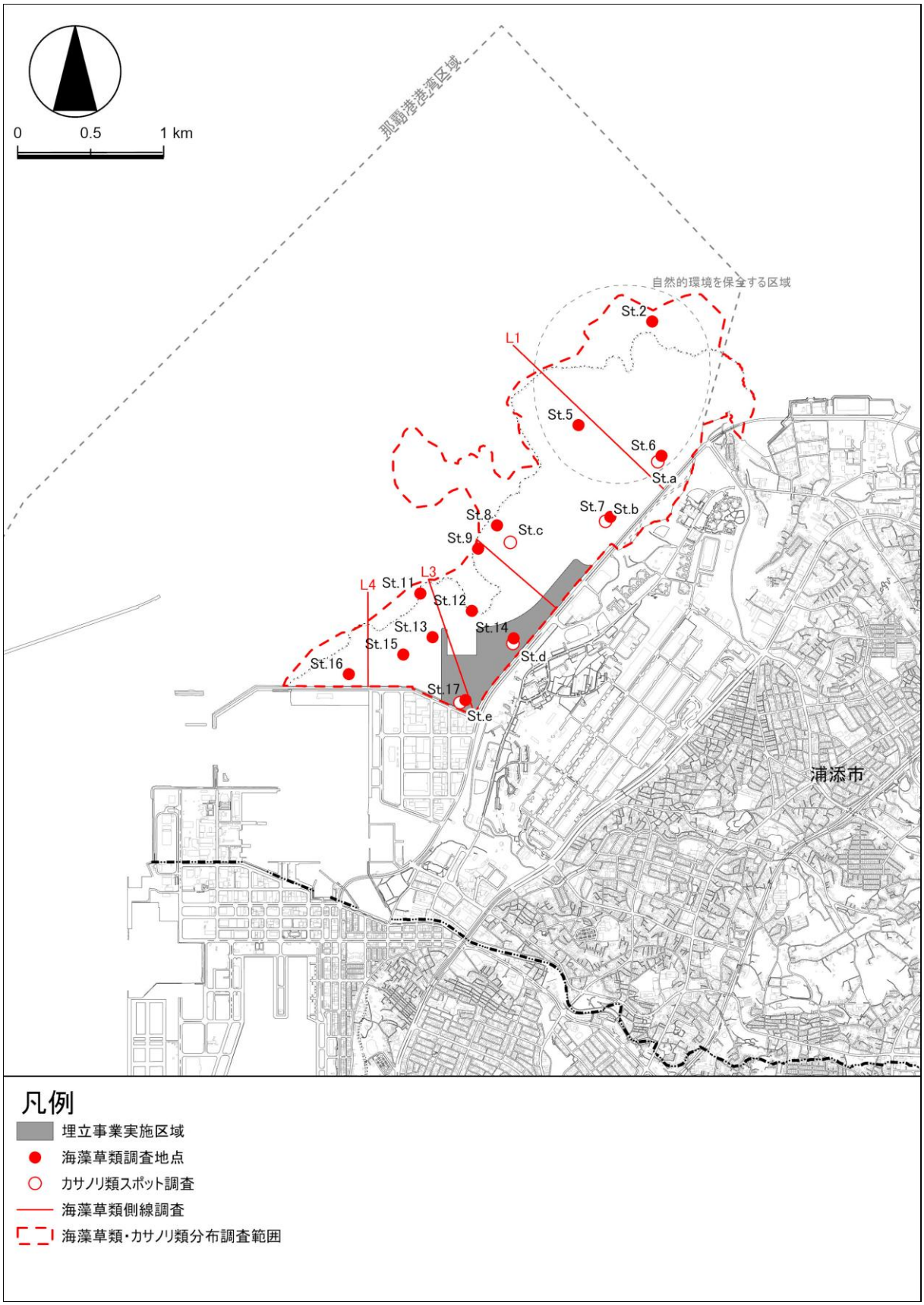


図 6.11.1.1（3）　調査位置（海藻草類、カサノリ類）

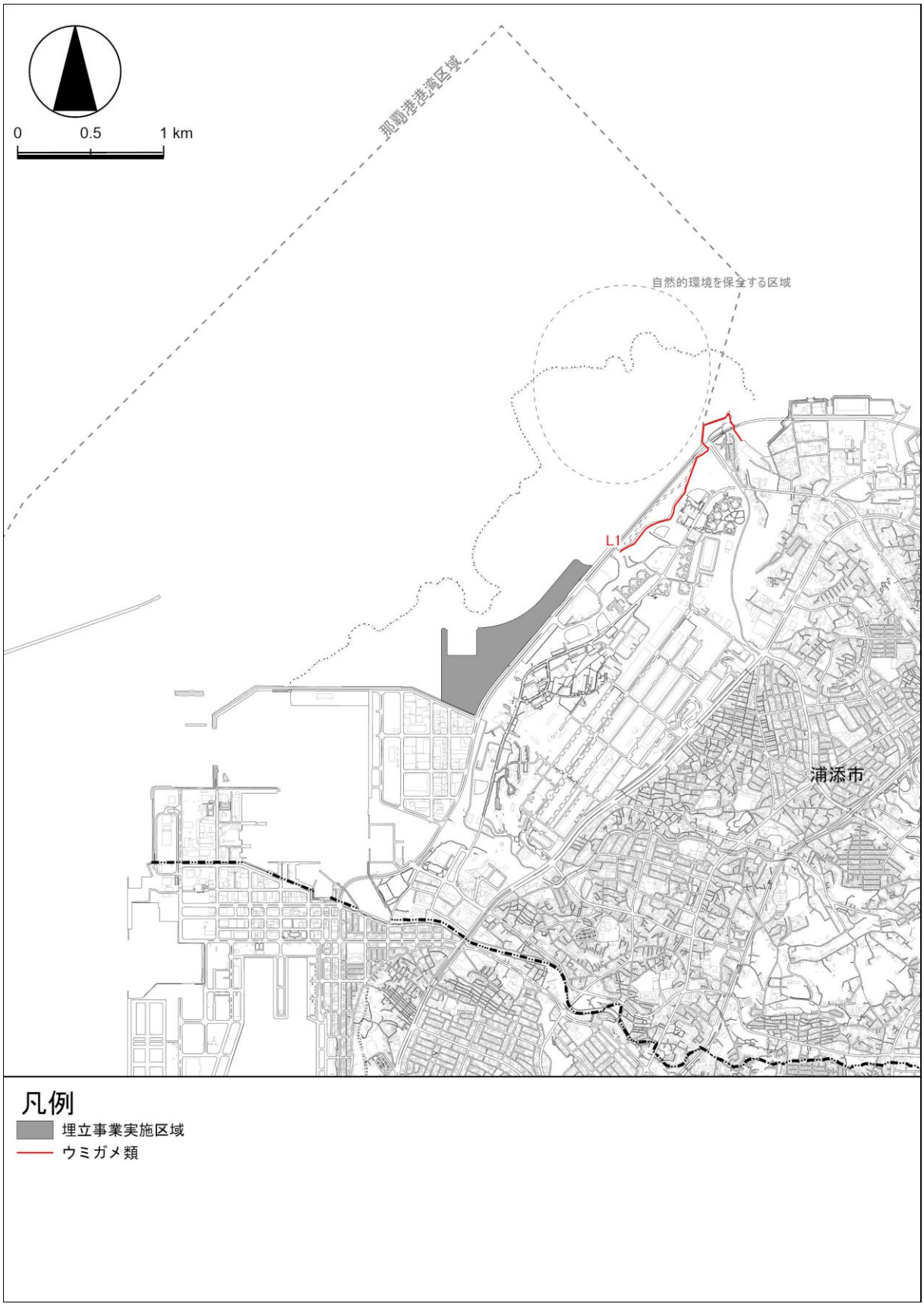


図 6.11.1.1（4）　調査位置（ウミガメ類）

3）調査結果

（ア）植物プランクトン

植物プランクトン調査結果の概要は表 6.11.1.4 に、出現種一覧は表 6.11.1.5 に示すとおりである。

四季の調査結果を合計すると、種構成は渦鞭毛藻綱 28 種類、珪藻綱 62 種類、その他 11 種類の計 101 種類であった。季節別の種類数は 41～64 種類、6,471～20,121 細胞（1 地点あたりの平均）の範囲にあり、冬季に最も多く、夏季に最も少なかった。細胞数は夏季に最も多く、春季に最も少なかった。主な出現種はペリディニウム目の Peridiniales 等であった。

表 6.11.1.4　植物プランクトン調査結果概要

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月 8日
：（秋季）令和 6年11月15日
：（冬季）令和 7年 1月19日
：（春季）令和 7年 4月16日
調査方法：バンドーン採水器による採水

項目	調査時期	令和6年 夏季	令和6年 秋季	令和7年 冬季	令和7年 春季	四季合計
沈殿量(mL/L)		0.04	0.02	0.02	0.01	
種類数	渦鞭毛藻綱	14	11	15	16	28
	珪藻綱	22	26	43	30	62
	その他	5	9	6	8	11
	合計	41	46	64	54	101
細胞数 (細胞/L)	渦鞭毛藻綱	6,793	5,893	900	1,457	
	珪藻綱	8,107	6,486	10,507	3,657	
	その他	5,221	3,743	7,050	1,357	
	合計	20,121	16,121	18,457	6,471	
細胞数 組成比 (%)	渦鞭毛藻綱	33.8	36.6	4.9	22.5	
	珪藻綱	40.3	40.2	56.9	56.5	
	その他	25.9	23.2	38.2	21.0	
主な出現種と細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比率 (%)		Peridiniales 3,329 (16.5) Gymnodiniales 2,564 (12.7) Pennales 2,536 (12.6) unidentified flagellates 2,414 (12.0)	Peridiniales 2,929 (18.2) Pennales 2,650 (16.4) Gymnodiniales 2,571 (16.0)	Haptophyceae 5,693 (30.8) *Chaetoceros curvisetum* 2,614 (14.2) *Bacteriastrum* sp. 2,429 (13.2)	Pennales 1,379 (21.3)	

注：1. 種類数は総出現種類数を示す。
2. 主な出現種は各調査地点での上位 5 種(ただし、組成比が 10%以上)を示した。

表 6.11.1.5（1）　植物プランクトン出現種一覧

調 査 日：(夏季) 令和6年8月8日
：(秋季) 令和6年11月15日
：(冬季) 令和7年1月19日
：(春季) 令和7年4月16日
調査方法：バンドーン採水器による採水

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期 夏季	秋季	冬季	春季
1	藍色植物	藍藻	ﾕﾚﾓ	ﾕﾚﾓ	Oscillatoriaceae	ﾕﾚﾓ科				●
2				ﾅｶﾞﾚｸﾀﾞﾓ	*Spirulina* sp.			●		
3					*Trichodesmium* sp.		●	●		●
4	ｸﾘﾌﾟﾄ植物	ｸﾘﾌﾟﾄ藻	－	－	Cryptophyceae	ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱	●	●	●	●
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	ﾌﾟﾛﾛｹﾝﾄﾙﾑ	ﾌﾟﾛﾛｹﾝﾄﾙﾑ	*Prorocentrum balticum*				●	●
6					*Prorocentrum dentatum*			●	●	
7					*Prorocentrum lima*		●			
8					*Prorocentrum mexicanum*				●	●
9					*Prorocentrum minimum*				●	●
10					*Prorocentrum triestinum*		●	●	●	●
11					*Prorocentrum* sp.					●
12			ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ	ﾃﾞｨﾉﾌｨｼｽ	*Dinophysis* sp.				●	
13					*Oxyphysis oxytoxoides*		●			
14			ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ	ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ	*Amphidinium* sp.		●	●		●
15					*Gymnodinium* sp.		●	●		●
16					*Gyrodinium* sp.		●	●	●	
17					*Torodinium* sp.					●
18				－	Gymnodiniales	ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ目	●	●	●	●
19			ﾉｸﾃｨﾙｶ	ﾉｸﾃｨﾙｶ	*Pronoctiluca spinifera*		●			
20			ｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ	ｹﾗﾁｳﾑ	*Ceratium fusus*			●		
21					*Ceratium kofoidii*				●	
22					*Ceratium lineatum*					●
23					*Ceratium trichoceros*				●	
24				ｺﾞﾆｵﾗｯｸｽ	*Gonyaulax* sp.				●	
25				ｵｽﾄﾚｵﾌﾟｼｽ	*Ostreopsis* sp.		●			●
26				ｵｷｼﾄｷｻﾑ	*Oxytoxum* sp.		●	●	●	●
27			ﾍﾟﾘﾃﾞｨﾆｳﾑ	ﾍﾟﾘﾃﾞｨﾆｳﾑ	*Heterocapsa* sp.				●	●
28					*Peridinium quinquecorne*		●	●		
29				ﾌﾟﾛﾄﾍﾟﾘﾃﾞｨﾆｳﾑ	*Protoperidinium bipes*		●			
30					*Protoperidinium oceanicum*					●
31					*Protoperidinium* sp.		●	●	●	●
32				－	Peridiniales	ﾍﾟﾘﾃﾞｨﾆｳﾑ目	●	●	●	●
33	不等毛植物	黄金色藻	ﾍﾟﾃﾞｨﾈﾗ	ﾍﾟﾃﾞｨﾈﾗ	*Apedinella spinifera*				●	●
34			ﾃﾞｨｸﾁｵｶ	ｴﾌﾞﾘｱ	*Ebria tripartita*			●		
35		ﾗﾌｨﾄﾞ藻	ﾗﾌｨﾄﾞﾓﾅｽ	ｳﾞｧｷｭｵﾗﾘｱ	*Heterosigma akashiwo*			●		
36		珪藻	円心	ﾀﾗｼｵｼｰﾗ	*Detonula pumila*				●	
37					*Lauderia annulata*				●	●
38					*Skeletonema costatum* sensu lato				●	●
39					*Thalassiosira* sp.				●	●
40					Thalassiosiraceae	ﾀﾗｼｵｼｰﾗ科	●	●	●	●
41				ﾒﾛｼｰﾗ	*Aulacoseira ambigua*		●			
42					*Corethron criophilum*					●
43					*Leptocylindrus danicus*			●	●	●
44					*Melosira nummuloides*			●		
45				ｺｽｷﾉﾃﾞｨｽｸｽ	*Coscinodiscus* sp.		●	●	●	
46				ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ	*Rhizosolenia bergonii*				●	
47					*Rhizosolenia calcar avis*		●			
48					*Rhizosolenia fragilissima*		●	●		
49					*Rhizosolenia indica*					●
50					*Rhizosolenia phuketensis*				●	●
51					*Rhizosolenia stolterfothii*			●	●	
52				ﾋﾞﾄﾞｩﾙﾌｨｱ	*Cerataulina bicornis*			●		
53					*Cerataulina pelagica*				●	
54					*Eucampia cornuta*				●	
55					*Eucampia zodiacus*				●	
56					*Hemiaulus sinensis*				●	●
57				ｷｰﾄｹﾛｽ	*Bacteriastrum* sp.				●	●
58					*Chaetoceros anastomosans*				●	
59					*Chaetoceros atlanticum*				●	
60					*Chaetoceros compressum*				●	●

注：1.●は出現を示す。
　　2.－ は不明を示す。

表 6.11.1.5（2）　植物プランクトン出現種一覧

調 査 日：(夏季) 令和 6 年 8 月 8 日
：(秋季) 令和 6 年 11 月 15 日
：(冬季) 令和 7 年 1 月 19 日
：(春季) 令和 7 年 4 月 16 日
調査方法：バンドーン採水器による採水

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期 夏季	秋季	冬季	春季
61	不等毛植物	珪藻	円心	ｷｰﾄｹﾛｽ	*Chaetoceros constrictum*				●	
62					*Chaetoceros costatum*			●		
63					*Chaetoceros curvisetum*			●	●	●
64					*Chaetoceros danicum*				●	
65					*Chaetoceros lorenzianum*			●	●	
66					*Chaetoceros pseudocurvisetum*				●	
67					*Chaetoceros pseudodichaeta*				●	
68					*Chaetoceros sociale*					●
69					*Chaetoceros* sp.(*Phaeoceros*)		●	●		
70					*Chaetoceros* sp.(*Hyalochaete*)		●	●	●	●
71			羽状	ﾃﾞｨｱﾄｰﾏ	*Bleakeleya notata*		●		●	
72					*Cyclophora tenuis*				●	
73					*Licmophora* sp.		●	●	●	●
74					*Microtabella interrupta*			●		
75					*Neodelphineis pelagica*				●	
76					*Thalassionema nitzschioides*		●		●	●
77					*Thalassiothrix* sp.				●	
78					*Toxarium undulatum*		●			
79					Diatomaceae	ﾃﾞｨｱﾄｰﾏ科	●	●		●
80				ｱｸﾅﾝﾃｽ	*Cocconeis* sp.				●	●
81				ﾅﾋﾞｷｭﾗ	*Amphora* sp.		●	●	●	●
82					*Diploneis* sp.			●	●	●
83					*Entomoneis* sp.		●	●	●	●
84					*Haslea* sp.					●
85					*Navicula* sp.		●	●	●	●
86					*Pleurosigma* sp.		●	●	●	
87					*Stauropsis membranacea*				●	●
88					*Trachyneis* sp.				●	
89				ﾆｯﾁｱ	*Bacillaria paxillifer*		●	●		
90					*Cylindrotheca closterium*		●	●	●	●
91					*Nitzschia rectilonga*		●	●		
92					*Nitzschia reversa*				●	
93					*Nitzschia sigma*					●
94					*Nitzschia* sp.		●	●	●	●
95					*Pseudo-nitzschia* sp.		●	●	●	●
96					Nitzschiaceae	ﾆｯﾁｱ科				●
97				－	Pennales	羽状目	●	●		●
98	ﾊﾌﾟﾄ植物	ﾊﾌﾟﾄ藻	－	－	Haptophyceae	ﾊﾌﾟﾄ藻綱	●	●	●	●
99	ﾕｰｸﾞﾚﾅ植物	ﾕｰｸﾞﾚﾅ藻	－	－	Euglenophyceae	ﾕｰｸﾞﾚﾅ藻綱		●	●	●
100	緑色植物	ﾌﾟﾗｼﾉ藻	－	－	Prasinophyceae	ﾌﾟﾗｼﾉ藻綱	●	●	●	●
101	不明鞭毛藻類	－	－	－	unidentified flagellates	不明鞭毛藻類	●	●	●	●
合計	8門	9綱	12目	25科	101種類		41	46	64	54

注：1.●は出現を示す。
　　2.－ は不明を示す。

（イ）動物プランクトン

動物プランクトン調査結果の概要は表 6.11.1.6 に、出現種一覧は表 6.11.1.7 に示すとおりである。

四季の調査結果を合計すると、種構成は軟体動物門 2 種類、節足動物門 81 種類、原索動物門 6 種類、その他 10 種類の計 99 種類であった。季節別の出現種類数は 42～71 種類の範囲にあり、冬季に最も多く、春季に最も少なかった。個体数は 1,854～23,377 個体/m^3 の範囲にあり、夏季に最も多く、春季に最も少なかった。主な出現種は節足動物門甲殻綱のカイアシ目のノープリウス幼生(Copepoda(nauplius))、*Oithona spp.*(copepodite)等であった。

表 6.11.1.6　動物プランクトン調査結果概要

調査日：（夏季）令和 6年 8月 8日
：（秋季）令和 6年11月15日
：（冬季）令和 7年 1月19日
：（春季）令和 7年 4月16日
調査方法：北原式定量ネットによる鉛直曳き

項目	調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
		夏季	秋季	冬季	春季	
沈殿量(mL/m^3)		1.14	1.55	1.19	0.97	
種類数	軟体動物門	2	2	2	2	2
	節足動物門	36	48	59	36	81
	原索動物門	5	3	3	2	6
	その他	8	3	7	2	10
	合計	51	56	71	42	99
個体数(個体/m^3)	軟体動物門	1,096	319	175	122	
	節足動物門	21,805	20,768	6,599	1,528	
	原索動物門	274	228	388	15	
	その他	202	917	206	188	
	合計	23,377	22,232	7,368	1,854	
個体数組成比(%)	軟体動物門	4.7	1.4	2.4	6.6	
	節足動物門	93.3	93.4	89.6	82.4	
	原索動物門	1.2	1.0	5.3	0.8	
	その他	0.9	4.1	2.8	10.1	
主な出現種と個体数(個体/m^3) ( )内は組成比率(%)		Copepoda (nauplius) 10,214 (43.7) *Oithona* spp. (copepodite) 3,681 (15.7)	Copepoda (nauplius) 5,474 (24.6) *Oithona* spp. (copepodite) 5,179 (23.3) *Paracalanus* spp. (copepodite) 2,974 (13.4)	Copepoda (nauplius) 2,380 (32.3)	Copepoda (nauplius) 602 (32.5) *Oithona* spp. (copepodite) 473 (25.5)	

注：1.種類数は総出現種類数を示す。
2.主な出現種は各調査地点での上位 5 種(ただし、組成比が 10%以上)を示した。

表 6.11.1.7（1）　動物プランクトン出現種一覧

調 査 日：(夏季) 令和 6 年 8 月 8 日
：(秋季) 令和 6 年 11 月 15 日
：(冬季) 令和 7 年 1 月 19 日
：(春季) 令和 7 年 4 月 16 日
調査方法：北原式定量ネットによる鉛直曳き

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期 夏季	秋季	冬季	春季
1	原生動物	顆粒根足虫	有孔虫	-	Foraminifera	有孔虫目	●		●	●
2	刺胞動物	ﾋﾄﾞﾛ虫	-	-	Hydrozoa	ﾋﾄﾞﾛ虫綱	●		●	
3	軟体動物	腹足	-	-	Gastropoda (larva)	腹足綱のﾍﾞﾘｼﾞｬｰ幼生	●	●	●	●
4		二枚貝	-	-	Bivalvia (umbo larva)	二枚貝綱の殻頂期幼生	●	●	●	●
5	環形動物	多毛	遊在	ｵﾖｷﾞｺﾞｶｲ	Tomopteridae	ｵﾖｷﾞｺﾞｶｲ科			●	
6			-	-	Polychaeta (larva)	多毛綱のﾈｸﾄｷｰﾀ幼生	●	●	●	●
7	節足動物	甲殻	ｶｲﾑｼ	-	Ostracoda	ｶｲﾑｼ目			●	
8			ｶﾗﾇｽ	ｱｶﾙﾁｱ	*Acartia bispinosa*		●	●		●
9					*Acartia danae*			●		
10					*Acartia erythraea*		●	●		
11					*Acartia fossae*		●	●		
12					*Acartia negligens*		●	●	●	
13					*Acartia* spp. (copepodite)		●	●	●	●
14				ｶﾗﾇｽ	*Cosmocalanus darwini*				●	
15					*Undinula vulgaris*			●		
16					Calanidae (copepodite)	ｶﾗﾇｽ科		●	●	●
17				ｶﾛｶﾗﾇｽ	*Calocalanus gracilis*				●	
18					*Calocalanus pavoninus*				●	
19					*Calocalanus plumulosus*				●	
20					*Calocalanus* spp. (copepodite)		●	●	●	●
21				ｶﾝﾀﾞｼｱ	*Candacia catula*			●		
22				ｾﾝﾄﾛﾊﾟｼﾞｪｽ	*Centropages orsinii*			●		
23				ｸﾗｳｿｶﾗﾇｽ	*Clausocalanus farrani*				●	
24					*Clausocalanus furcatus*		●	●	●	
25					*Clausocalanus lividus*				●	
26					*Clausocalanus minor*			●	●	●
27					*Clausocalanus parapergens*				●	
28					*Clausocalanus pergens*				●	
29					*Clausocalanus* spp. (copepodite)				●	●
30				ﾕｳｶﾗﾇｽ	*Eucalanus* spp. (copepodite)				●	
31					*Rhincalanus cornutus*				●	
32				ﾕｳｷｰﾀ	Euchaetidae (copepodite)	ﾕｳｷｰﾀ科			●	
33				ﾙｼｸﾁｱ	*Lucicutia flavicornis*				●	
34				ﾊﾟﾗｶﾗﾇｽ	*Acrocalanus gracilis*		●			
35					*Acrocalanus longicornis*				●	
36					*Acrocalanus* spp. (copepodite)		●	●	●	●
37					*Bestiolina similis*		●	●		●
38					*Delius nudus*			●	●	
39					*Paracalanus aculeatus*				●	●
40					*Paracalanus crassirostris*		●	●	●	●
41					*Paracalanus denudatus*		●		●	
42					*Paracalanus parvus*				●	●
43					*Paracalanus* spp. (copepodite)		●	●	●	●
44					Paracalanidae (copepodite)	ﾊﾟﾗｶﾗﾇｽ科	●	●	●	●
45				ﾎﾟﾝﾃﾗ	*Calanopia elliptica*			●		
46					*Labidocera* spp. (copepodite)		●	●		
47					*Pontellina* spp. (copepodite)			●		
48					Pontellidae (copepodite)	ﾎﾟﾝﾃﾗ科	●	●		●
49				ﾄﾙﾀﾇｽ	*Tortanus* spp. (copepodite)			●		
50				-	Calanoida (copepodite)	ｶﾗﾇｽ目		●	●	●
51			ｷｸﾛﾌﾟｽ	ｵｲﾄﾅ	*Oithona aruensis*		●	●		
52					*Oithona attenuata*		●	●	●	●
53					*Oithona dissimilis*		●	●		●
54					*Oithona fallax*				●	
55					*Oithona nana*		●	●		●
56					*Oithona oculata*		●	●	●	●
57					*Oithona plumifera*		●		●	
58					*Oithona rigida*			●		●
59					*Oithona simplex*		●	●	●	●
60					*Oithona tenuis*		●			

注：1.●は出現を示す。
　　2.- は不明を示す。

表 6.11.1.7（2）　動物プランクトン出現種一覧

調 査 日：(夏季) 令和 6 年 8 月 8 日
：(秋季) 令和 6 年 11 月 15 日
：(冬季) 令和 7 年 1 月 19 日
：(春季) 令和 7 年 4 月 16 日
調査方法：北原式定量ネットによる鉛直曳き

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期 夏季	秋季	冬季	春季
61	節足動物	甲殻	ｷｸﾛﾌﾟｽ	ｵｲﾄﾅ	*Oithona* spp. (copepodite)		●	●	●	●
62				－	Cyclopoida (copepodite)	ｷｸﾛﾌﾟｽ目		●	●	
63			ﾊﾙﾊﾟｸﾁｸｽ	ｴｸﾁﾉｿﾏ	*Microsetella norvegica*			●	●	●
64					*Microsetella rosea*			●	●	
65				－	Harpacticoida	ﾊﾙﾊﾟｸﾁｽ目	●	●	●	●
66			ﾂﾌﾞﾑｼ	ｺﾘｹｳｽ	*Corycaeus concinnus*			●	●	
67					*Corycaeus crassiusculus*				●	
68					*Corycaeus gibbulus*			●	●	
69					*Corycaeus speciosus*			●	●	
70					*Corycaeus* spp. (copepodite)		●	●	●	●
71				ｵﾝｹｱ	*Oncaea conifera*					●
72					*Oncaea media*			●	●	●
73					*Oncaea mediterranea*				●	
74					*Oncaea scottodicarloi*			●	●	
75					*Oncaea similis*				●	
76					*Oncaea venusta*				●	●
77					*Oncaea zernovi*				●	●
78					*Oncaea* spp. (copepodite)		●	●	●	●
79				ｸﾗｳｼｼﾞｳﾑ	*Hemicyclops* spp. (copepodite)		●	●		
80			－	－	Copepoda (nauplius)	ｶｲｱｼ亜綱のﾉｰﾌﾟﾘｳｽ幼生	●	●	●	●
81			ﾌｼﾞﾂﾎﾞ	－	Cirripedia (nauplius)	ﾌｼﾞﾂﾎﾞ目のﾉｰﾌﾟﾘｳｽ幼生	●	●	●	●
82				－	Cirripedia (cypris)	ﾌｼﾞﾂﾎﾞ目のｷｱﾌﾟﾘｽ幼生	●			●
83				－	Facetotecta (nauplius)	彫甲亜目のﾉｰﾌﾟﾘｳｽ幼生	●		●	
84			ﾜﾗｼﾞﾑｼ	－	Isopoda	ﾜﾗｼﾞﾑｼ目			●	●
85			ｵｷｱﾐ	－	Euphausiacea (calyptopis)	ｵｷｱﾐ目のｶﾘﾌﾟﾄﾋﾟｽ幼生	●		●	
86			ｴﾋﾞ	－	Brachyura (zoea)	ｶﾆ亜目のｿﾞｴｱ幼生	●	●	●	●
87				－	Decapoda (zoea)	ｴﾋﾞ目のｿﾞｴｱ幼生	●		●	●
88	毛がく動物	ﾔﾑｼ	ﾔﾑｼ	ﾔﾑｼ	*Sagitta enflata*		●		●	
89					*Sagitta ferox*			●		
90					*Sagitta neglecta*		●			
91					*Sagitta regularis*		●		●	
92					*Sagitta* spp.		●	●	●	
93	棘皮動物	ｳﾆ	－	－	Echinoidea (echinopluteus)	ｳﾆ綱のｴｷﾉﾌﾟﾙﾃｳｽ幼生	●			
94	原索動物	尾索	尾虫	ｵﾀﾏﾎﾞﾔ	*Oikopleura dioica*		●			
95					*Oikopleura longicauda*		●	●	●	●
96					*Oikopleura* spp.		●	●	●	●
97				ｻｲﾂﾞﾁﾎﾞﾔ	*Fritillaria pellucida*		●			
98					*Fritillaria* spp.		●		●	
99					*Appendicularia sicula*			●		
合計	8門	9綱	13目	21科	99種類		51	56	71	42

注：1.●は出現を示す。
　　2.－ は不明を示す。

（ウ）魚卵・仔稚魚

ア）定点調査

魚卵と仔稚魚の調査結果概要は表 6.11.1.8 及び表 6.11.1.10 に、出現種一覧は表 6.11.1.9 及び表 6.11.1.11 に示すとおりである。

(a) 魚卵

四季の調査結果を合計すると、採集された魚卵は計 67 種類であった。季節別の出現種類数は17～21種類で、冬季に最も多く、秋季に最も少なかった。個数は661～2,694個/150m^{3}で、夏季に最も多く、春季に最も少なかった。主な出現種はブダイ科 A、単脂球形卵であった。

(b) 仔稚魚

四季の調査結果を合計すると、採集された仔稚魚は計 116 種類であった。季節別の出現種類数は 22～53 種類で、秋季に最も多く、夏季に最も少なかった。個体数は 15～275 個/150m^{3}で、春季に最も多く、夏季に最も少なかった。主な出現種は、季節によって異なったが、ハゼ科やスズメダイ科に属する種類がみられた。

表 6.11.1.8　魚卵調査結果概要

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月 9日
：（秋季）令和 6年10月18日
：（冬季）令和 7年 1月15日
：（春季）令和 7年 4月30日
調査方法：MTDﾈｯﾄ水平曳き(2ﾉｯﾄ、10分)

項目＼調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
	夏季	秋季	冬季	春季	
種類数	20	17	21	18	67
合計個数(個/150m^3)	2,694	1,045	661	209	
主な出現種と個体数 (個/150m^3) (　)内は組成比率 (%)	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A 1,092 (40.5) 単脂球形卵 0.55～0.58mm 959 (35.6)	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A 393 (37.6) 単脂球形卵 0.60～0.66mm 350 (33.5)	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A 534 (80.9)	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A 88 (41.9) 単脂球形卵 0.60～0.66mm 51 (24.6)	

表 6.11.1.9　魚卵出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和 6 年 8 月 9 日
：（秋季）令和 6 年 10 月 18 日
：（冬季）令和 7 年 1 月 15 日
：（春季）令和 7 年 4 月 30 日
調査方法：MTD ﾈｯﾄ水平曳き（2 ﾉｯﾄ、10 分）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	脊椎動物	硬骨魚	ｳﾅｷﾞ	－	Anguilliformes A	ｳﾅｷﾞ目 A	●			
2					Anguilliformes B	ｳﾅｷﾞ目 B		●		
3			ﾆｼﾝ	ｶﾀｸﾁｲﾜｼ	Engraulidae A	ｶﾀｸﾁｲﾜｼ科 A	●			
4			ﾋﾒ	ｴｿ	Synodontidae A	ｴｿ科 A	●	●		●
5					Synodontidae B	ｴｿ科 B			●	●
6					Synodontidae C	ｴｿ科 C			●	
7			ﾄｹﾞｳｵ	ﾔｶﾞﾗ	*Fistularia commersonii*	ｱｵﾔｶﾞﾗ	●	●		
8			ﾎﾞﾗ	ﾎﾞﾗ	Mugilidae A	ﾎﾞﾗ科 A				●
9			ｽｽﾞｷ	ﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae A	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A	●	●	●	●
10					Scaridae B	ﾌﾞﾀﾞｲ科 B	●		●	●
11			－	－	Unidentified w.n.o. Egg A	無脂不整球形卵 0.82～0.88mm×0.66～0.80mm		●		
12					Unidentified w.n.o. Egg B	無脂不整球形卵 0.68～0.74mm×0.64～0.66mm			●	
13					Unidentified w.n.o. Egg C	無脂不整球形卵 0.80～0.90mm×0.70～0.83mm				●
14					Unidentified n.o. Egg A	無脂球形卵 0.56～0.58mm	●			
15					Unidentified n.o. Egg B	無脂球形卵 1.24mm	●			
16					Unidentified n.o. Egg C	無脂球形卵 0.60～0.63mm		●		
17					Unidentified n.o. Egg D	無脂球形卵 0.72～0.74mm		●		
18					Unidentified n.o. Egg E	無脂球形卵 0.63～0.66mm			●	
19					Unidentified n.o. Egg F	無脂球形卵 0.60～0.62mm				●
20					Unidentified n.o. Egg G	無脂球形卵 0.71～0.78mm				●
21					Unidentified w.s.o. Egg A	単脂不整球形卵 0.75～0.80mm×0.72～0.76mm	●			
22					Unidentified w.s.o. Egg B	単脂不整球形卵 0.84×0.76mm			●	
23					Unidentified w.s.o. Egg C	単脂不整球形卵 0.60×0.56mm			●	
24					Unidentified w.s.o. Egg D	単脂不整球形卵 0.84×0.76mm				●
25					Unidentified s.o. Egg A	単脂球形卵 0.46mm	●			
26					Unidentified s.o. Egg B	単脂球形卵 0.50～0.54mm	●			
27					Unidentified s.o. Egg C	単脂球形卵 0.52～0.54mm	●			
28					Unidentified s.o. Egg D	単脂球形卵 0.55～0.58mm	●			
29					Unidentified s.o. Egg E	単脂球形卵 0.56～0.58mm	●			
30					Unidentified s.o. Egg F	単脂球形卵 0.60～0.64mm	●			
31					Unidentified s.o. Egg G	単脂球形卵 0.70～0.74mm	●			
32					Unidentified s.o. Egg H	単脂球形卵 0.78～0.81mm	●			
33					Unidentified s.o. Egg I	単脂球形卵 0.82～0.88mm	●			
34					Unidentified s.o. Egg J	単脂球形卵 1.06～1.07mm	●			
35					Unidentified s.o. Egg K	単脂球形卵 0.52～0.56mm		●		
36					Unidentified s.o. Egg L	単脂球形卵 0.52～0.58mm		●		
37					Unidentified s.o. Egg M	単脂球形卵 0.54～0.58mm		●		
38					Unidentified s.o. Egg N	単脂球形卵 0.60～0.62mm		●		
39					Unidentified s.o. Egg O	単脂球形卵 0.60～0.66mm		●		
40					Unidentified s.o. Egg P	単脂球形卵 0.64～0.70mm		●		
41					Unidentified s.o. Egg Q	単脂球形卵 0.72～0.75mm		●		
42					Unidentified s.o. Egg R	単脂球形卵 0.92mm		●		
43					Unidentified s.o. Egg S	単脂球形卵 1.01mm		●		
44					Unidentified s.o. Egg T	単脂球形卵 1.18～1.28mm		●		
45					Unidentified s.o. Egg U	単脂球形卵 0.58mm			●	
46					Unidentified s.o. Egg V	単脂球形卵 0.60～0.68mm			●	
47					Unidentified s.o. Egg W	単脂球形卵 0.64～0.70mm			●	
48					Unidentified s.o. Egg X	単脂球形卵 0.72～0.76mm			●	
49					Unidentified s.o. Egg Y	単脂球形卵 0.72～0.80mm			●	
50					Unidentified s.o. Egg Z	単脂球形卵 0.82～0.86mm			●	
51					Unidentified s.o. Egg AA	単脂球形卵 0.90～0.92mm			●	
52					Unidentified s.o. Egg AB	単脂球形卵 1.00～1.04mm			●	
53					Unidentified s.o. Egg AC	単脂球形卵 1.05～1.06mm			●	
54					Unidentified s.o. Egg AD	単脂球形卵 1.26mm			●	
55					Unidentified s.o. Egg AE	単脂球形卵 1.36mm			●	
56					Unidentified s.o. Egg AF	単脂球形卵 0.56～0.58mm				●
57					Unidentified s.o. Egg AG	単脂球形卵 0.60mm				●
58					Unidentified s.o. Egg AH	単脂球形卵 0.60～0.66mm				●
59					Unidentified s.o. Egg AI	単脂球形卵 0.68～0.74mm				●
60					Unidentified s.o. Egg AJ	単脂球形卵 0.70～0.76mm				●
61					Unidentified s.o. Egg AK	単脂球形卵 0.78～0.84mm				●
62					Unidentified s.o. Egg AL	単脂球形卵 1.00mm				●
63					Unidentified s.o. Egg AM	単脂球形卵 1.30～1.36mm				●
64					Unidentified m.o. Egg A	多脂球形卵 1.63mm	●			
65					Unidentified m.o. Egg B	多脂球形卵 0.93mm			●	
66					Unidentified m.o. Egg C	多脂球形卵 1.02mm			●	
67					Unidentified m.o. Egg D	多脂球形卵 0.78mm				●
合計	1門	1綱	6目	5科	67種類		20	17	21	18

注：1. 不明卵に付した数値は卵径範囲を示す。
2. 不整球形卵は長径×短径の範囲を示す。
3. － は不明を示す。
4. ●は出現を示す。

表 6.11.1.10　仔稚魚調査結果概要

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月 9日
：（秋季）令和 6年10月18日
：（冬季）令和 7年 1月15日
：（春季）令和 7年 4月30日
調査方法：MTDﾈｯﾄ水平曳き(2ﾉｯﾄ、10分)

項目＼調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
	夏季	秋季	冬季	春季	
種類数	22	53	34	50	116
合計個体数(個体/150m^3)	15	174	70	275	
主な出現種と個体数 (個体/150m^3) (　)内は組成比率 (%)	不明ふ化仔魚 2 (11.1)	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 A 31 (18.0) ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 B 28 (16.3) ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 C 18 (10.1)	ﾊﾀ科 A 7 (10.5) 不明仔魚 P 7 (10.0)	ﾊｾﾞ科 C 64 (23.4) ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 G 47 (17.1) ﾊｾﾞ科 A 31 (11.4) ﾊｾﾞ科 D 28 (10.0)	

注：1.種類数は総出現種類数を示す。
　　2.主な出現種は各調査地点での上位 5 種(ただし、組成比率が 10%以上)を示す。

表 6.11.1.11（1）　仔稚魚出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和 6 年 8 月 9 日
：（秋季）令和 6 年 10 月 18 日
：（冬季）令和 7 年 1 月 15 日
：（春季）令和 7 年 4 月 30 日
調査方法：MTD ﾈｯﾄ水平曳き（2 ﾉｯﾄ、10 分）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	脊椎動物	硬骨魚	ﾆｼﾝ	ﾆｼﾝ	Clupeidae A	ﾆｼﾝ科 A				●
2					Clupeidae B	ﾆｼﾝ科 B				●
3				ｶﾀｸﾁｲﾜｼ	Engraulidae A	ｶﾀｸﾁｲﾜｼ科 A	●			
4			ﾜﾆﾄｶｹﾞｷﾞｽ	ﾖｺｴｿ	*Cyclothone* sp. A	ｵﾆﾊﾀﾞｶ属 A			●	
5					*Cyclothone* sp. B	ｵﾆﾊﾀﾞｶ属 B				●
6					*Sigmops* sp. A	ﾖｺｴｿ属 A			●	
7				ｷﾝﾊﾀﾞｶ	*Vinciguerria nimbaria*	ﾔﾍﾞｳｷｴｿ			●	
8				ﾜﾆﾄｶｹﾞｷﾞｽ	*Stomias nebulosus*	ﾖｺｲﾎｼｴｿ			●	
9			ﾋﾒ	ｴｿ	Synodontidae A	ｴｿ科 A		●		
10			ﾊﾀﾞｶｲﾜｼ	ﾊﾀﾞｶｲﾜｼ	*Hygophum reinhardtii*	ﾄﾞﾝｸﾞﾘﾊﾀﾞｶ			●	
11					*Lampanyctus* sp. A	ﾄﾐﾊﾀﾞｶ属 A			●	
12					*Lampanyctus* sp. B	ﾄﾐﾊﾀﾞｶ属 B				●
13					*Myctophum* sp. A	ｽｽｷﾊﾀﾞｶ属 A			●	
14					Myctophidae A	ﾊﾀﾞｶｲﾜｼ科 A		●	●	
15					Myctophidae B	ﾊﾀﾞｶｲﾜｼ科 B			●	
16					Myctophidae C	ﾊﾀﾞｶｲﾜｼ科 C			●	
17					Myctophidae D	ﾊﾀﾞｶｲﾜｼ科 D				●
18			ｷﾝﾒﾀﾞｲ	ｲｯﾄｳﾀﾞｲ	Holocentridae A	ｲｯﾄｳﾀﾞｲ科 A	●			
19					Holocentridae B	ｲｯﾄｳﾀﾞｲ科 B		●		
20					Holocentridae C	ｲｯﾄｳﾀﾞｲ科 C		●		
21			ﾄｹﾞｳｵ	ﾖｳｼﾞｳｵ	Syngnathinae A	ﾖｳｼﾞｳｵ亜科 A				●
22			ｽｽﾞｷ	-	Scorpaenoidei A	ｶｻｺﾞ亜目 A		●	●	
23					Scorpaenoidei B	ｶｻｺﾞ亜目 B		●		
24				ﾊﾀ	Serranidae A	ﾊﾀ科 A		●	●	
25					Serranidae B	ﾊﾀ科 B			●	
26				ｷﾝﾄｷﾀﾞｲ	Priacanthidae A	ｷﾝﾄｷﾀﾞｲ科 A	●			
27				ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ	Apogonidae A	ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ科 A	●			
28					Apogonidae B	ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ科 B				●
29					Apogonidae C	ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ科 C				●
30					Apogonidae D	ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ科 D				●
31					Apogonidae E	ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ科 E				●
32				ﾌｴﾌｷﾀﾞｲ	Lethrinidae A	ﾌｴﾌｷﾀﾞｲ科 A		●		
33				ﾋﾒｼﾞ	Mullidae A	ﾋﾒｼﾞ科 A	●			
34					Mullidae B	ﾋﾒｼﾞ科 B		●		
35					Mullidae C	ﾋﾒｼﾞ科 C		●		
36				ﾊﾀﾝﾎﾟ	Pempheridae A	ﾊﾀﾝﾎﾟ科 A		●		
37				ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	Pomacentridae A	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 A	●	●	●	●
38					Pomacentridae B	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 B	●	●		●
39					Pomacentridae C	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 C	●			
40					Pomacentridae D	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 D		●		
41					Pomacentridae E	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 E				●
42					Pomacentridae F	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 F				●
43					Pomacentridae G	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 G				●
44					Pomacentridae H	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 H				●
45					Pomacentridae I	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 I				●
46					Pomacentridae J	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 J				●
47				ｼﾏｲｻｷ	Terapontidae A	ｼﾏｲｻｷ科 A		●		
48				ﾍﾞﾗ	Labridae A	ﾍﾞﾗ科 A			●	
49					Labridae B	ﾍﾞﾗ科 B			●	
50				-	Labroidei A	ﾍﾞﾗ亜目 A			●	
51				ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ	Tripterygiidae A	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 A		●	●	●
52					Tripterygiidae B	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 B		●	●	●
53					Tripterygiidae C	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 C		●		●
54				ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ	Blenniidae A	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 A	●	●		
55					Blenniidae B	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 B	●	●		●
56					Blenniidae C	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 C		●	●	
57					Blenniidae D	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 D		●		●
58					Blenniidae E	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 E		●		
59					Blenniidae F	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 F				●
60					Blenniidae G	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 G				●

注：1.- は不明を示す。
　　2.●は出現を示す。

表 6.11.1.11 (2)　仔稚魚出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和 6 年 8 月 9 日
：（秋季）令和 6 年 10 月 18 日
：（冬季）令和 7 年 1 月 15 日
：（春季）令和 7 年 4 月 30 日
調査方法：MTD ﾈｯﾄ水平曳き（2 ﾉｯﾄ、10 分）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
61	脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ｳﾊﾞｳｵ	Gobiesocidae A	ｳﾊﾞｳｵ科 A		●		
62				ﾈｽﾞｯﾎﾟ	Callionymidae A	ﾈｽﾞｯﾎﾟ科 A	●			
63					Callionymidae B	ﾈｽﾞｯﾎﾟ科 B				●
64				ﾊｾﾞ	*Bathygobius* sp. A	ｸﾓﾊｾﾞ属 A				●
65					Gobiidae A	ﾊｾﾞ科 A	●	●	●	●
66					Gobiidae B	ﾊｾﾞ科 B	●	●		●
67					Gobiidae C	ﾊｾﾞ科 C	●	●	●	●
68					Gobiidae D	ﾊｾﾞ科 D	●	●	●	●
69					Gobiidae E	ﾊｾﾞ科 E	●			
70					Gobiidae F	ﾊｾﾞ科 F		●		●
71					Gobiidae G	ﾊｾﾞ科 G		●		●
72					Gobiidae H	ﾊｾﾞ科 H		●	●	●
73					Gobiidae I	ﾊｾﾞ科 I		●		
74					Gobiidae J	ﾊｾﾞ科 J		●		
75					Gobiidae K	ﾊｾﾞ科 K		●		●
76					Gobiidae L	ﾊｾﾞ科 L		●		
77					Gobiidae M	ﾊｾﾞ科 M		●		
78					Gobiidae N	ﾊｾﾞ科 N			●	●
79					Gobiidae O	ﾊｾﾞ科 O				●
80					Gobiidae P	ﾊｾﾞ科 P				●
81					Gobiidae Q	ﾊｾﾞ科 Q				●
82					Gobiidae R	ﾊｾﾞ科 R				●
83					Gobiidae S	ﾊｾﾞ科 S				●
84					Gobiidae T	ﾊｾﾞ科 T				●
85					Gobiidae U	ﾊｾﾞ科 U				●
86					Gobiidae V	ﾊｾﾞ科 V				●
87					Gobiidae W	ﾊｾﾞ科 W				●
88				ｼﾗｽｳｵ	*Schindleria* sp. A	ｼﾗｽｳｵ属 A		●		●
89				ｶﾏｽ	*Sphyraena* sp. A	ｶﾏｽ属 A		●		
90			ｶﾚｲ	ﾀﾞﾙﾏｶﾞﾚｲ	Bothidae A	ﾀﾞﾙﾏｶﾞﾚｲ科 A			●	
91			ﾌｸﾞ	ﾓﾝｶﾞﾗｶﾜﾊｷﾞ	Balistidae A	ﾓﾝｶﾞﾗｶﾜﾊｷﾞ科 A		●		
92				ｶﾜﾊｷﾞ	Monacanthidae A	ｶﾜﾊｷﾞ科 A		●		
93				ﾌｸﾞ	Tetraodontidae A	ﾌｸﾞ科 A		●		
94			-	-	Unidentified larva A	不明仔魚 A	●	●		●
95					Unidentified larva B	不明仔魚 B	●			
96					Unidentified larva C	不明仔魚 C	●			
97					Unidentified larva D	不明仔魚 D	●			
98					Unidentified larva E	不明仔魚 E	●			
99					Unidentified larva F	不明仔魚 F		●		
100					Unidentified larva G	不明仔魚 G		●		
101					Unidentified larva H	不明仔魚 H		●	●	
102					Unidentified larva I	不明仔魚 I		●		
103					Unidentified larva J	不明仔魚 J		●		
104					Unidentified larva K	不明仔魚 K		●		
105					Unidentified larva L	不明仔魚 L		●		
106					Unidentified larva M	不明仔魚 M		●		
107					Unidentified larva N	不明仔魚 N		●		
108					Unidentified larva O	不明仔魚 O			●	
109					Unidentified larva P	不明仔魚 P			●	
110					Unidentified larva Q	不明仔魚 Q			●	
111					Unidentified larva R	不明仔魚 R			●	
112					Unidentified larva S	不明仔魚 S			●	
113					Unidentified larva T	不明仔魚 T			●	
114					Unidentified larva U	不明仔魚 U				●
115					Unidentified larva (broken)	不明仔魚（破損個体）		●		●
116					Unidentified hatch-out larva	不明ふ化仔魚	●	●	●	●
合計	1門	1綱	9目	29科	116種類		22	53	34	50

注：1.- は不明を示す。
　　2.●は出現を示す。

イ）砕波帯調査

調査結果概要は表 6.11.1.12 に、出現種一覧は表 6.11.1.13 に示すとおりである。

四季の調査結果を合計すると、採集された仔稚魚（砕波帯）は計 121 種類であった。季節別の出現種類数は 37～73 種類で、秋季に最も多く、春季に最も少なかった。個体数は 29～367 個体/曳網で、秋季に最も多く、春季に最も少なかった。主な出現種はミナミキビナゴ、キビナゴ属 A 等であった。

表 6.11.1.12　仔稚魚（砕波帯）調査結果概要

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月16日
：（秋季）令和 6年 10月30日
：（冬季）令和 7年 1月31日
：（春季）令和 7年 4月25日
調査方法：砕波帯ﾈｯﾄ(100m曳網)

項目＼調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
	夏季	秋季	冬季	春季	
種類数	44	73	39	37	121
合計個体数(個体/曳網)	292	367	49	29	
主な出現種と個体数 (個体/曳網) (　)内は組成比率 (%)	ﾐﾅﾐｷﾋﾞﾅｺﾞ 112 (38.2) ｷﾋﾞﾅｺﾞ属 A 111 (38.0)	ﾐﾅﾐｷﾋﾞﾅｺﾞ 60 (16.4) ｸﾛｻｷﾞ属 C 46 (12.5) ｸﾛｻｷﾞ属 A 46 (12.4)	ﾊﾀﾀﾃｷﾞﾝﾎﾟ 16 (32.1)	ﾆｼﾝ科 B 4 (12.1)	

注：1.種類数は総出現種類数を示す。
　　2.主な出現種は各地点での上位 5 種(ただし、組成比率が 10%以上)を示す。

表 6.11.1.13 (1)　仔稚魚（砕波帯）出現種一覧

調査期日：（夏季）令和6年8月16日
：（秋季）令和6年10月30日
：（冬季）令和7年1月31日
：（春季）令和7年4月25日
調査方法：砕波帯ﾈｯﾄ(100m曳網)

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	脊椎動物	硬骨魚	ｶﾗｲﾜｼ	ｲｾｺﾞｲ	*Megalops cyprinoides*	ｲｾｺﾞｲ		●		
2			ﾆｼﾝ	ﾆｼﾝ	Clupeidae A	ﾆｼﾝ科 A				●
3					Clupeidae B	ﾆｼﾝ科 B				●
4				ｷﾋﾞﾅｺﾞ	*Spratelloides delicatulus*	ﾐﾅﾐｷﾋﾞﾅｺﾞ	●	●		●
5					*Spratelloides* sp. A	ｷﾋﾞﾅｺﾞ属 A	●	●		●
6			ﾈｽﾞﾐｷﾞｽ	ｻﾊﾞﾋｰ	*Chanos chanos*	ｻﾊﾞﾋｰ	●			
7			ﾋﾒ	ｴｿ	*Saurida nebulosa*	ｳﾁｳﾐﾏﾀﾞﾗｴｿ			●	
8					*Synodus* sp. A	ｱｶｴｿ属 A		●		
9			ｱﾝｺｳ	ｶｴﾙｱﾝｺｳ	Antennariidae A	ｶｴﾙｱﾝｺｳ科 A				●
10			ﾄｹﾞｳｵ	ﾔｶﾞﾗ	*Fistularia commersonii*	ｱｵﾔｶﾞﾗ		●		
11				ﾍｺﾌﾞｴ	*Aeoliscus strigatus*	ﾍｺﾌﾞｴ	●	●		
12				ﾖｳｼﾞｳｵ	*Hippichthys (Hippichthys) cyanospilos*	ﾊｸﾃﾝﾖｳｼﾞ				●
13					*Hippocampus kuda*	ｸﾛｳﾐｳﾏ		●		
14					Syngnathinae A	ﾖｳｼﾞｳｵ亜科 A		●		
15			ﾄｳｺﾞﾛｳｲﾜｼ	ﾄｳｺﾞﾛｳｲﾜｼ	*Hypoatherina lunata*	ｵｷﾅﾜﾄｳｺﾞﾛｳ		●		
16					Atherinidae A	ﾄｳｺﾞﾛｳｲﾜｼ科 A	●			●
17					Atherinidae B	ﾄｳｺﾞﾛｳｲﾜｼ科 B	●			●
18					Atherinidae C	ﾄｳｺﾞﾛｳｲﾜｼ科 C		●		
19			ｽｽﾞｷ	ﾀｶｻｺﾞｲｼﾓﾁ	*Ambassis* sp. A	ﾀｶｻｺﾞｲｼﾓﾁ属 A		●		
20				ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ	*Foa fo*	ﾀｲﾜﾝﾏﾄｲｼﾓﾁ	●	●	●	●
21					*Ostorhinchus* sp. A	ｽｽﾞｲｼﾓﾁ属 A	●	●		
22					Apogonidae A	ﾃﾝｼﾞｸﾀﾞｲ科 A				●
23				ﾋｲﾗｷﾞ	Leiognathidae A	ﾋｲﾗｷﾞ科 A		●		
24				ﾌｴﾀﾞｲ	*Lutjanus fulviflamma*	ﾆｾｸﾛﾎｼﾌｴﾀﾞｲ			●	●
25					*Lutjanus* sp. A	ﾌｴﾀﾞｲ属 A		●		
26				ｸﾛｻｷﾞ	*Gerres* sp. A	ｸﾛｻｷﾞ属 A	●	●		
27					*Gerres* sp. B	ｸﾛｻｷﾞ属 B	●	●		
28					*Gerres* sp. C	ｸﾛｻｷﾞ属 C		●		
29					*Gerres* sp. D	ｸﾛｻｷﾞ属 D		●		
30					*Gerres* sp. E	ｸﾛｻｷﾞ属 E				●
31				ｲﾄﾖﾘﾀﾞｲ	*Scolopsis* sp. A	ﾖｺｼﾏﾀﾏｶﾞｼﾗ属 A			●	●
32					Nemipteridae A	ｲﾄﾖﾘﾀﾞｲ科 A	●	●		
33				ﾀｲ	*Acanthopagrus sivicolus*	ﾐﾅﾐｸﾛﾀﾞｲ				●
34					*Acanthopagrus* sp. A	ｸﾛﾀﾞｲ属 A			●	
35				ﾌｴﾌｷﾀﾞｲ	*Lethrinus* sp. A	ﾌｴﾌｷﾀﾞｲ属 A		●	●	
36				ｷｽ	*Sillago aeolus*	ﾎｼｷﾞｽ				●
37				ﾋﾒｼﾞ	Mullidae A	ﾋﾒｼﾞ科 A		●		
38				ﾊﾀﾝﾎﾟ	*Pempheris* sp. A	ﾊﾀﾝﾎﾟ属 A			●	
39					*Pempheris* sp. B	ﾊﾀﾝﾎﾟ属 B				●
40					*Pempheris* sp. C	ﾊﾀﾝﾎﾟ属 C				●
41				ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	*Abudefduf sexfasciatus*	ﾛｸｾﾝｽｽﾞﾒﾀﾞｲ		●		
42					*Abudefduf* sp. A	ｵﾔﾋﾞｯﾁｬ属 A		●		
43					*Chrysiptera biocellata*	ｽｼﾞﾌﾞﾁｽｽﾞﾒﾀﾞｲ		●		
44					*Chrysiptera cyanea*	ﾙﾘｽｽﾞﾒﾀﾞｲ		●		
45					*Dascyllus aruanus*	ﾐｽｼﾞﾘｭｳｷｭｳｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	●			
46					Pomacentrinae A	ｿﾗｽｽﾞﾒﾀﾞｲ亜科 A	●			
47				ﾒｼﾞﾅ	*Girella* sp. A	ﾒｼﾞﾅ属 A			●	
48				ﾍﾞﾗ	*Cheilio inermis*	ｶﾏｽﾍﾞﾗ		●	●	●
49					*Halichoeres trimaculatus*	ﾐﾂﾎﾞｼｷｭｳｾﾝ	●			
50					*Stethojulis strigiventer*	ﾊﾗｽｼﾞﾍﾞﾗ		●		
51					Labridae A	ﾍﾞﾗ科 A	●	●	●	●
52					Labridae B	ﾍﾞﾗ科 B	●	●		
53					Labridae C	ﾍﾞﾗ科 C		●	●	
54					Labridae D	ﾍﾞﾗ科 D		●	●	●
55					Labridae E	ﾍﾞﾗ科 E		●		●
56					Labridae F	ﾍﾞﾗ科 F		●	●	
57					Labridae G	ﾍﾞﾗ科 G		●		
58					Labridae H	ﾍﾞﾗ科 H			●	
59				ﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae A	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A		●		
60					Scaridae B	ﾌﾞﾀﾞｲ科 B		●		

表 6.11.1.13 (2)　仔稚魚（砕波帯）出現種一覧

調査期日：（夏季）令和6年8月16日
：（秋季）令和6年10月30日
：（冬季）令和7年1月31日
：（春季）令和7年4月25日
調査方法：砕波帯ﾈｯﾄ(100m曳網)

番号	門	綱	目	科	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
61	脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae C	ﾌﾞﾀﾞｲ科 C		●	●	
62					Scaridae D	ﾌﾞﾀﾞｲ科 D			●	●
63					Scaridae E	ﾌﾞﾀﾞｲ科 E			●	
64					Scaridae F	ﾌﾞﾀﾞｲ科 F			●	
65				ﾄﾗｷﾞｽ	*Parapercis cylindrica*	ﾀﾞﾝﾀﾞﾗﾄﾗｷﾞｽ			●	
66				ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾞ	*Enneapterygius* sp. A	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾞ属 A	●		●	
67					Tripterygiidae A	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾞ科 A				●
68				ｲｿｷﾞﾝﾎﾞ	*Petroscirtes breviceps*	ﾆｼﾞｷﾞﾝﾎﾞ			●	
69					*Petroscirtes mitratus*	ﾊﾀﾀﾃｷﾞﾝﾎﾞ	●	●	●	●
70					*Petroscirtes* sp. A	ﾊﾀﾀﾃｷﾞﾝﾎﾞ属 A	●			
71					*Petroscirtes* sp. B	ﾊﾀﾀﾃｷﾞﾝﾎﾞ属 B		●		
72					*Petroscirtes* sp. C	ﾊﾀﾀﾃｷﾞﾝﾎﾞ属 C		●		●
73					*Salarias luctuosus*	ｼﾏｷﾞﾝﾎﾞ			●	●
74				ﾈｽﾞｯﾎﾟ	*Paradiplogrammus enneactis*	ﾊﾅﾋﾞﾇﾒﾘ	●	●		●
75				ﾊｾﾞ	*Amblygobius phalaena*	ｻﾗｻﾊｾﾞ	●	●		
76					*Amblygobius* sp. A	ｻﾗｻﾊｾﾞ属 A		●		
77					*Asterropteryx semipunctata*	ﾎｼﾊｾﾞ	●	●	●	●
78					*Bathygobius cocosensis*	ｽｼﾞｸﾓﾊｾﾞ				●
79					*Bathygobius fuscus*	ｸﾓﾊｾﾞ	●	●	●	●
80					*Bathygobius* sp. A	ｸﾓﾊｾﾞ属 A	●	●	●	●
81					*Bathygobius* sp. B	ｸﾓﾊｾﾞ属 B	●	●	●	
82					*Eviota* sp. A	ｲｿﾊｾﾞ属 A	●			●
83					*Favonigobius* sp. A	ﾋﾒﾊｾﾞ属 A	●	●	●	
84					*Favonigobius* sp. B	ﾋﾒﾊｾﾞ属 B		●		
85					*Favonigobius* sp. C	ﾋﾒﾊｾﾞ属 C		●		
86					*Gnatholepis anjerensis*	ｵｵﾓﾝﾊｾﾞ		●	●	●
87					*Gnatholepis* sp. A	ｵｵﾓﾝﾊｾﾞ属 A		●	●	
88					*Istigobius ornatus*	ｶｻﾞﾘﾊｾﾞ		●	●	
89					*Pleurosicya bilobata*	ｳﾐｼｮｳﾌﾞﾊｾﾞ		●		
90					*Silhouettea* sp. A	ｼﾗﾇｲﾊｾﾞ属 A	●			
91					Gobiidae A	ﾊｾﾞ科 A	●	●		
92					Gobiidae B	ﾊｾﾞ科 B	●	●	●	
93					Gobiidae C	ﾊｾﾞ科 C	●	●	●	
94					Gobiidae D	ﾊｾﾞ科 D	●	●		
95					Gobiidae E	ﾊｾﾞ科 E	●			
96					Gobiidae F	ﾊｾﾞ科 F	●			
97					Gobiidae G	ﾊｾﾞ科 G	●			
98					Gobiidae H	ﾊｾﾞ科 H	●			
99					Gobiidae I	ﾊｾﾞ科 I	●			
100					Gobiidae J	ﾊｾﾞ科 J	●	●		
101					Gobiidae K	ﾊｾﾞ科 K		●	●	
102					Gobiidae L	ﾊｾﾞ科 L		●		
103					Gobiidae M	ﾊｾﾞ科 M		●		
104					Gobiidae N	ﾊｾﾞ科 N		●	●	●
105					Gobiidae O	ﾊｾﾞ科 O		●		
106					Gobiidae P	ﾊｾﾞ科 P		●	●	
107					Gobiidae Q	ﾊｾﾞ科 Q		●		
108					Gobiidae R	ﾊｾﾞ科 R		●		
109					Gobiidae S	ﾊｾﾞ科 S				●
110					Gobiidae T	ﾊｾﾞ科 T				●
111				ｽﾅﾊｾﾞ	*Kraemeria cunicularia*	ﾘｭｳｷｭｳﾅﾐﾉｺﾊｾﾞ			●	
112				ｸﾛﾕﾘﾊｾﾞ	*Ptereleotris* sp. A	ｸﾛﾕﾘﾊｾﾞ属 A		●		
113				ｼﾗｽｳｵ	*Schindleria* sp. A	ｼﾗｽｳｵ属 A	●	●	●	●
114				ﾆｻﾞﾀﾞｲ	*Acanthurus xanthopterus*	ｸﾛﾊｷﾞ	●			
115				ｶﾏｽ	*Sphyraena barracuda*	ｵﾆｶﾏｽ	●			
116					*Sphyraena* sp. A	ｶﾏｽ属 A	●			
117			ｶﾚｲ	ｻｻｳｼﾉｼﾀ	Soleidae A	ｻｻｳｼﾉｼﾀ科 A		●		
118			ﾌｸﾞ	ﾌｸﾞ	*Arothron hispidus*	ｻｻﾞﾅﾐﾌｸﾞ		●		
119					*Arothron* sp. A	ﾓﾖｳﾌｸﾞ属 A	●			
120					*Arothron* sp. B	ﾓﾖｳﾌｸﾞ属 B	●	●		
121			－	－	*Unidentified larva* (broken)	不明仔稚魚（破損個体）			●	
合計	1門	1綱	10目	37科	121種類		44	73	39	37

(a) その他

砕波帯調査時に仔稚魚以外に頭足類（ヒメイカ類：表 6.11.1.14）が採取されたため、参考として採取結果を表 6.11.1.15 に示す。秋季～春季に St.砕 2、3、4 にて確認された。

表 6.11.1.14　砕波帯調査時に確認された頭足類

門	綱	目	科	種名
軟体動物	頭足	ダンゴイカ	ヒメイカ	ヒメイカ類

注：ヒメイカ類にはヒメイカ（*Idiosepius paradoxus*）、
リュウキュウヒメイカ（*Idiosepius kijimuna*）、
ツノヒメイカ（*Kodama jujutsu*）の 3 種が含まれる。

表 6.11.1.15　砕波帯調査時に確認されたヒメイカ類の個体数

調査日　：夏季　令和 6 年 8 月 16 日
秋季　令和 6 年 10 月 30 日
冬季　令和 7 年 1 月 31 日
春季　令和 7 年 4 月 25 日
調査方法：砕波帯ネット（100m 曳網）
単　　位：個体/曳網

調査時期	調査地点				
	St.砕1	St.砕2	St.砕3	St.砕4	合計
夏季					
秋季		3			3
冬季			11	2	13
春季		2	3	1	6

ウ）DNA 分析結果（魚卵・仔稚魚）

DNA 分析調査結果概要は表 6.11.1.16 及び表 6.11.1.18 に、DNA 分析の結果確認された種と該当するタイプ区分は表 6.11.1.17 及び表 6.11.1.19 に示すとおりである。

表 6.11.1.16　DNA 分析結果概要（魚卵）

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月 9日
：（秋季）令和 6年10月18日
：（冬季）令和 7年 1月15日
：（春季）令和 7年 4月30日
調査方法：MTDﾈｯﾄ水平曳き(2ﾉｯﾄ、10分)

項目　調査地点	夏季	秋季	冬季	春季
主な出現種と個数 (個/150m^3) (　)内は組成比率 (%)	単脂球形卵 0.55～0.58mm [ﾐﾂﾎﾞｼｷｭｳｾﾝ] 156 (76.5) ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ﾊｹﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 30 (14.7) ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ﾊｹﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 3,242 (46.8) 単脂球形卵 0.55～0.58mm [ﾆｼﾞﾊｷﾞ] 1,789 (25.8) 単脂球形卵 0.55～0.58mm [ﾐﾂﾎﾞｼｷｭｳｾﾝ] 931 (97.8)	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ﾊｹﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 1,154 (64.0) 単脂球形卵 0.54～0.58mm [ｶﾏｽﾍﾞﾗ] 229 (12.7) 単脂球形卵 0.60～0.66mm [ﾀｲﾜﾝﾌﾞﾀﾞｲ] 890 (67.0) 単脂球形卵 0.60～0.62mm [ｺｸﾃﾝｻｻﾞﾅﾐﾊｷﾞ] 196 (14.7) ｴｿ科 A [ﾐﾅﾐｱｶｴｿ] 4 (100.0)	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ｲﾁﾓﾝｼﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 429 (72.2) 無脂不整球形卵 0.68～0.74mm ×0.64～0.66mm [ﾏﾒｻﾝｺﾞｶｻｺﾞ] 66 (11.1) ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ｲﾁﾓﾝｼﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 1,100 (91.9) ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ｲﾁﾓﾝｼﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 74 (38.7) 単脂球形卵 0.90～0.92mm [ﾐﾅﾐｸﾛﾀﾞｲ] 53 (27.7) ﾌﾞﾀﾞｲ科 B 30 (15.7)	単脂球形卵 0.60～0.66mm [ﾐﾂﾎﾞｼｷｭｳｾﾝ] 60 (70.6) ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ﾅﾝﾖｳﾌﾞﾀﾞｲ] 19 (22.4) ﾌﾞﾀﾞｲ科 A [ｲﾁﾓﾝｼﾞﾌﾞﾀﾞｲ] 243 (60.8) 単脂球形卵 0.60～0.66mm [ﾌﾞﾁｽｽｷﾍﾞﾗ] 62 (43.7) 無脂球形卵 0.60～0.62mm [ﾈｽﾞｯﾎﾟ科] 43 (30.3) 単脂球形卵 0.78～0.84mm 18 (12.7)

注：1. 同時に採取した DNA 分析試料から、ホルマリン固定試料における各調査地点での上位 2 種及び全調査地点合計の上位 5 種と同タイプの仔稚魚を対象として DNA 分析を行った（ただし、DNA 用のサンプル中に出現していない種は除く）。
2. 赤字[ ]内は DNA 分析結果を示し、該当種が含まれる可能性があることを示す。

表 6.11.1.17　DNA 分析結果とタイプ区分の比較（魚卵）

番号	綱	目	科	学名	和名	該当するタイプ区分	
1	硬骨魚	ﾋﾒ	ｴｿ	*Synodus dermatogenys*	ﾐﾅﾐｱｶｴｿ	Synodontidae A	ｴｿ科 A
2		ｽｽﾞｷ	ﾌｻｶｻｺﾞ	*Scorpaenodes hirsutus*	ﾏﾒｻﾝｺﾞｶｻｺﾞ	Unidentified w.n.o. Egg B	無脂不整球形卵 0.68～0.74mm×0.64～0.66mm
3			ﾀｲ	*Acanthopagrus sivicolus*	ﾐﾅﾐｸﾛﾀﾞｲ	Unidentified s.o. Egg AA	単脂球形卵 0.90～0.92mm
4			ﾋﾒｼﾞ	*Upeneus tragula*	ﾖﾒﾋﾒｼﾞ	Unidentified s.o. Egg F	単脂球形卵 0.60～0.64mm
5			ﾍﾞﾗ	*Anampses caeruleopunctatus*	ﾌﾞﾁｽｽｷﾍﾞﾗ	Unidentified s.o. Egg AH	単脂球形卵 0.60～0.66mm
6				*Cheilio inermis*	ｶﾏｽﾍﾞﾗ	Unidentified s.o. Egg M	単脂球形卵 0.54～0.58mm
7				*Cirrhilabrus cyanopleura*	ｸﾛﾍﾘｲﾄﾋｷﾍﾞﾗ	Unidentified s.o. Egg Y	単脂球形卵 0.72～0.80mm
8				*Halichoeres trimaculatus*	ﾐﾂﾎﾞｼｷｭｳｾﾝ	Unidentified s.o. Egg B	単脂球形卵 0.50～0.54mm
						Unidentified s.o. Egg D	単脂球形卵 0.55～0.58mm
						Unidentified s.o. Egg AH	単脂球形卵 0.60～0.66mm
9				*Stethojulis strigiventer*	ﾊﾗｽｼﾞﾍﾞﾗ	Unidentified s.o. Egg AH	単脂球形卵 0.60～0.66mm
10				*Thalassoma quinquevittatum*	ﾊｺﾍﾞﾗ	Unidentified s.o. Egg K	単脂球形卵 0.52～0.56mm
11			ﾌﾞﾀﾞｲ	*Calotomus carolinus*	ﾀｲﾜﾝﾌﾞﾀﾞｲ	Unidentified s.o. Egg O	単脂球形卵 0.60～0.66mm
12				*Chlorurus microrhinos*	ﾅﾝﾖｳﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae A	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A
13				*Chlorurus spilurus*	ﾊｹﾞﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae A	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A
14				*Scarus forsteni*	ｲﾁﾓﾝｼﾞﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae A	ﾌﾞﾀﾞｲ科 A
15				*Scarus rivulatus*	ｽｼﾞﾌﾞﾀﾞｲ	Scaridae B	ﾌﾞﾀﾞｲ科 B
16			ﾄﾗｷﾞｽ	*Parapercis pacifica*	ｵｸﾞﾛﾄﾗｷﾞｽ	Unidentified s.o. Egg Z	単脂球形卵 0.82～0.86mm
						Unidentified s.o. Egg AK	単脂球形卵 0.78～0.84mm
17			ﾈｽﾞｯﾎﾟ	Callionymidae	ﾈｽﾞｯﾎﾟ科	Unidentified n.o. Egg F	無脂球形卵 0.60～0.62mm
18			ﾆｻﾞﾀﾞｲ	*Acanthurus lineatus*	ﾆｼﾞﾊｷﾞ	Unidentified s.o. Egg C	単脂球形卵 0.52～0.54mm
						Unidentified s.o. Egg D	単脂球形卵 0.55～0.58mm
19				*Ctenochaetus binotatus*	ｺｸﾃﾝｻｻﾞﾅﾐﾊｷﾞ	Unidentified s.o. Egg N	単脂球形卵 0.60～0.62mm

表 6.11.1.18　DNA 分析結果概要（仔稚魚）

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月 9日
：（秋季）令和 6年10月18日
：（冬季）令和 7年 1月15日
：（春季）令和 7年 4月30日
調査方法：MTDﾈｯﾄ水平曳き(2ﾉｯﾄ、10分)

項目　調査地点	夏季	秋季	冬季	春季
主な出現種と個体数 (個体/150m^3) (　)内は組成比率 (%)	不明ふ化仔魚 [ｱｶﾋﾒｼﾞ] [ｲｯﾃﾝﾁｮｳﾁｮｳｳｵ] 4 (13.3)	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 B [ｿﾒﾜｹﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ] 41 (23.3) ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 A [ｵﾔﾋﾞｯﾁｬ] 81 (23.9) ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 B [ﾀﾃｶﾞﾐｶｴﾙｳｵ] 73 (21.5) ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 C [ﾎﾎｸﾞﾛｷﾞﾝﾎﾟ] 41 (12.1) ﾊｾﾞ科 C [ｽｼﾞｸﾓﾊｾﾞ] 6 (75.0)	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 B [ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ属] 12 (20.3) ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 B [ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ属] 5 (18.5) ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 A [ｱｲｽｽﾞﾒﾀﾞｲ] 18 (14.6)	ﾊｾﾞ科 C [ｸﾓﾊｾﾞ] 39 (32.5) ﾊｾﾞ科 A [*Eviota hinanoae*] 14 (11.7) ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 G [ｷﾎｼｽｽﾞﾒﾀﾞｲ] 139 (57.2) ﾊｾﾞ科 C [ｸﾓﾊｾﾞ] 143 (30.9) ﾊｾﾞ科 D [ｻｻﾞﾅﾐﾊｾﾞ] 73 (15.8)

注：1. 同時に採取した DNA 分析試料から、ホルマリン固定試料における各調査地点での上位 2 種及び全調査地点合計の上位 5 種と同タイプの仔稚魚を対象として DNA 分析を行った（ただし、DNA 用のサンプル中に出現していない種は除く）。
2. 赤字[ ]内は DNA 分析結果を示し、該当種が含まれる可能性があることを示す。

表 6.11.1.19　DNA 分析結果とタイプ区分の比較（仔稚魚）

番号	綱	目	科	学名	和名	該当するタイプ区分	
1	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾋﾒｼﾞ	*Mulloidichthys vanicolensis*	ｱｶﾋﾒｼﾞ	Unidentified hatch-out larva	不明ふ化仔魚
2			ﾁｮｳﾁｮｳｳｵ	*Chaetodon unimaculatus*	ｲｯﾃﾝﾁｮｳﾁｮｳｳｵ	Unidentified hatch-out larva	不明ふ化仔魚
3			ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	*Abudefduf vaigiensis*	ｵﾔﾋﾞｯﾁｬ	Pomacentridae A	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 A
4				*Chromis yamakawai*	ｷﾎｼｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	Pomacentridae G	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 G
5				*Plectroglyphidodon altus*	ｾﾀﾞｶｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	Pomacentridae B	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 B
6				*Plectroglyphidodon obreptus*	ｱｲｽｽﾞﾒﾀﾞｲ	Pomacentridae A	ｽｽﾞﾒﾀﾞｲ科 A
7			ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ	*Enneapterygius philippinus*	ｸｻｷﾞﾝﾎﾟ	Tripterygiidae A	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 A
8				*Enneapterygius similis*	ｿﾒﾜｹﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ	Tripterygiidae B	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 B
9				*Enneapterygius* sp.	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ属	Tripterygiidae B	ﾍﾋﾞｷﾞﾝﾎﾟ科 B
10			ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ	*Blenniella bilitonensis*	ﾎﾎｸﾞﾛｷﾞﾝﾎﾟ	Blenniidae C	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 C
11				*Cirripectes castaneus*	ﾀﾃｶﾞﾐｶｴﾙｳｵ	Blenniidae B	ｲｿｷﾞﾝﾎﾟ科 B
12			ﾊｾﾞ	*Bathygobius cocosensis*	ｽｼﾞｸﾓﾊｾﾞ	Gobiidae C	ﾊｾﾞ科 C
13				*Bathygobius fuscus*	ｸﾓﾊｾﾞ	Gobiidae C	ﾊｾﾞ科 C
14				*Eviota hinanoae*		Gobiidae A	ﾊｾﾞ科 A
15				*Valenciennea longipinnis*	ｻｻﾞﾅﾐﾊｾﾞ	Gobiidae D	ﾊｾﾞ科 D
16				Gobiidae	ﾊｾﾞ科	Gobiidae A	ﾊｾﾞ科 A

（エ）魚類

ア）定点及び測線調査

魚類調査（定点調査・測線調査）の結果概要は表 6.11.1.20 に、出現種一覧は表 6.11.1.21 に、海底地形摸式と生物出現状況（測線調査結果）は図 6.11.1.2～図 6.11.1.5 に示すとおりである。

四季の調査結果を合計すると、潜水目視観察で確認された魚類はチョウチョウウオ科 24 種類、スズメダイ科 58 種類、ベラ科 56 種類、ブダイ科 19 種類、ハゼ科 56 種類、ニザダイ科 19 種類、その他 156 種類の計 388 種類であった。

表 6.11.1.20　魚類調査結果概要

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日（測線）4月14日、16～18日、5月12～14、16日

項目		調査時期	令和6年 夏季	令和6年 秋季	令和7年 冬季	令和7年 春季	四季合計
出現種類数		定点調査	174 (4～86)	163 (9～55)	139 (8～55)	157 (5～58)	246 (4～86)
		測線調査	282 (124～209)	249 (94～171)	236 (111～148)	232 (106～167)	365 (94～209)
		総出現種類数	**302**	**272**	**250**	**255**	**388**
分類群ごとの出現種類数	チョウチョウウオ科	定点調査	13	16	11	10	17
		測線調査	17	19	14	15	22
		合計	**19**	**21**	**14**	**15**	**24**
	スズメダイ科	定点調査	33	33	32	37	41
		測線調査	51	51	48	49	57
		合計	**54**	**53**	**50**	**50**	**58**
	ベラ科	定点調査	28	26	21	24	35
		測線調査	44	43	40	37	54
		合計	**45**	**45**	**40**	**39**	**56**
	ブダイ科	定点調査	8	8	8	9	15
		測線調査	17	13	9	12	19
		合計	**17**	**14**	**10**	**13**	**19**
	ハゼ科	定点調査	22	17	14	21	37
		測線調査	36	24	29	26	48
		合計	**40**	**29**	**30**	**33**	**56**
	ニザダイ科	定点調査	10	8	12	9	14
		測線調査	19	16	16	15	19
		合計	**19**	**16**	**17**	**16**	**19**
	その他	定点調査	60	55	41	47	87
		測線調査	98	83	80	78	146
		合計	**108**	**94**	**89**	**89**	**156**
主な出現種		定点調査	オジサン オジロスズメダイ ダンダラトラギス ナガニザ キンセンイシモチ	ダンダラトラギス オジサン ルリスズメダイ オジロスズメダイ タレクチベラ	ルリスズメダイ ミツボシキュウセン ブダイ科 ナガニザ フウライチョウチョウウオ	シチセンムスメベラ ブダイ科 ミナミイソスズメダイ オジロスズメダイ カザリキュウセン	
		測線調査	メギス キンセンイシモチ ホウライヒメジ マルクチヒメジ オジサン	カンモンハタ キンセンイシモチ オオスジヒメジ マルクチヒメジ オジサン	フタスジタマガシラ ヨコシマタマガシラ マルクチヒメジ コバンヒメジ オジサン	カンモンハタ メギス ヨコシマタマガシラ ホウライヒメジ オジサン	

注：1.各季節の出現種類数欄の（　）内は地点ごとの出現種類数の範囲を示す。
2.各季節の主な出現種は、出現地点数の上位 5 種を示す。
3.四季合計の出現種類数欄の（　）内は地点ごとの四季を通じた総出現種類数の範囲を示す。

表 6.11.1.21 (1)　魚類出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（測線）9 月 6～8 日、10～13 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 9、10、22 日、11 月 21 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～22、25～26 日（測線）1 月 18～20、22 日、2 月 15～16、27 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日（測線）4 月 14 日、16～18 日、5 月 12～14、16 日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
1	硬骨魚	ウナギ	ウツボ	*Echidna nebulosa*	クモウツボ			●	
2				*Gymnothorax javanicus*	ドクウツボ	●		●	
3		ニシン	キビナゴ	*Spratelloides* sp.	キビナゴ属	●	●	●	
4		ヒメ	エソ	*Saurida nebulosa*	ウチウミマダラエソ	●			
5				*Synodus dermatogenys*	ミナミアカエソ	●	●		
6				*Synodus variegatus*	ヒトスジエソ	●		●	
7				*Synodus* sp.	アカエソ属			●	●
8		キンメダイ	イットウダイ	*Myripristis berndti*	アカマツカサ				●
9				*Myripristis violacea*	セグロマツカサ	●			
10				*Neoniphon sammara*	ウケグチイットウダイ	●	●	●	●
11				*Sargocentron diadema*	ニジエビス		●	●	
12				*Sargocentron ittodai*	テリエビス		●	●	●
13				*Sargocentron rubrum*	アヤメエビス	●	●		
14				*Sargocentron spiniferum*	トガリエビス	●	●		●
15		トゲウオ	ヘラヤガラ	*Aulostomus chinensis*	ヘラヤガラ	●			
16			ヤガラ	*Fistularia commersonii*	アオヤガラ	●	●	●	
17			ヘコアユ	*Aeoliscus strigatus*	ヘコアユ	●			
18			ヨウジウオ	*Corythoichthys haematopterus*	イシヨウジ	●			●
19				*Doryrhamphus (Dunckerocampus) dactyliophorus*	オイランヨウジ	●			
20		スズキ	フサカサゴ	*Dendrochirus zebra*	キリンミノ				●
21				*Sebastapistes cyanostigma*	カスリフサカサゴ			●	●
22			オニオコゼ	*Synanceia verrucosa*	オニダルマオコゼ		●		
23			ハタ	*Cephalopholis argus*	アオノメハタ	●			
24				*Cephalopholis urodeta*	ニジハタ	●	●	●	●
25				*Epinephelus fasciatus*	アカハタ	●	●		
26				*Epinephelus howlandi*	ヒレグロハタ		●		
27				*Epinephelus merra*	カンモンハタ	●	●	●	●
28				*Grammistes sexlineatus*	スノサラシ		●		
29				*Plectropomus leopardus*	スジアラ		●		
30				*Variola albimarginata*	オジロバラハタ		●		
31			メギス	*Labracinus cyclophthalmus*	メギス	●	●	●	●
32				*Pseudochromis* sp.	ニセスズメ属	●		●	●
33			タナバタウオ	*Assessor randalli*	ツバメタナバタウオ	●	●	●	
34				*Plesiops* sp.	タナバタウオ属				●
35			テンジクダイ	*Cheilodipterus macrodon*	リュウキュウヤライイシモチ			●	●
36				*Cheilodipterus quinquelineatus*	ヤライイシモチ	●	●	●	●
37				*Foa fo*	タイワンマトイシモチ		●	●	●
38				*Ostorhinchus cookii*	スジイシモチ	●	●	●	●
39				*Ostorhinchus ishigakiensis*	ミヤコイシモチ	●	●		●
40				*Ostorhinchus nigrofasciatus*	ミナミフトスジイシモチ	●	●	●	●
41				*Ostorhinchus wassinki*	キンセンイシモチ	●	●	●	●
42				*Pristiapogon kallopterus*	カスリイシモチ	●			
43			キツネアマダイ	*Malacanthus latovittatus*	キツネアマダイ	●			
44			アジ	*Alectis ciliaris*	イトヒキアジ	●			
45				*Carangoides fulvoguttatus*	ホシカイワリ	●			
46				*Caranx melampygus*	カスミアジ	●			●
47				*Decapterus* sp.	ムロアジ属		●		
48			フエダイ	*Lutjanus bohar*	バラフエダイ		●	●	●
49				*Lutjanus decussatus*	アミメフエダイ			●	●
50				*Lutjanus fulviflamma*	ニセクロホシフエダイ	●	●	●	●
51				*Lutjanus fulvus*	オキフエダイ	●	●	●	●
52				*Lutjanus gibbus*	ヒメフエダイ	●	●	●	●
53				*Lutjanus kasmira*	ヨスジフエダイ	●			
54				*Lutjanus monostigma*	イッテンフエダイ	●			
55				*Macolor niger*	マダラタルミ	●			
56			タカサゴ	*Pterocaesio marri*	ニセタカサゴ		●	●	
57			クロサギ	*Gerres* sp.	クロサギ属	●	●		●
58			イサキ	*Plectorhinchus lessonii*	ヒレグロコショウダイ	●			●
59				*Plectorhinchus vittatus*	ムスジコショウダイ				●
60			イトヨリダイ	*Pentapodus caninus*	キツネウオ	●			
61				*Scolopsis bilineata*	フタスジタマガシラ	●	●	●	●
62				*Scolopsis ciliata*	ハクセンタマガシラ		●		
63				*Scolopsis lineata*	ヨコシマタマガシラ	●	●	●	●
64				*Scolopsis* sp.	ヨコシマタマガシラ属	●	●	●	
65			フエフキダイ	*Gnathodentex aureolineatus*	ノコギリダイ		●		●
66				*Lethrinus atkinsoni*	イソフエフキ	●		●	
67				*Lethrinus genivittatus*	イトフエフキ	●	●		
68				*Lethrinus harak*	マトフエフキ	●	●	●	●
69				*Lethrinus nebulosus*	ハマフエフキ		●		
70				*Lethrinus* sp.	フエフキダイ属		●	●	

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.21 (2)　魚類出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日（測線）4月14日、16～18日、5月12～14、16日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
71	硬骨魚	スズキ	フエフキダイ	*Monotaxis grandoculis*	ヨコシマクロダイ	●	●	●	●
72			ヒメジ	*Mulloidichthys flavolineatus flavolineatus*	モンツキアカヒメジ	●	●	●	●
73				*Mulloidichthys vanicolensis*	アカヒメジ	●			
74				*Parupeneus barberinoides*	インドヒメジ		●	●	
75				*Parupeneus barberinus*	オオスジヒメジ	●	●	●	●
76				*Parupeneus ciliatus*	ホウライヒメジ	●	●		●
77				*Parupeneus cyclostomus*	マルクチヒメジ	●	●	●	●
78				*Parupeneus indicus*	コバンヒメジ	●	●	●	
79				*Parupeneus multifasciatus*	オジサン	●	●	●	●
80				*Parupeneus pleurostigma*	リュウキュウヒメジ	●	●	●	
81				*Upeneus tragula*	ヨメヒメジ		●	●	●
82			ハタンポ	*Pempheris adusta*	リュウキュウハタンポ				●
83				*Pempheris oualensis*	ユメハタンポ		●		
84				*Pempheris schwenkii*	ミナミハタンポ	●			
85				*Pempheris* sp.	ハタンポ属	●			●
86			チョウチョウウオ	*Chaetodon argentatus*	カガミチョウチョウウオ	●	●	●	●
87				*Chaetodon auriga*	トゲチョウチョウウオ	●	●	●	●
88				*Chaetodon auripes*	チョウチョウウオ	●	●	●	●
89				*Chaetodon bennetti*	ウミヅキチョウチョウウオ	●	●		
90				*Chaetodon citrinellus*	ゴマチョウチョウウオ	●	●	●	●
91				*Chaetodon ephippium*	セグロチョウチョウウオ		●	●	
92				*Chaetodon kleinii*	ミゾレチョウチョウウオ	●	●	●	●
93				*Chaetodon lineolatus*	ニセフウライチョウチョウウオ		●		●
94				*Chaetodon lunula*	チョウハン	●	●	●	●
95				*Chaetodon lunulatus*	ミスジチョウチョウウオ	●	●	●	●
96				*Chaetodon melannotus*	アケボノチョウチョウウオ	●	●	●	●
97				*Chaetodon ornatissimus*	ハナグロチョウチョウウオ	●	●		
98				*Chaetodon plebeius*	スミツキトノサマダイ	●	●	●	●
99				*Chaetodon rafflesii*	アミチョウチョウウオ	●	●		
100				*Chaetodon speculum*	トノサマダイ		●		
101				*Chaetodon trifascialis*	ヤリカタギ	●	●	●	●
102				*Chaetodon ulietensis*	スダレチョウチョウウオ	●			
103				*Chaetodon unimaculatus*	イッテンチョウチョウウオ	●	●		
104				*Chaetodon vagabundus*	フウライチョウチョウウオ	●	●	●	●
105				*Chaetodon wiebeli*	ツキチョウチョウウオ				●
106				*Forcipiger flavissimus*	フエヤッコダイ	●	●		
107				*Heniochus acuminatus*	ハタタテダイ	●			
108				*Heniochus chrysostomus*	ミナミハタタテダイ	●	●	●	●
109				*Heniochus varius*	ツノハタタテダイ		●	●	●
110			キンチャクダイ	*Centropyge heraldi*	ヘラルドコガネヤッコ	●			
111				*Centropyge tibicen*	アブラヤッコ				●
112				*Centropyge vrolikii*	ナメラヤッコ	●	●	●	●
113				*Pomacanthus semicirculatus*	サザナミヤッコ			●	●
114				*Pygoplites diacanthus*	ニシキヤッコ	●			
115			ゴンベ	*Cirrhitus pinnulatus pinnulatus*	イソゴンベ		●		●
116				*Paracirrhites arcatus*	メガネゴンベ	●		●	
117				*Paracirrhites forsteri*	ホシゴンベ		●	●	●
118			スズメダイ	*Abudefduf caudobimaculatus*	シリテンスズメダイ	●	●	●	●
119				*Abudefduf septemfasciatus*	シチセンスズメダイ		●		
120				*Abudefduf sexfasciatus*	ロクセンスズメダイ	●	●	●	●
121				*Abudefduf sordidus*	シマスズメダイ	●		●	●
122				*Abudefduf vaigiensis*	オヤビッチャ	●	●	●	●
123				*Amblyglyphidodon curacao*	クラカオスズメダイ	●	●	●	●
124				*Amblyglyphidodon leucogaster*	ナミスズメダイ	●	●		
125				*Amphiprion clarkii*	クマノミ	●	●	●	●
126				*Amphiprion frenatus*	ハマクマノミ	●	●	●	●
127				*Amphiprion ocellaris*	カクレクマノミ		●		
128				*Amphiprion perideraion*	ハナビラクマノミ	●			
129				*Azurina lepidolepis*	ササスズメダイ			●	
130				*Cheiloprion labiatus*	アツクチスズメダイ	●	●	●	●
131				*Chromis atripectoralis*	アオバスズメダイ	●	●	●	●
132				*Chromis chrysura*	アマミスズメダイ	●	●	●	●
133				*Chromis viridis*	デバスズメダイ	●	●	●	●
134				*Chromis xanthura*	モンスズメダイ	●			●
135				*Chromis yamakawai*	キホシスズメダイ	●	●	●	●
136				*Chrysiptera biocellata*	スジブチスズメダイ	●	●	●	●
137				*Chrysiptera cyanea*	ルリスズメダイ	●	●	●	●
138				*Chrysiptera glauca*	ネズスズメダイ	●	●	●	●
139				*Chrysiptera leucopoma*	ミヤコキセンスズメダイ	●	●	●	●
140				*Chrysiptera rex*	レモンスズメダイ	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.21 (3)　魚類出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（測線）9 月 6～8 日、10～13 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 9、10、22 日、11 月 21 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～22、25～26 日（測線）1 月 18～20、22 日、2 月 15～16、27 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日（測線）4 月 14 日、16～18 日、5 月 12～14、16 日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
141	硬骨魚	スズキ	スズメダイ	*Chrysiptera starcki*	セナキルリスズメダイ	●		●	
142				*Chrysiptera unimaculata*	イチモンスズメダイ	●	●	●	●
143				*Dascyllus aruanus*	ミスジリュウキュウスズメダイ	●	●	●	●
144				*Dascyllus reticulatus*	フタスジリュウキュウスズメダイ	●	●	●	
145				*Dascyllus trimaculatus*	ミツボシクロスズメダイ	●	●	●	●
146				*Dischistodus prosopotaenia*	ダンダラスズメダイ	●	●		●
147				*Hemiglyphidodon plagiometopon*	スズメダイモドキ	●	●		
148				*Neoglyphidodon melas*	クロスズメダイ	●	●	●	●
149				*Neoglyphidodon nigroris*	ヒレナガスズメダイ	●	●	●	●
150				*Plectroglyphidodon altus*	セダカスズメダイ	●	●	●	●
151				*Plectroglyphidodon dickii*	イシガキスズメダイ	●	●	●	●
152				*Plectroglyphidodon fasciolatus*	フチドリスズメダイ	●	●	●	●
153				*Plectroglyphidodon imparipennis*	イワサキスズメダイ	●	●	●	●
154				*Plectroglyphidodon insularis*	ヨロンスズメダイ	●	●	●	●
155				*Plectroglyphidodon johnstonianus*	ルリメイシガキスズメダイ	●	●	●	●
156				*Plectroglyphidodon leucozonus*	ハクセンスズメダイ	●	●	●	●
157				*Plectroglyphidodon obreptus*	アイスズメダイ	●	●	●	●
158				*Pomacentrus alexanderae*	モンツキスズメダイ	●	●	●	●
159				*Pomacentrus amboinensis*	ニセネッタイスズメダイ	●	●	●	●
160				*Pomacentrus bankanensis*	メガネスズメダイ	●	●	●	●
161				*Pomacentrus chrysurus*	オジロスズメダイ	●	●	●	●
162				*Pomacentrus coelestis*	ソラスズメダイ	●	●	●	●
163				*Pomacentrus lepidogenys*	アサドスズメダイ	●	●	●	●
164				*Pomacentrus moluccensis*	ネッタイスズメダイ	●	●	●	●
165				*Pomacentrus nagasakiensis*	ナガサキスズメダイ	●	●	●	●
166				*Pomacentrus philippinus*	フィリピンスズメダイ	●	●	●	●
167				*Pomacentrus* sp.	ミナミイソスズメダイ	●	●	●	●
168				*Pomacentrus vaiuli*	クロメガネスズメダイ	●	●	●	●
169				*Pomachromis richardsoni*	オキナワスズメダイ	●	●	●	●
170				*Pycnochromis margaritifer*	シコクスズメダイ	●	●	●	●
171				*Pycnochromis vanderbilti*	ヒメスズメダイ	●	●		●
172				*Stegastes albifasciatus*	キオビスズメダイ		●	●	●
173				*Stegastes lacrymatus*	ルリホシスズメダイ	●	●	●	●
174				*Stegastes nigricans*	クロソラスズメダイ	●	●	●	●
175				*Stegastes punctatus*	ハナナガスズメダイ	●	●	●	●
176			イスズミ	*Kyphosus cinerascens*	テンジクイサキ				●
177				*Kyphosus* sp.	イスズミ属	●		●	
178			メジナ	*Girella mezina*	オキナメジナ	●		●	
179			ベラ	*Anampses caeruleopunctatus*	プチススキベラ	●	●		
180				*Anampses geographicus*	ムシベラ	●			●
181				*Anampses meleagrides*	ホクトベラ		●	●	
182				*Anampses twistii*	ホシススキベラ	●	●	●	
183				*Bodianus axillaris*	スミツキベラ	●	●	●	●
184				*Bodianus loxozonus*	ヒレグロベラ	●	●	●	●
185				*Bodianus perditio*	タキベラ		●		
186				*Cheilinus chlorourus*	アカテンモチノウオ	●	●		●
187				*Cheilinus fasciatus*	ヤシャベラ		●		
188				*Cheilinus oxycephalus*	ミツボシモチノウオ		●	●	
189				*Cheilinus trilobatus*	ミツバモチノウオ	●	●	●	●
190				*Cheilinus* sp.	モチノウオ属			●	●
191				*Cheilio inermis*	カマスベラ	●	●		●
192				*Choerodon anchorago*	クサビベラ	●	●		●
193				*Choerodon fasciatus*	シチセンベラ	●		●	
194				*Choerodon jordani*	クラカケベラ	●			
195				*Cirrhilabrus cyanopleura*	クロヘリイトヒキベラ	●		●	●
196				*Coris aygula*	カンムリベラ	●	●	●	●
197				*Coris batuensis*	シチセンムスメベラ	●	●	●	●
198				*Coris dorsomacula*	スジベラ	●	●		
199				*Epibulus insidiator*	ギチベラ	●	●	●	●
200				*Gomphosus varius*	クギベラ	●	●	●	●
201				*Halichoeres biocellatus*	ニシキキュウセン				●
202				*Halichoeres hortulanus*	トカラベラ		●		
203				*Halichoeres margaritaceus*	アカニジベラ	●	●	●	●
204				*Halichoeres marginatus*	カノコベラ	●	●	●	●
205				*Halichoeres melanochir*	ムナテンベラ	●	●	●	●
206				*Halichoeres melanurus*	カザリキュウセン	●	●	●	●
207				*Halichoeres nebulosus*	イナズマベラ	●	●	●	●
208				*Halichoeres scapularis*	セイテンベラ				●
209				*Halichoeres trimaculatus*	ミツボシキュウセン	●	●	●	●
210				*Halichoeres* sp.	ホンベラ属		●		

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.21 (4)　魚類出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（測線）9 月 6～8 日、10～13 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 9、10、22 日、11 月 21 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～22、25～26 日（測線）1 月 18～20、22 日、2 月 15～16、27 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日（測線）4 月 14 日、16～18 日、5 月 12～14、16 日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
211	硬骨魚	スズキ	ベラ	*Hemigymnus fasciatus*	シマタレクチベラ	●	●	●	●
212				*Hemigymnus melapterus*	タレクチベラ	●	●	●	●
213				*Hologymnosus annulatus*	ナメラベラ	●		●	
214				*Hologymnosus doliatus*	シロタスキベラ	●	●		
215				*Labrichthys unilineatus*	クロベラ	●	●	●	●
216				*Labroides bicolor*	ソメワケベラ	●	●	●	●
217				*Labroides dimidiatus*	ホンソメワケベラ	●	●	●	●
218				*Labropsis manabei*	マナベベラ	●	●	●	●
219				*Macropharyngodon meleagris*	ノドグロベラ	●	●	●	●
220				*Novaculichthys taeniourus*	オビテンスモドキ			●	●
221				*Novaculoides macrolepidotus*	オオヒレテンスモドキ		●		
222				*Oxycheilinus digramma*	ホホスジモチノウオ	●	●	●	
223				*Oxycheilinus unifasciatus*	ヒトスジモチノウオ	●	●	●	●
224				*Pseudocheilinus hexataenia*	ニセモチノウオ	●		●	●
225				*Stethojulis bandanensis*	アカオビベラ	●	●	●	●
226				*Stethojulis strigiventer*	ハラスジベラ	●	●	●	●
227				*Stethojulis trilineata*	オニベラ	●	●	●	
228				*Thalassoma amblycephalum*	コガシラベラ	●	●	●	●
229				*Thalassoma hardwicke*	セナスジベラ	●	●	●	●
230				*Thalassoma jansenii*	ヤンセンニシキベラ	●	●	●	●
231				*Thalassoma lunare*	オトメベラ	●	●	●	●
232				*Thalassoma lutescens*	ヤマブキベラ	●	●	●	●
233				*Thalassoma quinquevittatum*	ハコベラ	●	●	●	●
234				*Thalassoma trilobatum*	リュウグウベラ	●			
235			ブダイ	*Calotomus carolinus*	タイワンブダイ			●	●
236				*Cetoscarus ocellatus*	イロブダイ	●	●		
237				*Chlorurus bowersi*	オオモンハゲブダイ	●	●	●	●
238				*Chlorurus microrhinos*	ナンヨウブダイ	●			
239				*Chlorurus spilurus*	ハゲブダイ	●	●	●	●
240				*Scarus chameleon*	カメレオンブダイ	●	●		●
241				*Scarus dimidiatus*	カワリブダイ	●	●	●	
242				*Scarus forsteni*	イチモンジブダイ	●	●	●	●
243				*Scarus frenatus*	アミメブダイ	●	●		
244				*Scarus ghobban*	ヒブダイ	●	●	●	●
245				*Scarus hypselopterus*	キビレブダイ	●	●		●
246				*Scarus niger*	ブチブダイ	●	●		
247				*Scarus prasiognathos*	ニシキブダイ				●
248				*Scarus psittacus*	オウムブダイ	●		●	●
249				*Scarus rivulatus*	スジブダイ	●	●	●	●
250				*Scarus rubroviolaceus*	ナガブダイ	●	●		●
251				*Scarus schlegeli*	オビブダイ	●	●	●	●
252				*Scarus spinus*	シロオビブダイ	●			
253				Scaridae	ブダイ科	●	●	●	●
254			トラギス	*Parapercis cylindrica*	ダンダラトラギス	●	●	●	●
255				*Parapercis millepunctata*	ワヌケトラギス	●	●	●	●
256				*Parapercis pacifica*	オグロトラギス	●	●	●	●
257				*Parapercis xanthozona*	オジロトラギス		●		
258			ヘビギンポ	*Enneapterygius* sp.	ヘビギンポ属	●			
259				*Helcogramma striata*	タテジマヘビギンポ				●
260				Tripterygiidae	ヘビギンポ科	●	●	●	●
261			イソギンポ	*Aspidontus taeniatus*	ニセクロスジギンポ	●	●		
262				*Atrosalarias holomelas*	インドカエルウオ	●	●	●	●
263				*Blenniella chrysospilos*	モンツキカエルウオ			●	
264				*Cirripectes castaneus*	タテガミカエルウオ				●
265				*Cirripectes imitator*	アミメミノカエルウオ	●			●
266				*Cirripectes polyzona*	ミノカエルウオ	●			●
267				*Cirripectes* sp.	タテガミカエルウオ属	●	●	●	
268				*Crossosalarias macrospilus*	エリグロギンポ	●		●	●
269				*Ecsenius bicolor*	フタイロカエルウオ	●	●	●	●
270				*Ecsenius lineatus*	ヒトスジギンポ				●
271				*Ecsenius yaeyamaensis*	イシガキカエルウオ	●	●		●
272				*Exallias brevis*	セダカギンポ	●	●	●	●
273				*Meiacanthus atrodorsalis*	オウゴンニジギンポ	●	●	●	●
274				*Meiacanthus kamoharai*	カモハラギンポ	●	●	●	●
275				*Nannosalarias nativitatis*	ヒナギンポ			●	●
276				*Petroscirtes breviceps*	ニジギンポ	●		●	
277				*Petroscirtes mitratus*	ハタタテギンポ	●	●	●	●
278				*Plagiotremus laudandus*	イナセギンポ	●		●	
279				*Plagiotremus tapeinosoma*	テンクロスジギンポ	●	●	●	●
280				*Salarias fasciatus*	ヤエヤマギンポ	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.21 (5)　魚類出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、(測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、(測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日（測線）4月14日、16～18日、5月12～14、16日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
281	硬骨魚	スズキ	イソギンポ	*Salarias luctuosus*	シマギンポ			●	
282				Blenniidae	イソギンポ科	●	●	●	●
283			ネズッポ	*Diplogrammus goramensis*	ミナミコブヌメリ	●	●		
284			ハゼ	*Amblyeleotris steinitzi*	ヒメダテハゼ	●	●	●	●
285				*Amblyeleotris wheeleri*	クビアカハゼ		●		
286				*Amblygobius phalaena*	サラサハゼ	●	●	●	●
287				*Asterropteryx semipunctata*	ホシハゼ	●	●	●	●
288				*Bathygobius cocosensis*	スジクモハゼ		●		●
289				*Bathygobius cyclopterus*	ヤハズハゼ	●		●	
290				*Bathygobius fuscus*	クモハゼ				●
291				*Bathygobius hongkongensis*	クロホシヤハズハゼ		●		
292				*Bathygobius* sp.	クモハゼ属	●	●	●	●
293				*Bryaninops natans*	アカメハゼ	●			
294				*Cabillus tongarevae*	ヨリメハゼ			●	
295				*Callogobius hasseltii*	オキナワハゼ			●	
296				*Callogobius* sp.	オキナワハゼ属				●
297				*Cryptocentrus albidorsus*	シロオビハゼ	●	●		●
298				*Cryptocentrus caeruleomaculatus*	タカノハハゼ	●	●		
299				*Cryptocentrus melanopus*	オイランハゼ	●	●	●	
300				*Cryptocentrus nigrocellatus*	クロホシハゼ	●	●		●
301				*Cryptocentrus strigilliceps*	ヒノマルハゼ	●			
302				*Cryptocentrus* sp.	イトヒキハゼ属	●	●		●
303				*Ctenogobiops aurocingulus*	オビシノビハゼ	●			
304				*Ctenogobiops feroculus*	ヒメシノビハゼ	●			
305				*Ctenogobiops maculosus*	ホホスジシノビハゼ				●
306				*Ctenogobiops pomastictus*	シノビハゼ	●		●	●
307				*Ctenogobiops* sp.	シノビハゼ属	●	●		
308				*Eviota abax*	イソハゼ				●
309				*Eviota fasciola*	トラノコイソハゼ				●
310				*Eviota guttata*	シロイソハゼ	●			●
311				*Eviota melasma*	アカホシイソハゼ	●	●	●	●
312				*Eviota prasites*	アオイソハゼ			●	
313				*Eviota shimadai*	ハナグロイソハゼ	●		●	●
314				*Eviota* sp.	イソハゼ属	●	●	●	●
315				*Fusigobius gracilis*	セスジサンカクハゼ	●			●
316				*Fusigobius neophytus*	サンカクハゼ	●			
317				*Fusigobius* sp.	サンカクハゼ属	●	●	●	●
318				*Gnatholepis anjerensis*	オオモンハゼ		●	●	●
319				*Gnatholepis cauerensis*	カタボシオオモンハゼ	●	●	●	●
320				*Gobiodon aoyagii*	アカテンコバンハゼ		●	●	●
321				*Gobiodon micropus*	アイコバンハゼ				●
322				*Gobiodon okinawae*	キイロサンゴハゼ	●			
323				*Gobiodon quinquestrigatus*	フタイロサンゴハゼ	●	●	●	●
324				*Gobiodon* sp. 3	コバンハゼ	●	●	●	●
325				*Gobiodon* sp.	コバンハゼ属	●	●	●	●
326				*Istigobius campbelli*	クツワハゼ			●	
327				*Istigobius decoratus*	ホシカザリハゼ	●	●	●	●
328				*Istigobius ornatus*	カザリハゼ	●		●	
329				*Istigobius rigilius*	マダラカザリハゼ	●			
330				*Istigobius* sp.	クツワハゼ属	●	●	●	●
331				*Oplopomus oplopomus*	ケショウハゼ	●		●	
332				*Trimma caudomaculatum*	アオギハゼ	●	●	●	●
333				*Trimma naudei*	チゴベニハゼ	●		●	●
334				*Valenciennea longipinnis*	サザナミハゼ	●	●	●	●
335				*Valenciennea puellaris*	オトメハゼ	●			
336				*Valenciennea strigata*	アカハチハゼ	●	●	●	●
337				*Vanderhorstia phaeosticta*	ヤツシハゼ			●	
338				*Vanderhorstia* sp. 2	コモンヤツシハゼ	●	●		
339				*Vanderhorstia* sp.	ヤツシハゼ属	●	●		
340			オオメワラスボ	*Gunnellichthys pleurotaenia*	オオメワラスボ	●			
341			クロユリハゼ	*Ptereleotris evides*	クロユリハゼ	●	●	●	●
342				*Ptereleotris heteroptera*	オグロクロユリハゼ			●	
343				*Ptereleotris microlepis*	イトマンクロユリハゼ	●	●	●	●
344				*Ptereleotris* sp.	クロユリハゼ属	●	●		
345			マンジュウダイ	*Platax pinnatus*	アカククリ				●
346			アイゴ	*Siganus argenteus*	ハナアイゴ			●	
347				*Siganus fuscescens*	アイゴ	●	●	●	●
348				*Siganus spinus*	アミアイゴ	●	●	●	●
349				*Siganus virgatus*	ヒメアイゴ	●	●	●	●
350			ツノダシ	*Zanclus cornutus*	ツノダシ	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.21 (6)　魚類出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日（測線）4月14日、16～18日、5月12～14、16日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
351	硬骨魚	スズキ	ニザダイ	*Acanthurus blochii*	オスジクロハギ	●		●	
352				*Acanthurus dussumieri*	ニセカンランハギ	●	●	●	●
353				*Acanthurus japonicus*	ナミダクロハギ	●	●		●
354				*Acanthurus leucopareius*	スジクロハギ	●			
355				*Acanthurus lineatus*	ニジハギ	●	●	●	●
356				*Acanthurus nigricans*	メガネクロハギ	●		●	
357				*Acanthurus nigrofuscus*	ナガニザ	●	●	●	●
358				*Acanthurus olivaceus*	モンツキハギ	●	●	●	●
359				*Acanthurus triostegus*	シマハギ	●	●	●	●
360				*Acanthurus xanthopterus*	クロハギ	●	●	●	●
361				*Acanthurus* sp.	クロハギ属	●	●	●	●
362				*Ctenochaetus binotatus*	コクテンサザナミハギ	●	●	●	●
363				*Ctenochaetus striatus*	サザナミハギ	●	●	●	●
364				*Naso annulatus*	ヒメテングハギ	●	●	●	●
365				*Naso lituratus*	ミヤコテングハギ	●	●	●	●
366				*Naso unicornis*	テングハギ	●	●	●	●
367				*Naso* sp.	テングハギ属	●	●	●	●
368				*Zebrasoma scopas*	ゴマハギ	●	●	●	●
369				*Zebrasoma velifer*	ヒレナガハギ	●	●	●	●
370			カマス	*Sphyraena* sp.	カマス属	●			
371		フグ	モンガラカワハギ	*Balistoides conspicillum*	モンガラカワハギ	●	●	●	
372				*Balistoides viridescens*	ゴマモンガラ		●		●
373				*Pseudobalistes flavimarginatus*	キヘリモンガラ	●	●	●	
374				*Rhinecanthus aculeatus*	ムラサメモンガラ	●	●	●	●
375				*Rhinecanthus rectangulus*	タスキモンガラ	●	●	●	●
376				*Rhinecanthus verrucosus*	クラカケモンガラ	●	●	●	●
377				*Sufflamen chrysopterum*	ツマジロモンガラ	●	●	●	●
378			カワハギ	*Cantherhines dumerilii*	ハクセイハギ			●	●
379				*Oxymonacanthus longirostris*	テングカワハギ	●	●	●	●
380				*Paraluteres prionurus*	ノコギリハギ	●	●		●
381			ハコフグ	*Ostracion cubicum*	ミナミハコフグ	●	●	●	●
382				*Ostracion meleagris*	クロハコフグ	●	●	●	●
383			フグ	*Arothron hispidus*	サザナミフグ		●		
384				*Arothron nigropunctatus*	コクテンフグ	●	●	●	●
385				*Canthigaster valentini*	シマキンチャクフグ	●	●	●	●
386			ハリセンボン	*Diodon holocanthus*	ハリセンボン	●	●		
387				*Diodon hystrix*	ネズミフグ			●	
388				*Diodon liturosus*	ヒトヅラハリセンボン				●
合計	1綱	7目	49科	388種類		302	272	250	255

注：●は出現を示す。

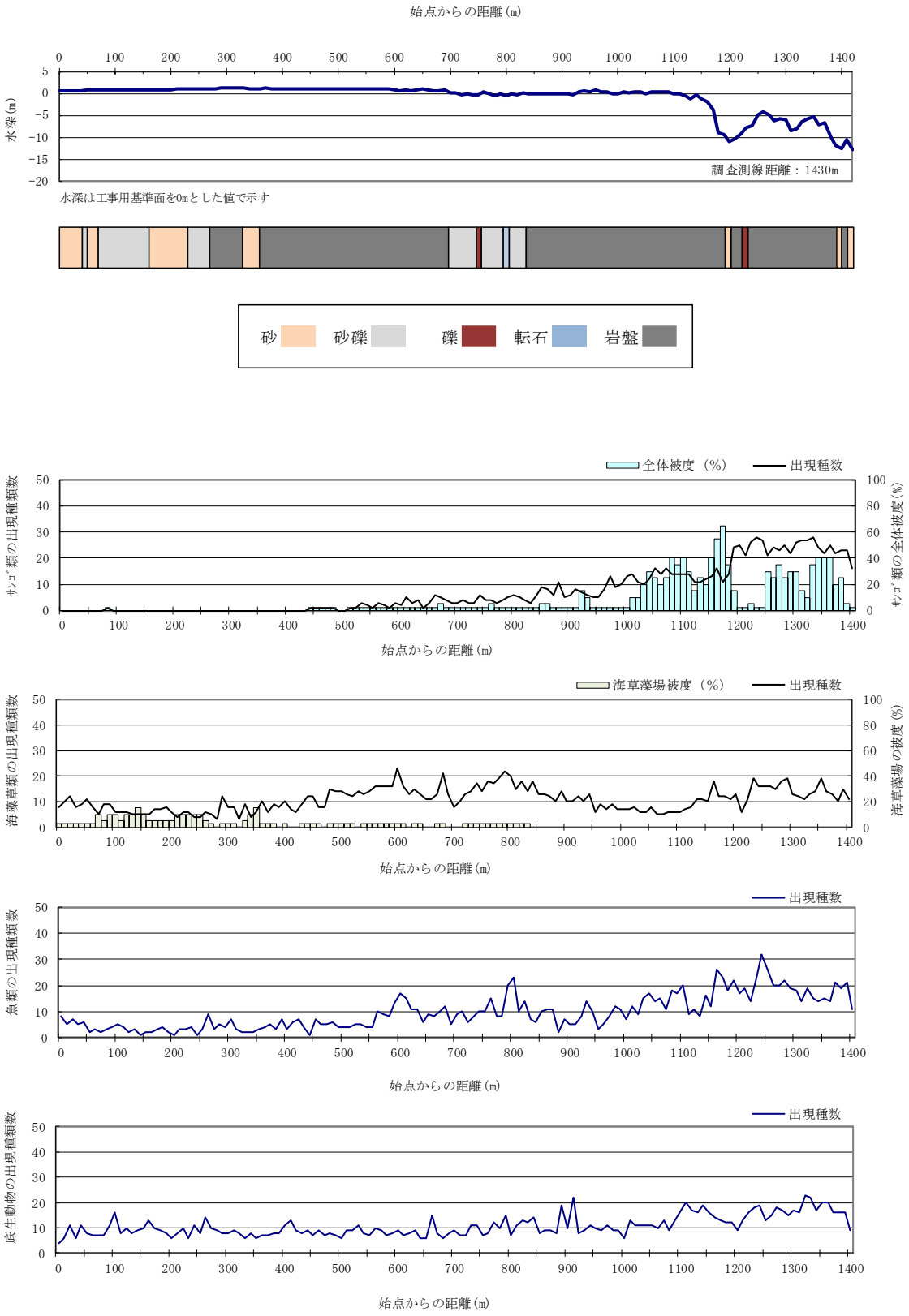


図 6.11.1.2（1）　海底地形断面模式と生物出現状況（夏季:L1）

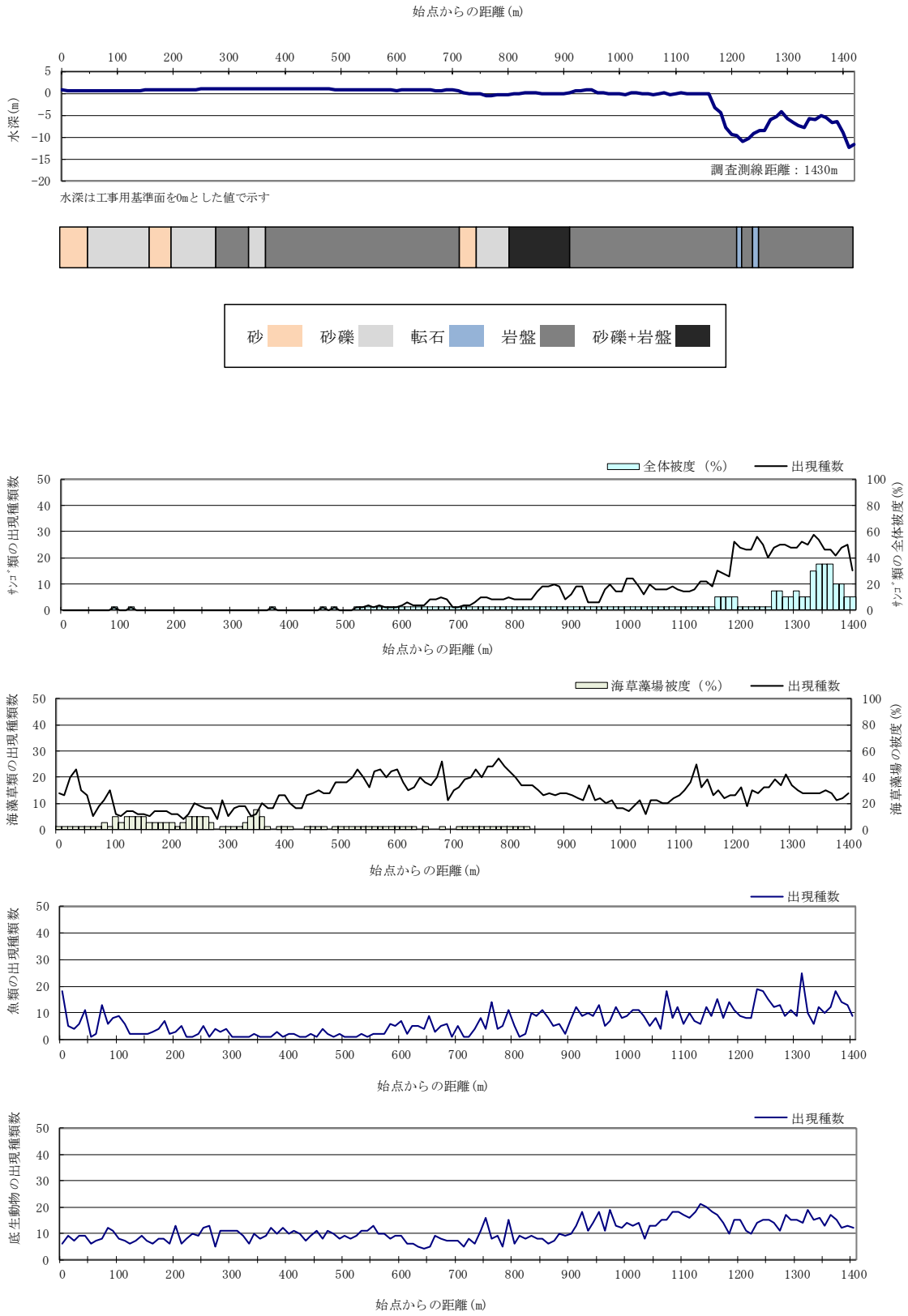


図 6.11.1.2（2）　海底地形断面模式と生物出現状況（秋季:L1）

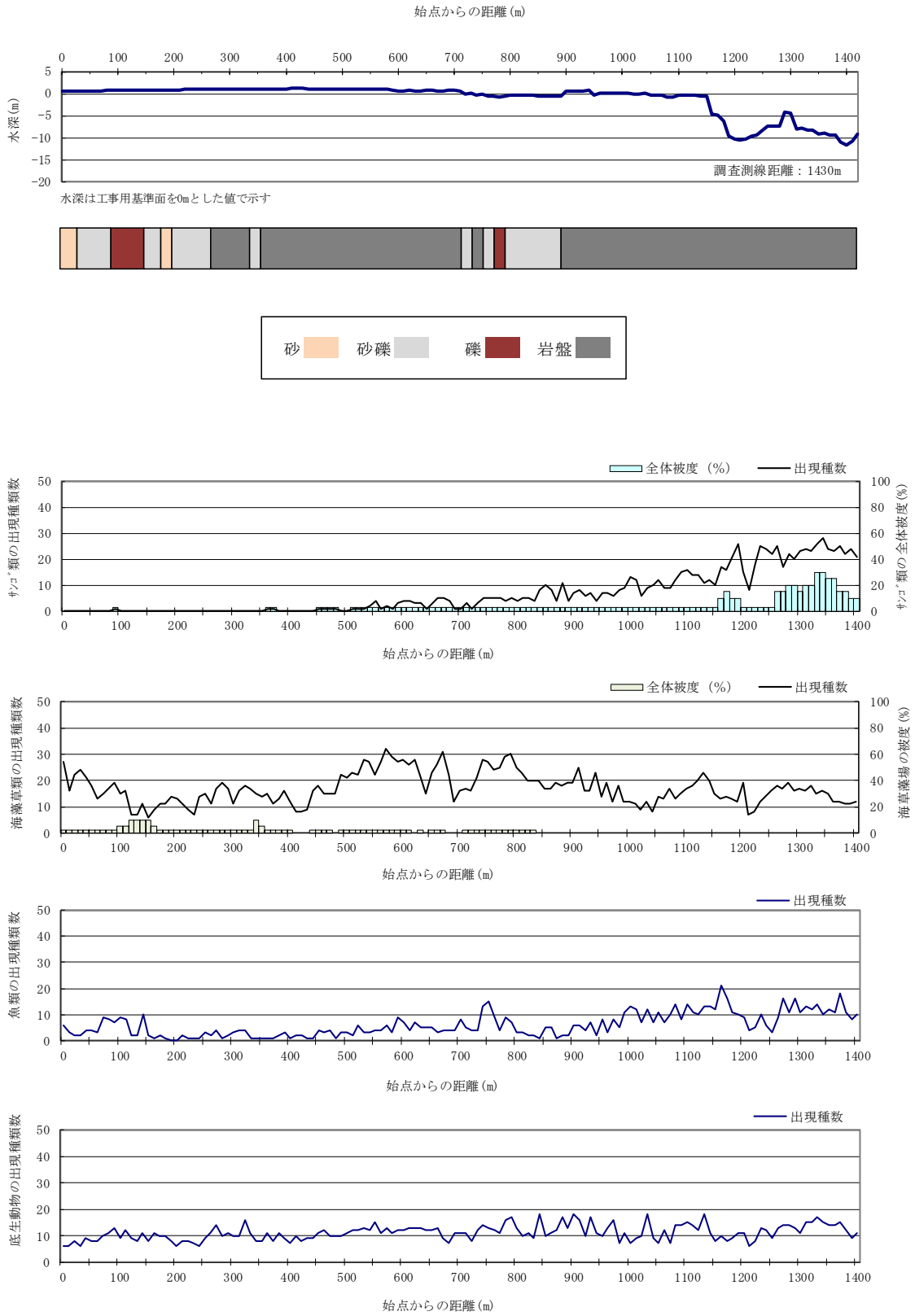


図 6.11.1.2（3）　海底地形断面模式と生物出現状況（冬季:L1）

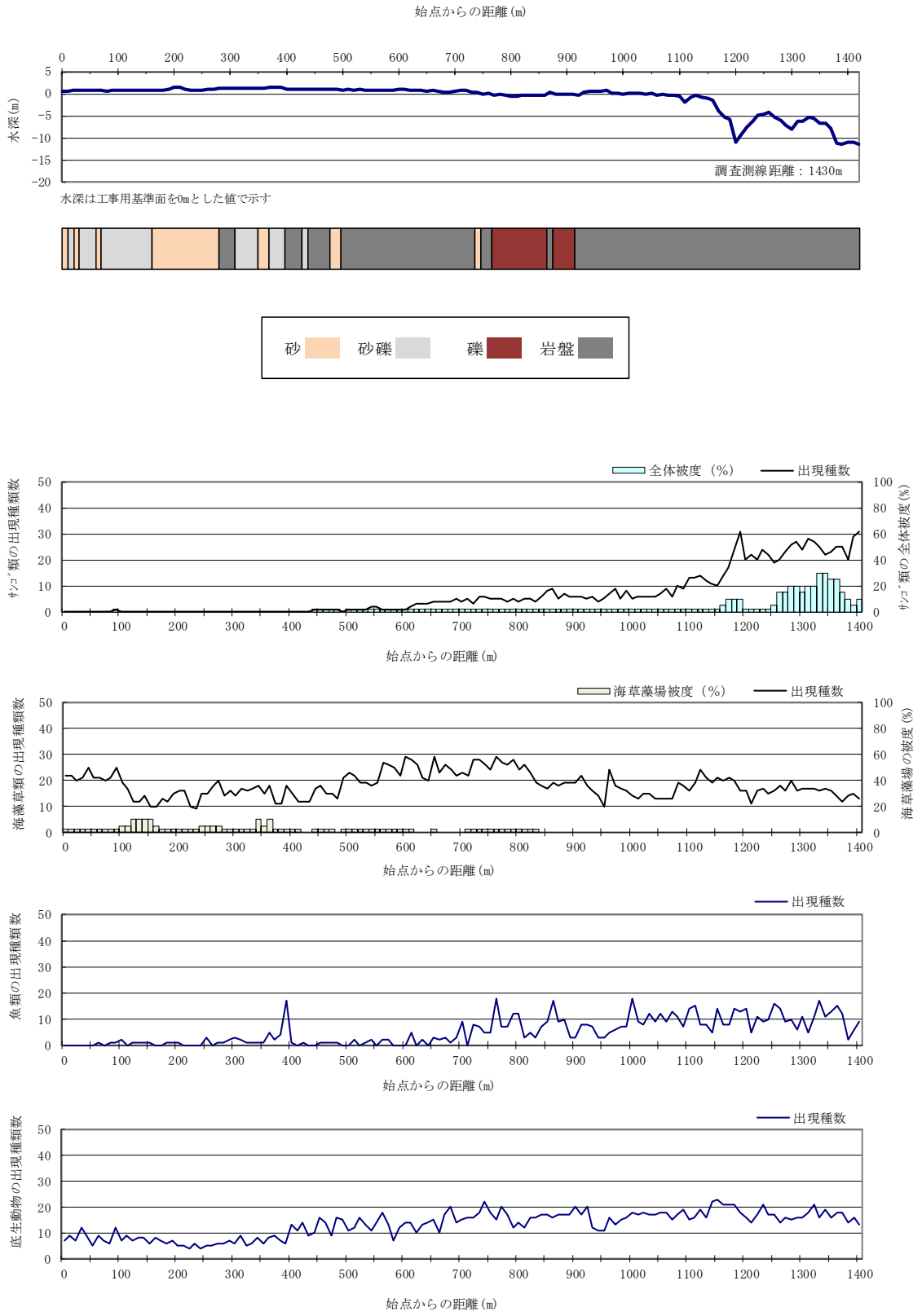


図 6.11.1.2（4）　海底地形断面模式と生物出現状況（春季:L1）

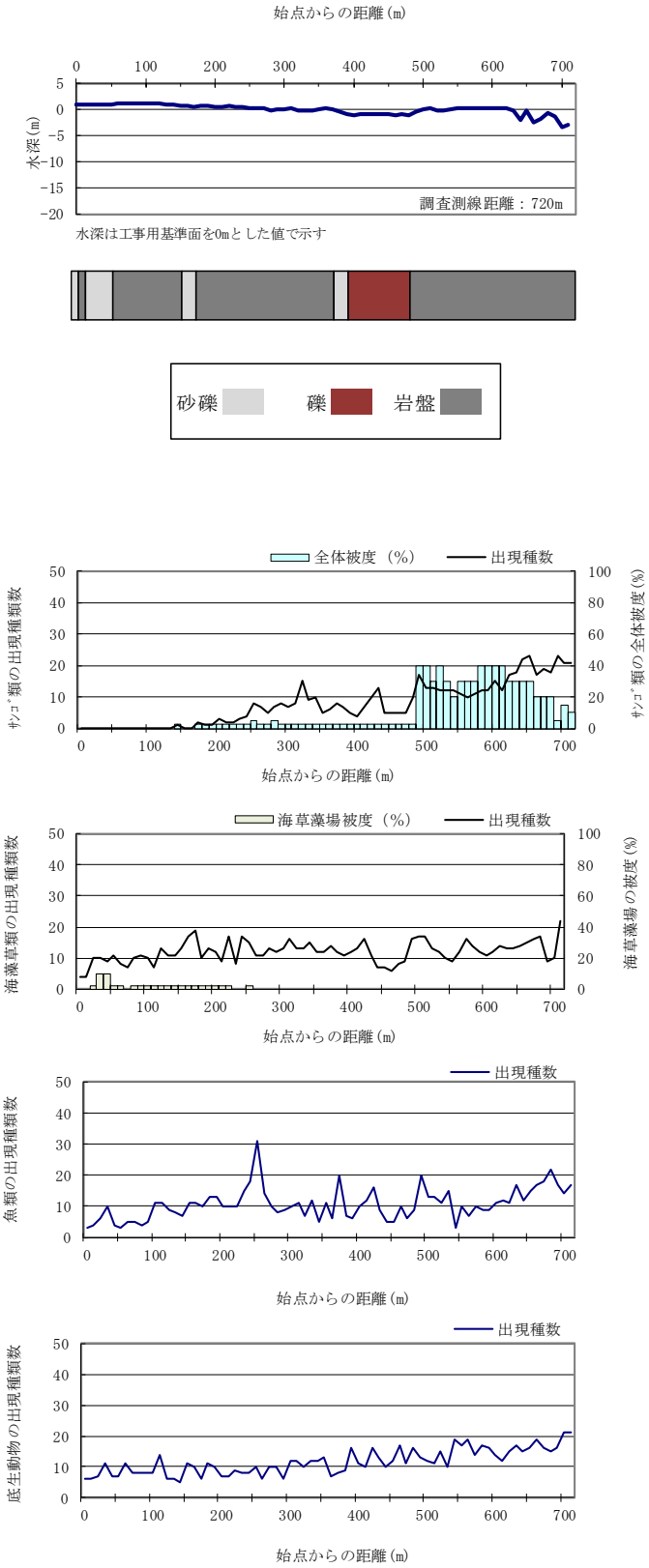


図 6.11.1.3（1）　海底地形断面模式と生物出現状況（夏季:L2）

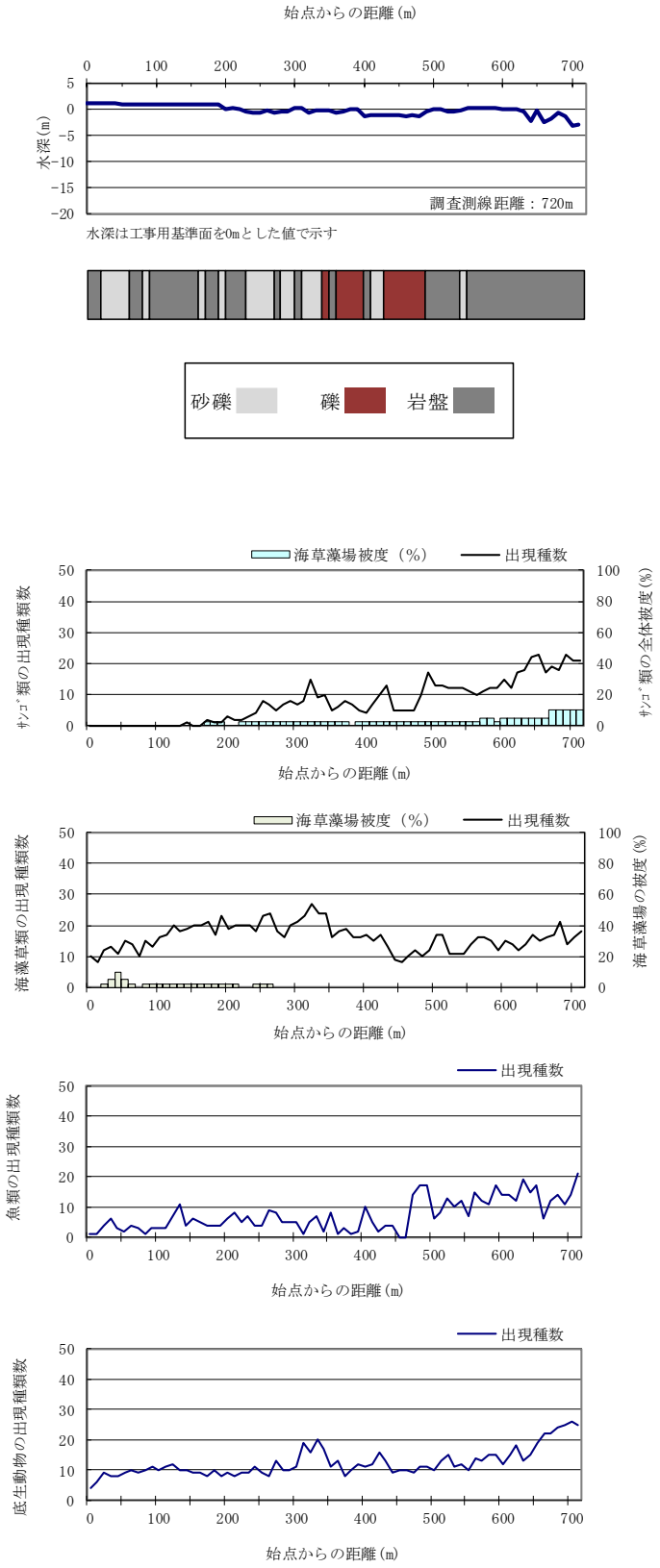


図 6.11.1.3（2）　海底地形断面模式と生物出現状況（秋季:L2）

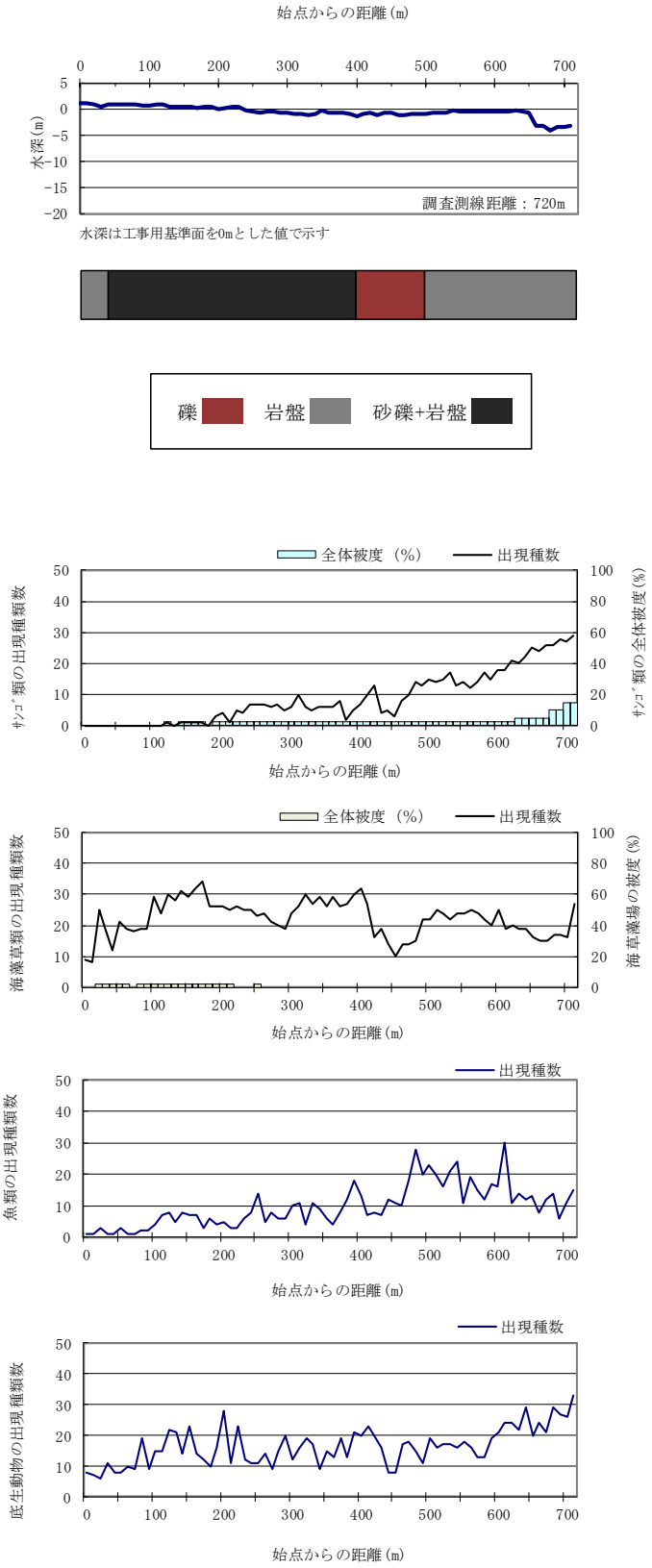


図 6.11.1.3（3）　海底地形断面模式と生物出現状況（冬季:L2）

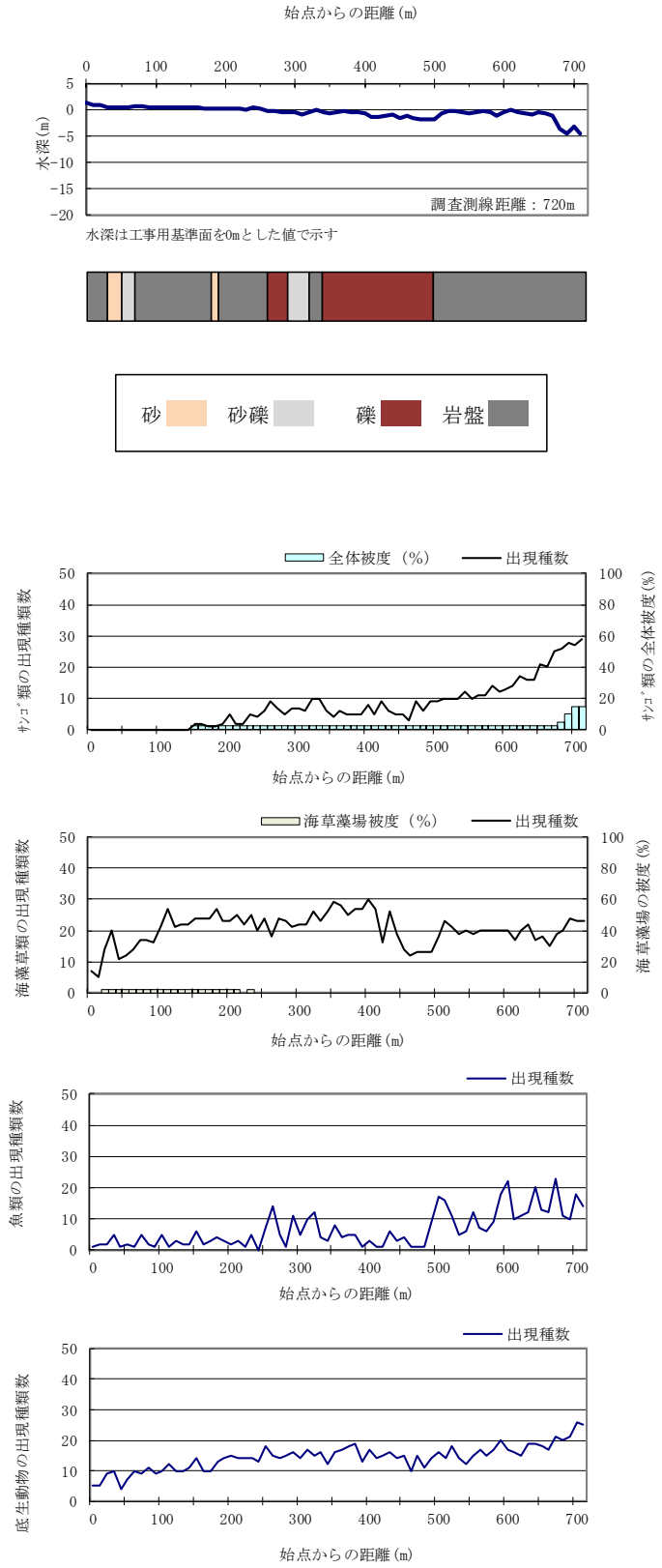


図 6.11.1.3（4）　海底地形断面模式と生物出現状況（春季:L2）

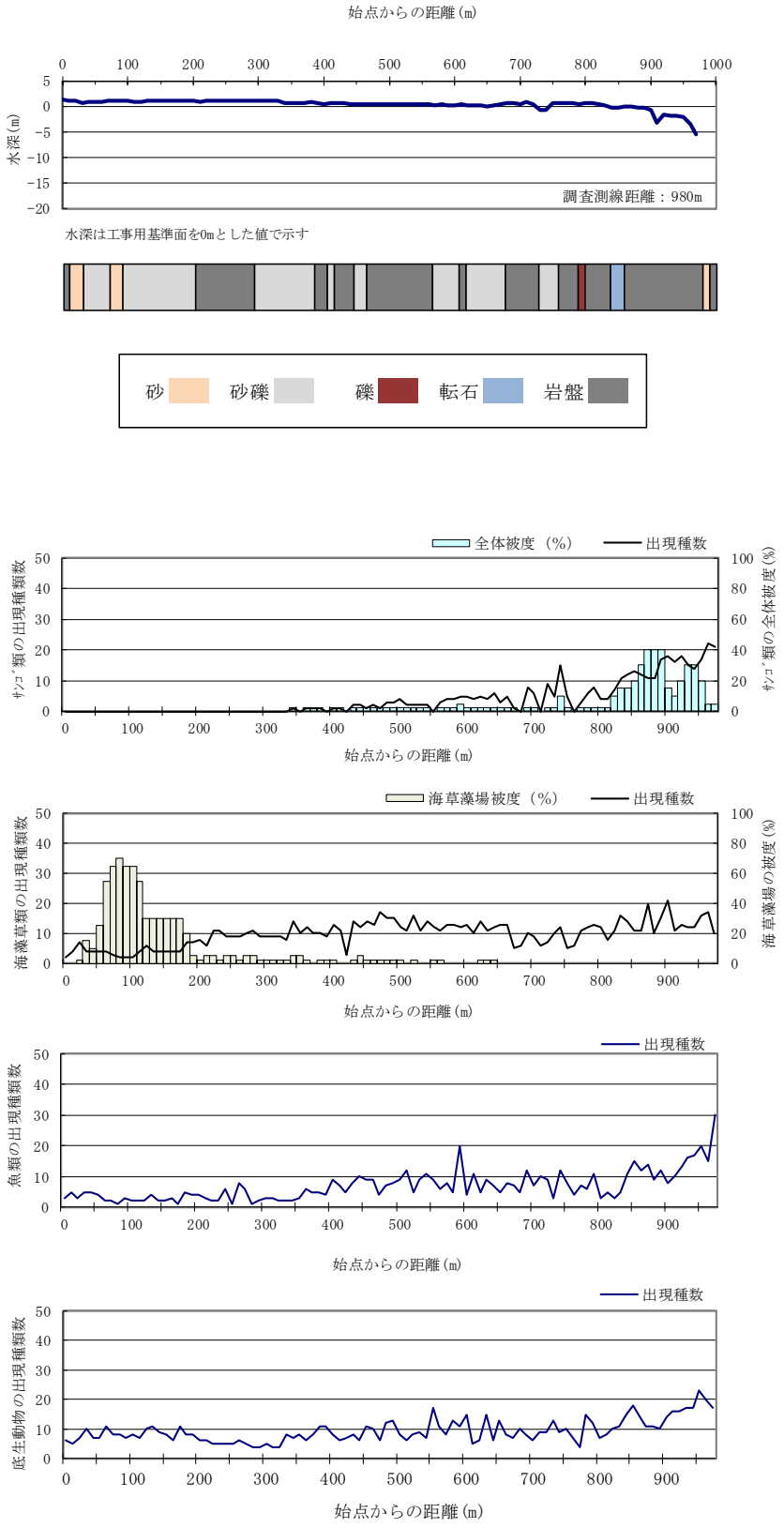


図 6.11.1.4（1）　海底地形断面模式と生物出現状況（夏季:L3）

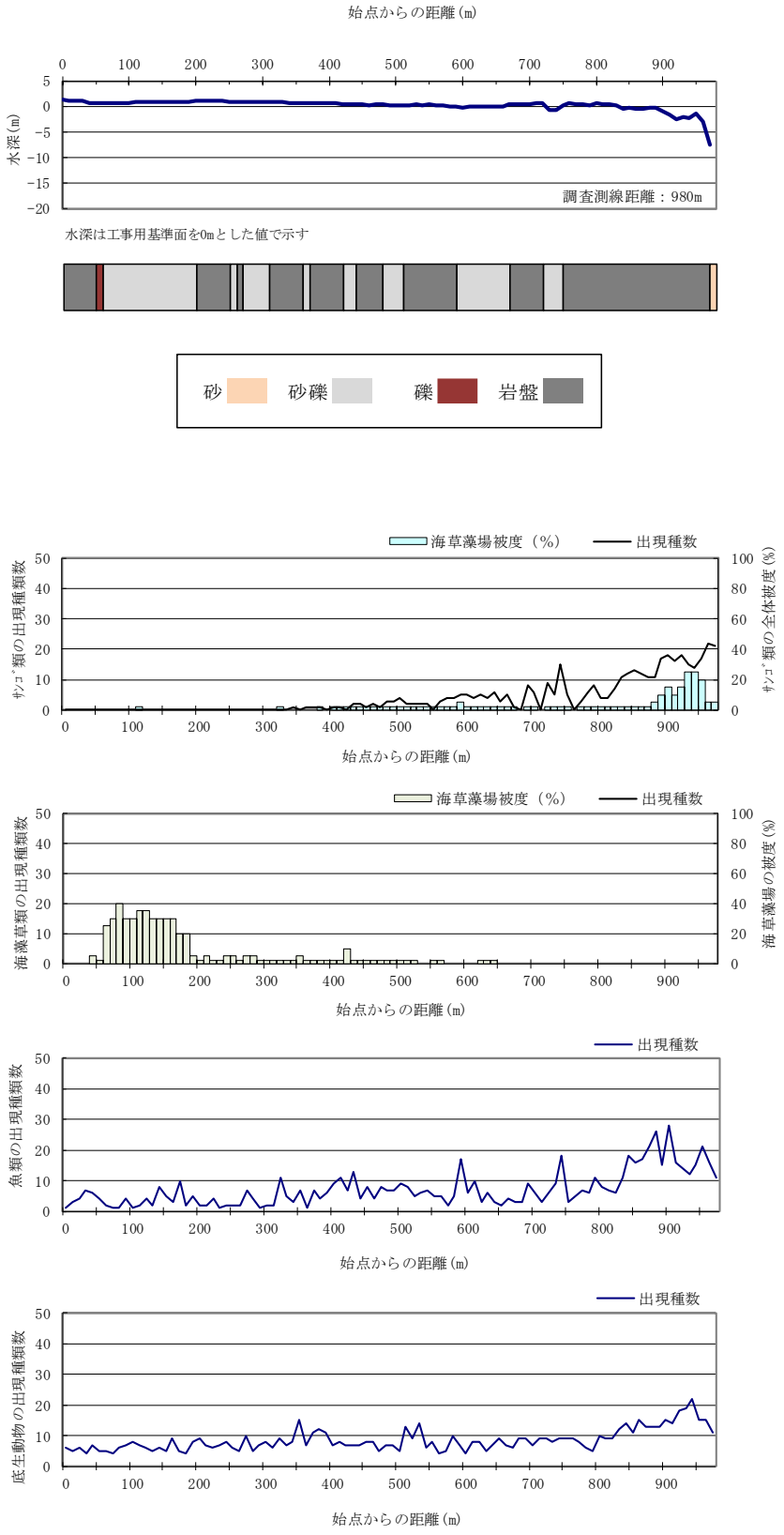


図 6.11.1.4（2）　海底地形断面模式と生物出現状況（秋季:L3）

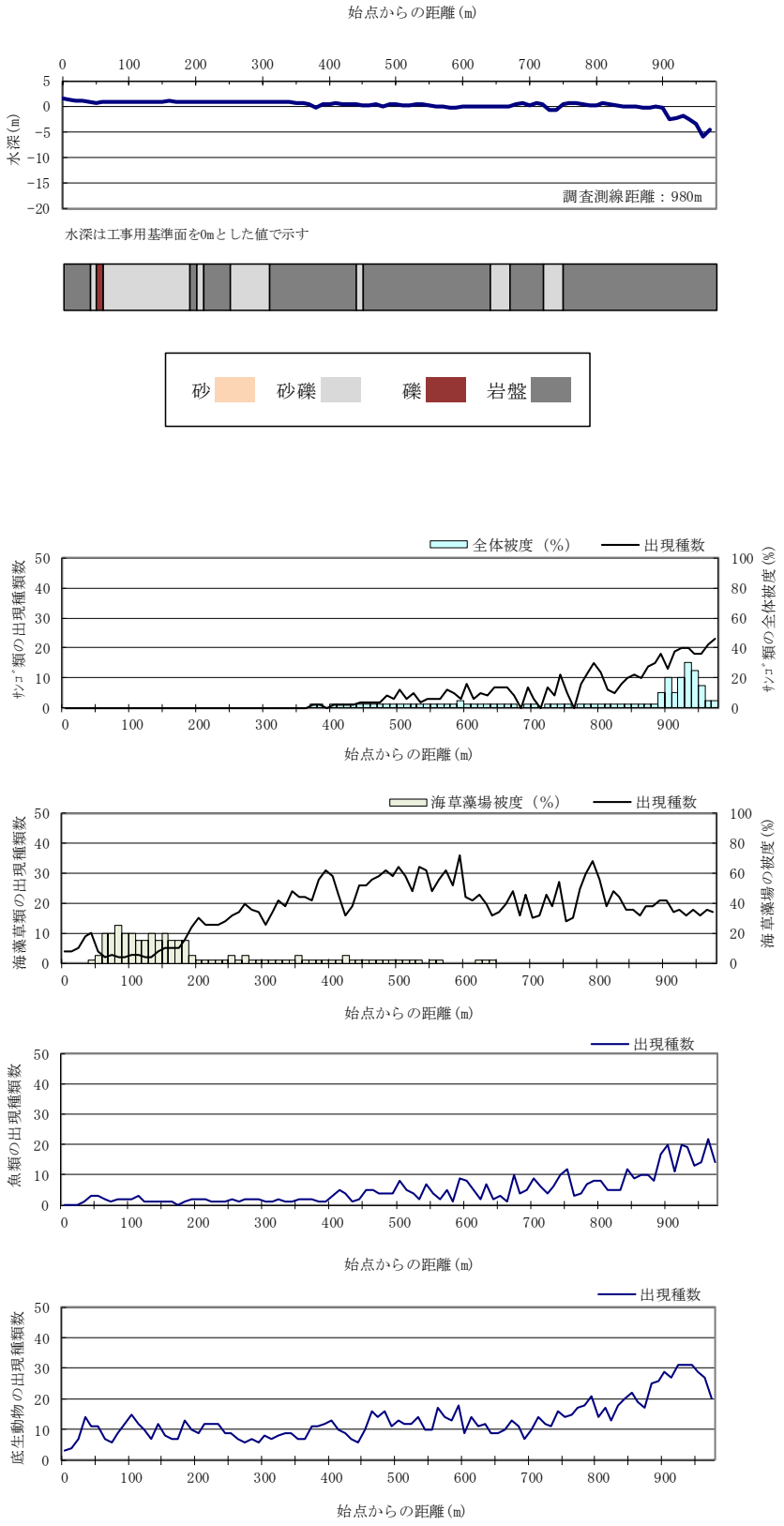


図 6.11.1.4（3）　海底地形断面模式と生物出現状況（冬季:L3）

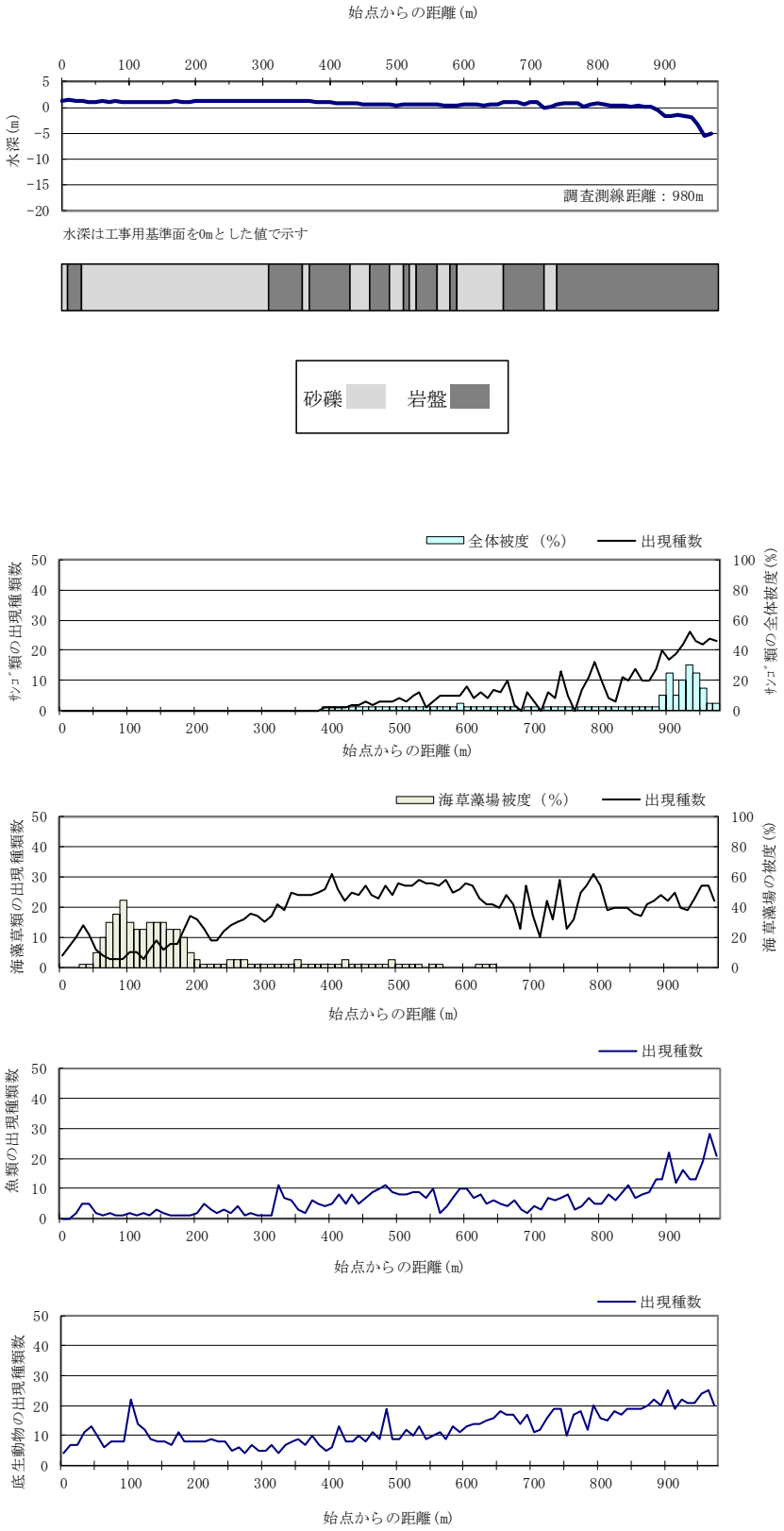


図 6.11.1.4（4）　海底地形断面模式と生物出現状況（春季:L3）

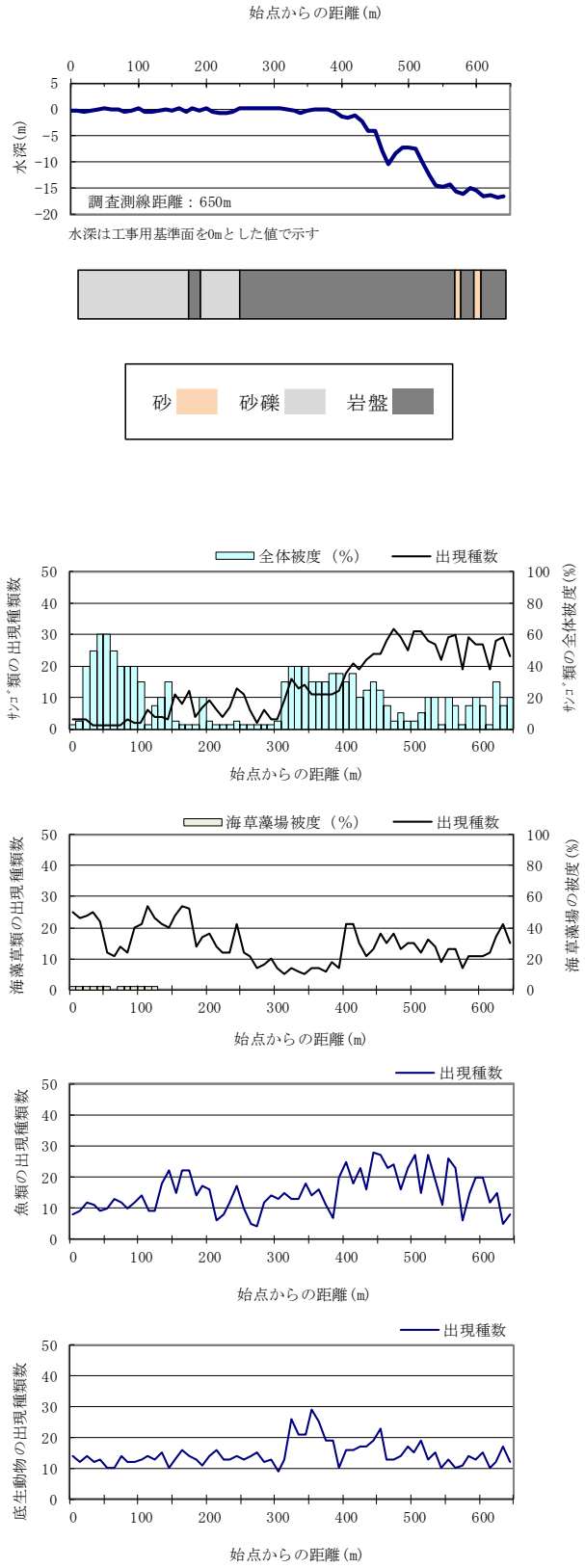


図 6.11.1.5（1）　海底地形断面模式と生物出現状況（夏季:L4）

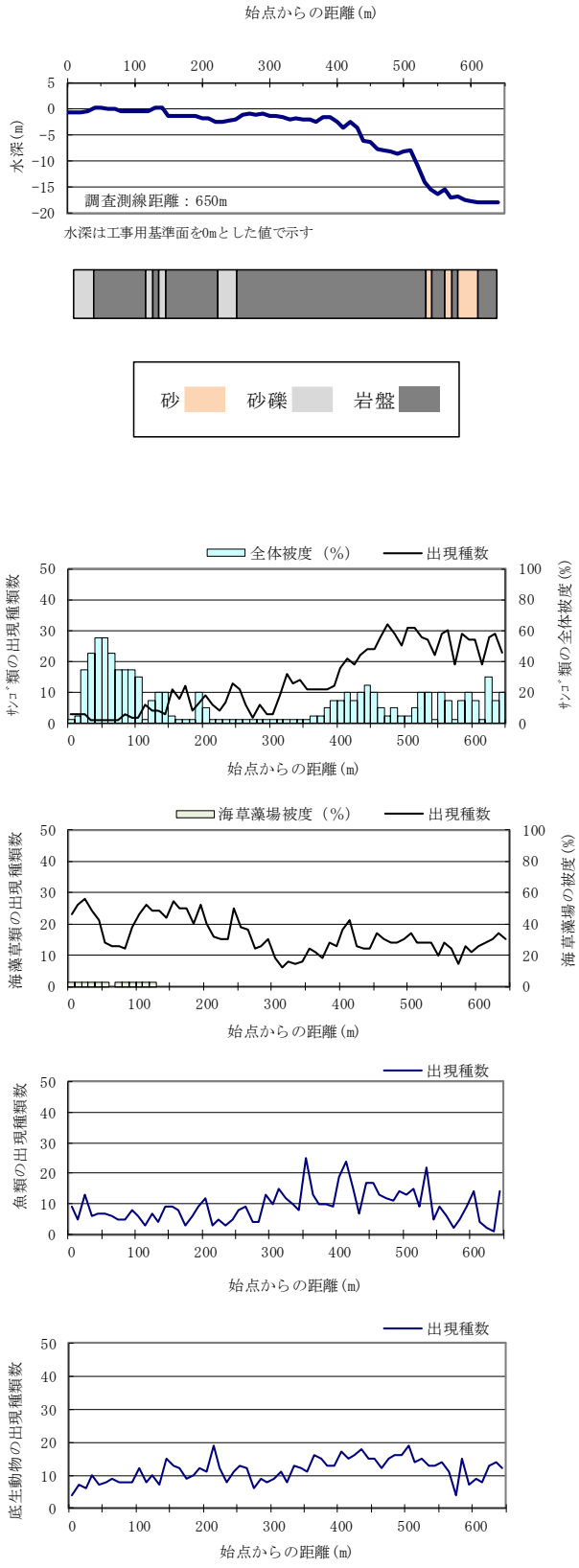


図 6.11.1.5（2）　海底地形断面模式と生物出現状況（秋季:L4）

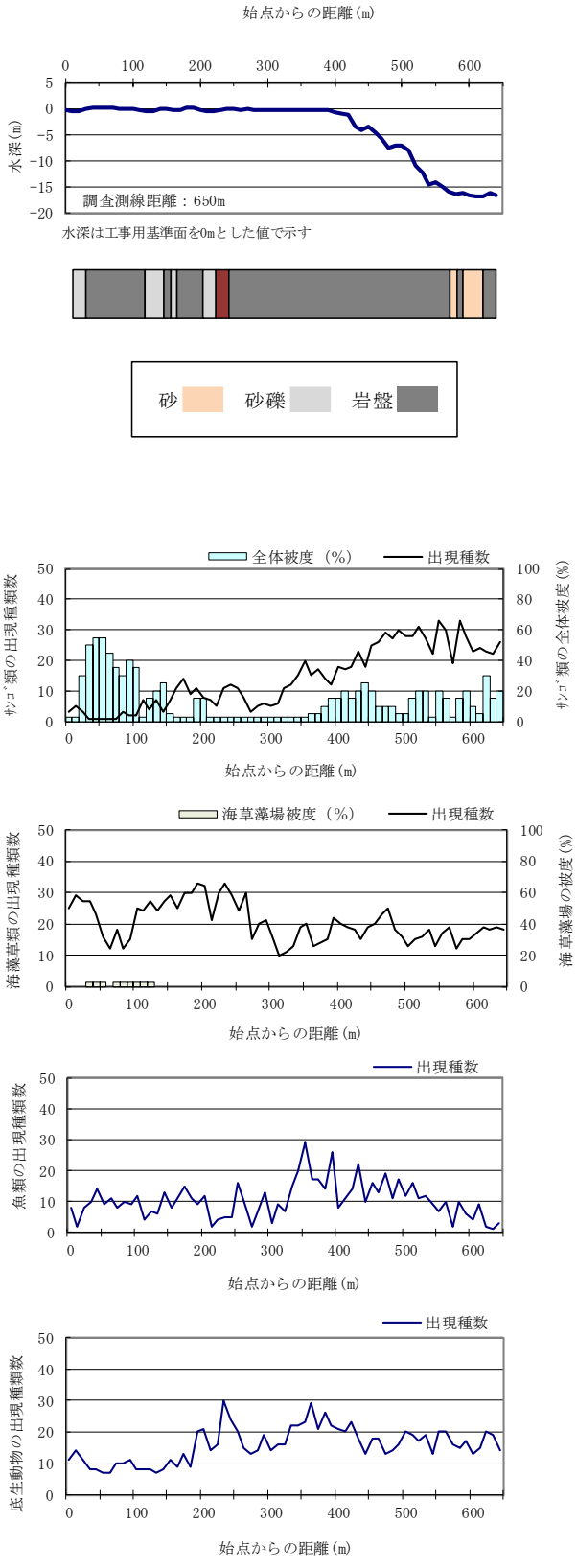


図 6.11.1.5（3）　海底地形断面模式と生物出現状況（冬季:L4）

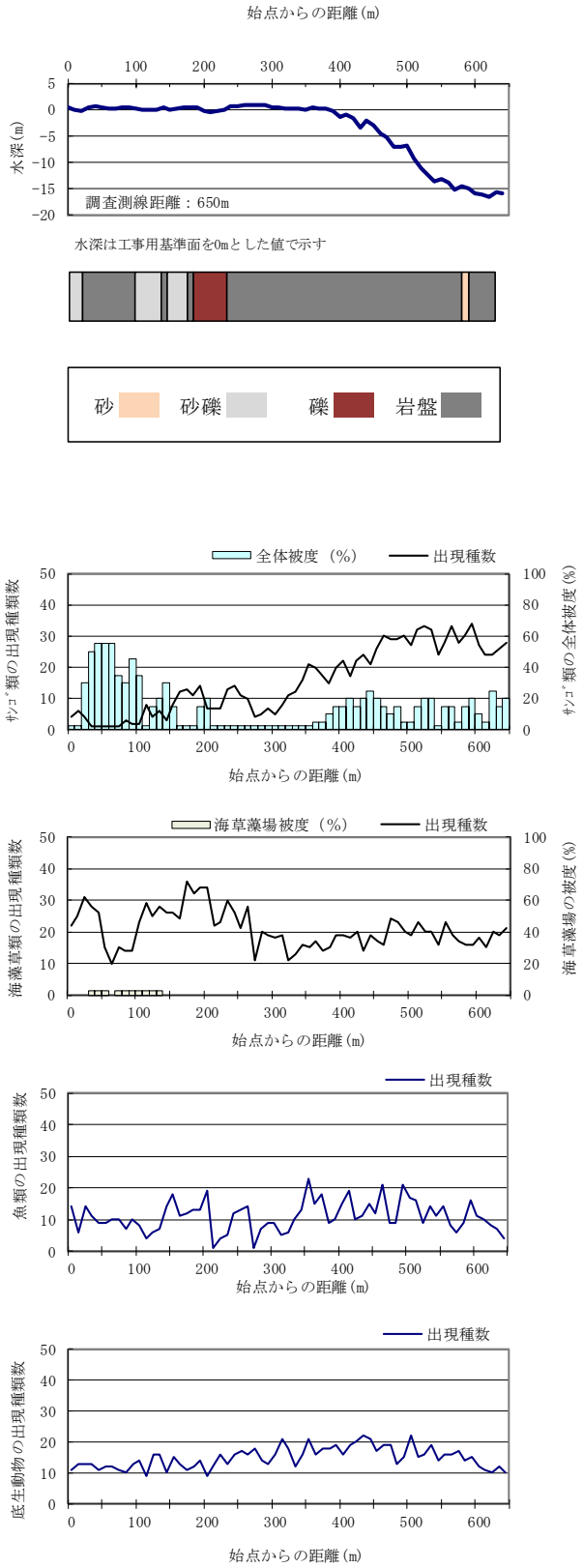


図 6.11.1.5（4）　海底地形断面模式と生物出現状況（春季:L4）

イ）漁獲物

(a) 漁獲物

漁獲物調査結果概要は表 6.11.1.22 に、出現種一覧は表 6.11.1.23 に示すとおりである。

四季の調査結果を合計すると、2 綱 5 目 18 科 52 種が確認された。季節別の出現種類数をみると、秋季の 9 種が最も少なく、夏季の 26 種が最も多かった。

表 6.11.1.22　漁獲物調査結果概要

調査日：夏季 令和6年 9月 2～ 3日
秋季 令和6年11月 9～10日
冬季 令和7年 1月30～31日
春季 令和7年 4月10～11日

項目＼調査時期		令和6年		令和7年		四季合計
		夏季	秋季	冬季	春季	
種類数		26 (9～12)	9 (1～7)	18 (5～9)	16 (1～11)	52 (1～12)
個体数		99 (18～48)	13 (1～8)	23 (5～12)	33 (1～23)	168 (1～48)
湿重量（g）		9,835	3,117	5,023	4,970	
主な出現種	個体数	サザナミハギ 46(46.5)	コバンザメ 3(23.1) クロヒラアジ 2(15.4) イチモンジブダイ 2(15.4)	オビブダイ 3(13.0)	サザナミハギ 9(27.3) イチモンジブダイ 4(12.1) ハナアイゴ 4(12.1)	
	湿重量（g）	サザナミハギ 7,997(27.1) イチモンジブダイ 2,947(10.0)	コバンザメ 3,400(36.4) ロウニンアジ 2,700(28.9) イチモンジブダイ 1,050(11.2)	ネムリブカ 4,200(27.9) イチモンジブダイ 2,210(14.7)	ノトイスズミ 4,800(32.2) イチモンジブダイ 2,450(16.4)	

注：1. 種類数と個体数の欄の（　）内は地点ごとの出現種類数の範囲を示す。
2. 主な出現種には、個体数、湿重量(g)の占有率が 10%以上の種について記載した。
3. 主な出現種の(　)内の数値は占有率(%)を示す。
4. 湿重量（g)は、各地点の平均を示す。

表 6.11.1.23　漁獲物調査出現一覧

調 査 日：夏季　令和6年9月2～3日
秋季　令和6年11月9～10日
冬季　令和7年1月30～31日
春季　令和7年4月10～11日

No.	綱	目	科	和名	学名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
1	軟骨魚	メジロザメ	メジロザメ	ネムリブカ	*Triaenodon obesus*			●	
2	硬骨魚	カライワシ	カライワシ	カライワシ	*Elops hawaiensis*			●	
3		キンメダイ	イットウダイ	アカマツカサ	*Myripristis berndti*				●
4				ツマリマツカサ	*Myripristis greenfieldi*	●			●
5				ナミマツカサ	*Myripristis kochiensis*				●
6				セグロマツカサ	*Myripristis violacea*	●			
7				トガリエビス	*Sargocentron spiniferum*			●	
8		スズキ	コバンザメ	コバンザメ	*Echeneis naucrates*		●	●	
9			アジ	クロヒラアジ	*Carangoides ferdau*		●		
10				ロウニンアジ	*Caranx ignobilis*		●		
11				カスミアジ	*Caranx melampygus*	●			
12			フエダイ	アミメフエダイ	*Lutjanus decussatus*				●
13			クロサギ	ツッパリサギ	*Gerres longirostris*			●	
14				ナガサギ	*Gerres oblongus*			●	
15			イトヨリダイ	ヒトスジタマガシラ	*Scolopsis monogramma*	●			
16			フエフキダイ	ノコギリダイ	*Gnathodentex aureolineatus*			●	
17				ヒキマユメイチ	*Gymnocranius superciliosus*	●		●	
18				マトフエフキ	*Lethrinus harak*			●	
19				ハマフエフキ	*Lethrinus nebulosus*	●			
20			ヒメジ	アカヒメジ	*Mulloidichthys vanicolensis*	●		●	●
21				コバンヒメジ	*Parupeneus indicus*	●			
22			チョウチョウウオ	チョウハン	*Chaetodon lunula*	●			
23				ミナミハタタテダイ	*Heniochus chrysostomus*		●		
24				オニハタタテダイ	*Heniochus monoceros*		●		
25			イスズミ	ノトイスズミ	*Kyphosus bigibbus*				●
26				テンジクイサキ	*Kyphosus cinerascens*	●			
27			ベラ	カンムリベラ	*Coris aygula*	●			
28				ツユベラ	*Coris gaimard*	●			
29				ギチベラ	*Epibulus insidiator*				●
30				タレクチベラ	*Hemigymnus melapterus*	●			●
31				ヒトスジモチノウオ	*Oxycheilinus unifasciatus*	●			
32			ブダイ	タイワンブダイ	*Calotomus carolinus*	●		●	
33				イロブダイ	*Cetoscarus ocellatus*		●		
34				オオモンハゲブダイ	*Chlorurus bowersi*			●	
35				ハゲブダイ	*Chlorurus spilurus*	●		●	●
36				カメレオンブダイ	*Scarus chameleon*				●
37				ツキノワブダイ	*Scarus festivus*	●			
38				イチモンジブダイ	*Scarus forsteni*	●	●	●	●
39				ブチブダイ	*Scarus niger*	●			●
40				オウムブダイ	*Scarus psittacus*	●			
41				スジブダイ	*Scarus rivulatus*	●			
42				ナガブダイ	*Scarus rubroviolaceus*	●			
43				オビブダイ	*Scarus schlegeli*			●	●
44			アイゴ	ハナアイゴ	*Siganus argenteus*				●
45				ゴマアイゴ	*Siganus guttatus*	●			
46			ツノダシ	ツノダシ	*Zanclus cornutus*				●
47			ニザダイ	クロモンツキ	*Acanthurus nigricauda*		●	●	
48				クロハギ	*Acanthurus xanthopterus*	●			
49				サザナミハギ	*Ctenochaetus striatus*	●		●	●
50				ミヤコテングハギ	*Naso lituratus*	●			
51				テングハギ	*Naso unicornis*			●	
52		フグ	カワハギ	ハクセイハギ	*Cantherhines dumerilii*		●		
合計	2綱	5目	18科	52種類		26	9	18	16

注：●は出現を示す。

(b) 胃内容物

魚類胃内容物調査結果より確認された魚類の食性の一覧を表 6.11.1.24 に示す。

表 6.11.1.24　調査にて確認された魚類の食性

番号	種　　名	植　物		動　物					食性区分
		海草類	藻　類	その他底生動物	軟体動物	小型甲殻類	大型甲殻類	魚　類	
1	コバンザメ	●							藻食性
2	クロハギ	●	●						
3	テンジクイサキ		●						
4	ノトイスズミ		●						
5	ハゲブダイ		●						
6	イチモンジブダイ		●						
7	ブチブダイ		●						
8	オオモンハゲブダイ		●						
9	ゴマアイゴ		●						
10	ハナアイゴ		●						
11	サザナミハギ		●						
12	テングハギ		●						
13	ミヤコテングハギ		●						
14	イロブダイ		●						
15	ハクセイハギ			●					小型底生動物食性
16	ナガサギ			●					
17	ヒトスジタマガシラ			●		●			
18	タレクチベラ			●			●		大型底生動物食性
19	ハマフエフキ				●		●		
20	アカヒメジ					●	●		
21	ツマリマツカサ						●		
22	トガリエビス						●		
23	クロヒラアジ						●		
24	クロモンツキ						●		
25	ヒキマユメイチ			●	●	●	●	●	底生動物・魚食性
26	カンムリベラ				●	●	●	●	
27	コバンヒメジ						●	●	
28	カスミアジ							●	魚食性

注：1. 小型甲殻類は主にカイムシ綱、アミ目、ヨコエビ目、ワラジムシ目。大型甲殻類は主にエビ目。
2. その他底生動物は主に有孔虫門、紐型動物門、線形動物門、環形動物門、ユムシ動物門。
3. 食性区分は既往知見に記載されている食性の名称などを参考として区分した。

（オ）底生動物（マクロベントス）

底生動物（マクロベントス）調査結果の概要は表 6.11.1.25 に、出現種一覧は表 6.11.1.26 に示すとおりである。

四季の調査結果を合計すると、軟体動物門 108 種類、環形動物門 89 種類、節足動物門 87 種類、その他 20 種類、計 304 種類であった。季節別の種類数は 146～172 種類の範囲にあり、秋季に最も多く、夏季に最も少なかった。個体数は 65～124 個体/0.1 ㎡の範囲にあり、春季に最も多く、夏季に最も少なかった。個体数からみた主な出現種は、環形動物門の*Neanthes*（ネアンテス） 属、シリス亜科、湿重量からみた主な出現種は、海綿動物門の普通海綿綱であった。

表 6.11.1.25　底生動物（マクロベントス）調査結果概要

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月 6, 8,22日
：（秋季）令和 6年10月21日,11月11,14,15日
：（冬季）令和 7年 1月22～24日, 2月11日
：（春季）令和 7年 4月 4日, 7～ 9日
調査方法：ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による2回採泥
単　位：個体数・湿重量g/0.1㎡

項目	調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
		夏季	秋季	冬季	春季	
種類数	軟体動物門	37	55	36	48	108
	環形動物門	52	58	57	58	89
	節足動物門	44	46	48	46	87
	その他	13	13	12	13	20
	合計	146	172	153	165	304
個体数	軟体動物門	6	12	13	19	
	環形動物門	29	49	68	69	
	節足動物門	24	22	27	27	
	その他	6	13	13	9	
	合計	65	96	121	124	
個組体成数比(%)	軟体動物門	10.0	12.5	11.1	15.4	
	環形動物門	44.2	51.0	56.1	55.9	
	節足動物門	36.4	22.9	22.5	21.6	
	その他	9.4	13.6	10.3	7.1	
湿重量	軟体動物門	5.42	5.94	4.11	2.81	
	環形動物門	0.28	0.17	0.34	0.67	
	節足動物門	0.38	0.53	0.43	0.46	
	その他	1.54	0.77	3.55	7.16	
	合計	7.62	7.41	8.43	11.10	
湿組重成量比(%)	軟体動物門	71.1	80.2	48.8	25.3	
	環形動物門	3.7	2.3	4.0	6.0	
	節足動物門	5.0	7.1	5.1	4.1	
	その他	20.1	10.3	42.2	64.5	
主な出現種と個体数（個体/0.10m^2） （ ）内は組成比率(%)		*Nematonereis* sp. 3 (5.2)	ｼﾘｽ亜科 11 (11.3) 線形動物門 6 (6.1)	ｼﾘｽ亜科 9 (7.5) *Nematonereis* sp. 8 (6.3)	*Nematonereis* sp. 20 (16.6) ｵﾆﾉﾂﾉｶﾞｲ科 10 (8.4) ｼﾘｽ亜科 7 (5.5)	
主な出現種と湿重量（g/0.10m^2） （ ）内は組成比率(%)		ﾂｷｶﾞｲ 1.42 (18.6) ｻﾂﾏﾋﾞﾅ 1.24 (16.3) 普通海綿綱 1.20 (15.8) ｳｼﾉﾂﾉｶﾞｲ 0.71 (9.3) ﾒｵﾆﾉﾂﾉｶﾞｲ 0.66 (8.7)	ｺﾞﾏﾌﾜﾓ 3.25 (43.9) ｵﾐﾅｴｼﾊﾏｸﾞﾘ 0.78 (10.5) 普通海綿綱 0.67 (9.0)	普通海綿綱 3.37 (40.0) ﾎｿｽｼﾞｲﾅﾐｶﾞｲ 0.96 (11.3) ﾄｳｶﾞﾀｶﾆﾓﾘ 0.56 (6.6) ｺﾞﾏﾌｻﾞﾙ 0.56 (6.6) ｼﾞｭﾄﾞｳﾏｸﾗ 0.49 (5.8)	普通海綿綱 6.97 (62.8) ﾎｿｽｼﾞｲﾅﾐｶﾞｲ 0.74 (6.7)	

注：1.種類数は総出現種類数を示した。
2.主な出現種は各調査地点での上位5種(ただし、組成比が5%以上)を示した。なお、同率で多くの種が含まれた場合は、上位5種全てを示さないことがある。

表 6.11.1.26（1）　底生動物（マクロベントス）出現種一覧

調 査 日:（夏季）令和６年 ８月 6, 8,22 日
:（秋季）令和６年 10 月 21 日,11 月 11,14,15 日
:（冬季）令和７年 １月 22～24 日, ２月 11 日
:（春季）令和７年 ４月 ４日, 7～ ９日
調査方法:ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による２回採泥
単　　位:個体数・湿重量 g/0.1 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	海綿動物	普通海綿	－	－	Demospongiae	普通海綿綱	●	●	●	●
2	刺胞動物	花虫	ハナギンチャク	ハナギンチャク	Cerianthidae	ハナギンチャク科	●			
3			イソギンチャク	－	Actiniaria	イソギンチャク目	●	●	●	●
4	扁形動物	渦虫	ヒラムシ	－	Polycladida	ヒラムシ目		●	●	●
5	紐形動物	－	－	－	Nemertinea	紐形動物門	●	●	●	●
6	線形動物	－	－	－	Nematoda	線形動物門	●	●	●	●
7	軟体動物	多板	サメハダヒザラガイ	サメハダヒザラガイ	*Parachiton communis*	シリブトヒザラガイ	●	●	●	●
8					Leptochitonidae	サメハダヒザラガイ科				●
9			クサズリガイ	ウスヒザラガイ	Ischnochitonidae	ウスヒザラガイ科	●	●	●	●
10				ケハダヒザラガイ	Acanthochitonidae	ケハダヒザラガイ科	●	●	●	●
11		腹足	カサガイ	ユキノカサガイ	*Patelloida* sp.	ウノアシ属				●
12			古腹足	サンショウスガイ	*Bothropoma pilulum*	サンショウスガイ				●
13				ニシキウズ	*Chrysostoma paradoxum*	サラサダマ		●	●	
14					*Stomatella impertusa*	ヒメアワビ	●	●	●	
15					*Stomatolina rubra*	アシヤガマ		●		
16					*Stomatia heckeliana*	クジケアシヤガマ		●		
17					*Stomatia phymotis*	フルヤガイ	●	●		●
18					*Talopena vernicosa*	ハブタエシタダミ				●
19			アマオブネガイ	アマオブネガイ	*Smaragdia bryanae*	*Smaragdia bryanae*		●		●
20			新生腹足	オニノツノガイ	*Cerithium columna*	コオニノツノガイ	●			
21					*Cerithium echinatum*	メオニノツノガイ	●			
22					*Rhinoclavis sinensis*	トウガタカニモリ			●	
23					Cerithiidae	オニノツノガイ科		●	●	●
24			新生腹足	カタベダマシ	*Modulus tectum*	カタベダマシ			●	
25				イソコハクガイ	*Circulus tornatus*	ヒメウズマキ		●		
26				ハナゴウナ	Eulimidae	ハナゴウナ科		●	●	
27				トンボガイ	*Terebellum terebellum delicatum*	ウストンボガイ	●			
28				タマガイ	*Natica gualteriana*	ホウシュノタマ		●		●
29					*Natica bougei*	カノコダマ	●			
30					Naticidae	タマガイ科			●	
31				イトカケガイ	Epitoniidae	イトカケガイ科		●		
32				フトコロガイ	*Euplica versicolor*	フトコロガイ		●	●	●
33					*Mitrella bicincta*	ムギガイ		●		
34					*Mitrella (Indomitrella) hirundo*	シャジクマツムシ		●		
35				ムシロガイ	*Nassarius (Niotha) albescens*	アワムシロ			●	●
36				イトマキボラ	*Peristernia ustulata luchuana*	キイロツノマタモドキ	●		●	
37				アッキガイ	*Muricodrupa* sp.	コウシレイシダマシ				●
38					*Morula (Habromorula) japonica*	ハチジョウレイシダマシ			●	
39				フデガイ	*Mitra (Nebularia) rosacea*	ベニフデ			●	
40					Mitridae	フデガイ科		●		
41				ミノムシガイ	*Vexillum balteolatum*	ミノムシガイ			●	
42					*Vexillum (Costellaria) semifasciatum*	イトカケツクシ		●		●
43					*Vexillum (Costellaria) exaspertatum*	ハマヅト	●	●		●
44					*Vexillum (Costellaria) pacificum*	チヂミハマヅト	●	●		
45					*Vexillum (Costellaria) cadaverosum*	トゲハマヅト			●	●
46					*Vexillum (Pusia) discolarium*	シマオトメフデ		●		
47				マクラガイ	*Oliva amethyatina*	サツマビナ	●			●
48					*Oliva miniacea*	ジュドウマクラ			●	
49				イモガイ	*Conus (Puncticulus) pulicarius*	ゴマフイモ		●	●	
50					*Conus (Virgiconus) flavidus*	キヌカツギイモ				●
51				ヌノメシャジク	Clathurellidae	ヌノメシャジク科			●	
52				マンジガイ	*Eucithara caledonica*	ソビエコトツブ		●		
53				クダマキガイ	*Lophiotoma acuta*	トラフクダマキ				●
54				タケノコガイ	*Decorihastula affinis*	ムシロタケ	●	●	●	●
55					*Schumacher areolata*	ウシノツノガイ	●			
56					*Dimidacus laevigata*	ホソニクタケ		●		
57					*Dimidacus funiculata*	イトマキニクタケ	●			
58			低位異鰓	ミスガイ	*Micromelo* sp.	*Micromelo*属				●
59			裸側	－	Nudipleura	裸側目	●	●	●	●
60				スイフガイ	Scaphandridae	スイフガイ科			●	●

注：1.●は出現を示す。
　　2.- は不明を示す。

表 6.11.1.26（2）　底生動物（マクロベントス）出現種一覧

調 査 日:（夏季）令和6年 8月 6, 8,22 日
　　:（秋季）令和6年10月 21 日,11 月 11,14,15 日
　　:（冬季）令和7年 1月 22～24 日, 2月 11 日
　　:（春季）令和7年 4月 4日, 7～ 9日
調査方法:ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による 2回採泥
単　　位:個体数・湿重量 g/0.1 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
61	軟体動物	腹足	真後鰓	キセワタガイ	Philinidae	キセワタガイ科		●	●	●
62				カノコキセワタガイ	Aglajidae	カノコキセワタガイ科	●	●	●	●
63				ブドウガイ	*Atys naucum*	タマゴガイ	●			
64					Haminoeidae	ブドウガイ科	●	●		
65				ミドリガイ	*Phanerophthalmus* sp.	チョウチョウミドリガイ属		●		
66				アメフラシ	Aplysiidae	アメフラシ科				●
67			汎有肺	イワヅタブドウガイ	*Ascobulla japonica*	イワヅタブドウガイ				●
68				チドリミドリガイ	*Plakobranchus ocellatus*	チドリミドリガイ	●			
69				トウガタガイ	*Otopleura* sp.	*Otopleura*属		●		
70					*Styloptygma versicolor*	ソメワケクリムシクチキレ				●
71					Pyramidellidae	トウガタガイ科	●	●		●
72		掘足	ツノガイ	ゾウゲツノガイ	*Graptacme aciculum*	リュウキュウツノガイ				●
73		二枚貝	フネガイ	フネガイ	Arcidae	フネガイ科			●	
74				タマキガイ	*Glycymeris* sp.	タマキガイ属	●			
75			イガイ	イガイ	*Modiolus auriculatus*	リュウキュウヒバリガイ	●			●
76					*Modiolus* sp.	ヒバリガイ属	●	●		
77			ウグイスガイ	ウグイスガイ	*Pinctada margaritifera*	クロチョウガイ		●		
78				ハボウキガイ	Pinnidae	ハボウキガイ科			●	
79			マルスダレガイ	ツキガイ	*Codakia tigerina*	ツキガイ	●			
80					*Epicodakia bella*	ヒメツキガイ	●			●
81					*Pillucina pisidium*	ウメノハナガイ		●		●
82					*Pillucina* sp.	ウメノハナガイ属			●	●
83					*Anodontia edentula*	カブラツキガイ	●	●	●	
84					*Anodontia* sp.	カブラツキガイ属		●		●
85				フタバシラガイ	Ungulinidae	フタバシラガイ科		●		
86				ウロコガイ	Galeommatidae	ウロコガイ科				●
87				チリハギガイ	*Radobornia bryani*	チチノシタタリ				●
88				ブンブクヤドリガイ	Montacutidae	ブンブクヤドリガイ科		●	●	
89				ザルガイ	*Vasticardium nigropunctatum*	ゴマフザル			●	
90					*Fragum loochooanum*	オキナワヒシガイ	●		●	●
91					*Discors aurantiaca*	ミサカエギンギョ		●		
92					*Fulvia australis*	ボタンガイ		●		
93				マルスダレガイ	*Glycydonta marica*	カノコアサリ			●	
94					*Veremolpa laevicostata*	オウギカノコアサリ		●		
95					*Gafrarium pectinatum*	ホソスジイナミガイ	●	●	●	●
96					*Pitar (Pitarina) pellucidus*	オミナエシハマグリ		●		●
97					*Bonartemis histrio histrio*	オイノカガミ		●		
98					*Irus* sp.	マツカゼガイ属		●		
99				ニッコウガイ	*Laciolina chloroleuca*	リュウキュウサラガイ		●		
100					*Tellinella crucigera*	ヒノデガイの一種	●			
101					*Tellinella staurella*	ヒメニッコウガイ				●
102					*Tellinella radians*	コニッコウガイ	●			
103					*Cadella semen*	ナミノコザラ	●	●	●	●
104					*Quadrans parvitas*	トゲウネガイ		●		
105					*Pinguitellina pinguis*	ミガキヒメザラ	●	●		●
106					*Jactellina compta*	ミクニシボリザクラ	●	●		●
107					*Jactellina transcalpta*	ハスメザクラ				●
108					*Exotica balansae*	*Exotica balansae*		●		
109					*Nitidotellina* sp.	サクラガイ属	●			●
110					*Scissulina dispar*	チガイザクラ				●
111					Tellinidae	ニッコウガイ科		●		
112				シオサザナミ	*Gari maculosa*	アシガイ		●		
113					*Grammatomya pulcherrima*	サカライマスオ			●	
114				チドリマスオ	*Spondervilia bisculpta*	ハマチドリ	●			
115	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	スナゴカイ	*Pisione* sp.	*Pisione*属	●	●	●	●
116				ウロコムシ	Polynoidae	ウロコムシ科	●	●	●	
117				ノラリウロコムシ	*Euthalenessa* sp.	*Euthalenessa*属	●	●	●	
118					*Neopsammolyce occidentalis*	イッカクウロコムシ		●		
119					*Pelogenia zeylanica*	フタコブウロコムシ			●	●
120					*Sigalion* sp.	*Sigalion*属				●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.26（3）　底生動物（マクロベントス）出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和６年 ８月 6, 8,22 日
：（秋季）令和６年 10 月 21 日,11 月 11,14,15 日
：（冬季）令和７年 １月 22～24 日, ２月 11 日
：（春季）令和７年 ４月 ４日, 7～ ９日
調査方法：ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による２回採泥
単　　位：個体数・湿重量 g/0.1 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
121	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	ノラリウロコムシ	*Sthenelanella* sp.	*Sthenelanella*属	●			
122					*Willeysthenelais* sp.	*Willeysthenelais*属		●		
123					Sigalionidae	ノラリウロコムシ科	●		●	
124				サシバゴカイ	*Phyllodoce* sp.	*Phyllodoce*属	●	●	●	●
125					Phyllodocidae	サシバゴカイ科		●		
126				チロリ	*Glycera* sp.	*Glycera*属	●	●	●	●
127				オトヒメゴカイ	*Hesione* sp.	*Hesione*属		●	●	
128					*Hesionura* sp.	*Hesionura*属		●	●	●
129					*Podarkeopsis* sp.	*Podarkeopsis*属				●
130					Hesionidae	オトヒメゴカイ科		●	●	●
131				カギゴカイ	*Synelmis albini*	イッカクカギゴカイ		●		●
132					*Synelmis* sp.	*Synelmis*属			●	●
133				シリス	*Exogone* sp.	*Exogone*属	●	●	●	
134					*Sphaerosyllis* sp.	*Sphaerosyllis*属			●	●
135					Syllinae	シリス亜科	●	●	●	●
136					Syllidae	シリス科	●			
137				ゴカイ	*Ceratonereis* sp.	*Ceratonereis*属	●	●	●	●
138					*Neanthes caudata*	ヒメゴカイ	●		●	
139					*Platynereis australis*	ミナミツルヒゲゴカイ				●
140					Nereididae	ゴカイ科	●	●	●	●
141				タンザクゴカイ	Chrysopetalidae	タンザクゴカイ科		●	●	●
142				シロガネゴカイ	*Micronephthys* sp.	*Micronephthys*属	●			
143					*Nephtys polybranchia*	ミナミシロガネゴカイ			●	●
144			ウミケムシ	ウミケムシ	*Linopherus* sp.	*Linopherus*属	●	●	●	●
145					*Pareurythoe* sp.	*Pareurythoe*属	●	●	●	●
146					Amphinomidae	ウミケムシ科		●		
147			イソメ	ナナテイソメ	Onuphidae	ナナテイソメ科	●	●	●	●
148				イソメ	*Eunice* sp.	*Eunice*属	●	●	●	●
149					*Lysidice* sp.	*Lysidice*属		●		
150					*Marphysa* sp.	*Marphysa*属	●			
151					*Nematonereis* sp.	*Nematonereis*属	●	●	●	●
152				ギボシイソメ	*Lumbrineris* sp.	*Lumbrineris*属		●		●
153				セグロイソメ	*Arabella* sp.	*Arabella*属			●	●
154					*Drilonereis* sp.	*Drilonereis*属	●			
155					*Notocirrus* sp.	*Notocirrus*属	●	●		
156				ノリコイソメ	*Dorvillea* sp.	*Dorvillea*属	●			
157					*Protodorvillea* sp.	*Protodorvillea*属		●	●	●
158					*Schistomeringos* sp.	*Schistomeringos*属				●
159			ホコサキゴカイ	ホコサキゴカイ	*Naineris* sp.	*Naineris*属			●	●
160					*Scoloplos* sp.	*Scoloplos*属	●			●
161				ヒメエラゴカイ	*Aricidea* sp.	*Aricidea*属			●	●
162					*Paraonides lyra*	*Paraonides lyra*		●		
163					Paraonidae	ヒメエラゴカイ科	●	●		●
164			スピオ	トックリゴカイ	*Poecilochaetus* sp.	*Poecilochaetus*属	●	●	●	●
165				スピオ	*Aonides* sp.	*Aonides*属	●	●	●	●
166					*Laonice* sp.	*Laonice*属		●		
167					*Malacoceros* sp.	*Malacoceros*属	●	●	●	●
168					*Polydora* sp.	*Polydora*属		●		●
169					*Prionospio convexa*	ピンガタスピオ	●	●		
170					*Prionospio depauperata*	ソデナガスピオ	●	●	●	●
171					*Prionospio paradisea*	マクスピオ	●			
172					*Prionospio variegata*	ベニスピオ				●
173					*Prionospio* sp.	*Prionospio*属	●	●	●	
174					*Pseudopolydora* sp.	*Pseudopolydora*属	●	●	●	●
175					*Rhynchospio* sp.	*Rhynchospio*属		●	●	●
176					*Scolelepis* sp.	*Scolelepis*属	●	●	●	●
177					*Spio* sp.	*Spio*属	●	●	●	●
178				モロテゴカイ	*Magelona* sp.	*Magelona*属				●
179				ツバサゴカイ	*Spiochaetopterus* sp.	*Spiochaetopterus*属	●		●	
180					Chaetopteridae	ツバサゴカイ科	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.26（4）　底生動物（マクロベントス）出現種一覧

調 査 日:（夏季）令和 6 年 8 月 6, 8,22 日
:（秋季）令和 6 年 10 月 21 日,11 月 11,14,15 日
:（冬季）令和 7 年 1 月 22～24 日, 2 月 11 日
:（春季）令和 7 年 4 月 4 日, 7～ 9 日
調査方法:ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による 2 回採泥
単　　位:個体数・湿重量 g/0.1 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
181	環形動物	ゴカイ	スピオ	ミズヒキゴカイ	*Aphelochaeta* sp.	*Aphelochaeta*属	●			●
182					*Caulleriella* sp.	*Caulleriella*属	●	●	●	●
183					*Cirriformia* sp.	*Cirriformia*属	●	●	●	●
184			ハボウキゴカイ	ハボウキゴカイ	Flabelligeridae	ハボウキゴカイ科	●			
185			イトゴカイ	イトゴカイ	*Capitella* sp.	イトゴカイ属	●	●	●	●
186					*Mediomastus* sp.	*Mediomastus*属	●	●	●	●
187					*Notomastus* sp.	*Notomastus*属	●	●	●	●
188					*Scyphoproctus near somalu*	スダレイトゴカイ		●		●
189					Capitellidae	イトゴカイ科	●	●	●	●
190				タケフシゴカイ	*Maldane pigmentata*	ヒョウモンタケフシゴカイ		●		
191					Maldanidae	タケフシゴカイ科		●	●	●
192			オフェリアゴカイ	オフェリアゴカイ	*Armandia* sp.	*Armandia*属	●	●	●	●
193					*Ophelia* sp.	*Ophelia*属			●	
194					*Polyophthalmus* sp.	*Polyophthalmus*属		●	●	●
195			イイジマムカシゴカイ	イイジマムカシゴカイ	*Polygordius* sp.	*Polygordius*属			●	●
196			ムカシゴカイ	ムカシゴカイ	*Saccocirrus* sp.	*Saccocirrus*属			●	
197			チマキゴカイ	チマキゴカイ	*Myriochele* sp.	*Myriochele*属	●	●	●	●
198			フサゴカイ	フサゴカイ	*Lysilla* sp.	*Lysilla*属	●			●
199					*Pista* sp.	*Pista*属	●	●	●	
200					Terebellidae	フサゴカイ科	●	●	●	●
201			ケヤリムシ	ケヤリムシ	Sabellidae	ケヤリムシ科	●	●	●	
202				カンザシゴカイ	*Hydroides* sp.	*Hydroides*属			●	
203		ミミズ	イトミミズ	ヒメミミズ	Enchytraeidae	ヒメミミズ科	●	●	●	●
204	ﾕﾑｼ動物	－	キタユムシ	キタユムシ	Thalassematinae	ミドリユムシ亜科				●
205	星口動物	スジホシムシ	フクロホシムシ	スジホシムシ	*Sipunculus nudus*	スジホシムシ	●			
206		サメハダホシムシ	サメハダホシムシ	サメハダホシムシ	*Apionsoma* sp.	イトクズホシムシ属		●	●	●
207					*Phascolosoma nigrescens*	ネッタイサメハダホシムシ		●		
208				タテホシムシ	Aspidosiphonidae	タテホシムシ科		●	●	●
209		－	－	－	Sipuncula	星口動物門	●	●	●	●
210	節足動物	アゴアシ	ソコミジンコ	－	Harpacticoida	ソコミジンコ目		●		
211		カイムシ	ウミホタル	Cylindroleberididae	Cylindroleberididae	Cylindroleberididae	●			
212				ウミホタル	Cypridinidae	ウミホタル科				●
213		軟甲	シャコ	フトユビシャコ	Gonodactylidae	フトユビシャコ科		●		
214				ウニシャコ	*Haptosquilla glyptocercus*	シワトジオシャコ		●		
215				トラフシャコ	Lysiosquillidae	トラフシャコ科	●			
216			ヨコエビ	スガメソコエビ	*Ampelisca bocki*	コブスガメ		●		●
217					*Ampelisca naikaiensis*	フクロスガメ		●	●	●
218					*Byblis japonicus*	ニッポンスガメ	●			●
219				ヒゲナガヨコエビ	*Ampithoe* sp.	ヒゲナガヨコエビ属			●	●
220					Ampithoidae	ヒゲナガヨコエビ科	●	●		
221				ユンボソコエビ	*Grandidierella* sp.	ドロソコエビ属	●	●	●	
222					*Lembos* sp.	*Lembos*属	●	●	●	●
223					Aoridae	ユンボソコエビ科			●	●
224				ドロクダムシ	Corophiinae	Corophiinae		●		
225					*Bubocorophium* sp.	ハイハイドロクダムシ属				●
226				エンマヨコエビ	Dexaminidae	エンマヨコエビ科			●	●
227				イシクヨコエビ	*Gammaropsis* sp.	ソコエビ属	●	●	●	●
228					*Photis* sp.	クダオソコエビ属	●	●	●	●
229				カマキリヨコエビ	*Ericthonius* sp.	ホソヨコエビ属			●	●
230					*Jassa* sp.	カマキリヨコエビ属			●	
231				マルハサミヨコエビ	*Leucothoe* sp.	マルハサミヨコエビ属			●	●
232				フトヒゲソコエビ	Lysianassidae	フトヒゲソコエビ科		●		
233				スンナリヨコエビ	*Elasmopus* sp.	イソヨコエビ属	●	●	●	
234					*Maera* sp.	スンナリヨコエビ属	●	●	●	●
235				メリタヨコエビ	*Melita* sp.	メリタヨコエビ属	●	●	●	●
236					Melitidae	メリタヨコエビ科			●	
237				クチバシソコエビ	Oedicerotidae	クチバシソコエビ科		●		
238				ヒサシソコエビ	Phoxocephalidae	ヒサシソコエビ科	●	●		●
239				テングヨコエビ	Pleustidae	テングヨコエビ科	●			
240				ドロノミ	*Podocerus* sp.	ドロノミ属			●	●

注：1.●は出現を示す。
　　2.－ は不明を示す。

表 6.11.1.26（5）　底生動物（マクロベントス）出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和６年 ８月 6, 8,22 日
：（秋季）令和６年 10 月 21 日,11 月 11,14,15 日
：（冬季）令和７年 1 月 22～24 日，2 月 11 日
：（春季）令和７年 4 月 4 日，7～ 9 日
調査方法：ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による 2 回採泥
単　　位：個体数・湿重量 g/0.1 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
241	節足動物	軟甲	ヨコエビ	マルソコエビ	*Urothoe* sp.	マルソコエビ属			●	●
242				―	Gammaridea	ヨコエビ亜目		●		
243			ワラジムシ	スナウミナナフシ	Anthuridae	スナウミナナフシ科		●		●
244				ウミナナフシ	Paranthuridae	ウミナナフシ科	●	●		
245				スナホリムシ	*Cirolana* sp.	スナホリムシ属			●	
246					*Eurydice* sp.	ナギサスナホリムシ属		●		●
247					Cirolanidae	スナホリムシ科		●	●	●
248				ウミクワガタ	*Gnathia* sp.	*Gnathia* 属	●			
249				コツブムシ	*Cilicaeopsis* sp.	*Cilicaeopsis* 属	●			
250					*Cymodoce japonica*	ニホンコツブムシ				●
251					*Dynoides* sp.	シリケンウミセミ属	●	●	●	●
252					*Leptosphaeroma gottschei*	ヒラタウミセミ	●	●		
253			タナイス	ホソツメタナイス	Leptocheliidae	ホソツメタナイス科	●	●	●	●
254				アプセウデス	Apseudidae	アプセウデス科	●	●		●
255			クーマ	ナギサクーマ	Bodotriidae	ナギサクーマ科			●	●
256			エビ	テナガエビ	*Periclimenes* sp.	ホンカクレエビ属			●	
257				テッポウエビ	*Automate dolichognatha*	オトヒメテッポウエビ	●		●	●
258					*Alpheus* sp.	テッポウエビ属	●	●	●	●
259					*Athanas* sp.	ムラサキエビ属			●	
260				モエビ	Hippolytidae	モエビ科	●			
261				ロウソクエビ	*Processa* sp.	*Processa* 属	●	●	●	●
262				エビジャコ	*Philocheras* sp.	シンカイエビジャコ属		●	●	
263				アナエビ	Axiidae	アナエビ科			●	
264				スナモグリ	Callianassidae	スナモグリ科		●	●	●
265				アナジャコ	*Upogebia* sp.	アナジャコ属			●	
266				コシオリエビ	*Galathea* sp.	コシオリエビ属		●	●	●
267				ヤドカリ	*Calcinus latens*	ツマジロサンゴヤドカリ		●		●
268					*Diogenes* sp.	ツノヤドカリ属	●	●	●	●
269				ホンヤドカリ	Paguridae	ホンヤドカリ科	●	●	●	●
270				カラッパ	*Calappa* sp.	カラッパ属	●		●	
271				ムツアシガニ	*Mariaplax* sp.	ヒメムツアシガニ属			●	●
272				コブシガニ	*Nursia* sp.	ロッカクコブシ属	●	●		
273					*Philyra* sp.	マメコブシガニ属	●			
274					Leucosiidae	コブシガニ科			●	
275				モガニ	*Menaethius monoceros*	イッカクガニ	●	●	●	●
276				クモガニ	Inachidae	クモガニ科	●			
277				ヒシガニ	*Aulacolambrus diacanthus*	サンカクヒシガニ	●			
278				ケブカガニ	*Actumnus* sp.	イボテガニ属	●	●		
279					*Typhlocarcinus villosus*	メクラガニ				●
280					Pilumnidae	ケブカガニ科	●	●		●
281				ワタリガニ	*Portunus* sp.	ガザミ属	●	●		●
282					*Thalamita admete*	フタハベニツケモドキ	●	●	●	●
283					*Thalamita integra*	ヒメフタハベニツケガニ	●			
284					*Thalamita* sp.	ベニツケガニ属	●	●	●	●
285					Portunidae	ワタリガニ科			●	
286				オウギガニ	*Chlorodiella* sp.	テナガオウギガニ属	●	●		
287					*Etisus electra*	ヒメヒゾメガニ	●	●	●	●
288					*Etisus odhneri*	*Etisus odhneri*				●
289					*Etisus* sp.	ヒゾメガニ属	●			
290					*Kraussia* sp.	*Kraussia* 属		●	●	●
291					*Microcassiope orientalis*	ヒメシワオウギガニ	●	●	●	
292					*Pilodius* sp.	トゲオウギガニ属			●	
293					Xanthidae	オウギガニ科	●	●	●	●
294				オサガニ	*Macrophthalmus serenei*	メナガオサガニ			●	
295					*Macrophthalmus* sp.	オサガニ属			●	●
296				カクレガニ	*Pinnixa* sp.	マメガニ属	●			
297	箒虫動物	―	ホウキムシ	ホウキムシ	*Phoronis* sp.	*Phoronis* 属		●	●	●
298	半索動物	ギボシムシ	―	―	Enteropneusta	ギボシムシ綱				●
299	棘皮動物	ヒトデ	アカヒトデ	イトマキヒトデ	Asterinidae	イトマキヒトデ科	●			
300		クモヒトデ	―	―	Ophiuroidea	クモヒトデ綱	●	●	●	●

注：1.●は出現を示す。
　　2.- は不明を示す。

表 6.11.1.26（6）　底生動物（マクロベントス）出現種一覧

調 査 日:（夏季）令和６年 ８月 6, 8,22 日
　　:（秋季）令和６年 10 月 21 日,11 月 11,14,15 日
　　:（冬季）令和７年 １月 22～24 日, ２月 11 日
　　:（春季）令和７年 ４月 ４日, 7～ ９日
調査方法:ｽﾐｽ･ﾏｯｷﾝﾀｲﾔ型採泥器による２回採泥
単　　位:個体数・湿重量 g/0.1 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
301	棘皮動物	ウニ	ホンウニ	サンショウウニ	Temnopleuridae	サンショウウニ科	●	●	●	●
302			タコノマクラ	マメウニ	Fibulariidae	マメウニ科	●	●	●	
303			ブンブク	―	Spatangoida	ブンブク目	●			
304	脊索動物	ナメクジウオ	ナメクジウオ	ナメクジウオ	*Asymmetron lucayanum*	オナガナメクジウオ	●			
合計	14門	19綱	49目	149科	304種類		146	172	153	165

注：1.●は出現を示す。
　　2.- は不明を示す。

（カ）底生動物（メガロベントス）

調査結果概要は表 6.11.1.27 に、総出現種一覧は表 6.11.1.28 に示すとおりである。

調査の結果、15 門 26 綱 58 目 196 科 770 種が確認された。

定点調査では、地点ごとの出現種類数は、6～79 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、185～230 種であり春季に最も多かった。

任意調査では、地点ごとの出現種類類数は、39～103 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、155～218 種であり春季に最も多かった。

測線調査では、地点ごとの出現種類数は、74～137 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、295～391 種の範囲で変動しており冬季で最も多かった。

表 6.11.1.27　底生動物（メガロベントス）調査結果概要

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

項目		調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
			夏季	秋季	冬季	春季	
出現種類数		定点調査	185 (6～58)	190 (9～53)	229 (11～75)	230 (11～79)	341 (6～79)
		任意調査	164 (39～74)	155 (52～65)	166 (50～71)	218 (70～103)	320 (39～103)
		測線調査	314 (144～193)	295 (129～167)	391 (147～215)	329 (157～205)	554 (129～215)
		総出現種類数	**457**	**438**	**502**	**514**	**770**
分類群ごとの出現種類数	軟体動物門	定点調査	86	89	103	112	168
		任意調査	67	66	73	93	142
		測線調査	152	138	199	165	275
		合計	**202**	**195**	**241**	**241**	**364**
	節足動物門	定点調査	40	40	52	50	80
		任意調査	74	68	72	97	135
		測線調査	75	63	83	75	133
		合計	**145**	**129**	**138**	**158**	**234**
	棘皮動物門	定点調査	22	20	23	22	32
		任意調査	10	8	10	17	22
		測線調査	35	40	49	39	62
		合計	**43**	**44**	**52**	**48**	**69**
	脊索動物門	定点調査	12	14	16	15	18
		任意調査	2	1	1	1	2
		測線調査	11	17	18	17	20
		合計	**15**	**18**	**18**	**19**	**22**
	その他	定点調査	25	27	35	31	43
		任意調査	11	11	10	10	18
		測線調査	40	37	41	32	63
		合計	**51**	**51**	**52**	**47**	**79**
主な出現種		定点調査	普通海綿綱 苔虫動物門 ウスボヤ科 ツマジロナガウニ ムカデガイ科	普通海綿綱 苔虫動物門 ウスボヤ科 ムカデガイ科 フトコロガイ	普通海綿綱 苔虫動物門 ウスボヤ科 ムカデガイ科 ツマジロサンゴヤドカリ	普通海綿綱 ツマジロサンゴヤドカリ 苔虫動物門 ウスボヤ科 センコウカイメン科	
		任意調査	普通海綿綱 マクガイ ゴカイ綱 ツマジロサンゴヤドカリ 苔虫動物門	普通海綿綱 キイロダカラ マクガイ ウロコガイ科 ゴカイ綱	普通海綿綱 コウシレイシダマシ マクガイ ツマジロサンゴヤドカリ イッカクガニ	普通海綿綱 コウシレイシダマシ マクガイ クロフトマヤガイ ウミケムシ科	
		測線調査	普通海綿綱 ミナミエダウミヒドラ ウネタケ属 ウミキノコ属 カタトサカ属	普通海綿綱 ウネタケ属 ウミキノコ属 カタトサカ属 タマイタダキイソギンチャク	普通海綿綱 ウネタケ属 ウミキノコ属 カタトサカ属 イワスナギンチャク	普通海綿綱 ウネタケ属 ウミキノコ属 カタトサカ属 イワスナギンチャク	

注：1. 各季節の出現種類数欄の（　）内は地点ごとの出現種類数の範囲を示す。
2. 各季節の主な出現種は、出現地点数の上位 5 種を示す。
3. 四季合計の出現種類数欄の（　）内は地点ごとの四季を通じた総出現種類数の範囲を示す。

表 6.11.1.28（1）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	有孔虫	有孔虫	有孔虫	ソリテス	*Marginopora* sp.	ゼニイシ属		●	●	●
2				アカスナゴ	*Miniacina miniacina*	モミジスナゴ	●	●	●	●
3	海綿動物	石灰海綿	クラトリナ	ロイカス	*Leucetta* aff. *chagosensis*	レモンカイメン（仮称）	●	●	●	●
4		普通海綿	カタカイメン	センコウカイメン	Clionaidae	センコウカイメン科	●	●	●	●
5			–	–	Demospongiae	普通海綿綱	●	●	●	●
6	刺胞動物	ヒドロ虫	ハナクラゲ	ハネウミヒドラ	*Halocordyle disticha*	ハネウミヒドラ	●	●		●
7				エダウミヒドラ	*Myrionema amboinense*	ミナミエダウミヒドラ	●	●	●	●
8				ハネガヤ	Plumulariidae	ハネガヤ科	●		●	
9			サンゴモドキ	サンゴモドキ	*Distichopora violacea*	ムラサキサンゴモドキ	●	●	●	●
10		鉢虫	カンムリクラゲ	エフィラクラゲ	*Stephanoscyphus racemosum*	イラモ	●	●	●	●
11		花虫	ウミゾタ	ウミゾタ	*Clavularia inflata*	ツツウミゾタ		●		
12					*Pachyclavularia violacea*	ムラサキハナゾタ			●	
13			ウミトサカ	ウミトサカ	*Lobophytum* sp.	ウネタケ属	●	●	●	●
14					*Sarcophyton* sp.	ウミキノコ属	●	●	●	●
15					*Sinularia* sp.	カタトサカ属	●	●	●	●
16				チヂミトサカ	Nephtheidae	チヂミトサカ科	●			
17			ヤギ	–	Gorgonacea	ヤギ目			●	
18			ハナギンチャク	ハナギンチャク	Cerianthidae	ハナギンチャク科	●	●	●	●
19			スナギンチャク	スナギンチャク	*Palythoa* (*Protopalythoa*) *lesueuri*	タマイワスナギンチャク	●	●		●
20					*Palythoa* (*Protopalythoa*) *yongei*	タチイワスナギンチャク	●	●	●	●
21					*Palythoa tuberculosa*	イワスナギンチャク	●	●	●	●
22					*Zoanthus erythrochloros*	マメスナギンチャク		●		
23					*Zoanthus sansibaricus*	キクメマメスナギンチャク		●	●	●
24					*Zoanthus vietnamensis*	フジマメスナギンチャク	●		●	●
25					*Zoanthus* sp.	マメスナギンチャク属	●	●	●	●
26					Zoanthidae	スナギンチャク科				●
27			イソギンチャク	セイタカイソギンチャク	*Aiptasia* cf. *insignis*	セイタカイソギンチャク			●	●
28				クビカザリイソギンチャク	*Calliactis polypus*	ベニヒモイソギンチャク	●	●	●	
29				ムシモドキギンチャク	Edwardsiidae	ムシモドキギンチャク科	●			
30				ウメボシイソギンチャク	*Actinia equina*	ウメボシイソギンチャク				●
31					*Entacmaea maxima sensu*	オオサンゴイソギンチャク		●		
32					*Entacmaea ramsayi*	タマイタダキイソギンチャク	●	●	●	●
33					*Entacmaea* sp.M	マメサンゴイソギンチャク	●	●	●	●
34					Actiniidae	ウメボシイソギンチャク科			●	
35				ハタゴイソギンチャク	*Antheopsis doreensis*	マバラシライトイソギンチャク		●		
36					*Heteractis aurora*	ジュズダマイソギンチャク			●	
37					*Radianthus crispus*	シライトイソギンチャク	●	●	●	
38					*Radianthus gelam*	ツマリシライトイソギンチャク	●			●
39					*Radianthus lobatus*	チクビイソギンチャク	●		●	
40					*Stichodactyla gigantea*	ハタゴイソギンチャク	●		●	●
41					*Stichodactyla haddoni*	イボハタゴイソギンチャク	●	●		
42					*Stichodactyla* sp.M	マメハタゴイソギンチャク	●	●	●	●
43				ニチリンイソギンチャク	*Amphiactis orientalis*	フサヘリイソギンチャク			●	
44					*Phymanthus loligo*	ヒメニチリンイソギンチャク	●	●	●	
45					*Phymanthus pinnulatum*	イロニチリンイソギンチャク				●
46					*Phymanthus muscosus*	ニチリンイソギンチャク	●			
47				ケイトウイソギンチャク	*Cryptodendrum adhaesivum*	エンタクイソギンチャク	●			
48					*Thalassianthus aster*	ケイトウイソギンチャク			●	●
49				ハナブサイソギンチャク	*Actinodendron arboreum*	ハナブサイソギンチャク				●
50				–	Actiniaria	イソギンチャク目	●		●	
51			ホネナシサンゴ	イソギンチャクモドキ	*Discosoma nummiforme*	イソギンチャクモドキ		●		
52	扁形動物	渦虫	ヒラムシ	ニセツノヒラムシ	*Pseudobiceros* sp.	クロスジニセツノヒラムシ属			●	
53					*Pseudoceros* sp.	*Pseudoceros*属	●	●		●
54				ニセスチロヒラムシ	*Callioplana marginata*	カリオヒラムシ			●	
55				–	Polycladida	ヒラムシ目	●	●	●	●
56	紐形動物	–	–	–	Nemertinea	紐形動物門	●			
57	軟体動物	多板	クサズリガイ	ウスヒザラガイ	*Ischnochiton comptus*	ウスヒザラガイ	●	●	●	●
58					*Ischnochiton* sp.	ウスヒザラガイ属	●	●	●	
59				クサズリガイ	*Acanthopleura loochooana*	リュウキュウヒザラガイ		●		
60					*Acanthopleura gemmata*	オニヒザラガイ			●	
61					*Lucilina interplicata*	アヤヒザラガイ				●
62					Chitonidae	クサズリガイ科	●	●	●	●
63				ケハダヒザラガイ	*Acanthochitona* sp.	ケハダヒザラガイ属	●		●	
64		新ヒザラガイ亜	–	–	Neoloricata	新ヒザラガイ亜綱	●			●
65		腹足	カサガイ	ツタノハガイ	*Scutellastra flexuosa*	ツタノハガイ	●		●	
66				ユキノカサガイ	Lottiidae	ユキノカサガイ科				●
67			古腹足	ニシキウズ	*Trochus maculatus*	ニシキウズ	●	●	●	●
68					*Trochus histrio*	ハクシャウズ	●			●
69					*Trochus rota*	ウズイチモンジ	●	●	●	●
70					*Tectus pyramis*	ギンタカハマ	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（2）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
71	軟体動物	腹足	古腹足	ニシキウズ	*Tectus triserialis*	コシタカギンタカハマ	●			●
72					*Tectus conus*	ベニシリダカ	●	●	●	●
73					*Tectus niloticus*	サラサバテイ	●	●	●	●
74					*Clanculus denticulatus*	テツイロナツモモ	●	●	●	●
75					*Clanculus bronni*	コマキアゲエビス	●		●	●
76					*Eurytrochus cognatus*	クルマチグサ	●	●	●	●
77					*Iwakawatrochus urbanus*	イワカワチグサ	●	●	●	●
78					*Stomatella impertusa*	ヒメアワビ	●	●	●	
79					*Pseudostomatella decolorata*	イロアセアシヤガマ		●		
80					*Stomatia phymotis*	フルヤガイ			●	●
81					*Talopena vernicosa*	ハブタエシタダミ		●		●
82				エビスガイ	*Fautor poupineli*	アラレエビス	●	●		
83					Calliostomatidae	エビスガイ科		●		
84				サザエ	*Turbo (Lunatica) marmoratus*	ヤコウガイ	●			●
85					*Turbo (Marmarostoma) argyrostomus*	チョウセンサザエ	●	●	●	●
86					*Turbo (Marmarostoma) stenogyrus*	コシダカサザエ	●	●	●	●
87					*Astralium rhodostoma*	オオウラウズガイ	●	●	●	●
88				ヒメカタベ	*Liotina peronii*	リュウキュウヒメカタベ		●	●	●
89				ミミガイ	*Haliotis asinina*	ミミガイ	●	●		●
90					*Haliotis (Ovinotis) ovina*	マアナゴウ	●		●	
91				スカシガイ	*Scutus unguis*	リュウキュウオトメガサ			●	●
92					*Diodora quadriradiata*	テンガイ				●
93					*Diodora mus*	アサテンガイ			●	
94			アマオブネガイ	アマオブネガイ	*Nerita (Theliostyla) albicilla*	アマオブネガイ	●	●	●	●
95					*Smaragdia rangiana*	クサイロカノコ	●	●	●	●
96					*Smaragdia paulucclana*	キンランカノコ	●	●	●	●
97			新生腹足	オニノツノガイ	*Cerithium nodulosum*	オニノツノガイ	●	●	●	●
98					*Cerithium columna*	コオニノツノガイ	●	●	●	●
99					*Cerithium echinatum*	メオニノツノガイ	●	●	●	●
100					*Cerithium rostratum*	ハシナガツノブエ	●	●	●	●
101					*Cerithium lifuense*	ヨロイツノブエ				●
102					*Cerithium zonatum*	ヒメクワノミカニモリ	●	●	●	●
103					*Cerithium nesioticum*	クリムシカニモリ	●	●	●	●
104					*Cerithium punctatum*	ゴマフカニモリ	●	●	●	●
105					*Cerithium atromarginatum*	コンシボリツノブエ			●	●
106					*Cerithium zebrum*	ハナカニモリ	●	●		●
107					*Cerithium cecalupoi*	クリフカニモリ		●		●
108					*Cerithium alutaceum*	ダンダラノミカニモリ		●		
109					*Clypeomorus petrosa chemnitziana*	クワノミカニモリ	●	●	●	●
110					*Rhinoclavis aspera*	ヨコワカニモリ	●	●	●	●
111					*Rhinoclavis sinensis*	トウガタカニモリ		●	●	●
112					Cerithiidae	オニノツノガイ科			●	
113				カタベダマシ	*Modulus tectum*	カタベダマシ				●
114				ホソスジチョウジガイ	*Rissoina (Rissolina) birestes*	カセンヌノメチョウジガイ				●
115				ワカウラツボ	Iravadiidae	ワカウラツボ科		●		●
116				イソコハクガイ	*Circulus cinguliferus*	カズウズマキ	●	●	●	●
117				スズメガイ	*Hipponix acuta*	アツキクスズメ	●	●	●	●
118					*Hipponix (Antisabia) foliacea*	カワチドリ			●	
119				ソデボラ	*Strombus (Canarium) microurceus*	ヤサガタムカシタモト			●	
120					*Strombus (Gibberulus) gibberulus gibbosus*	ネジマガキ		●		●
121					*Strombus (Conomurex) luhuanus*	マガキガイ		●	●	●
122					*Strombus (Lentigo) lentiginosus*	イボソデガイ				●
123					*Lambis lambis*	クモガイ	●	●	●	●
124					*Lambis truncata sebae*	ラクダガイ		●		
125					*Lambis (Harpago) chiragra*	スイジガイ		●	●	●
126				ムカデガイ	*Petaloconchus renisectus*	ムカデガイ		●		
127					*Ceraesignum maximum*	フタモチヘビガイ		●		
128					*Thylacodes trimeresurus*	リュウキュウヘビガイ	●	●	●	●
129					Vermetidae	ムカデガイ科	●	●	●	●
130				タカラガイ	*Mauritia arabica*	ヤクシマダカラ	●		●	●
131					*Cypraea tigris*	ホシダカラ	●	●	●	●
132					*Lyncina lynx*	ヒメホシダカラ				●
133					*Lyncina carneola*	クチムラサキダカラ	●			●
134					*Lyncina vitellus*	ホシキヌタ	●		●	●
135					*Luria isabella*	ヤナギシボリダカラ			●	
136					*Erronea errones*	ナツメモドキ	●	●	●	●
137					*Purpuradusta fimbriata*	ツマムラサキメダカラ			●	
138					*Palmadusta asellus*	ウキダカラ			●	
139					*Erosaria erosa*	コモンダカラ	●	●	●	●
140					*Erosaria labrolineata*	ナシジダカラ	●			

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（3）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
141	軟体動物	腹足	新生腹足	タカラガイ	*Erosaria helvola*	カモンダカラ	●			
142					*Monetaria annulus*	ハナビラダカラ	●	●	●	●
143					*Monetaria moneta*	キイロダカラ	●	●	●	●
144					*Monetaria caputserpentis*	ハナマルユキ	●	●	●	●
145					Cypraeidae	タカラガイ科				●
146				シラタマガイ	*Trivirostra oryza*	シラタマガイ			●	●
147				タマガイ	*Polinices mammilla*	トミガイ	●			
148					*Polinices vavaosi*	シロヘソアキトミガイ			●	
149					*Polinices flemingianus*	ヘソアキトミガイ		●		
150					*Mammilla melanostoma*	リスガイ			●	
151					*Natica cernica*	ハギノツユ	●			
152					*Natica gualteriana*	ホウシュノタマ	●	●		●
153					*Tanea undulata*	モクメダマ			●	
154					*Tanea picta*	カザリダマ		●		
155				オキニシ	*Bursa (Colubrellina) granularis*	イワカワウネボラ				●
156					*Bursa bufonia dunkeri*	オキニシ		●		
157					*Bursa tuberosissima*	コブオキニシ				●
158				フジツガイ	*Cymatium (Monoplex) pileare*	シノマキ				●
159					*Cymatium (Monoplex) nicobaricum*	ミツカドボラ			●	●
160					*Cymatium (Monoplex) aquatile*	サツマボラ			●	●
161					*Cymatium (Monoplex) mundum*	シロシノマキ	●		●	
162					*Cymatium (Gutturnium) muricinum*	シオボラ	●		●	
163					*Charonia tritonis*	ホラガイ				●
164				クリイロケシカニモリ	*Seila (Notoseila) morishimai*	ケシカニモリ	●			
165				ミツクチキリオレ	*Mastonia rubra*	ムラサキハラブトキリオレ	●	●	●	●
166					*Viriola vulpina*	トウマキキリオレ			●	●
167					Triphoridae	ミツクチキリオレ科			●	●
168				イトカケガイ	*Epitonium ancillottoi*	リュウキュウイトカケ		●		
169				フトコロガイ	*Euplica turturina*	マルフトコロ	●	●	●	●
170					*Euplica versicolor*	フトコロガイ	●	●	●	●
171					*Euplica varians*	チヂミフトコロ	●	●	●	●
172					*Pyrene punctata*	タモトガイ	●			
173					*Pardalinops flava*	ムシエビ	●	●	●	●
174					*Pardalinops testudinaria tylerae*	マツムシ	●	●	●	●
175					*Zafra hervieri*	ニヨリキリコノミニナ			●	
176				ムシロガイ	*Nassarius coronatus*	イボヨフバイ		●	●	●
177					*Nassarius (Niotha) albescens*	アワムシロ	●	●		●
178					*Nassarius (Niotha) semisulcatus*	アツムシロ			●	●
179					*Nassarius (Telasco) gaudiosus*	ヒメヨフバイ	●		●	●
180					*Nassarius (Telasco) reeveanus*	ミスジヨフバイ			●	
181				エゾバイ	*Engina lineata*	ノシメニナ			●	
182					*Engina zonalis*	ホソノシガイ	●	●	●	●
183					*Engina alveolata*	コツブノシガイ				●
184					*Engina astricta*	テンスジノシガイ	●			
185					*Engina mendicaria*	ノシガイ	●	●	●	●
186					*Cantharus (Pollia) undosa*	スジグロホラダマシ				●
187					*Cantharus (Pollia) fumosus*	ホラダマシ	●	●	●	●
188					*Cantharus (Clivipollia) pulchra*	クチベニホラダマシ				●
189					*Prodotia lannumi*	ホソカゴメベッコウバイ				●
190				イトマキボラ	*Pleuroploca filamentosa*	ナガイトマキボラ	●			
191					*Peristernia nassatula*	ムラサキツノマタモドキ				●
192					*Peristernia ustulata ustulata*	ハシグロツノマタモドキ	●	●	●	●
193					*Peristernia ustulata luchuana*	キイロツノマタモドキ	●	●	●	●
194					*Peristernia reincarnata*	クチベニツノマタモドキ	●			
195					*Benimakia fastigia*	ベニマキガイ	●	●	●	●
196					*Leucozonia smaragdula*	マルニシ	●	●	●	●
197					*Latirus (Hemipolygona) polygonus*	リュウキュウツノマタ	●	●	●	●
198					*Latirus belcheri*	ツノマタモドキ	●	●	●	●
199					*Latirulus (Turrilatirus) turritus*	スジグロニシキニナ		●	●	●
200				オニコブシ	*Vasum turbinellum*	コオニコブシ	●	●	●	●
201				アッキガイ	*Chicoreus (Triplex) strigatus*	コガンゼキ			●	●
202					*Chicoreus (Triplex) brunneus*	ガンゼキボラ	●	●	●	●
203					*Pascula ochrostoma*	キナフレイシダマシ	●			
204					*Drupella margariticola*	ウネレイシダマシ	●	●	●	●
205					*Drupella cornus*	シロレイシダマシ	●	●	●	●
206					*Drupella eburnea*	ニセシロレイシダマシ			●	●
207					*Drupella fragum*	ヒメシロレイシダマシ	●	●	●	●
208					*Maculotriton serriale serriale*	ゴマフヌカボラ	●		●	●
209					*Muricodrupa fiscella*	ヨウラクレイシダマシ	●	●		
210					*Muricodrupa fusca*	レイシダマシモドキ	●		●	

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（4）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和６年８月 22～24 日、９月５日、（任意）９月 17～18 日、（測線）９月６～８日、10～13 日
秋季（定点）令和６年 10 月９、10、22 日、11 月 21 日、（任意）10 月 16～17 日、（測線）11 月４、20～21 日、12 月２～３、６日
冬季（定点）令和７年１月 13、21 日、２月 20～22、25～26 日、（任意）１月 16～17 日、（測線）１月 18～20、22 日、２月 15～16、27 日
春季（定点）令和７年４月１～２、４～５日、５月１日、（任意）５月 13～14 日、（測線）４月 14、16～18 日、５月 12～14、16 日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
211	軟体動物	腹足	新生腹足	アッキガイ	*Muricodrupa* sp.	コウシレイシダマシ	●	●	●	●
212					*Tenguella granulata*	レイシダマシ	●	●	●	●
213					*Oppomorus purpureocinctus*	シロイボレイシダマシ	●		●	●
214					*Oppomorus funiculatus*	クロフレイシダマシ			●	●
215					*Morula anaxares*	ウネシロレイシダマシ		●		●
216					*Morula aspera*	ニッポンレイシダマシ	●		●	
217					*Morula* (*Habromorula*) sp.	クチムラサキレイシダマシ	●	●	●	●
218					*Morula* (*Habromorula*) *japonica*	ハチジョウレイシダマシ				●
219					*Drupa morum morum*	ムラサキイガレイシ	●	●	●	●
220					*Drupa ricinus ricinus*	キマダライガレイシ		●	●	●
221					*Drupa rubusidaeus*	アカイガレイシ	●	●	●	●
222					*Drupina grossularia*	キイロイガレイシ	●	●	●	●
223					*Menathais tuberosus*	ツノレイシ	●	●	●	●
224					*Thalessa aculeata*	ツノテツレイシ	●	●		
225					*Purpura persica*	ホソスジテツボラ				●
226					*Semiricinula squamosa*	コイワニシ	●	●		
227					*Reishia bronni*	レイシガイ				●
228					*Coralliophila violacea*	クチムラサキサンゴヤドリ	●	●	●	●
229					*Coralliophila erosa*	カブトサンゴヤドリ		●		
230					*Coralliophila monodonta*	ヒトハサンゴヤドリ	●	●	●	●
231				フデガイ	*Mitra* (*Nebularia*) *cucumerina*	カノコフデ			●	
232					*Mitra* (*Nebularia*) *chrysalis*	マユフデ	●	●		●
233					*Mitra* (*Strigatella*) *decurtata*	フトコロヤタテ	●		●	●
234					*Mitra* (*Strigatella*) *paupercula*	ナガシマヤタテ	●	●	●	●
235					*Mitra* (*Strigatella*) *litterata*	ミダレシマヤタテ	●	●	●	●
236					*Imbricaria vanikorensis*	チョウチンフデ				●
237					*Imbricaria punctata*	ツノイロチョウチンフデ	●			●
238				ミノムシガイ	*Vexillum* (*Costellaria*) *semifasciatum*	イトカケツクシ			●	●
239					*Vexillum* (*Costellaria*) *exaspertatum*	ハマヅト	●	●	●	●
240					*Vexillum* (*Costellaria*) *pacificum*	チヂミハマヅト		●	●	
241					*Vexillum* (*Costellaria*) *cadaverosum*	トゲハマヅト	●			
242					*Vexillum* (*Pusia*) *daedalum*	ハマオトメフデ				●
243					*Vexillum* (*Pusia*) *discolarium*	シマオトメフデ			●	
244					*Vexillum* (*Pusia*) *cancellarioides*	アラレオトメフデ			●	●
245					*Vexillum* (*Pusia*) *cremans*	ホノオノオトメフデ			●	
246					*Vexillum* (*Pusia*) *consanguineum*	ミヨリオトメフデ			●	●
247					*Vexillum* (*Pusia*) *amabile*	マメオトメフデ	●	●	●	●
248					*Vexillum* (*Pusia*) *lautum*	ハデオトメフデ				●
249					*Vexillum* (*Pusia*) *geronimae*	クロオトメフデ		●	●	
250					Costellariidae	ミノムシガイ科				●
251				イモガイ	*Conus* (*Fraterconus*) *distans*	イボカバイモ				●
252					*Conus* (*Stephanoconus*) *imperialis*	ミカドミナシ	●	●	●	
253					*Conus* (*Strategoconus*) *varius*	ムラクモイモ			●	
254					*Conus* (*Strategoconus*) *generalis*	アカシマミナシ		●		
255					*Conus* (*Strategoconus*) *planorbis*	ヒラマキイモ		●	●	●
256					*Conus* (*Rhizoconus*) *rattus*	ハイイロミナシ	●	●	●	●
257					*Conus* (*Rhizoconus*) *mustelinus*	イタチイモ		●		
258					*Conus* (*Rhizoconus*) *vexillum*	カバミナシ	●	●	●	
259					*Conus* (*Rhizoconus*) *miles*	ヤナギシボリイモ	●	●	●	●
260					*Conus* (*Puncticulus*) *arenatus*	コモンイモ	●		●	●
261					*Conus* (*Puncticulus*) *pullicarius*	ゴマフイモ		●	●	●
262					*Conus* (*Pionoconus*) *magus*	ヤキイモ			●	
263					*Conus* (*Pionoconus*) *striolatus*	メノウイモモドキ			●	
264					*Conus* (*Virroconus*) *fulgetrum*	サヤガタイモ	●	●	●	●
265					*Conus* (*Virroconus*) *coronatus*	ジュズカケサヤガタイモ	●		●	●
266					*Conus* (*Virroconus*) *ebraeus*	マダライモ	●	●	●	●
267					*Conus* (*Virroconus*) *chaldaeus*	コマダライモ	●	●	●	●
268					*Conus* (*Harmoniconus*) *musicus*	ガクフイモ	●	●	●	●
269					*Conus* (*Harmoniconus*) *sponsalis*	ハナワイモ		●	●	●
270					*Conus* (*Harmoniconus*) *sponsalis forma nanus*	シロセイロンイモ	●	●	●	●
271					*Conus* (*Tesselliconus*) *eburneus*	クロザメモドキ			●	
272					*Conus* (*Conus*) *marmoreus*	ナンヨウクロミナシ	●			
273					*Conus* (*Conus*) *bandanus*	クロミナシ			●	
274					*Conus* (*Darioconus*) *pennaceus*	アジロイモ			●	
275					*Conus* (*Cylinder*) *textile*	タガヤサンミナシ	●		●	
276					*Conus* (*Elisaconus*) *litteratus*	アンボンクロザメ	●	●	●	●
277					*Conus* (*Lithoconus*) *leopardus*	クロフモドキ				●
278					*Conus* (*Lividoconus*) *muriculatus*	ナガシマイモ		●	●	●
279					*Conus* (*Lividoconus*) *lividus*	イボシマイモ	●	●	●	●
280					*Conus* (*Lividoconus*) *sanguinolentus*	ニセイボシマイモ			●	

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（5）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
281	軟体動物	腹足	新生腹足	イモガイ	*Conus (Virgiconus) flavidus*	キヌカツギイモ	●	●	●	●
282					*Conus (Virgiconus) emaciatus*	ヤセイモ	●	●	●	●
283					*Conus (Virgiconus) virgo*	オトメイモ		●		
284					Conidae	イモガイ科		●		●
285				ヌノメシャジク	*Lienardia tricolor*	サンショクアラボリクチキレツブ				●
286				フデシャジク	*Pseudodaphnella philippinensis*	ヒサゴコウシツブ	●		●	●
287					*Pseudodaphnella barnardi*	チチジマコウシツブ			●	●
288					*Pseudodaphnella nexa*	ダルマコウシツブ			●	
289				ツノクダマキ	*Clavus unizonalis*	ヒトスジツノクダマキ			●	●
290					*Clavus lamberti*	レンガマキシャジク				●
291				クダマキガイ	*Turridrupa bijubata*	クロイトマキハラブトシャジク	●			
292				タケノコガイ	*Terebra subulata*	タケノコガイ		●		
293			裸側	トーリス	Doridiidae	トーリス科	●		●	
294				ツヅレウミウシ	*Jorunna rubescens*	ブッシュドノエルウミウシ	●			
295					*Halgerda tessellata*	モザイクウミウシ		●		
296				イロウミウシ	*Chromodoris preciosa*	*Chromodoris preciosa*			●	
297					*Glossodoris cincta*	チャイロウミウシ				●
298					*Hypselodoris infucata*	シモフリイロウミウシ			●	●
299					*Hypselodoris maridadilus*	クチナシイロウミウシ			●	
300					*Hypselodoris bullocki*	ゾウゲイロウミウシ			●	●
301				イボウミウシ	*Phyllidia varicosa*	タテヒダイボウミウシ			●	
302					*Phyllidia coelestis*	ソライロイボウミウシ	●		●	●
303					*Phyllidiella pustulosa*	コイボウミウシ	●	●	●	●
304					*Fryeria menindie*	タマゴイロイボウミウシ			●	●
305					Phyllidiidae	イボウミウシ科		●		
306				フジタウミウシ	*Roboastra gracilis*	リュウグウウミウシ	●			●
307				キヌハダウミウシ	*Gymnodoris inornata*	キヌハダウミウシ				●
308				ヨツスジミノウミウシ	*Pteraeolidia ianthina*	ムカデミノウミウシ	●	●	●	●
309			真後鰓	カノコキセワタガイ	*Chelidonura inornata*	オハグロツバメガイ	●		●	
310				ミドリガイ	*Phanerophthalmus smaragdinus*	チョウチョウミドリガイ			●	●
311				アメフラシ	*Aplysia (Pruvotaplysia) parvula*	クロヘリアメフラシ				●
312			汎有肺	カラマツガイ	*Siphonaria laciniosa*	コウダカカラマツガイ	●	●	●	●
313					*Siphonaria (Mestosiphon) atra*	ヒラカラマツガイ			●	●
314					*Siphonaria* sp.	コウダカカラマツ属		●		
315				チドリミドリガイ	*Plakobranchus ocellatus*	チドリミドリガイ	●	●	●	●
316				ゴクラクミドリガイ	*Elysia splendens*	ハナミドリガイ			●	●
317					*Elysia livida*	チゴミドリガイ		●		
318					*Thuridilla splendens*	ヨソラミドリガイ	●	●	●	
319					*Thuridilla kathae*	トウアカミドリガイ			●	
320					*Thuridilla carlsoni*	シロアミミドリガイ		●		
321					Elysiidae	ゴクラクミドリガイ科	●		●	
322				トウガタガイ	*Pyramidella maculosa*	オオクチキレ		●		
323					*Otopleura glans*	スソグロクチキレ	●	●	●	●
324				イソアワモチ	Onchidiidae	イソアワモチ科	●	●	●	●
325		頭足	八腕形	マダコ	*Octopus cyanea*	ワモンダコ	●	●	●	●
326					*Abdopus aculeatus*	ウデナガカクレダコ	●			
327		掘足	ツノガイ	ゾウゲツノガイ	*Antalis weinkauffi*	ツノガイ			●	
328		二枚貝	フネガイ	フネガイ	*Arca patriarchalis*	フネガイ	●	●	●	●
329					*Arca ventricosa*	オオタカノハガイ		●	●	
330					*Barbatia (Abarbatia) lima*	エガイ	●	●	●	●
331					*Barbatia (Abarbatia) foliata*	オオカリガネエガイ	●	●	●	●
332					*Barbatia (Savignyarca) virescens*	カリガネエガイ	●	●		●
333					*Barbatia (Savignyarca) cometa*	トマヤエガイ	●		●	
334					*Barbatia (Ustularca) lacerata*	オオミノエガイ			●	
335					*Barbatia (Ustularca) amygdalum tostum*	ベニエガイ	●	●	●	●
336					*Barbatia (Ustularca) cruciata*	クロミノエガイ	●	●	●	●
337					*Barbarca tenella*	ハブタエエガイ	●	●	●	
338					*Acar plicata*	コシロガイ	●	●	●	●
339					*Anadara antiquata*	リュウキュウサルボウ				●
340					Arcidae	フネガイ科	●	●	●	●
341			イガイ	イガイ	*Septifer bilocularis*	クジャクガイ	●		●	
342					*Septifer excisus*	シロインコ				●
343					*Modiolus auriculatus*	リュウキュウヒバリガイ		●		●
344					*Modiolus philippinarum*	ホソスジヒバリガイ	●	●	●	●
345					*Botula cinnamomea*	ヌリマクラ	●	●		
346					*Lithophaga zitteliana*	シギノハシ	●		●	
347					Mytilidae	イガイ科		●		
348			ウグイスガイ	ウグイスガイ	*Pteria peasei*	ツバメガイ			●	
349					*Pinctada maculata*	ミドリアオリ	●	●	●	●
350					*Pinctada fucata martensii*	アコヤガイ	●		●	

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（6）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（任意）9 月 17～18 日、（測線）9 月 6～8 日、10～13 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 9、10、22 日、11 月 21 日、（任意）10 月 16～17 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～22、25～26 日、（任意）1 月 16～17 日、（測線）1 月 18～20、22 日、2 月 15～16、27 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日、（任意）5 月 13～14 日、（測線）4 月 14、16～18 日、5 月 12～14、16 日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
351	軟体動物	二枚貝	ウグイスガイ	ウグイスガイ	*Pinctada margaritifera*	クロチョウガイ	●	●		●
352					*Electroma ovata*	シマウグイス	●	●	●	●
353				シュモクガイ	*Malleus (Malvufundus) regula*	ニワトリガキ	●	●	●	●
354				マクガイ	*Isognomon ephippium*	マクガイ	●	●	●	●
355					*Isognomon legumen*	シロアオリ		●	●	
356					*Isognomon perna*	カイシアオリ	●	●	●	●
357					*Isognomon isognomum*	シュモクアオリ			●	
358				イタボガキ	*Ostrea subucula*	チャワンガキ	●		●	
359					*Saccostrea mordax*	オハグロガキ	●	●	●	●
360					*Dendrostrea folium*	ワニガイ				●
361					Ostreidae	イタボガキ科	●	●	●	●
362				ベッコウガキ	Glyphaeidae	ベッコウガキ科				●
363				ハボウキガイ	*Pinna muricata*	イワカワハゴロモ	●	●	●	●
364					*Streptopinna saccata*	カゲロウガイ	●		●	
365			ミノガイ	ミノガイ	*Lima vulgaris*	ミノガイ		●	●	●
366					*Ctenoides annulatus*	ミダレハネガイ				●
367					*Limaria basilanica*	オオユキミノ	●		●	
368					*Limaria fragilis*	ヒラユキミノ	●	●		
369					*Limaria perfragile*	カゲロウミノ	●			
370			イタヤガイ	イタヤガイ	*Chlamys (Laevichlamys) squamosa*	リュウキュウナデシコ	●	●	●	●
371					*Pedum spondyloideum*	ウミギクモドキ	●	●	●	●
372				ウミギク	*Spondylus nicobaricus*	ミヒカリメンガイ			●	
373					*Spondylus nicobaricus ciliatus*	ショウジョウカズラ	●	●	●	●
374					*Spondylus varius*	ミズイリショウジョウ				●
375					Spondylidae	ウミギク科	●	●	●	
376				ネズミノテ	*Plicatula australis*	カスリイシガキモドキ	●	●	●	●
377					*Plicatula horrida*	イシガキモドキ	●	●	●	
378			トマヤガイ	トマヤガイ	*Cardita variegata*	クロフトマヤガイ	●	●	●	●
379			マルスダレガイ	ツキガイ	*Codakia paytenorum*	ウラキツキガイ	●			
380					*Ctena delicatula*	ウミアサガイ	●			
381					*Epicodakia bella*	ヒメツキガイ		●		●
382					*Wallucina striata*	チヂミウメノハナ	●			
383					*Anodontia edentula*	カブラツキガイ	●	●		●
384					Lucinidae	ツキガイ科				●
385				キクザルガイ	Chamidae	キクザルガイ科	●	●	●	●
386				ウロコガイ	*Scintilla timorensis*	イオウノシタタリ			●	
387					*Scintilla anomala*	ツマベニマメアゲマキ	●	●	●	●
388					*Galeomma roseum*	バライロマメアゲマキ		●	●	●
389					Galeommatidae	ウロコガイ科	●	●	●	●
390				チリハギガイ	*Radobornia bryani*	チチノシタタリ				●
391					*Nesobornia bulla*	ミガキシタタリ			●	
392				ツクエガイ	Gastrochaenidae	ツクエガイ科	●	●	●	●
393				ザルガイ	*Regozara angulata*	リュウキュウザル	●			●
394					*Fragum fragum*	オオヒシガイ				●
395					*Fragum unedo*	カワラガイ				●
396					*Fragum loochooanum*	オキナワヒシガイ				●
397					*Fragum mundum*	クサビヒシガイ				●
398					*Corculum cardissa*	リュウキュウアオイ	●			●
399					*Corculum impressum*	インドアオイ			●	
400				シャコガイ	*Hippopus hippopus*	シャゴウ	●		●	
401					*Tridacna crocea*	ヒメシャコ	●	●	●	●
402					*Tridacna squamosa*	ヒレシャコ	●	●	●	●
403					*Tridacna maxima*	シラナミ	●	●	●	●
404					*Tridacna noae*	トガリシラナミ	●	●	●	●
405				マルスダレガイ	*Periglypta puerpera*	ヌノメガイ			●	●
406					*Periglypta clathrata*	オオヌノメガイ		●		
407					*Glycydonta marica*	カノコアサリ		●		●
408					*Gafrarium tumidum*	アラスジケマンガイ			●	
409					*Gafrarium pectinatum*	ホソスジイナミガイ	●	●	●	●
410					*Gafrarium dispar*	イナミガイ	●		●	●
411					*Pitar citrinus*	ユウカゲハマグリ		●		
412					*Pitar (Pitarina) pellucidus*	オミナエシハマグリ		●	●	
413					*Pitar (Pitarina) subpellucidus*	オトコエシハマグリ		●	●	●
414					*Bonartemis histrio histrio*	オイノカガミ			●	
415					*Ruditapes variegatus*	ヒメアサリ		●		
416					*Irus macrophylus*	ハネマツカゼ	●	●	●	●
417				ニッコウガイ	*Tellinella crucigera*	ヒノデガイの一種		●		●
418					*Tellinella staurella*	ヒメニッコウガイ		●	●	●
419					*Jactellina compta*	ミクニシボリザクラ	●			
420				シオサザナミ	*Grammatomya squamosa*	ハスメヨシガイ	●			

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（7）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
421	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	バカガイ	*Mactra maculata*	リュウキュウバカガイ	●		●	●
422	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	ウロコムシ	*Gastrolepidia clavigera*	ナマコウロコムシ	●	●	●	
423					Polynoidae	ウロコムシ科	●	●	●	●
424				チロリ	Glyceridae	チロリ科		●		
425				オトヒメゴカイ	Hesionidae	オトヒメゴカイ科		●		
426			ウミケムシ	ウミケムシ	Amphinomidae	ウミケムシ科	●	●	●	●
427			フサゴカイ	フサゴカイ	Terebellidae	フサゴカイ科	●			●
428			ケヤリムシ	ケヤリムシ	*Bispira tricyclia*	カタマキケヤリ		●		●
429					*Hypsicomus phaeotaenia*	ノリクラケヤリ				●
430					*Sabellastarte sanctijosephi*	インドケヤリ		●	●	
431					Sabellidae	ケヤリムシ科	●	●	●	●
432				カンザシゴカイ	*Spirobranchus giganteus corniculatus*	イバラカンザシゴカイ	●	●	●	●
433					Serpulidae	カンザシゴカイ科	●	●	●	●
434				ウズマキゴカイ	Spirorbidae	ウズマキゴカイ科	●	●	●	●
435			–	–	Polychaeta	ゴカイ綱	●	●	●	●
436	ユムシ動物	–	キタユムシ	ボネリムシ	Bonelliidae	ボネリムシ科		●	●	●
437			–	–	Echiura	ユムシ動物門	●	●		●
438	星口動物	スジホシムシ	フクロホシムシ	スジホシムシ	*Siphonosoma* sp.	スジホシムシモドキ属		●	●	
439					*Sipunculus nudus*	スジホシムシ	●	●		
440		サメハダホシムシ	サメハダホシムシ	サメハダホシムシ	Phascolosomatidae	サメハダホシムシ科			●	●
441		–	–	–	Sipuncula	星口動物門	●	●	●	
442	節足動物	アゴアシ	有肛	サンゴフジツボ	*Berndtia purpurea*	ルリツボムシ	●	●	●	●
443					*Savignium milleporum*	ヒドロサンゴフジツボ	●	●	●	●
444					Lithoglyptidae	サンゴフジツボ科	●	●	●	●
445			無柄	フジツボ	*Amphibalanus amphitrite*	タテジマフジツボ				●
446		軟甲	シャコ	フトユビシャコ	*Gonodactylus chiragra*	フトユビシャコ	●	●	●	●
447					*Gonodactylellus viridis*	コトゲフトユビシャコ	●	●	●	●
448					Gonodactylidae	フトユビシャコ科	●	●	●	●
449				ハナシャコ	*Odontodactylus scyllarus*	モンハナシャコ		●		
450				ウニシャコ	*Haptosquilla glyptocercus*	シワトジオシャコ	●			
451					*Haptosquilla pulchella*	ミツヤマトジオシャコ				●
452					Protosquillidae	ウニシャコ科	●	●	●	●
453				ヒメシャコ	*Pullosquilla litoralis*	コドモヒメシャコ	●	●		●
454			ヨコエビ	–	Amphipoda	ヨコエビ目	●	●	●	●
455			ワラジムシ	コツブムシ	Sphaeromatidae	コツブムシ科				●
456			エビ	クルマエビ	*Metapenaeopsis commensalis*	*Metapenaeopsis Commensalis*		●		
457				ドウケツエビ	*Microprosthema validum*	サンゴヒメエビ			●	●
458					*Microprosthema* sp.	サンゴヒメエビ属	●			
459				テナガエビ	*Leander tenuicornis*	マイヒメエビ	●	●	●	
460					*Ancylocaris brevicarpalis*	イソギンチャクエビ	●	●		
461					*Ancylomenes venustus*	ニセアカホシカクレエビ	●			
462					*Coralliocaris graminea*	クサイロモシオエビ	●		●	●
463					*Coralliocaris superba*	モシオエビ	●	●	●	
464					*Coralliocaris* sp.	モシオエビ属	●	●	●	
465					*Cuapetes elegans*	シオダマリカクレエビ	●	●	●	●
466					*Cuapetes platycheles*	オシャレカクレエビ	●			
467					*Cuapetes seychellensis*	セイシェルヤドリエビ		●		
468					*Cuapetes* sp.	テナガカクレエビ属	●	●		
469					*Hamopontonia corallicola*	*Hamopontonia corallicola*	●	●	●	
470					*Harpilius lutescens*	テンポウカクレエビ	●	●		
471					*Jocaste* sp.	カタテモシオエビ属	●			
472					*Periclimenella spinifera*	エンマカクレエビ	●	●	●	●
473					*Periclimenes* sp.	ホンカクレエビ属	●	●	●	●
474					*Philarius imperialis*	ミカドミドリイシエビ	●			
475					*Philarius gerlachei*	ミドリイシエビ	●	●	●	●
476					Palaemonidae	テナガエビ科	●	●	●	
477				テッポウエビ	*Arete acanthocarpus*	シマヤドリエビ				●
478					*Arete* cf. *indicus* var. Nijiiro	ニジイロヤドリエビ				●
479					*Aretopsis amabilis*	クレナイヤドカリテッポウエビ				●
480					*Automate dolichognatha*	オトヒメテッポウエビ	●	●		●
481					*Salmoneus ngae*	*Salmoneus ngae*	●	●	●	
482					*Salmoneus tricristatus*	ミスジノコギリテッポウエビ				●
483					*Alpheus bidens*	フタトゲテッポウエビ				●
484					*Alpheus ehlersii*	ヒメカスリテッポウエビ			●	
485					*Alpheus lanceloti*	スナカスリテッポウエビ	●	●		●
486					*Alpheus lobidens*	イソテッポウエビ	●			
487					*Alpheus lottini*	サンゴテッポウエビ	●	●	●	
488					*Alpheus macellarius*	ホリテッポウエビ				●
489					*Alpheus obesomanus*	ヤワテッポウエビ				●
490					*Alpheus rapax*	トウゾクテッポウエビ	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（8）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
491	節足動物	軟甲	エビ	テッポウエビ	*Alpheus savuensis*	サブテッポウエビ	●	●		
492					*Alpheus strenuus*	サワギテッポウエビ	●	●	●	●
493					*Alpheus* sp.	フナフチテッポウエビ	●			
494					*Alpheus* sp.	テッポウエビ属	●	●	●	●
495					*Athanas djiboutensis*	トゲテッポウエビ			●	
496					*Athanas dimorphus*	アシボソヨコシマムラサキエビ	●	●	●	●
497					*Athanas japonicus*	セジロムラサキエビ		●		
498					*Leptalpheus pacificus*	*Leptalpheus pacificus*		●		
499				モエビ	*Hippolyte ventricosa*	ナガレモエビ				●
500					*Saron marmoratus*	フシウデサンゴモエビ	●	●	●	●
501					*Saron neglectus*	サンゴモエビ				●
502					Hippolytidae	モエビ科	●	●	●	●
503				ヒメサンゴモエビ	*Thor amboinensis*	イソギンチャクモエビ	●		●	
504				アナエビ	*Axiopsis serratifrons*	ヘンゲアナエビ	●	●		
505					Axiidae	アナエビ科	●	●	●	●
506				スナモグリ	*Paratrypaea chichijimaensis*	ブビエスナモグリ				●
507				オオスナモグリ	*Corallianassa borradailei*	モバホソスナモグリ	●			
508				リュウグウスナモグリ	*Calliaxina novaebritanniae*	クモリスナモグリ	●		●	
509					*Eucalliaxiopsis inaequimana*	フタモンスナモグリ	●			
510				Strahlaxiidae	*Neaxius acanthus*	ヤハズアナエビ	●	●	●	●
511				ハサミシャコエビ	*Naushonia lactoalbida*	*Naushonia lactoalbida*				●
512				コシオリエビ	*Coralliogalathea tridentirostris*	*Coralliogalathea tridentirostris*		●		●
513					*Galathea acis*	ホクロコシオリエビ	●	●	●	●
514					Galatheidae	コシオリエビ科		●	●	●
515				カニダマシ	*Enosteoides palauensis*	パラオカニダマシ				●
516					*Neopetrolisthes maculatus*	アカホシカニダマシ	●			
517					*Pachycheles pisoides*	ミナミコブカニダマシ	●			
518					*Petrolisthes asiaticus*	アジアアカハラ			●	●
519					*Petrolisthes japonicus*	イソカニダマシ	●		●	
520					*Petrolisthes obtusifrons*	*Petrolisthes obtusifrons*	●			●
521					*Petrolisthes pubescens*	ケブカカニダマシ	●	●	●	●
522					*Petrolisthes shanyingi*	*Petrolisthes Shanyingi*			●	●
523					*Petrolisthes trilobatus*	アラナミヒロバカニダマシ				●
524					Porcellanidae	カニダマシ科			●	
525				ヤドカリ	*Calcinus gaimardii*	セグロサンゴヤドカリ	●	●	●	●
526					*Calcinus laevimanus*	スベスベサンゴヤドカリ	●	●	●	●
527					*Calcinus latens*	ツマジロサンゴヤドカリ	●	●	●	●
528					*Calcinus lineapropodus*	カザリサンゴヤドカリ				●
529					*Calcinus minutus*	アカツメサンゴヤドカリ	●	●	●	●
530					*Calcinus morgani*	クリイロサンゴヤドカリ	●	●	●	●
531					*Calcinus pulcher*	キカザリサンゴヤドカリ		●	●	●
532					*Calcinus vachoni*	ウスイロサンゴヤドカリ	●	●	●	●
533					*Clibanarius corallinus*	サンゴヨコバサミ	●	●	●	●
534					*Clibanarius englaucus*	ツマキヨコバサミ	●	●	●	●
535					*Clibanarius eurysternus*	イモガイヨコバサミ	●	●	●	●
536					*Clibanarius humilis*	マダラヨコバサミ	●	●	●	●
537					*Clibanarius longitarsus*	ツメナガヨコバサミ		●		
538					*Clibanarius striolatus*	タテジマヨコバサミ	●	●	●	●
539					*Dardanus deformis*	カブトヤドカリ	●		●	●
540					*Dardanus guttatus*	アオボシヤドカリ	●	●		●
541					*Dardanus lagopodes*	オイランヤドカリ	●	●		
542					*Dardanus megistos*	コモンヤドカリ	●		●	●
543					*Dardanus scutellatus*	ヒラテヤドカリ		●	●	●
544					*Dardanus* sp.	ヤドカリ属		●		
545					*Diogenes biramous*	*Diogenes biramous*				●
546					*Diogenes pallescens*	*Diogenes pallescens*	●	●	●	●
547					*Diogenes tumidus*	*Diogenes tumidus*				●
548					*Diogenes* sp.	ツノヤドカリ属			●	●
549					*Ciliopagurus strigatus*	ベニワモンヤドカリ	●	●	●	●
550					Diogenidae	ヤドカリ科		●		
551				ホンヤドカリ	*Paguritta rittata*	カンザシヤドカリ	●	●	●	●
552					*Pagurixus anceps*	ユビワヒメホンヤドカリ		●	●	●
553					*Pagurixus haigae*	*Pagurixus haigae*	●	●	●	●
554					*Pagurixus* sp.	ヒメホンヤドカリ属				●
555					*Pagurus hirtimanus*	オキナワホンヤドカリ	●		●	
556					*Pagurus minutus*	ユビナガホンヤドカリ				●
557					Paguridae	ホンヤドカリ科		●	●	●
558				-	Anomura	ヤドカリ亜目	●	●	●	●
559				カラッパ	*Calappa hepatica*	ソデカラッパ	●	●	●	●
560				メガネオウギガニ	*Dacryopilumnus rathbunae*	メガネオウギガニ	●	●		●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（9）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
561	節足動物	軟甲	エビ	カノコオウギガニ	*Daira perlata*	カノコオウギガニ	●			●
562				イワオウギガニ	*Eriphia scabricula*	ヒメイワオウギガニ	●	●		●
563					*Eriphia sebana*	イワオウギガニ	●	●	●	●
564				エンコウガニ	*Notonyx kumi*	リュウキュウカクエンコウガニ	●			
565				ヤワラガニ	*Elamena panglao*	ハジカサーヒメソバガラガニ		●	●	
566					*Elamena truncata*	ヒメソバガラガニ		●	●	●
567					*Trigonoplax* sp.	*Trigonoplax*属				●
568				コブシガニ	*Alox chaunos*	フカミゾカルイシコブシ	●	●		
569					*Alox rugosum*	シワカルイシコブシ	●			●
570					*Ebalia* aff. *woodmasoni*	*Ebalia woodmasoni*類似種				●
571					*Ebaliopsis erosa*	クルミコブシ				●
572				モガニ	*Menaethius monoceros*	イッカクガニ	●	●	●	●
573					*Tylocarcinus styx*	アシズリツノガニ	●	●	●	●
574				クモガニ	*Camposcia retusa*	モクズショイ			●	
575					*Litosus sexspinosus*	シャクドウマメツブガニ		●		
576				イッカククモガニ	*Pyromaia tuberculata*	イッカククモガニ			●	
577				ケアシガニ	*Schizophrys aspera*	ノコギリガニ			●	●
578					*Micippa philyra*	コワタクズガニ		●		●
579					*Micippa platipes*	ヒラワタクズガニ		●	●	●
580					*Micippa* sp.	ワタクズガニ属	●		●	
581					*Tiarinia cornigera*	イソクズガニ	●	●	●	●
582					*Tiarinia dana*	ツノナガイソクズガニ			●	
583				ヒシガニ	*Pseudolambrus sundaicus*	クビナシヒシガニ	●			
584				ケブカガニ	*Actumnus marissinicus*	シナカイイボテガニ		●	●	●
585					*Actumnus* sp.	イボテガニ属	●	●	●	●
586					*Aniptumnus* sp.	*Aniptumnus*属	●			
587					*Myopilumnus sculpta*	ウキボリタコガニ		●		
588					*Pilumnopeus marginatus*	ミナミトラノオガニ	●			
589					*Pilumnus caerulescens*	ニューカレドニアケブカガニ	●	●	●	●
590					*Pilumnus trispinosus*	トラノオガニダマシ			●	
591					*Pilumnus vespertilio*	ケブカガニ	●	●	●	●
592					*Pilumnus* sp.	ケブカガニ属				●
593					*Viaderiana longipes*	カーミージーケブカガニ				●
594					Pilumnidae	ケブカガニ科	●	●		
595				ワタリガニ	*Cycloachelous granulatus*	サメハダヒメガザミ	●	●	●	●
596					*Xiphonectes iranjae*	ツノヒメガザミ	●	●		●
597					*Thalamita admete*	フタハベニツケモドキ	●	●	●	●
598					*Thalamita chaptali*	チャプタルベニツケガニ	●	●	●	●
599					*Thalamita integra*	ヒメフタハベニツケガニ	●	●	●	●
600					*Thalamita sima*	フタハベニツケガニ		●	●	
601					*Thalamita stephensoni*	ステフェンソンベニツケガニ	●	●	●	●
602					*Thalamita* sp.	フタハベニツケガニ属				●
603					*Thalamitoides tridens*	ヒメミドリベニツケガニ	●	●		
604					*Thranita coeruleipes*	ゴウシュウベニツケガニ	●			●
605					*Thranita crenata*	ミナミベニツケガニ				●
606					*Thranita danae*	ミナミベニツケモドキ	●	●	●	●
607					*Thranita* sp.	*Thranita*属		●	●	
608					*Trierarchus demani*	ミスジベニツケガニ	●	●	●	●
609				ドメシアガニ	*Domecia glabra*	ヒメドメシアガニ	●		●	●
610				ヒメサンゴガニ	*Tetralia* sp.	ヒメサンゴガニ属	●	●	●	●
611				サンゴガニ	*Trapezia bidentata*	カバイロサンゴガニ	●	●		●
612					*Trapezia cymodoce*	サンゴガニ	●		●	●
613					*Trapezia rufopunctata*	オオアカホシサンゴガニ	●	●	●	
614					*Trapezia septata*	アミメサンゴガニ	●	●	●	●
615					*Trapezia* sp.	サンゴガニ属	●	●	●	●
616				オウギガニ	*Actaeodes hirsutissimus*	アラゲアワツブガニ				●
617					*Actaeodes tomentosus*	ビロードアワツブガニ	●	●	●	●
618					*Chlorodiella barbata*	ケフサテナガオウギガニ	●	●	●	●
619					*Chlorodiella crispipleopa*	ナギテナガオウギガニ			●	
620					*Chlorodiella cytherea*	ヒメテナガオウギガニ	●		●	●
621					*Chlorodiella laevissima*	アゴガオウギガニ			●	
622					*Chlorodiella nigra*	クロテナガオウギガニ	●		●	●
623					*Cyclodius granulosus*	ツブヒゾメオウギガニ		●	●	
624					*Cyclodius obscurus*	ヒゾメオウギガニモドキ	●		●	●
625					*Cyclodius ungulatus*	ヒゾメオウギガニ	●	●		●
626					*Cymo andreossyi*	ヒメキモガニ	●	●	●	●
627					*Cymo quadrilobatus*	アワハダキモガニ	●		●	●
628					*Cymo melanodactylus*	キモガニ	●	●	●	●
629					*Etisus bifrontalis*	ヒメヒゾメガニモドキ	●	●	●	●
630					*Etisus demani*	デマンヒゾメガニ			●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（10）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
631	節足動物	軟甲	エビ	オウギガニ	*Etisus electra*	ヒメヒゾメガニ	●	●	●	●
632					*Etisus laevimanus*	ヒゾメガニ	●	●	●	●
633					*Etisus* sp.	ヒゾメガニ属				●
634					*Kraussia rugulosa*	シワゴイシガニ	●		●	●
635					*Leptodius affinis*	オウギガニ	●	●	●	●
636					*Leptodius gracilis*	コオウギガニ			●	●
637					*Leptodius nudipes*	ダーナオウギガニ	●	●	●	●
638					*Leptodius sanguineus*	ムツハオウギガニ			●	●
639					*Liocarpilodes harmsi*	ヤエヤマトゲオウギガニ			●	●
640					*Liomera bella*	ムラサキチリメンガニ	●			●
641					*Liomera laevis*	ヒメベニオウギガニ		●		●
642					*Liomera* sp.	ベニオウギガニ属			●	
643					*Lophozozymus dodone*	ヒメヒロハオウギガニ				●
644					*Luniella pugil*	ヒメトゲオウギガニ				●
645					*Luniella scabricula*	*Luniella scabricula*	●			
646					*Macromedaeus crassimanus*	アルフォンシワオウギガニ				●
647					*Novactaea pulchella*	ムラサキアワツブガニ			●	
648					*Palapedia marquesa*	*Palapedia marquesa*			●	●
649					*Palapedia rastripes*	ココスゴインガニ	●			
650					*Paractaea plumosa*	ケブカアワツブモドキ				●
651					*Paramedaeus simplex*	ハリダシオウギガニモドキ	●			
652					*Paraxanthias elegans*	ヒメオウギガニ	●	●	●	
653					*Pilodius areolatus*	ツブトゲオウギガニ	●	●		●
654					*Pilodius nigrocrinitus*	トゲオウギガニ	●	●	●	●
655					*Pilodius pilumnoides*	ミナミトゲオウギガニ	●	●	●	
656					*Platypodia pseudogranulosa*	ツブヒラアシオウギガニ				●
657					*Psaumis cavipes*	エリアシアワツブガニ	●		●	●
658					*Vellodius etisoides*	シワトゲオウギガニ				●
659					*Xanthias lamarckii*	ラマルクヒメオウギガニ		●		
660					*Zozymodes pumilus*	グアムエリアシオウギガニ			●	
661					Xanthidae	オウギガニ科	●	●	●	
662				サンゴヤドリガニ	*Hapalocarcinus* sp.	サンゴヤドリガニ属	●			
663				イワガニ	*Metopograpsus thukuhar*	ハシリイワガニモドキ			●	●
664					*Pachygrapsus minutus*	ヒメイワガニ	●	●	●	●
665					*Pachygrapsus planifrons*	イダテンイワガニ	●	●	●	●
666					Grapsidae	イワガニ科	●		●	
667				トゲアシガニ	*Percnon abbreviatum*	ミナミトゲアシガニ	●		●	
668					Percnidae	トゲアシガニ科			●	
669				ベンケイガニ	*Nanosesarma andersoni*	クチキヒメベンケイガニ		●	●	●
670					*Nanosesarma vestitum*	ケブカベンケイガニ			●	●
671				コメツキガニ	*Ilyoplax integra*	ミナミチゴガニ		●	●	
672				オサガニ	*Chaenostoma crassimanus*	ヒメカクオサガニ	●	●		●
673					*Macrophthalmus milloti*	ミナミメナガオサガニ	●	●	●	●
674					*Macrophthalmus serenei*	メナガオサガニ	●	●	●	●
675				スナガニ	*Gelasimus tetragonon*	ルリマダラシオマネキ	●			●
676	腕足動物	有関節	ホウズキガイ	ダルナ	*Frenulina sanguinolenta*	フレヌラソデガイ	●			
677	苔虫動物	–	–	–	Bryozoa	苔虫動物門	●	●	●	●
678	半索動物	ギボシムシ	–	–	Enteropneusta	ギボシムシ綱	●	●	●	●
679	棘皮動物	ウミユリ	ウミシダ	–	Comatulida	ウミシダ目	●	●	●	●
680		ヒトデ	アカヒトデ	コブヒトデ	*Culcita novaeguineae*	マンジュウヒトデ	●	●	●	●
681				オニヒトデ	*Acanthaster planci*	オニヒトデ			●	●
682				ホウキボシ	*Fromia monilis*	ジュズベリヒトデ	●			●
683					*Fromia indica*	アミメジュズベリヒトデ	●	●	●	●
684					*Fromia milleporella*	アカヒメジュズベリヒトデ	●	●	●	
685					*Nardoa tuberculata*	イボヒトデ		●	●	
686					*Nardoa* sp. aff. variolata	アズキイボヒトデ		●		●
687					*Linckia laevigata*	アオヒトデ	●	●	●	●
688					*Linckia multifora*	ゴマフヒトデ			●	●
689					*Ophidiaster granifer*	アマゾネスホウキボシ	●		●	●
690				–	Valvatida	アカヒトデ目				●
691			ルソンヒトデ	ルソンヒトデ	*Echinaster luzonicus*	ルソンヒトデ	●	●	●	●
692		クモヒトデ	クモヒトデ	チビクモヒトデ	Ophiactidae	チビクモヒトデ科		●		
693				スナクモヒトデ	*Amphipholis squamata*	イソコモチクモヒトデ	●	●	●	●
694				トゲクモヒトデ	*Ophiothrix* sp.	トゲクモヒトデ属		●		
695					*Macrophiothrix longipeda*	ウデナガクモヒトデ	●	●	●	●
696					*Macrophiothrix rhabdota*	シロスジクモヒトデ		●	●	
697				リュウコツクモヒトデ	*Ophionereis porrecta*	ミツイタクモヒトデ	●		●	●
698				アワハダクモヒトデ	*Ophiarachnella infernalis*	ミナミイツツメクモヒトデ	●		●	●
699					*Ophiarachna incrassata*	オオクモヒトデ				●
700				フサクモヒトデ	*Ophiocoma dentata*	ゴマフクモヒトデ	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.28（11）　底生動物（メガロベントス）の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（任意）9月17～18日、（測線）9月6～8日、10～13日
秋季（定点）令和6年10月9、10、22日、11月21日、（任意）10月16～17日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（任意）1月16～17日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（任意）5月13～14日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
701	棘皮動物	クモヒトデ	クモヒトデ	フサクモヒトデ	*Ophiocoma scolopendrina*	ウデフリクモヒトデ	●	●	●	●
702					*Ophiocoma erinaceus*	クロクモヒトデ	●	●	●	●
703					*Ophiocoma pica*	ホウシャクモヒトデ	●	●	●	●
704					*Ophiomastix mixta*	アカクモヒトデ	●			
705					*Ophiomastix annulosa*	オオフサクモヒトデ	●	●	●	●
706					*Ophiomastix janualis*	オニクモヒトデ	●			
707					*Ophiarthrum elegans*	オハグロクモヒトデ	●	●	●	●
708					*Ophiarthrum lymani*	ヒメオハグロクモヒトデ				●
709				クモヒトデ	*Ophioplocus imbricatus*	コグチクモヒトデ	●	●	●	●
710					*Ophiolepis cincta*	ダンゴクモヒトデ	●	●	●	●
711					*Ophiolepis superba*	ワモンクモヒトデ	●	●	●	
712			–	–	Ophiuroidea	クモヒトデ綱	●	●	●	●
713		ウニ	オウサマウニ	オウサマウニ	*Eucidaris metularia*	マツカサウニ			●	
714					*Plococidaris verticillata*	フシザオウニ	●		●	●
715			ガンガゼ	ガンガゼ	*Diadema savignyi*	アオスジガンガゼ	●	●	●	●
716					*Diadema setosum*	ガンガゼ		●	●	
717					*Echinothrix calamaris*	トックリガンガゼモドキ	●	●	●	●
718			アスナロウニ	クロウニ	*Stomopneustes variolaris*	クロウニ		●	●	
719			ホンウニ	サンショウウニ	*Mespilia globulus*	コシダカウニ			●	
720					Temnopleuridae	サンショウウニ科		●		●
721				ラッパウニ	*Tripneustes gratilla*	シラヒゲウニ				●
722				ナガウニ	*Echinometra mathaei*	ホンナガウニ	●	●	●	●
723					*Echinometra oblonga*	ヒメクロナガウニ		●	●	●
724					*Echinometra* sp. TypeA	ツマジロナガウニ	●	●	●	●
725					*Echinostrephus molaris*	ミナミタワシウニ	●	●	●	●
726					*Heterocentrotus mammillatus*	パイプウニ	●	●	●	●
727		ナマコ	樹手	スクレロダクティラ	*Afrocucumis africana*	ムラサキグミモドキ	●	●		
728			楯手	クロナマコ	*Actinopyga echinites*	トゲクリイロナマコ	●	●	●	●
729					*Actinopyga mauritiana*	クリイロナマコ			●	
730					*Actinopyga* sp.	オオクリイロナマコ			●	
731					*Bohadschia argus*	ジャノメナマコ	●	●	●	●
732					*Bohadschia bivittata*	フタスジナマコ	●	●	●	●
733					*Holothuria (Halodeima) atra*	クロナマコ	●	●	●	●
734					*Holothuria (Halodeima) edulis*	アカミシキリ	●	●	●	●
735					*Holothuria (Lesspnothuria) pardalis*	イソナマコ			●	
736					*Holothuria (Mertensiothuria) leucospilota*	ニセクロナマコ	●	●	●	●
737					*Holothuria (Mertensiothuria)* sp.	モグラクロナマコ		●		
738					*Holothuria (Platyperona) difficilis*	チビナマコ	●	●	●	●
739					*Holothuria (Selenkothuria) moebi*	テツイロナマコ				●
740					*Holothuria (Thymiosycia) arenicola*	ミナミフジナマコ				●
741					*Holothuria (Thymiosycia) hilla*	リュウキュウフジナマコ		●	●	●
742					*Holothuria (Thymiosycia) impatiens*	イサミナマコ	●			
743					Holothuriidae gen. sp.	クロナマコ科の1種	●		●	●
744				シカクナマコ	*Stichopus chloronotus*	シカクナマコ	●	●	●	●
745					*Stichopus horrens*	オニイボナマコ	●		●	
746			無足	イカリナマコ	*Euapta godeffroyi*	トゲオオイカリナマコ	●			
747					*Synapta maculata*	オオイカリナマコ			●	●
748					Synaptidae	イカリナマコ科			●	
749	脊索動物	ホヤ	マメボヤ	ウスボヤ	*Didemnum molle*	チャツボボヤ	●	●	●	●
750					*Didemnum moseleyi*	シロウスボヤ		●		
751					*Diplosoma midori*	ミドリネンエキボヤ	●	●	●	●
752					*Trididemnum paracyclops*	ミドリミスジウスボヤ	●	●	●	●
753					*Lissoclinum pulvinum*	シトネボヤ		●		●
754					Didemnidae	ウスボヤ科	●	●	●	●
755				ヘンゲボヤ	*Clavelina cyclus*	ワモンツツボヤ	●	●	●	●
756					*Clavelina obesa*	クロスジツツボヤ	●			
757					*Clavelina* sp.	ツツボヤ属	●	●	●	●
758					*Eudistoma gilboviride*	フイリカイメンボヤ		●	●	●
759					*Eudistoma glaucus*	ミドリカイメンボヤ		●	●	●
760					*Polycitor prolliferus*	ヘンゲボヤ		●	●	●
761					Polycitoridae	ヘンゲボヤ科	●	●	●	●
762				ユウレイボヤ	*Rhopalaea* sp.	ムネボヤ	●			
763				ナツメボヤ	Ascidiidae	ナツメボヤ科	●	●	●	●
764			マボヤ	イタボヤ	Botryllidae	イタボヤ科	●	●	●	●
765				シロボヤ	*Polycarpa cryptocarpa cryptocarpa*	ミナミクロボヤ			●	●
766					*Polycarpa* sp.	モモイロボヤ			●	●
767					Styelidae	シロボヤ科	●	●	●	●
768				マボヤ	*Herdmania* sp.	ベニボヤ属	●	●	●	●
769					*Pyura curvigona*	ミナミカラスボヤ	●	●	●	●
770					Pyuridae	マボヤ科	●	●	●	●
合計	15門	26綱	58目	196科	770種類		457	438	502	514

注：●は出現を示す。

（キ）潮間帯生物

ア）出現種一覧

潮間帯生物の調査結果の概要は表 6.11.1.29、表 6.11.1.30 に、出現種一覧は表 6.11.1.31、表 6.11.1.32 に示すとおりである。

調査では、潮間帯植物が 4 門 4 綱 17 目 24 科 40 種類出現し、潮間帯動物が 7 門 13 綱 22 目 44 科 69 種類出現した。

表 6.11.1.29　潮間帯植物調査結果概要

調 査 日：（夏季）令和 6年 8月19日
：（秋季）令和 6年10月31日
：（冬季）令和 7年 1月30日
：（春季）令和 7年 4月16日
調査方法：坪刈り法(30cm×30cmコドラート)
単　位：g/0.09㎡

項目	調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
		夏季	秋季	冬季	春季	
種類数	緑色植物門	7	5	7	8	11
	黄色植物門	2	3	3	2	4
	紅色植物門	11	15	14	14	21
	その他	3	3	2	1	4
	合計	23	26	26	25	40
湿重量	緑色植物門	0.15	0.51	17.85	8.50	
	黄色植物門	0.11	0.17	0.02	0.13	
	紅色植物門	0.81	2.19	2.78	1.76	
	その他	0.01	0.06	+	+	
	合計	1.07	2.93	20.64	10.39	
湿組重成量比(%)	緑色植物門	13.5	17.4	86.5	81.8	
	黄色植物門	10.5	5.8	0.1	1.3	
	紅色植物門	75.5	74.8	13.4	16.9	
	その他	0.5	2.1	+	+	
主な出現種と湿重量($g/0.09m^2$) ( )内は組成比率(%)		ﾃﾝｸﾞｻ属 0.34 (31.5) ﾋﾒﾃﾝｸﾞｻ 0.32 (30.1) ﾎﾞﾀﾝｱｵｻ 0.12 (10.7) ｳﾐｳﾁﾜ属 0.10 (9.6) ｿｿﾞ属 0.08 (7.0)	ﾃﾝｸﾞｻ属 0.59 (20.2) ｿｿﾞ属 0.46 (15.6) ﾎﾞﾀﾝｱｵｻ 0.32 (11.0) ｺｹﾓﾄﾞｷ 0.28 (9.6) ｲｿﾀﾞﾝｿｳ 0.24 (8.3)	ﾋﾄｴｸﾞｻ 15.20 (73.6) ｱｵｻ属 1.66 (8.1) ｿｿﾞ属 1.41 (6.8)	ﾋﾄｴｸﾞｻ 6.65 (64.0) ｼﾏﾃﾝｸﾞｻ 1.16 (11.2) ｱｵｻ属 1.06 (10.2) ﾎﾞﾀﾝｱｵｻ 0.77 (7.4)	

注：1.種類数は総出現種類数を示した。
2.湿重量及び湿重量組成比欄の+は、0.01g 未満の場合を示した。
3.主な出現種は各調査地点での上位 5 種(ただし、組成比が 5%以上)を示した。

表 6.11.1.30　潮間帯動物調査結果概要

項目	調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
		夏季	秋季	冬季	春季	
種類数	軟体動物門	11	15	11	15	30
	環形動物門	2	2		5	7
	節足動物門	5	11	14	11	26
	その他	1	2	1	6	6
	合計	19	30	26	37	69
個体数	軟体動物門	77	10	9	18	
	環形動物門	1	1		3	
	節足動物門	29	7	47	12	
	その他	<1	1	1	2	
	合計	106	19	56	35	
個組体成数比(%)	軟体動物門	72.2	55.4	15.7	50.7	
	環形動物門	0.7	4.1		8.0	
	節足動物門	26.9	35.1	83.4	35.5	
	その他	0.2	5.4	0.9	5.8	
湿重量	軟体動物門	10.21	18.81	23.78	13.70	
	環形動物門	+	+		0.01	
	節足動物門	2.93	0.42	0.25	1.98	
	その他	+	0.93	+	1.41	
	合計	13.14	20.15	24.03	17.10	
湿組重成量比(%)	軟体動物門	77.7	93.3	98.9	80.1	
	環形動物門	+	+		+	
	節足動物門	22.3	2.1	1.1	11.6	
	その他	+	4.6	+	8.2	
主な出現種と個体数(個体/0.09m^2) ( )内は組成比率(%)		ﾋﾊﾞﾘｶﾞｲﾓﾄﾞｷ 71 (66.5) ﾀﾃｼﾞﾏﾖｺﾊﾞｻﾐ 27 (25.5)	ﾋﾊﾞﾘｶﾞｲﾓﾄﾞｷ 3 (17.6) ﾀﾃｼﾞﾏﾖｺﾊﾞｻﾐ 3 (13.5) ｵﾆﾋｻﾞﾗｶﾞｲ 2 (9.5) ﾁﾘﾊｷﾞｶﾞｲ 1 (6.8)	ﾋｹﾞﾅｶﾞﾖｺｴﾋﾞ属 39 (70.4) ｲｿｺﾂﾌﾞﾑｼ属 3 (5.8) ｵﾆﾉﾂﾉｶﾞｲ科 3 (5.4)	ﾋｹﾞﾅｶﾞﾖｺｴﾋﾞ属 8 (23.2) ｺﾞﾏﾌｶﾆﾓﾘ 5 (14.5) ﾋﾊﾞﾘｶﾞｲﾓﾄﾞｷ 5 (13.0) ｹﾊﾀﾞﾋｻﾞﾗｶﾞｲ科 2 (5.1)	
主な出現種と湿重量(g/0.09m^2) ( )内は組成比率(%)		ｵﾆﾋｻﾞﾗｶﾞｲ 3.36 (25.5) ﾀﾃｼﾞﾏﾖｺﾊﾞｻﾐ 2.92 (22.2) ﾋﾊﾞﾘｶﾞｲﾓﾄﾞｷ 2.57 (19.6) ﾅｶﾞｼﾏﾔﾀﾃ 2.17 (16.5) ﾚｲｼﾀﾞﾏｼ 0.89 (6.8)	ｵﾆﾋｻﾞﾗｶﾞｲ 13.13 (65.2) ﾂﾉﾃﾂﾚｲｼ 3.28 (16.3)	ｵﾆﾋｻﾞﾗｶﾞｲ 14.24 (59.3) ﾂﾉﾃﾂﾚｲｼ 4.82 (20.0) ﾏﾀﾞﾗｲﾓ 2.38 (9.9)	ﾏｸｶﾞｲ 4.39 (25.7) ｵﾆﾋｻﾞﾗｶﾞｲ 3.81 (22.3) ﾐﾅﾐｲﾜｶﾞﾆ 1.89 (11.1) ｴｶﾞｲ 1.38 (8.1) ﾏﾀﾞﾗｲﾓ 1.21 (7.1)	

注：1.種類数は総出現種類数を示した。
2.湿重量及び湿重量組成比欄の+は、0.01g 未満の場合を示した。
3.主な出現種は各調査地点での上位 5 種(ただし、組成比が 5%以上)を示した。

表 6.11.1.31　潮間帯植物出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和 6 年 8 月 19 日
：（秋季）令和 6 年 10 月 31 日
：（冬季）令和 7 年 1 月 30 日
：（春季）令和 7 年 4 月 16 日
調査方法：坪刈り法(30cm×30cm コドラート)
単　位：g/0.09 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	藍色植物	藍藻	ネンジュモ	ヒゲモ	Rivulariaceae	ヒゲモ科	●			
2			ユレモ	ユレモ	Oscillatoriaceae	ユレモ科	●	●	●	
3				シゾスリックス	Schizotrichaceae	シゾスリックス科		●	●	
4			―	―	CYANOPHYCEAE	藍藻綱	●	●		●
5	緑色植物	緑藻	ヒビミドロ	カイミドリ	*Monostroma nitidum*	ヒトエグサ			●	●
6			アオサ	アオサ	*Ulva conglobata*	ボタンアオサ	●	●	●	●
7					*Ulva* sp.	アオサ属	●	●	●	●
8			シオグサ	シオグサ	*Chaetomorpha* sp.	ジュズモ属	●			
9					*Cladophora* sp.	シオグサ属	●	●	●	●
10					Cladophoraceae	シオグサ科	●	●	●	●
11			クダネダシグサ	アオモグサ	*Boodlea* sp.	アオモグサ属	●			
12					Boodleaceae	アオモグサ科		●		
13				マガタマモ	*Dictyosphaeria* sp.	キッコウグサ属	●		●	●
14			ハネモ	ハネモ	*Bryopsis* sp.	ハネモ属			●	●
15			カサノリ	カサノリ	Polyphysaceae	カサノリ科				●
16	黄色植物	褐藻	シオミドロ	シオミドロ	Ectocarpaceae	シオミドロ科		●	●	
17			クロガシラ	クロガシラ	*Sphacelaria* sp.	クロガシラ属	●	●	●	●
18			アミジグサ	アミジグサ	*Padina* sp.	ウミウチワ属	●			●
19					Dictyotaceae	アミジグサ科		●	●	
20	紅色植物	紅藻	サンゴモ	サンゴモ	*Jania* sp.	モサズキ属	●		●	●
21					Corallinaceae	サンゴモ科	●	●	●	●
22			テングサ	テングサ	*Gelidiophycus freshwateri*	ヒメテングサ	●			
23					*Gelidium crinale*	ハイテングサ		●	●	●
24					*Gelidium* sp.	テングサ属	●	●	●	●
25				シマテングサ	*Gelidiella acerosa*	シマテングサ				●
26			スギノリ	イソモッカ	*Caulacanthus ustulatus*	イソダンツウ	●	●	●	●
27				スギノリ	*Chondracanthus* sp.	スギノリ属	●	●	●	●
28				イバラノリ	*Hypnea* sp.	イバラノリ属		●	●	●
29			オゴノリ	オゴノリ	*Gracilaria salicornia*	フシクレノリ		●	●	●
30			マサゴシバリ	フシツナギ	*Ceratodictyon* sp.	カイメンソウ属			●	●
31			イギス	イギス	*Centroceras gasparrini*	トゲイギス			●	
32					*Ceramium* sp.	イギス属	●	●	●	●
33				ウブゲグサ	*Spyridia* sp.	ウブゲグサ属		●	●	●
34				フジマツモ	*Acanthophora* sp.	トゲノリ属		●		
35					*Bostrychia tenella*	コケモドキ		●		
36					*Bostrychia* sp.	コケモドキ属	●			
37					*Herposiphonia parca*	クモノスヒメゴケ		●		
38					*Laurencia* sp.	ソゾ属	●	●	●	●
39					*Polysiphonia* sp.	イトグサ属	●	●		
40					Rhodomelaceae	フジマツモ科	●	●	●	●
合計	4門	4綱	17目	24科	40種類		23	26	26	25

注：1.●は出現を示す。
　　2.- は不明を示す。

表 6.11.1.32　潮間帯動物出現種一覧

調 査 日：（夏季）令和 6 年 8 月 19 日
：（秋季）令和 6 年 10 月 31 日
：（冬季）令和 7 年 1 月 30 日
：（春季）令和 7 年 4 月 16 日
調査方法：坪刈り法(30cm×30cm コドラート)
単　位:個体数・湿重量 g/0.09 ㎡

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	海綿動物	普通海綿	－	－	Demospongiae	普通海綿綱		●		●
2	刺胞動物	花虫	イソギンチャク	－	Actiniaria	イソギンチャク目	●	●	●	●
3	軟体動物	多板	クサズリガイ	クサズリガイ	*Acanthopleura gemmata*	オニヒザラガイ	●	●	●	●
4				ケハダヒザラガイ	Acanthochitonidae	ケハダヒザラガイ科	●		●	●
5		腹足	カサガイ	ユキノカサガイ	*Lottia* sp.	*Lottia*属				●
6			アマオブネガイ	アマオブネガイ	*Neripteron (Dostia) bensoni*	ウコンアマガイ	●			
7					*Clithon cryptum*	レモンカノコ	●	●		
8			新生腹足	オニノツノガイ	*Cerithium punctatum*	ゴマフカニモリ				●
9					Cerithiidae	オニノツノガイ科		●	●	●
10				タカラガイ	*Monetaria annulus*	ハナビラダカラ				●
11				タマガイ	*Natica gualteriana*	ホウシュノタマ		●		
12				クリイロケシカニモリ	Cerithiopsidae	クリイロケシカニモリ科				●
13				ムシロガイ	*Nassarius (Niotha) sinusigerus*	クチミゾヨフバイ			●	
14				エゾバイ	*Engina mendicaria*	ノシガイ	●		●	●
15				アッキガイ	*Tenguella granulata*	レイシダマシ	●	●		●
16					*Morula rumphiusi*	カタハリレイシダマシ			●	
17					*Morula anaxares*	ウネシロレイシダマシ		●		
18					*Thalessa aculeata*	ツノテツレイシ		●	●	
19					Muricidae	アッキガイ科		●		
20				フデガイ	*Mitra (Strigatella) paupercula*	ナガシマヤタテ	●	●	●	
21					*Mitra (Strigatella) litterata*	ミダレシマヤタテ	●		●	●
22				イモガイ	*Conus (Virroconus) ebraeus*	マダライモ			●	●
23		二枚貝	フネガイ	フネガイ	*Barbatia (Abarbatia) lima*	エガイ				●
24					*Barbatia (Savignyarca) virescens*	カリガネエガイ		●		
25			イガイ	イガイ	*Brachidontes mutabilis*	ヒバリガイモドキ	●	●		●
26					*Trichomusculus semigranatus*	スジタマエガイ			●	
27					*Musculus* sp.	タマエガイ属		●		
28			ウグイスガイ	マクガイ	*Isognomon ephippium*	マクガイ		●		●
29					*Isognomon* sp.	マクガイ属	●	●		
30			マルスダレガイ	チリハギガイ	*Lasaea undulata*	チリハギガイ		●		
31				マルスダレガイ	*Gafrarium pectinatum*	ホソスジイナミガイ				●
32					*Ruditapes variegatus*	ヒメアサリ	●			
33	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	ウロコムシ	*Lepidonotus* sp.	*Lepidonotus*属				●
34				シリス	Syllinae	シリス亜科	●	●		●
35				ゴカイ	*Perinereis eulini*	クマドリゴカイ				●
36					Nereididae	ゴカイ科				●
37			イソメ	イソメ	*Lysidice* sp.	*Lysidice*属				●
38					*Marphysa* sp.	*Marphysa*属	●			
39			オフェリアゴカイ	オフェリアゴカイ	*Armandia* sp.	*Armandia*属		●		
40	星口動物	サメハダホシムシ	サメハダホシムシ	タテホシムシ	Aspidosiphonidae	タテホシムシ科				●
41		－	－	－	Sipuncula	星口動物門				●
42	節足動物	ウミグモ	－	－	Pycnogonida	ウミグモ綱				●
43		アゴアシ	有柄	ケハダエボシ	*Ibla cumingi*	ケハダエボシ				●
44			無柄	イワフジツボ	*Chthamalus* sp.	イワフジツボ属		●		
45		軟甲	ヨコエビ	ヒゲナガヨコエビ	*Ampithoe* sp.	ヒゲナガヨコエビ属			●	●
46					Ampithoidae	ヒゲナガヨコエビ科	●			
47				ユンボソコエビ	*Grandidierella* sp.	ドロソコエビ属			●	●
48				ドロクダムシ	*Monocorophium* sp.	*Monocorophium*属		●		
49				モクズヨコエビ	Hyalidae	モクズヨコエビ科			●	●
50				イシクヨコエビ	*Gammaropsis* sp.	ソコエビ属		●		
51				スンナリヨコエビ	*Elasmopus* sp.	イソヨコエビ属		●		
52			ワラジムシ	コツブムシ	*Dynoides* sp.	シリケンウミセミ属		●	●	●
53					*Gnorimosphaeroma* sp.	イソコツブムシ属			●	
54			タナイス	タナイス	*Sinelobus* sp.	キスイタナイス	●			
55					*Zeuxo* sp.	*Zeuxo*属			●	
56				ホソツメタナイス	Leptocheliidae	ホソツメタナイス科			●	●
57			エビ	ヤドカリ	*Calcinus laevimanus*	スベスベサンゴヤドカリ		●	●	
58					*Clibanarius striolatus*	タテジマヨコバサミ	●	●	●	
59				ヤワラガニ	Hymenosomatidae	ヤワラガニ科			●	
60				ケアシガニ	*Micippa platipes*	ヒラワタクズガニ		●		
61				オウギガニ	*Liocarpilodes harmsi*	ヤエヤマトゲオウギガニ				●
62					Xanthidae	オウギガニ科		●	●	
63				イワガニ	*Grapsus albolineatus*	ミナミイワガニ				●
64					*Pachygrapsus minutus*	ヒメイワガニ	●	●	●	●
65				オサガニ	*Macrophthalmus* sp.	オサガニ属		●	●	●
66		昆虫	ハエ	ユスリカ	Chironomidae	ユスリカ科			●	
67				－	Diptera	ハエ目	●			
68	棘皮動物	クモヒトデ	クモヒトデ	フサクモヒトデ	*Ophiocoma scolopendrina*	ウデフリクモヒトデ				●
69		ウニ	ホンウニ	ナガウニ	Echinometridae	ナガウニ科				●
合計	7門	13綱	22目	44科	69種類		19	30	26	37

注：1.●は出現を示す。
　　2.- は不明を示す。

（ク）海藻草類

ア）定点及び測線調査

海藻草類調査結果概要は表 6.11.1.33 に、海藻草類の出現種一覧は表 6.11.1.34 に、光量子の連続測定結果は図 6.11.1.6 に示すとおりである。

調査の結果、5 門 6 綱 25 目 56 科 168 種が確認された。

定点調査では、地点ごとの出現種類数は、3～60 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、79～110 種であり春季に最も多かった。

地点ごとの日平均光量子量は、概ね似た変動を示したが、すべての季節において、水深が他地点と比べて 1.0m ほど深い St.14 では 10～20 mol/(m²･day)程度低かった。

地点ごとの観測期間の日平均光量子量は、10.5～45.0mol/(m²・day)の範囲で変動し、夏季の St.7 が最も高かった。すべての地点において、夏季が最も高く、冬季が最も低かった。

測線調査では、地点ごとの出現種類数は、58～97 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、95～131 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

表 6.11.1.33　海藻草類調査結果概要

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日、（分布）8月14～15、19～21日、9月3～4日
秋季（定点）令和6年10月9～10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日 、（分布） 10月3～4、7～8、16日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日、（分布）1月15～17、23日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（測線）令和7年4月14、16～18日、5月12～14、16日、（分布）令和7年4月9、11、26、28、30日

項目		調査時期	令和6年 夏季	令和6年 秋季	令和7年 冬季	令和7年 春季	四季合計
出現種類数	定点調査	出現種類数	79 (3～36)	85 (3～45)	102 (10～49)	110 (12～60)	123 (3～60)
		藻場構成種数	7 (1～5)	7 (1～5)	7 (1～5)	6 (1～4)	7 (1～5)
	測線調査	出現種類数	95 (58～71)	108 (62～80)	128 (78～89)	131 (80～97)	159 (58～97)
		藻場構成種数	9 (4～9)	10 (3～10)	8 (3～8)	11 (4～10)	12 (3～10)
	総出現種類数		**107**	**116**	**138**	**144**	**168**
主な出現種	定点調査	出現種類数	藍藻綱 サンゴモ目（無節サンゴモ類） ハイオオギ属 イワノカワ科 ウミウチワ属	藍藻綱 サンゴモ目（無節サンゴモ類） サボテングサ属 ハイオオギ属 イワノカワ科	藍藻綱 サンゴモ目（無節サンゴモ類） イワノカワ科 フデノホ ハイオオギ属	藍藻綱 イワノカワ科 サンゴモ目（無節サンゴモ類） サボテングサ属 ハイオオギ属	
		藻場構成種数	リュウキュウスガモ カサモク ラッパモク ウミジグサ マツバウミジグサ	カサモク リュウキュウスガモ ウミジグサ マツバウミジグサ ラッパモク	カサモク リュウキュウスガモ ラッパモク ウミジグサ マツバウミジグサ	カサモク ラッパモク リュウキュウスガモ ウミジグサ マツバウミジグサ	
	測線調査	出現種類数	クダモ属 藍藻綱 ウキオリソウ マガタマモ クダネダシグサ属	クダモ属 ユレモ科 ウキオリソウ マガタマモ タマバロニア	クダモ属 ユレモ科 アオサ属 サイノメアミハ ムクキッコウグサ	クダモ属 藍藻綱 アオサ属 アオモグサ キッコウグサ	
		藻場構成種数	カサモク リュウキュウスガモ ヒメハモク ホンダワラ属 ウミヒルモ	カサモク ラッパモク リュウキュウスガモ ヒメハモク ウミヒルモ	カサモク ラッパモク リュウキュウスガモ ヒメハモク ウミヒルモ	カサモク ラッパモク リュウキュウスガモ キレバモク ヒメハモク	

注：1.各季節の出現種類数欄の（ ）内は地点ごとの出現種類数の範囲を示す。
2.各季節の主な出現種は、出現地点数の上位 5 種を示す。
3.四季合計の出現種類数欄の（ ）内は地点ごとの四季を通じた総出現種類数の範囲を示す。

表 6.11.1.34 (1)　海藻草類の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日、（分布）8月14～15、19～21日、9月3～4日
秋季（定点）令和6年10月9～10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日 、（分布） 10月3～4、7～8、16日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日、（分布）1月15～17、23日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（測線）令和7年4月14、16～18日、5月12～14、16日、（分布）令和7年4月9、11、26、28、30日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	*Lyngbya* sp.	クダモ属	●	●	●	●
2					Oscillatoriaceae	ユレモ科		●	●	
3			－	－	Cyanophyceae	藍藻綱	●	●	●	●
4	緑色植物	緑藻	パルモフィルム	パルモフィルム	*Palmophyllum* sp.	パルモフィルム属	●			●
5			ヒビミドロ	カイミドリ	*Monostroma nitidum*	ヒトエグサ			●	●
6			アオサ	アオサ	*Ulva* sp.	アオサ属	●	●	●	●
7			シオグサ	ウキオリソウ	*Anadyomene wrightii*	ウキオリソウ	●	●	●	●
8				シオグサ	*Cladophora herpestica*	ミドリゲ				●
9					*Cladophora* sp.	シオグサ属	●	●	●	●
10					*Rhizoclonium grande*	オオネダシグサ		●	●	●
11			クダネダシグサ	アオモグサ	*Boodlea coacta*	アオモグサ	●	●	●	●
12					*Boodlea composita*	ハネアオモグサ	●	●	●	
13					*Cladophoropsis vaucheriiformis*	キツネノオ	●			●
14					*Struvea anastomosans*	サイノメアミハ			●	
15				マガタマモ	*Boergesenia forbesii*	マガタマモ	●	●	●	●
16					*Dictyosphaeria cavernosa*	キッコウグサ	●	●	●	●
17					*Dictyosphaeria versluysii*	ムクキッコウグサ	●	●	●	●
18					*Siphonocladus* sp.	クダネダシグサ属	●	●	●	●
19				パロニア	*Valonia aegagropila*	タマパロニア		●		
20					*Valonia ventricosa*	オオパロニア	●	●	●	●
21					*Valonia* sp.	パロニア属	●	●	●	●
22			イワヅタ	イワヅタ	*Caulerpa ambigua*	ヒメイワヅタ			●	●
23					*Caulerpa brachypus* f. *parvifolia*	ヒナイワヅタ			●	●
24					*Caulerpa chemnitzia*	エツキズタ	●	●	●	●
25					*Caulerpa filicoides*	ヒメシダズタ	●	●	●	●
26					*Caulerpa lentillifera*	クビレズタ	●	●	●	●
27					*Caulerpa racemosa* var. *clavifera* f. *macrophysa*	ヒンナリズタ	●	●	●	●
28					*Caulerpa serrulata* var. *serrulata* f. *lata*	ヨレズタ	●	●	●	●
29					*Caulerpa sertularioides* f. *longipes*	タカノハズタ	●	●	●	●
30					*Caulerpa webbiana* f. *tomentella*	コケイワヅタ			●	●
31					*Caulerpa* sp.	イワヅタ属	●	●	●	●
32				サボテングサ	*Halimeda borneensis*	フササボテングサ	●	●	●	●
33					*Halimeda discoidea*	ウチワサボテングサ			●	●
34					*Halimeda distorta*	ソリハサボテングサ	●		●	
35					*Halimeda kanaloana*	ミツデサボテングサ	●	●	●	●
36					*Halimeda velasquezii*	ヒラサボテングサ	●	●	●	●
37					*Halimeda* sp.	サボテングサ属	●	●	●	●
38				ハゴロモ	*Avrainvillea obscura*	マルバハウチワ	●			
39					*Avrainvillea* sp.	ハウチワ属	●	●	●	●
40					*Chlorodesmis fastigiata*	マユハキモ	●	●	●	●
41					*Chlorodesmis* sp.	マユハキモ属	●		●	●
42					*Rhipidosiphon javensis*	ヒメイチョウ	●	●	●	●
43					*Rhipilia orientalis*	ニセハウチワ			●	●
44					*Rhipilia* sp.	ニセハウチワ属		●		
45					*Udotea orientalis*	ハゴロモ	●	●	●	●
46			ミル	ミル	*Codium arabicum*	ナンバンハイミル			●	●
47					*Codium lucasii*	ハイミル				●
48					*Codium* sp.	ミル属		●	●	●
49			ハネモ	ハネモ	*Bryopsis pennata* var. *secunda*	カタハノハネモ	●	●	●	
50					*Bryopsis* sp.	ハネモ属	●	●	●	●
51				ツユノイト	Derbesiaceae	ツユノイト科			●	●
52			カサノリ	ダジクラズス	*Bornetella sphaerica*	ミズタマ	●	●	●	●
53					*Cymopolia vanbosseae*	ウスガサネ			●	●
54					*Neomeris annulata*	フデノホ	●	●	●	●
55				カサノリ	*Acetabularia caliculus*	ホソエガサ			●	●
56					*Acetabularia dentata*	リュウキュウガサ	●	●	●	●
57					*Acetabularia ryukyuensis*	カサノリ			●	●
58					*Acetabularia* sp.	カサノリ属	●			
59					*Halicoryne wrightii*	イソスギナ			●	●
60					*Parvocaulis parvula*	ヒナカサノリ	●	●	●	●
61			－	－	Chlorophyceae	緑藻綱	●	●	●	●
62	黄色植物	珪藻	－	－	Bacillariophyceae	珪藻綱	●	●	●	●
63		褐藻	シオミドロ	シオミドロ	Ectocarpaceae	シオミドロ科		●	●	●
64			イソガワラ	イソガワラ	*Ralfsia* sp.	イソガワラ属	●	●	●	●
65			クロガシラ	クロガシラ	*Sphacelaria* sp.	クロガシラ属			●	●
66			アミジグサ	アミジグサ	*Dictyopteris repens*	ヒメヤハズ			●	●
67					*Dictyopteris undulata*	シワヤハズ	●	●	●	●
68					*Dictyota friabilis*	ハイアミジグサ	●	●	●	●
69					*Dictyota* sp.	アミジグサ属	●	●	●	●
70					*Lobophora* sp.	ハイオオギ属	●	●	●	●

注：1.●は出現を示す。
　　2. － は不明を示す。

表 6.11.1.34 (2)　海藻草類の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日、（分布）8月14～15、19～21日、9月3～4日
秋季（定点）令和6年10月9～10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日 、（分布） 10月3～4、7～8、16日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日、（分布）1月15～17、23日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（測線）令和7年4月14、16～18日、5月12～14、16日、（分布）令和7年4月9、11、26、28、30日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
71	黄色植物	褐藻	アミジグサ	アミジグサ	*Padina boryana*	アカバウミウチワ	●	●		
72					*Padina melemele*	コガネウミウチワ			●	●
73					*Padina* sp.	ウミウチワ属	●	●	●	●
74					*Zonaria stipitata*	エツキシマオオギ	●			●
75			カヤモノリ	ムラチドリ	*Chnoospora implexa*	ムラチドリ				●
76				カヤモノリ	*Colpomenia sinuosa*	フクロノリ			●	●
77					*Hydroclathrus clathratus*	カゴメノリ			●	●
78					*Petalonia fascia*	セイヨウハバノリ			●	●
79			ヒバマタ	ホンダワラ	*Hormophysa cuneiformis*	ヤバネモク		●		
80					*Sargassum alternato-pinnatum*	キレバモク				●
81					*Sargassum myriocystum*	ヒメハモク	●	●	●	●
82					*Sargassum polycystum*	コバモク				●
83					*Sargassum* sp.	ホンダワラ属	●	●		●
84					*Turbinaria conoides*	カサモク	●	●	●	●
85					*Turbinaria ornata*	ラッパモク	●	●	●	●
86	紅色植物	紅藻	ウミゾウメン	ガラガラ	*Actinotrichia fragilis*	ソデガラミ	●	●	●	●
87					*Dichotomaria obtusata*	フクロガラガラ			●	●
88					*Dichotomaria* sp.	ヒラガラガラ属	●	●	●	●
89					*Galaxaura divaricata*	ビロウドガラガラ	●	●	●	●
90					*Tricleocarpa jejuensis*	ガラガラ	●	●	●	●
91				コナハダ	*Liagora* sp.	コナハダ属		●		
92					Liagoraceae	コナハダ科		●	●	●
93				ハイコナハダ	*Yamadaella caenomyce*	ハイコナハダ		●	●	●
94			サンゴモ	サンゴモ	*Amphiroa foliacea*	ハイカニノテ	●	●	●	●
95					*Amphiroa fragilissima*	ホソエダカニノテ	●	●	●	●
96					*Amphiroa* sp.	カニノテ属	●	●	●	●
97					*Jania adhaerens*	ヒメモサズキ	●	●	●	●
98					*Jania capillacea*	ケヒメモサズキ	●	●	●	●
99					*Jania spectabilis*	ハネヒメシコロ	●		●	
100					*Jania* sp.	モサズキ属	●	●	●	●
101					*Lithophyllum okamurae*	ヒライボ	●	●	●	●
102					*Lithophyllum pygmaeum*	モルッカイシモ	●	●	●	●
103					*Mastophora rosea*	イシノハナ	●	●	●	●
104				ー	Corallinales	サンゴモ目（無節サンゴモ類）	●	●	●	●
105			テングサ	テングサ	*Gelidium crinale*	ハイテングサ				●
106					Gelidiaceae	テングサ科	●	●	●	●
107				シマテングサ	*Gelidiella acerosa*	シマテングサ	●	●	●	●
108				オバクサ	*Pterocladiella* sp.	オバクサ属	●	●		
109			カギケノリ	カギケノリ	*Asparagopsis taxiformis*	カギケノリ			●	●
110			スギノリ	イソモッカ	*Caulacanthus ustulatus*	イソダンツウ				●
111				ナミイワタケ	*Tylotus lichenoides*	ナミイワタケ	●		●	●
112				リュウモンソウ	*Dudresnaya japonica*	ヒビロウド			●	●
113				スギノリ	*Chondracanthus* sp.	スギノリ属		●		
114				ムカデノリ	*Carpopeltis maillardii*	チャボキントキ	●	●		●
115					*Halymenia dilatata*	フイリグサ		●	●	●
116					*Halymenia durvillaei*	ツヅレグサ			●	
117					*Halymenia* sp.	イソノハナ属		●	●	●
118					*Prionitis* sp.	キントキ属				●
119					Halymeniaceae	ムカデノリ科		●		
120				イバラノリ	*Hypnea asiatica*	イバラノリ		●		●
121					*Hypnea pannosa*	コケイバラ	●	●	●	●
122					*Hypnea* sp.	イバラノリ属	●	●	●	●
123				イワノカワ	Peyssonneliaceae	イワノカワ科	●	●	●	●
124				ユカリ	*Plocamium telfairiae*	ユカリ		●	●	●
125				ナミノハナ	*Portieria hornemannii*	ホソバナミノハナ	●	●	●	●
126				アツバノリ	*Trematocarpus pygmaeus*	ミアナグサ			●	●
127					*Trematocarpus* sp.	ミアナグサ属	●			
128			オゴノリ	オゴノリ	*Gracilaria arcuata*	ユミガタオゴノリ		●	●	●
129					*Gracilaria blodgettii*	クビレオゴノリ				●
130					*Gracilaria eucheumatoides*	リュウキュウオゴノリ	●	●	●	●
131					*Gracilaria salicornia*	フシクレノリ	●	●	●	●
132					*Gracilaria* sp.	オゴノリ属	●	●	●	●
133			マサゴシバリ	ワツナギソウ	*Champia parvula*	ワツナギソウ		●	●	●
134					*Champia* sp.	ワツナギソウ属	●		●	
135					*Coelothrix irregularis*	ニセイバラノリ	●	●	●	●
136				フシツナギ	*Ceratodictyon spongiosum*	カイメンソウ	●	●	●	●
137					*Ceratodictyon* sp.	カイメンソウ属	●	●	●	●
138				マサゴシバリ	*Rhodymenia* sp.	マサゴシバリ属	●	●	●	●
139				カリタムニオン	*Ptilocladia divaricata*	モサヨツノサデ			●	
140				イギス	*Ceramium* sp.	イギス属	●	●	●	●

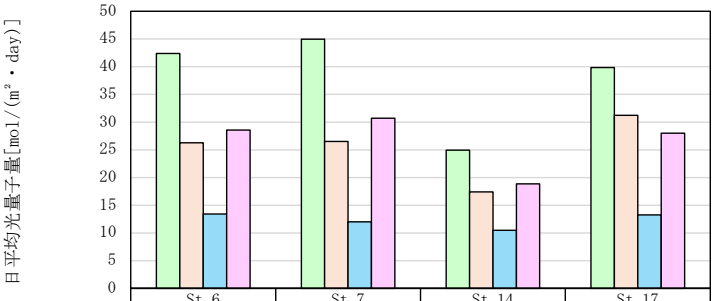
注：1. ●は出現を示す。
2. ■は藻場構成種を示す。
3. － は不明を示す。

表 6.11.1.34 (3)　海藻草類の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8日、10～13日、（分布）8月14～15、19～21日、9月3～4日
秋季（定点）令和6年10月9～10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日 、（分布） 10月3～4、7～8、16日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～22、25～26日、（測線）1月18～20、22日、2月15～16、27日、（分布）1月15～17、23日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（測線）令和7年4月14、16～18日、5月12～14、16日、（分布）令和7年4月9、11、26、28、30日

No.	門名	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
							夏季	秋季	冬季	春季
141	紅色植物	紅藻	イギス	イギス	Ceramiaceae	イギス科				●
142				ウブゲグサ	*Spyridia filamentosa*	ウブゲグサ	●	●	●	●
143				ランゲリア	*Haloplegma duperreyi*	ベニゴウシ			●	
144					*Wrangelia tanegana*	ランゲリア	●	●	●	●
145				ダジア	*Dasya* sp.	ダジア属	●	●	●	●
146					Dasyaceae	ダジア科		●		●
147				コノハノリ	*Martensia jejuensis*	アヤニシキ			●	
148					*Vanvoorstia coccinea*	カラゴロモ				●
149				フジマツモ	*Acanthophora spicifera*	トゲノリ	●	●	●	●
150					*Amansia rhodantha*	キクヒオドシ	●	●		●
151					*Chondria dasyphylla*	ヤナギノリ			●	●
152					*Chondria ryukyuensis*	ベニヤナギノリ			●	
153					*Chondria* sp.	ヤナギノリ属			●	●
154					*Digenea simplex*	マクリ	●	●	●	●
155					*Laurencia brongniartii*	ソゾノハナ	●	●	●	●
156					*Laurencia* sp.	ソゾ属	●	●	●	●
157					*Leveillea jungermannioides*	ジャバラノリ	●	●	●	●
158					*Polysiphonia* sp.	イトグサ属	●	●	●	●
159					*Tolypiocladia glomerulata*	イトクズグサ	●	●	●	●
160					Rhodomelaceae	フジマツモ科		●	●	●
161				―	Ceramiales	イギス目	●	●	●	●
162			―	―	Rhodophyceae	紅藻綱	●	●	●	●
163	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	*Thalassia hemprichii*	リュウキュウスガモ	●	●	●	●
164					*Halophila ovalis*	ウミヒルモ	●	●	●	●
165				アマモ	*Zostera japonica*	コアマモ	●	●	●	
166				ベニアマモ	*Halodule uninervis*	ウミジグサ	●	●	●	●
167					*Halodule pinifolia*	マツバウミジグサ	●	●	●	●
168					*Cymodocea rotundata*	ベニアマモ	●	●	●	●
合計	5門	6綱	25目	56科	168種類		107	116	138	144

注：1. ●は出現を示す。
2. ■は藻場構成種を示す。
3. － は不明を示す。



	St.6	St.7	St.14	St.17
夏	42.4	45.0	24.9	39.8
秋	26.3	26.5	17.4	31.2
冬	13.4	12.0	10.5	13.2
春	28.6	30.7	18.9	28.0
那覇港工事用基準面からの水深(m)	-0.5	-0.6	0.5	-1.1

図 6.11.1.6　各地点における季節毎の日平均光量子

イ）分布調査

海藻草類の被度区分別分布面積は表 6.11.1.35 に、海藻草類の分布状況は図 6.11.1.7 に示すとおりである。

海草藻場の分布面積は 106.2～109.0ha であり、秋季に最も多かったものの、季節を通じて大きな変化はみられなかった。海草量は 8.8～9.8 であり、夏季に最も多かったものの、季節を通じて大きな変化はみられなかった。

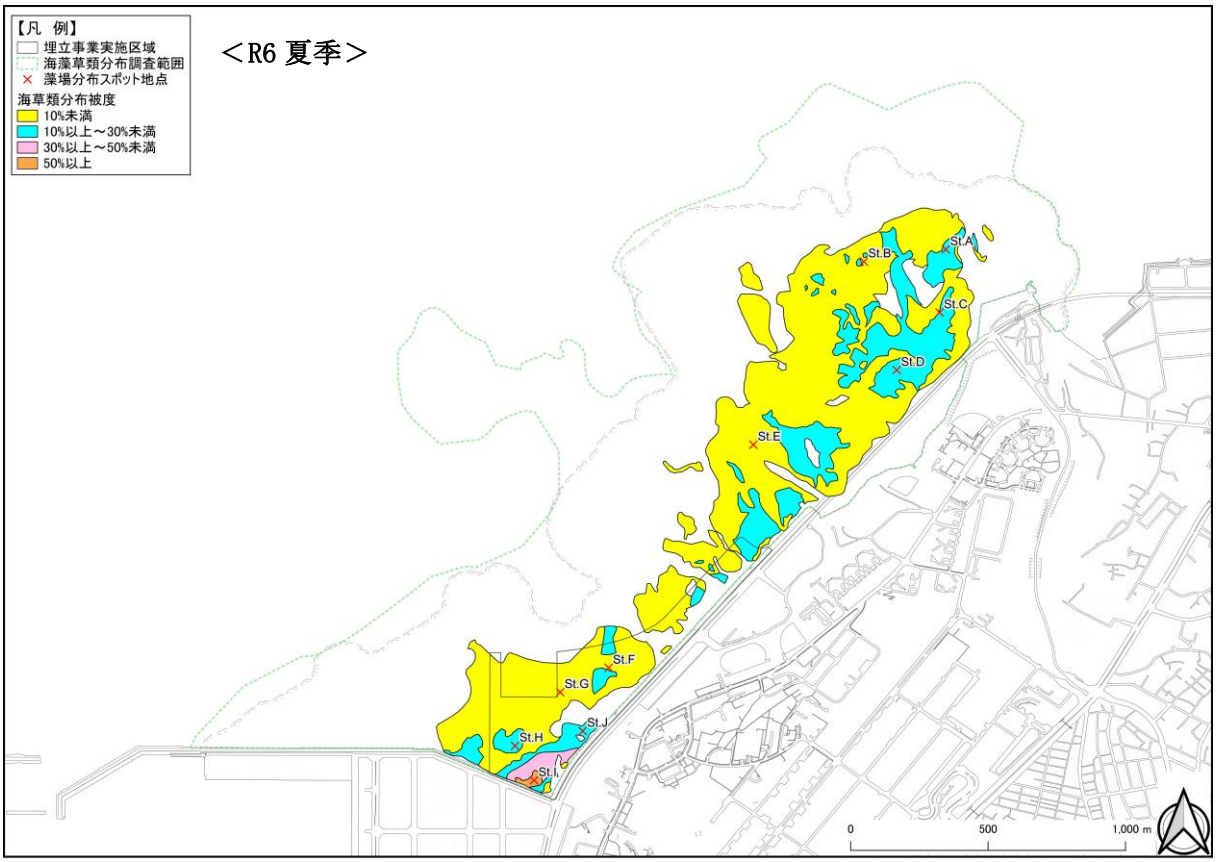
ホンダワラ類藻場の分布面積は 22.3～44.5ha であり、春季に最も多かった。ホンダワラ量は 1.6～4.8 であり、春季に最も多かった。

表 6.11.1.35　海藻草類の被度区分別分布面積

単　　位：ha

藻場構成種の被度区分		夏季	秋季	冬季	春季
海草藻場	10%未満	79.5	84.3	84.5	84.7
	10%以上 30%未満	24.8	22.8	21.0	22.5
	30%以上 50%未満	1.5	1.5	0.9	1.7
	50%以上	0.3	0.4	－	－
	合計	106.2	109.0	106.3	108.9
	海草量	9.8	9.7	8.8	9.4
ホンダワラ類藻場	10%未満	19.1	24.5	26.1	29.0
	10%以上 30%未満	3.3	3.7	10.8	14.5
	30%以上 50%未満	－	－	0.8	1.0
	50%以上	－	－	0.1	－
	合計	22.3	28.1	37.7	44.5
	ホンダワラ量	1.6	2.0	3.9	4.8
藻場面積	合計	128.5	137.1	144.0	153.4

注：1.小数点 2 桁以下を四捨五入。
2.海草量、ホンダワラ量：各被度区分の中間値にそれぞれの面積を乗じた値の合計であり、藻場の変動傾向を確認するために記載している。
3.海草藻場及びホンダワラ類藻場の一部は混成した状態で分布していることから、藻場面積は一部混成域を重複して計上している。



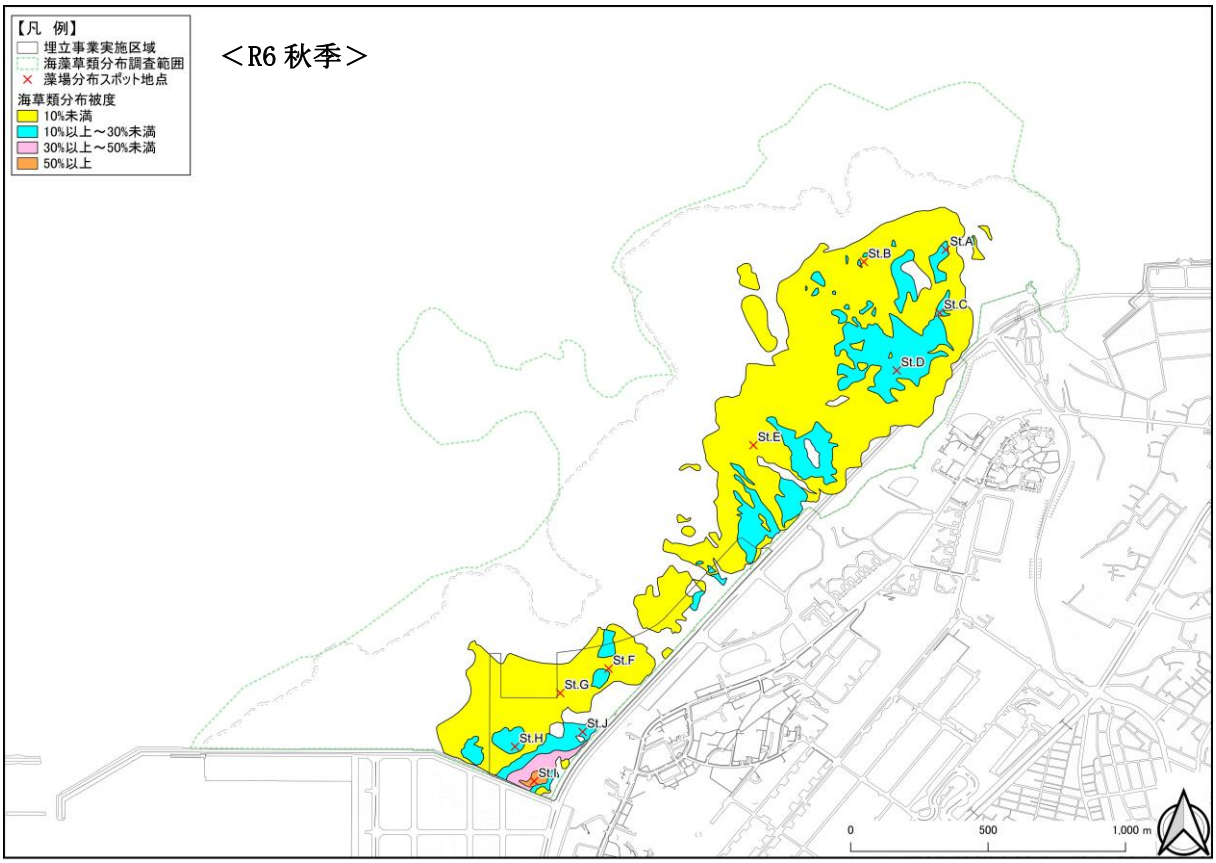


図 6.11.1.7（1）　海草類の分布状況（季節間での経時変化）

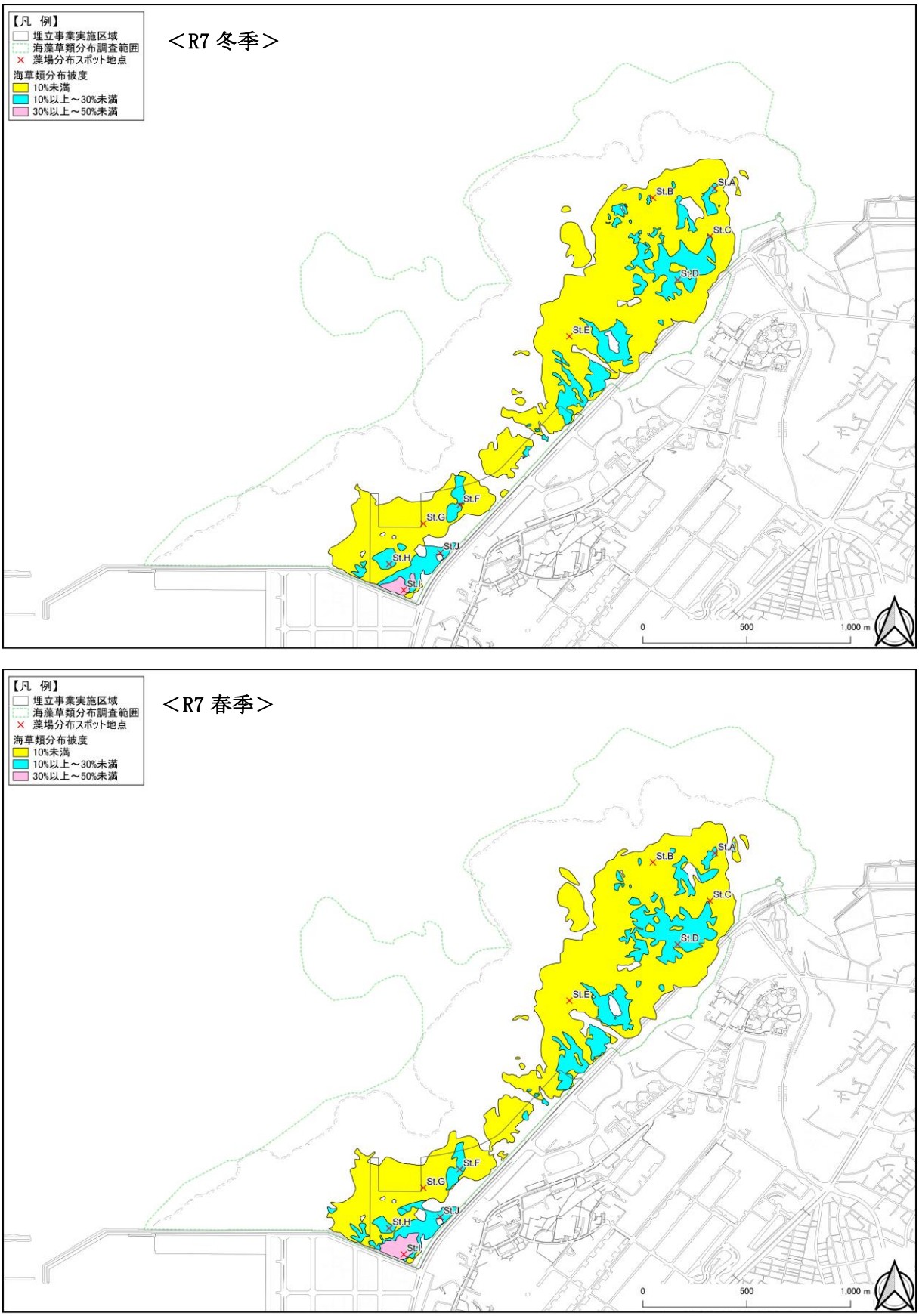


図 6.11.1.7（2）　海草類の分布状況（季節間での経時変化）

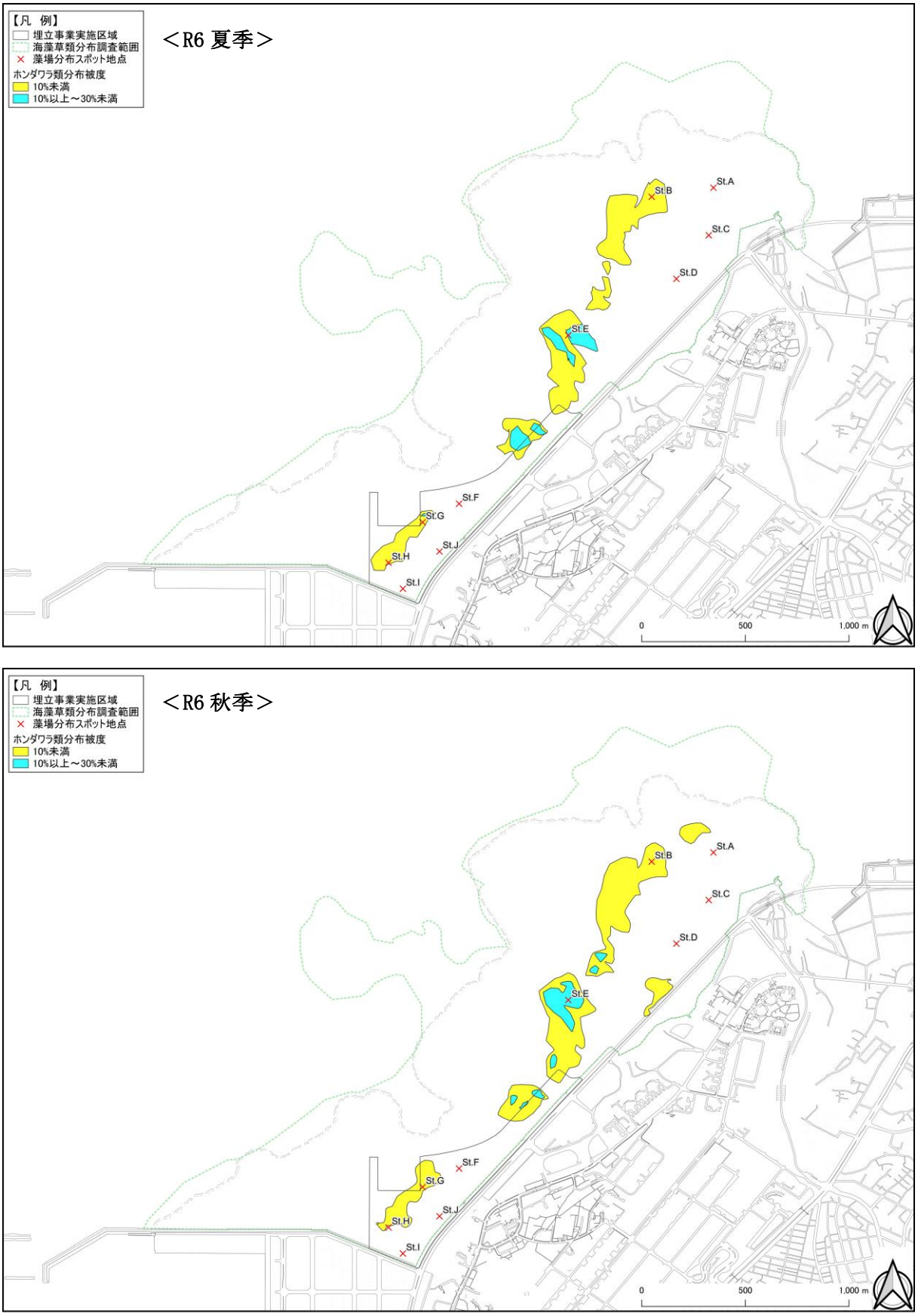


図 6.11.1.7（3）　ホンダワラ類の分布状況（季節間での経時変化）

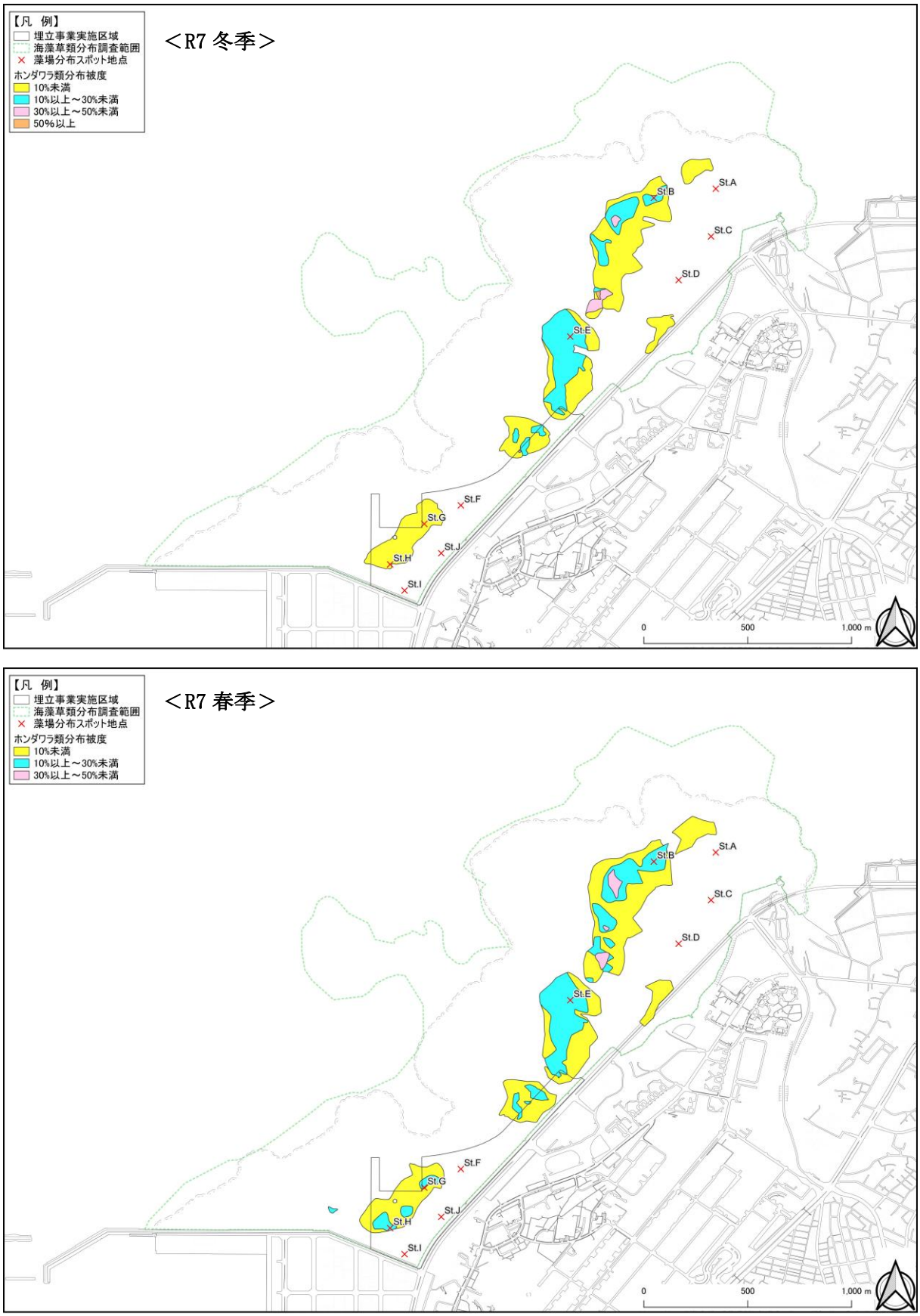


図 6.11.1.7（4）　ホンダワラ類の分布状況（季節間での経時変化）

（ケ）サンゴ類

ア）定点及び測線調査

サンゴ類の総出現種一覧は表 6.11.1.37 に、調査結果概要は表 6.11.1.36 に示すとおりである。

調査の結果、2 綱 3 目 16 科 183 種が確認された。

定点調査では、地点ごとの出現種類数は、2～94 種の範囲で変動しており夏季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、121～140 種であり夏季に最も多かった。

測線調査では、測線ごとの出現種類数は、34～55 種の範囲で変動しており春季で最も多かった。

季節別の出現種類数をみると、55～58 種の範囲で変動しており夏季及び秋季で最も多かった。

表 6.11.1.36　サンゴ類調査結果概要

調査日：夏季（定点）令和6年8月22～24日、9月5日、（測線）9月6～8、10～13日、（分布）8月13～16、26日
秋季（定点）令和6年10月10、22日、11月21日、（測線）11月4、20～21日、12月2～3、6日、（分布）10月7～8、11、21日、11月15日
冬季（定点）令和7年1月13、21日、2月20～21、25～26、28日、（測線）1月18～21日、2月15～16、26～27日、（分布）1月30～31日、2月1、28日
春季（定点）令和7年4月1～2、4～5日、5月1日、（測線）4月14、16～18日、5月12～14、16日、（分布）4月7～10日

項目		調査時期	令和6年		令和7年		四季合計
			夏季	秋季	冬季	春季	
出現種類数		定点調査	140 (3～94)	131 (2～85)	121 (2～76)	122 (2～80)	141 (2～94)
		測線調査	58 (36～55)	58 (35～54)	54 (34～50)	55 (35～50)	59 (34～55)
		総出現種類数	**181**	**175**	**165**	**167**	**183**
主な出現種	定点調査		コモンサンゴ属（樹枝状） フカアナハマサンゴ ハマサンゴ属（塊状） コトゲキクメイシ カンボクアナサンゴモドキ	コモンサンゴ属（樹枝状） フカアナハマサンゴ ハマサンゴ属（塊状） コモンサンゴ属（被覆状） アザミサンゴ	コモンサンゴ属（樹枝状） フカアナハマサンゴ ハマサンゴ属（塊状） アザミサンゴ ムカシサンゴ	コモンサンゴ属（樹枝状） フカアナハマサンゴ ハマサンゴ属（塊状） アザミサンゴ ムカシサンゴ	
	測線調査		ミドリイシ属（樹枝状） ミドリイシ属（コリンボース状） ミドリイシ属（テーブル状） アナサンゴ属 コモンサンゴ属（樹枝状）	ミドリイシ属（樹枝状） ミドリイシ属（コリンボース状） ミドリイシ属（テーブル状） アナサンゴ属 コモンサンゴ属（樹枝状）	ミドリイシ属（樹枝状） ミドリイシ属（コリンボース状） ミドリイシ属（テーブル状） アナサンゴ属 コモンサンゴ属（樹枝状）	ミドリイシ属（樹枝状） ミドリイシ属（コリンボース状） ミドリイシ属（テーブル状） アナサンゴ属 コモンサンゴ属（樹枝状）	

注：1. 各季節の出現種類数欄の（　）内は地点ごとの出現種類数の範囲を示す。
2. 各季節の主な出現種は、出現地点数の上位 5 種を示す。
3. 四季合計の出現種類数欄の（　）内は地点ごとの四季を通じた総出現種類数の範囲を示す。

表 6.11.1.37 (1)　サンゴ類の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（測線）9 月 6～8、10～13 日、（分布）8 月 13～16、26 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 10、22 日、11 月 21 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日、（分布）10 月 7～8、11、21 日、11 月 15 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～21、25～26、28 日、（測線）1 月 18～21 日、2 月 15～16、26～27 日、（分布）1 月 30～31 日、2 月 1、28 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日、（測線）4 月 14、16～18 日、5 月 12～14、16 日、（分布）4 月 7～10 日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
1	花虫	イシサンゴ	ミドリイシ	*Acropora anthocercis*	タマユビミドリイシ	●	●	●	●
2				*Acropora aspera*	ヒメマツミドリイシ	●	●	●	●
3				*Acropora cerealis*	ムギノホミドリイシ	●	●		
4				*Acropora cytherea*	ハナバチミドリイシ	●	●	●	●
5				*Acropora digitifera*	コユビミドリイシ	●	●	●	●
6				*Acropora donei*	*Acropora donei*	●	●		
7				*Acropora florida*	サボテンミドリイシ	●	●	●	●
8				*Acropora gemmifera*	オヤユビミドリイシ	●	●	●	●
9				*Acropora humilis*	ツツユビミドリイシ	●	●	●	●
10				*Acropora hyacinthus complex*	クシハダミドリイシ複合種群	●	●	●	●
11				*Acropora intermedia*	トゲスギミドリイシ	●	●	●	●
12				*Acropora microphthalma*	コエダミドリイシ	●	●	●	●
13				*Acropora millepora*	ハイマツミドリイシ	●	●	●	●
14				*Acropora monticulosa*	サンカクミドリイシ	●	●	●	●
15				*Acropora muricata*	スギノキミドリイシ	●	●	●	●
16				*Acropora nasuta*	ハナガサミドリイシ	●	●	●	●
17				*Acropora pulchra*	オトメミドリイシ	●	●	●	●
18				*Acropora samoensis*	サモアミドリイシ	●	●	●	●
19				*Acropora secale*	トゲホソエダミドリイシ	●	●	●	●
20				*Acropora selago*	タチハナガサミドリイシ	●	●	●	●
21				*Acropora tenuis*	ウスエダミドリイシ	●	●	●	●
22				*Acropora valida*	ホソエダミドリイシ	●	●		
23				*Acropora verweyi*	*Acropora verweyi*	●			
24				*Acropora yongei*	ヤングミドリイシ	●	●	●	●
25				*Acropora* sp. (arborescent)	ミドリイシ属（樹枝状）	●	●	●	●
26				*Acropora* sp. (corymbose)	ミドリイシ属（コリンボース状）	●	●	●	●
27				*Acropora* sp. (encrusting)	ミドリイシ属（被覆状）	●	●	●	●
28				*Acropora* sp. (tabular)	ミドリイシ属（テーブル状）	●	●	●	●
29				*Astreopora myriophthalma*	アナサンゴ	●	●	●	●
30				*Astreopora* sp.	アナサンゴ属	●	●	●	●
31				*Isopora palifera*	ニオウミドリイシ	●	●	●	
32				*Isopora* sp.	ニオウミドリイシ属	●	●	●	●
33				*Montipora aequituberculata*	チヂミウスコモンサンゴ	●			
34				*Montipora conferta*	コイボコモンサンゴ	●	●	●	●
35				*Montipora confusa*	ミダレアミメコモンサンゴ	●	●	●	●
36				*Montipora foliosa*	ウスコモンサンゴ	●	●	●	●
37				*Montipora foveolata*	オオクボミコモンサンゴ	●	●	●	●
38				*Montipora millepora*	ミレポラコモンサンゴ	●	●		
39				*Montipora mollis*	モリスコモンサンゴ	●	●	●	●
40				*Montipora* sp. ABATA	アバタコモンサンゴ	●	●	●	●
41				*Montipora* sp. KOBUTOGE	コブトゲコモンサンゴ	●	●	●	●
42				*Montipora* sp. (arborescent)	コモンサンゴ属（樹枝状）	●	●	●	●
43				*Montipora* sp. (encrusting)	コモンサンゴ属（被覆状）	●	●	●	●
44				*Montipora* sp. (laminar)	コモンサンゴ属（葉状）	●	●	●	●
45			ヒラフキサンゴ	*Pachyseris gemmae*	イボリュウモンサンゴ	●			●
46				*Pachyseris rugosa*	シワリュウモンサンゴ	●	●	●	
47				*Pachyseris speciosa*	リュウモンサンゴ	●	●	●	●
48				*Pachyseris* sp.	リュウモンサンゴ属	●	●	●	●
49				*Pavona* sp.	シコロサンゴ属	●	●	●	●
50			キサンゴ	*Turbinaria irregularis*	ツツスリバチサンゴ	●	●	●	●
51				*Turbinaria mesenterina*	スリバチサンゴ	●	●	●	●
52				*Turbinaria reniformis*	ヨコミゾスリバチサンゴ	●	●	●	●
53				*Turbinaria stellulata*	ヒメスリバチサンゴ	●	●		●
54				*Turbinaria* sp.	スリバチサンゴ属	●	●	●	●
55			ハナサンゴ	*Euphyllia* sp.	ナガレハナサンゴ属				●
56				*Fimbriaphyllia* sp.	*Fimbriaphyllia*属	●	●		●
57				*Galaxea fascicularis*	アザミサンゴ	●	●	●	●
58				*Galaxea* sp.	アザミサンゴ属	●	●	●	●
59			ハマサンゴ	*Bernardpora* sp.	コハナガササンゴ属	●	●	●	
60				*Goniopora* sp.	ハナガササンゴ属	●	●	●	●
61				*Porites australiensis*	ハマサンゴ	●	●	●	●
62				*Porites cylindrica*	ユビエダハマサンゴ	●	●	●	●
63				*Porites heronensis*	フタマタハマサンゴ	●	●	●	●
64				*Porites lichen*	ベニハマサンゴ	●	●	●	●
65				*Porites lobata*	フカアナハマサンゴ	●	●	●	●
66				*Porites lutea*	コブハマサンゴ	●	●	●	●
67				*Porites negrosensis*	ネグロスハマサンゴ	●	●	●	●
68				*Porites solida*	オオハマサンゴ	●	●	●	●
69				*Porites* sp. (arborescent)	ハマサンゴ属（樹枝状）	●	●	●	●
70				*Porites* sp. (encrusting)	ハマサンゴ属（被覆状）	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.37 (2)　サンゴ類の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（測線）9 月 6～8、10～13 日、（分布）8 月 13～16、26 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 10、22 日、11 月 21 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日、（分布）10 月 7～8、11、21 日、11 月 15 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～21、25～26、28 日、（測線）1 月 18～21 日、2 月 15～16、26～27 日、（分布）1 月 30～31 日、2 月 1、28 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日、（測線）4 月 14、16～18 日、5 月 12～14、16 日、（分布）4 月 7～10 日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
71	花虫	イシサンゴ	ハマサンゴ	*Porites* sp. (massive)	ハマサンゴ属（塊状）	●	●	●	●
72				*Stylaraea punctata*	ヒメサンゴ			●	●
73			ムカシサンゴ	*Stylocoeniella guentheri*	ムカシサンゴ	●	●	●	●
74				*Stylocoeniella* sp.	ムカシサンゴ属	●	●	●	●
75			ヤスリサンゴ	*Coscinaraea* sp.	ヤスリサンゴ属	●	●	●	●
76			ダイオウサンゴ	*Diploastrea* sp.	ダイオウサンゴ属	●	●	●	●
77			クサビライシ	*Ctenactis* sp.	トゲクサビライシ属	●	●	●	●
78				*Fungia* sp.	クサビライシ属	●	●	●	●
79				*Herpolitha* sp.	キュウリイシ属	●	●	●	●
80				*Lithophyllon concinna*	ヒラタクサビライシ	●			
81				*Lithophyllon lobata*	ミナミカワラサンゴ	●	●		●
82				*Lithophyllon* sp.	カワラサンゴ属	●	●	●	●
83				*Sandalolitha* sp.	ヘルメットイシ属	●	●	●	●
84			オオトゲサンゴ	*Acanthastrea echinata*	ヒメオオトゲキクメイシ	●	●	●	●
85				*Acanthastrea* sp.	オオトゲサンゴ属	●	●	●	●
86				*Echinophyllia aspera*	キンカサンゴ	●	●	●	●
87				*Echinophyllia orpheensis*	アバレキッカサンゴ	●	●	●	●
88				*Echinophyllia* sp.	キッカサンゴ属	●	●	●	●
89				*Homophyllia* sp.	*Homophyllia* 属	●	●	●	●
90				*Lobophyllia corymbosa*	マルハナガタサンゴ	●	●	●	●
91				*Lobophyllia hemprichii*	オオハナガタサンゴ	●	●	●	●
92				*Lobophyllia recta*	ホソダイノウサンゴ	●	●	●	●
93				*Lobophyllia* sp.	ハナガタサンゴ属	●	●	●	●
94				*Oxypora* sp.	アナキッカサンゴ属	●	●	●	●
95			サザナミサンゴ	*Astrea curta*	マルキクメイシ	●	●	●	●
96				*Astrea* sp.	マルキクメイシ属	●	●	●	●
97				*Caulastraea* sp.	タバネサンゴ属	●	●	●	●
98				*Coelastrea aspera*	パリカメノコキクメイシ	●	●	●	●
99				*Coelastrea* sp. 1	*Coelastrea* sp. 1	●	●	●	●
100				*Coelastrea* sp.	パリカメノコキクメイシ属	●	●	●	●
101				*Cyphastrea agassizi*	アラトゲキクメイシ	●	●	●	●
102				*Cyphastrea chalcidicum*	コトゲキクメイシ	●	●	●	●
103				*Cyphastrea conferta*	マダラトゲキクメイシ	●	●	●	●
104				*Cyphastrea japonica*	ニホントゲキクメイシ	●	●	●	●
105				*Cyphastrea microphthalma*	トゲキクメイシ	●	●		
106				*Cyphastrea ocellina*	ヒメトゲキクメイシ	●	●	●	●
107				*Cyphastrea serailia*	フカトゲキクメイシ	●	●	●	●
108				*Cyphastrea* sp.	トゲキクメイシ属	●	●	●	●
109				*Dipsastraea favus*	ナミキクメイシ	●	●	●	●
110				*Dipsastraea lizardensis*	リザードキクメイシ	●	●		
111				*Dipsastraea matthaii*	アラキクメイシ	●	●	●	●
112				*Dipsastraea pallida*	ウスチャキクメイシ	●	●	●	●
113				*Dipsastraea speciosa*	キクメイシ	●	●	●	●
114				*Dipsastraea truncata*	キザハシキクメイシ	●	●	●	●
115				*Dipsastraea veroni*	アバレキクメイシ	●	●	●	●
116				*Dipsastraea* sp.	キクメイシ属	●	●	●	●
117				*Echinopora gemmacea*	オオリュウキュウキッカサンゴ	●	●	●	●
118				*Echinopora lamellosa*	リュウキュウキッカサンゴ	●	●	●	●
119				*Echinopora* sp.	リュウキュウキッカサンゴ属	●	●	●	●
120				*Favites abdita*	カメノコキクメイシ	●	●	●	●
121				*Favites colemani*	ヒメタカクキクメイシ	●	●	●	●
122				*Favites complanata*	*Favites complanata*	●	●	●	●
123				*Favites halicora*	マルカメノコキクメイシ	●	●	●	●
124				*Favites magnistellata*	オオマルキクメイシ	●	●	●	●
125				*Favites pentagona*	ゴカクキクメイシ	●	●	●	●
126				*Favites rotundata*	アツキクメイシ	●	●	●	●
127				*Favites stylifera*	ミゾカメノコキクメイシ	●	●	●	●
128				*Favites valenciennesi*	タカクキクメイシ	●	●	●	●
129				*Favites virens*	オオカメノコキクメイシ	●	●	●	●
130				*Favites* sp. NISETAKAKU	ニセタカクキクメイシ	●	●	●	●
131				*Favites* sp.	カメノコキクメイシ属	●	●	●	●
132				*Goniastrea edwardsi*	ヒラカメノコキクメイシ	●	●	●	●
133				*Goniastrea favulus*	ヒメウネカメノコキクメイシ	●	●	●	●
134				*Goniastrea pectinata*	コカメノコキクメイシ	●	●	●	●
135				*Goniastrea retiformis*	コモンキクメイシ	●	●	●	●
136				*Goniastrea* sp.	コカメノコキクメイシ属	●	●	●	●
137				*Hydnophora exesa*	トゲイボサンゴ	●	●	●	●
138				*Hydnophora microconos*	リュウキュウイボサンゴ	●	●	●	●
139				*Hydnophora rigida*	*Hydnophora rigida*	●			
140				*Hydnophora* sp.	イボサンゴ属	●	●	●	●

注：●は出現を示す。

表 6.11.1.37 (3)　サンゴ類の総出現種一覧

調査日：夏季（定点）令和 6 年 8 月 22～24 日、9 月 5 日、（測線）9 月 6～8、10～13 日、（分布）8 月 13～16、26 日
秋季（定点）令和 6 年 10 月 10、22 日、11 月 21 日、（測線）11 月 4、20～21 日、12 月 2～3、6 日、（分布）10 月 7～8、11、21 日、11 月 15 日
冬季（定点）令和 7 年 1 月 13、21 日、2 月 20～21、25～26、28 日、（測線）1 月 18～21 日、2 月 15～16、26～27 日、（分布）1 月 30～31 日、2 月 1、28 日
春季（定点）令和 7 年 4 月 1～2、4～5 日、5 月 1 日、（測線）4 月 14、16～18 日、5 月 12～14、16 日、（分布）4 月 7～10 日

No.	綱名	目名	科名	学名	和名	調査時期			
						夏季	秋季	冬季	春季
141	花虫	イシサンゴ	サザナミサンゴ	*Leptoria phrygia*	ナガレサンゴ	●	●	●	●
142				*Leptoria* sp.	ナガレサンゴ属	●	●	●	●
143				*Merulina ampliata*	サザナミサンゴ	●	●	●	●
144				*Merulina triangularis*	サザナミサンゴ属	●	●	●	●
145				*Mycedium* sp.	ウスカミサンゴ属	●	●	●	●
146				*Paragoniastrea australensis*	ウネカメノコキクメイシ	●			
147				*Paragoniastrea* sp.	ウネカメノコキクメイシ属	●	●	●	●
148				*Pectinia alcicornis*	アザミウミバラ	●	●	●	●
149				*Pectinia paeonia*	レースウミバラ	●	●	●	●
150				*Pectinia* sp.	スジウミバラ属	●	●	●	●
151				*Platygyra contorta*	チヂミノウサンゴ	●	●	●	●
152				*Platygyra daedalea*	ヒラノウサンゴ	●	●	●	●
153				*Platygyra lamellina*	ノウサンゴ	●	●	●	●
154				*Platygyra pini*	ヒメノウサンゴ	●	●	●	●
155				*Platygyra ryukyuensis*	リュウキュウノウサンゴ	●	●	●	●
156				*Platygyra sinensis*	シナノウサンゴ	●	●	●	●
157				*Platygyra* sp.	ノウサンゴ属	●	●	●	●
158				*Scapophyllia cylindrica*	オオサザナミサンゴ	●	●	●	●
159				*Scapophyllia* sp.	オオサザナミサンゴ属	●	●	●	●
160			ハナヤサイサンゴ	*Pocillopora acuta*	ホソエダハナヤサイ	●	●	●	●
161				*Pocillopora damicornis*	ハナヤサイサンゴ	●	●	●	●
162				*Pocillopora eydouxi*	ヘラジカハナヤサイサンゴ	●	●	●	●
163				*Pocillopora meandrina*	チリメンハナヤサイサンゴ	●	●	●	●
164				*Pocillopora verrucosa*	イボハダハナヤサイサンゴ	●	●	●	●
165				*Pocillopora* sp.	ハナヤサイサンゴ属	●	●	●	●
166				*Stylophora* sp.	ショウガサンゴ属	●	●		
167			アミメサンゴ	*Psammocora albopicta*	ベルベットサンゴ	●	●	●	●
168				*Psammocora profundacella*	アミメサンゴ	●	●	●	●
169				*Psammocora* sp.	アミメサンゴ属	●	●	●	●
170			所属不明	*Leptastrea bewickensis*	ヒメルリサンゴ	●	●	●	●
171				*Leptastrea purpurea*	ルリサンゴ	●	●	●	●
172				*Leptastrea transversa*	アラルリサンゴ	●	●	●	●
173				*Leptastrea* sp.	ルリサンゴ属	●	●	●	●
174				*Oulastrea crispata*	キクメイシモドキ	●	●	●	●
175				*Oulastrea* sp.	キクメイシモドキ属	●	●		
176				*Plesiastrea versipora*	コマルキクメイシ	●	●	●	●
177				*Plesiastrea* sp.	コマルキクメイシ属	●	●	●	●
178		アオサンゴ	アオサンゴ	*Heliopora* sp.	アオサンゴ属	●	●	●	●
179	ヒドロ虫	ヒドロサンゴ	アナサンゴモドキ	*Millepora exaesa*	カンボクアナサンゴモドキ	●	●	●	●
180				*Millepora platyphylla*	イタアナサンゴモドキ	●	●	●	●
181				*Millepora* sp. (arborescent)	アナサンゴモドキ属（樹枝状）	●	●	●	●
182				*Millepora* sp. (encrusting)	アナサンゴモドキ属（被覆状）	●	●	●	●
183				*Millepora* sp. (plate-like)	アナサンゴモドキ属（板状）	●	●	●	●
合計	2綱	3目	16科	183種類		181	175	165	167

注：●は出現を示す。

イ）分布調査

サンゴ類の被度区分別分布面積は表 6.11.1.38 に、サンゴ類の分布状況を図 6.11.1.8 に示すとおりである。

また、調査時の水温調査結果を図 6.11.1.9 に示す。令和 6 年夏季から令和 6 年秋季の間に高水温により白化が確認され、リーフエッジに分布するサンゴ類を中心に被度は減少した。

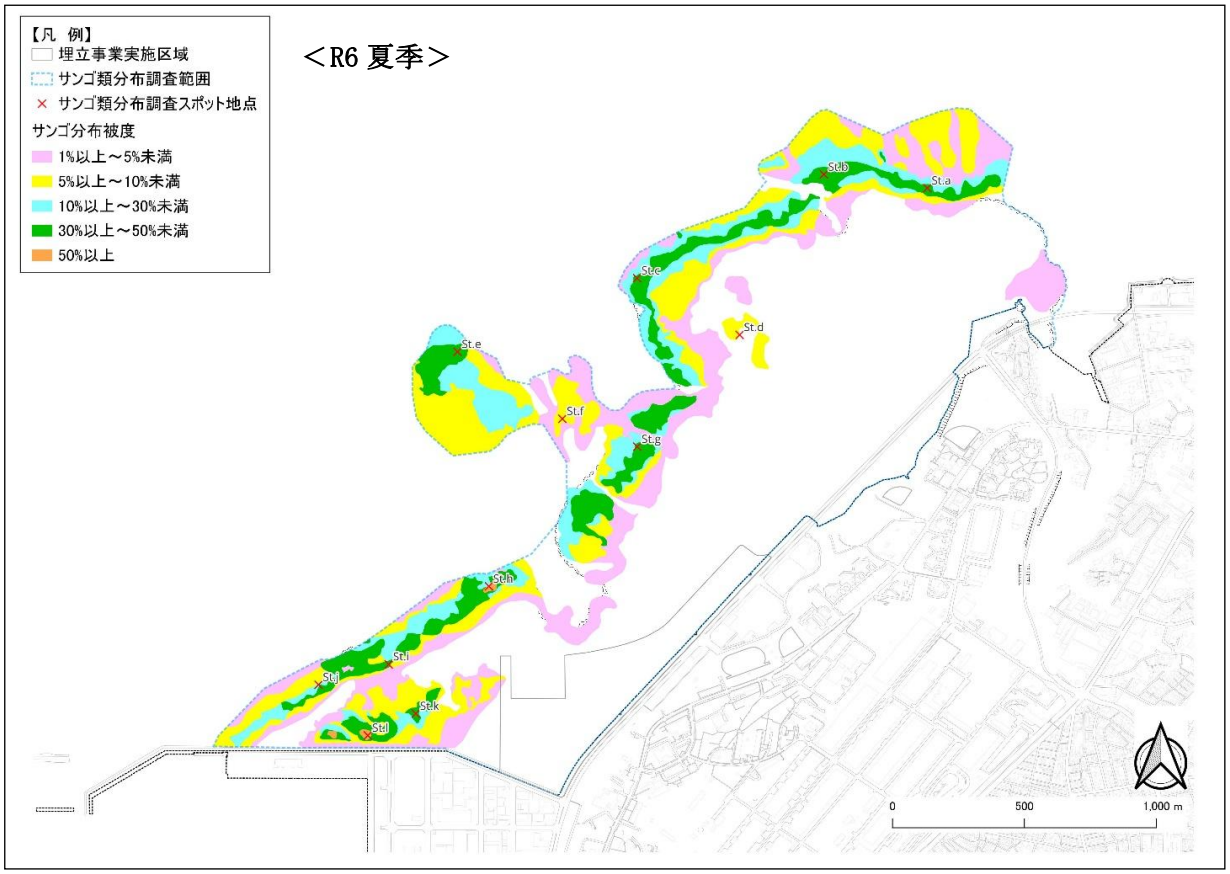
表 6.11.1.38　サンゴ類の分布面積とサンゴ量

夏季 令和6年8月13～16、26日
秋季 令和6年10月7、8、11、21、11月15日
冬季 令和7年1月30、31、2月1、28日
春季 令和7年4月7～10日

単位：ha

サンゴ類の被度区分	夏季	秋季	冬季	春季
1%以上 5%未満	46.4	78.2	87.7	90.3
5%以上 10%未満	47.5	44.4	50.2	47.8
10%以上 30%未満	27.8	19.0	6.3	6.4
30%以上 50%未満	24.6	4.7	2.1	2.0
50%以上	0.4	0.2	0.2	0.2
合計	146.6	146.6	146.6	146.6
サンゴ量	20.4	11.2	8.3	8.1

注：1. 小数点 2 桁以下は四捨五入
　　2. サンゴ量（各被度区分の中間値×その区分の面積(ha)）の合計



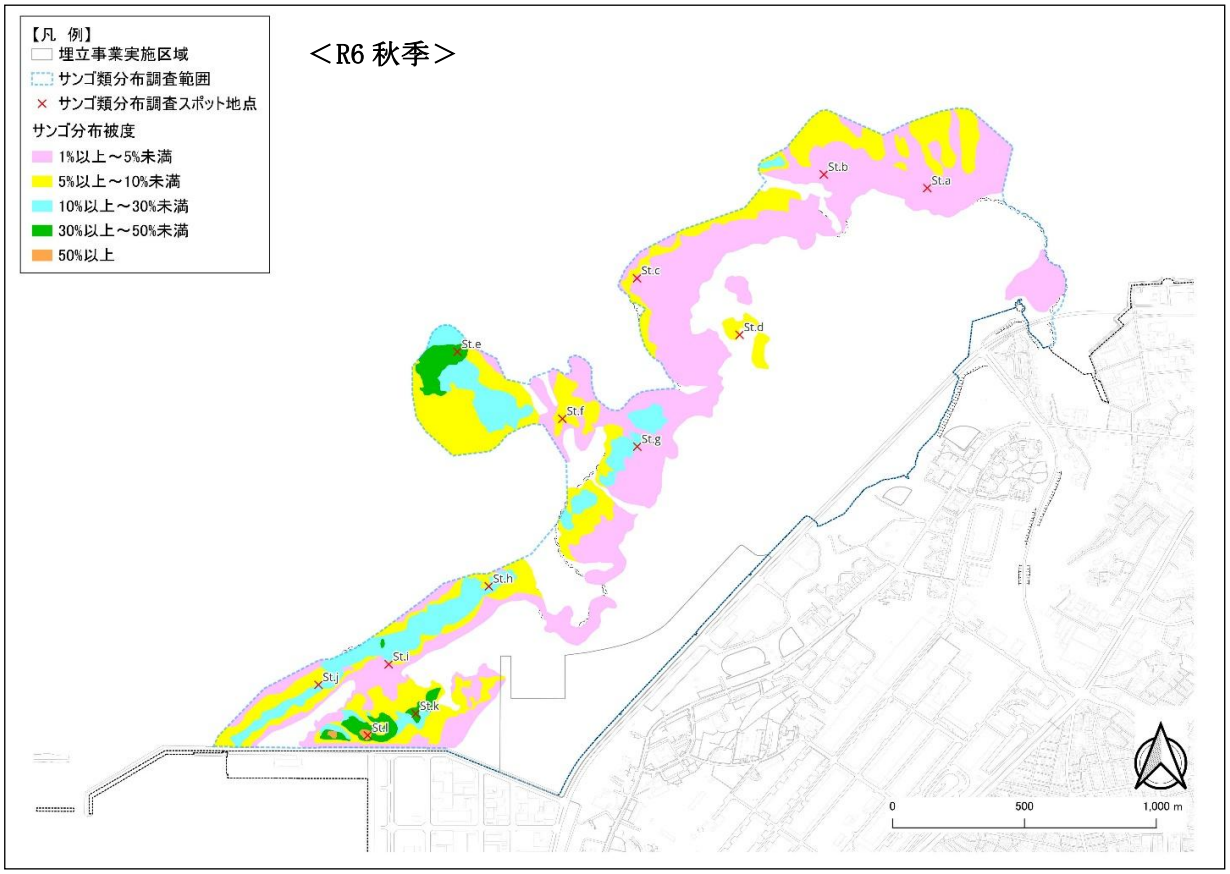
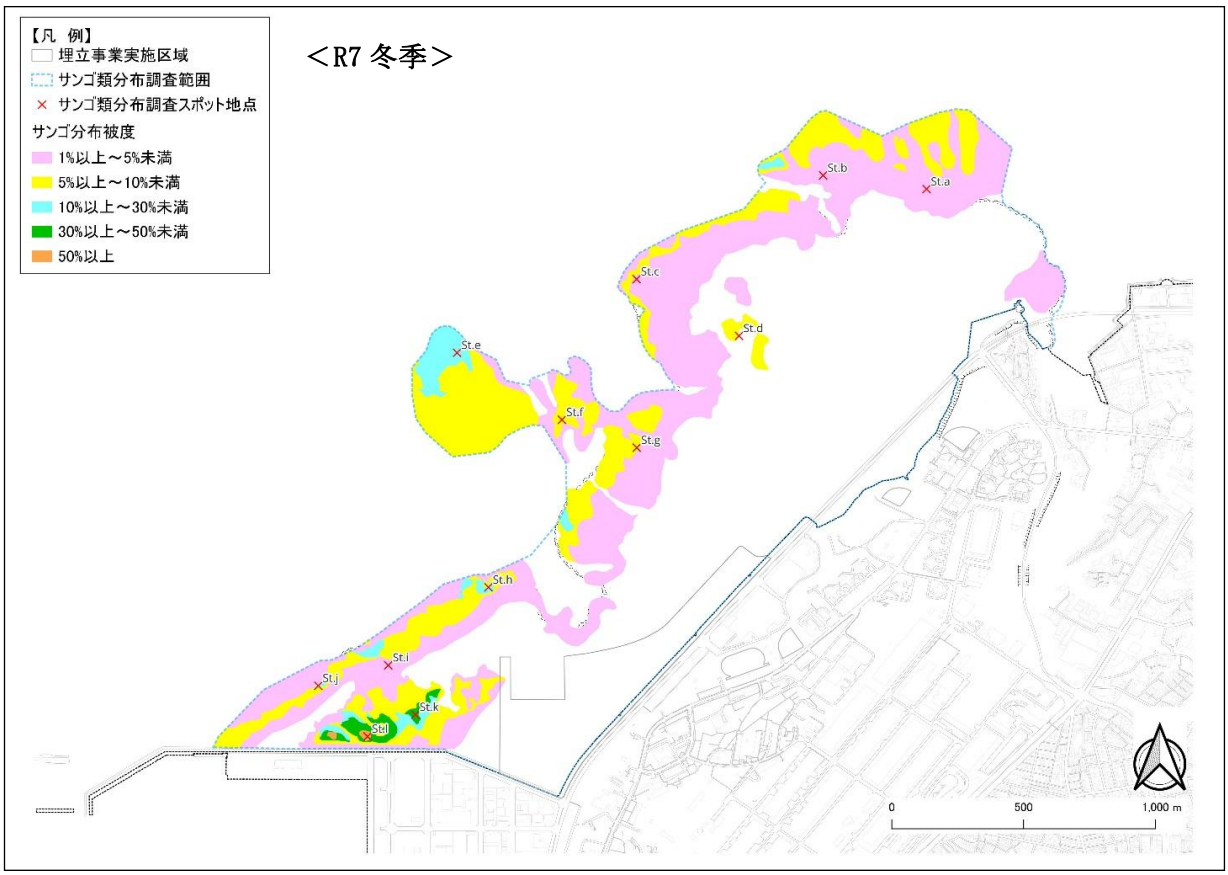


図 6.11.1.8(1)　サンゴ類の分布状況（四季での比較）



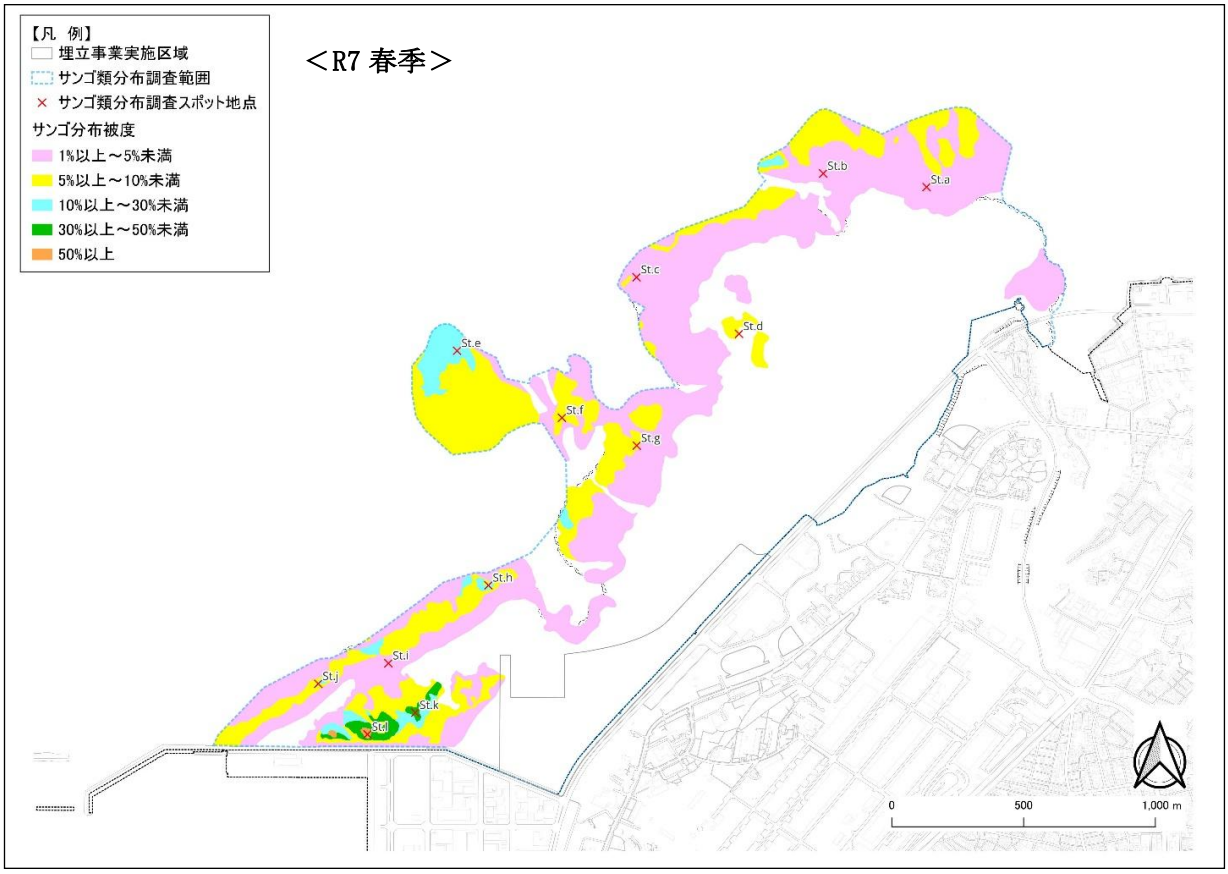


図 6.11.1.8(2)　サンゴ類の分布状況（四季での比較）

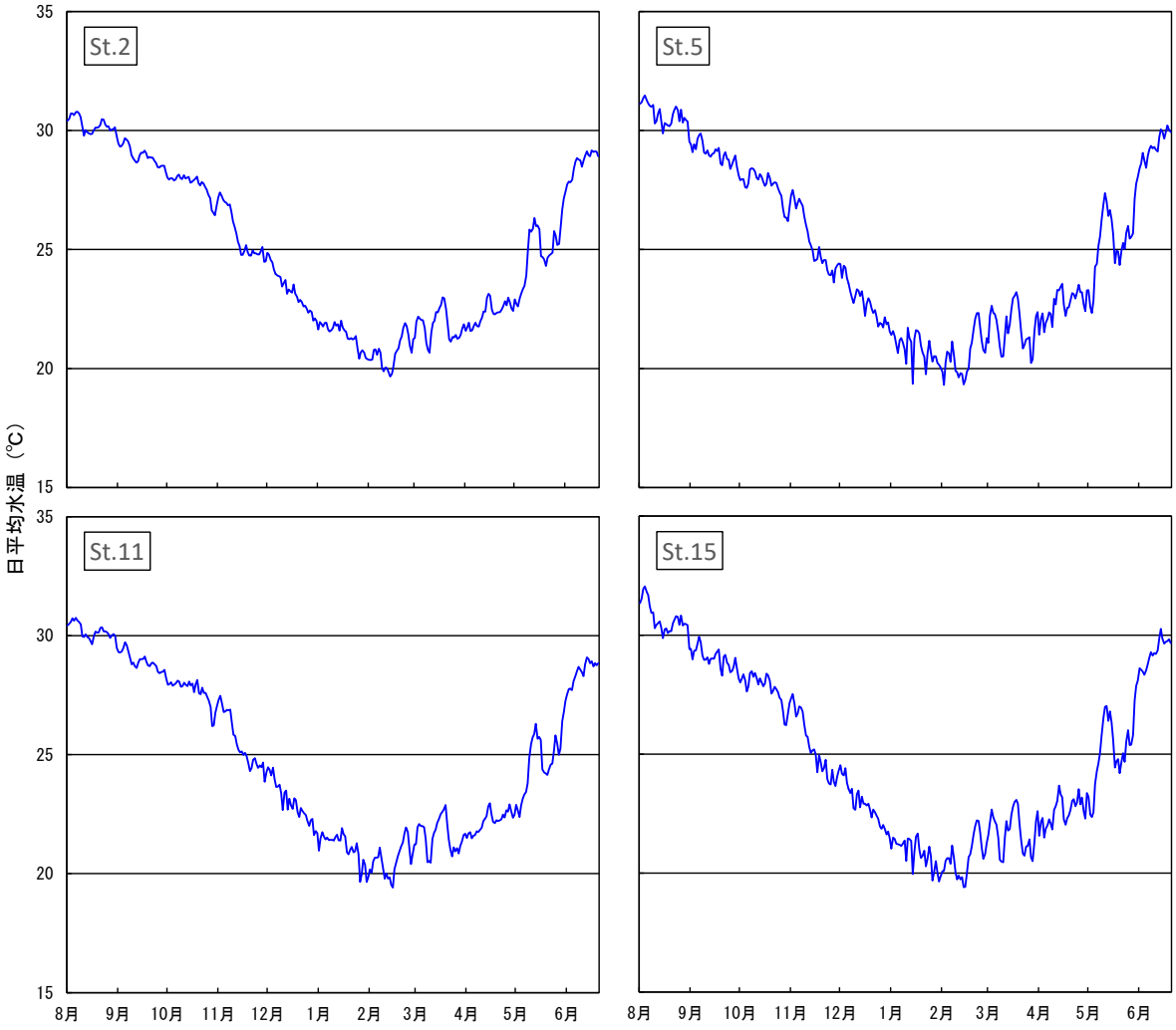


図 6.11.1.9　各地点における日平均水温の推移（2024/8/10～2025/6/29）

（サ）カサノリ類

ア）分布調査

第 1～3 回調査におけるカサノリ類（カサノリとホソエガサ）の分布面積を表 6.11.1.39、分布状況を図 6.11.1.10 に示す。カサノリの分布状況を図 6.11.1.11、ホソエガサの分布状況を図 6.11.1.12 に示す。

第 1～3 回調査では、カサノリ類は主に浦添ふ頭地区のリーフ内における橋梁部周辺で確認された。カサノリ類の分布面積については、第 1 回調査ではカサノリの方が分布面積が広かったものの、第 2 回、第 3 回調査ではホソエガサの方が分布面積が広かった。いずれの調査時期においてもカサノリ、ホソエガサともに全生育箇所における被度は 5%未満であった。

表 6.11.1.39　カサノリ類の分布面積

単位：ha

	カサノリ	ホソエガサ	カサノリ類
第1回調査（R7.1月）	2.1	0.1	2.1
第2回調査（R7.2月）	6.2	8.1	8.3
第3回調査（R7.3月）	5.4	9.6	10.1

注：カサノリ類の面積は、カサノリ、ホソエガサの混成域を含む。



図 6.11.1.10（1）　カサノリ類（カサノリとホソエガサ）の分布状況（第1回調査：令和7年1月）



図 6.11.1.10（2）　カサノリ類（カサノリとホソエガサ）の分布状況（第2回調査：令和7年2月）



図 6.11.1.10（3）　カサノリ類（カサノリとホソエガサ）の分布状況（第3回調査：令和7年3月）



図 6.11.1.11（1）　カサノリの分布状況（第1回調査：令和7年1月）

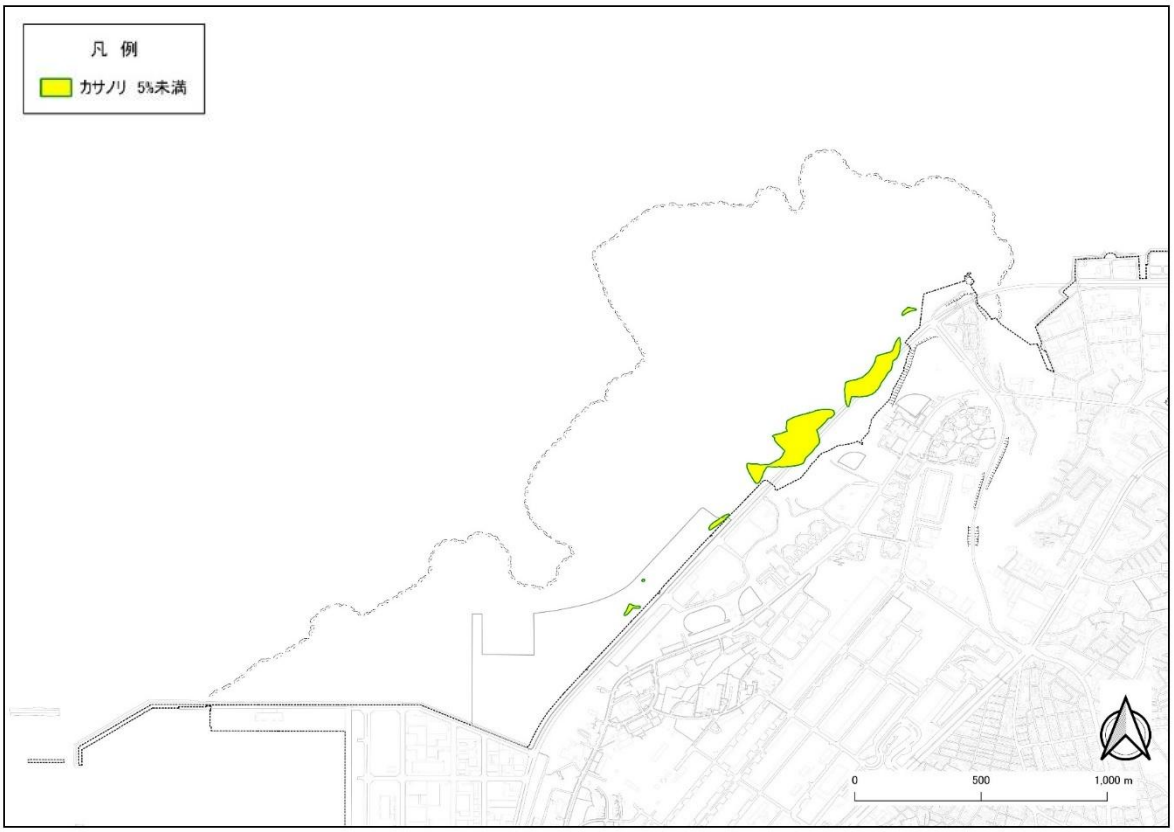


図 6.11.1.11（2）　カサノリの分布状況（第 2 回調査：令和 7 年 2 月）

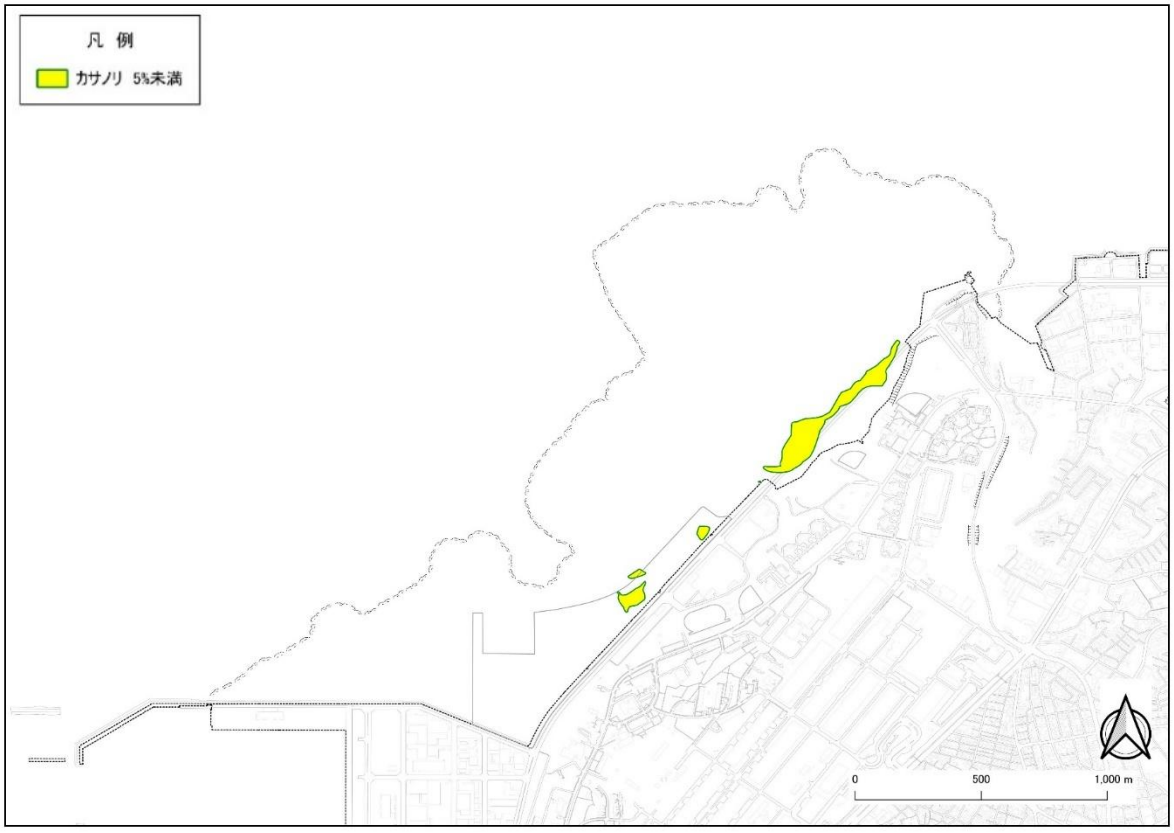


図 6.11.1.11（3）　カサノリの分布状況（第 3 回調査：令和 7 年 3 月）



図 6.11.1.12（1）　ホソエガサの分布状況（第 1 回調査：令和 7 年 1 月）

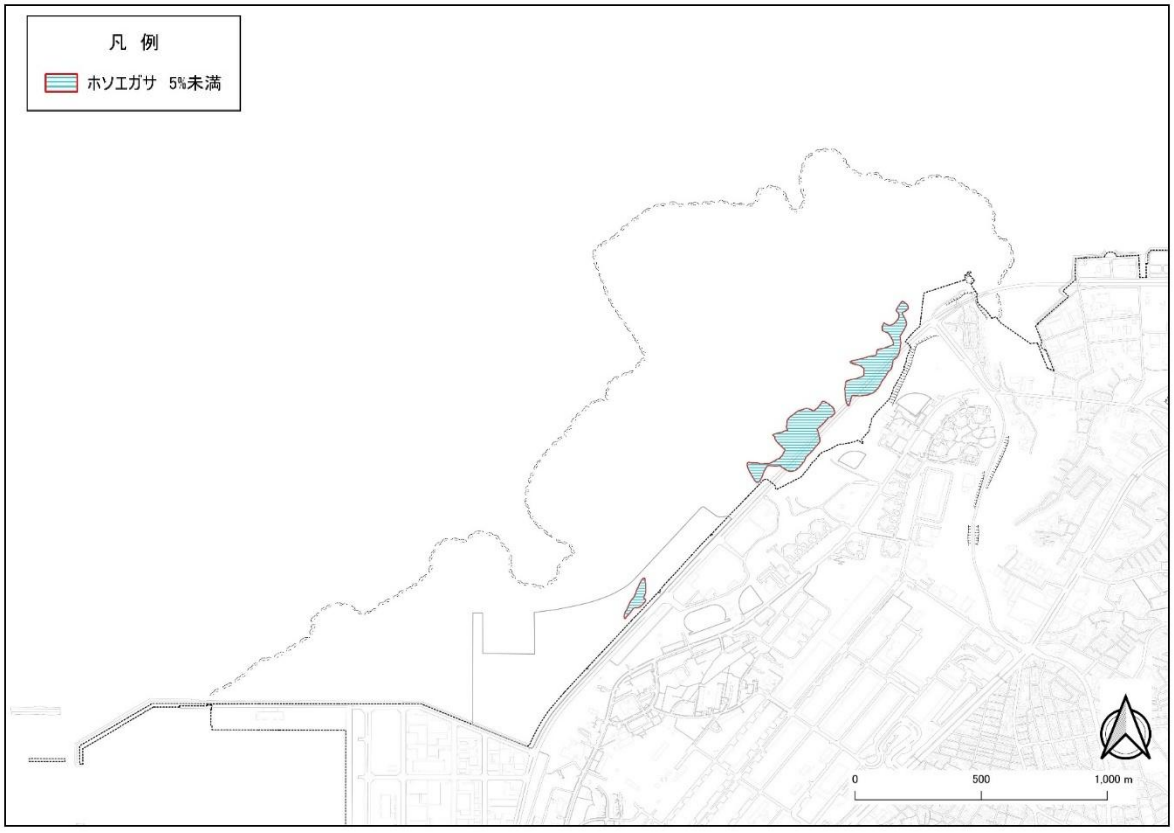


図 6.11.1.12（2）　ホソエガサの分布状況（第 2 回調査：令和 7 年 2 月）



図 6.11.1.12（3）　ホソエガサの分布状況（第3回調査：令和7年3月）

イ）スポット調査

確認されたカサノリ類一覧は表 6.11.1.40 に、第 1～3 回調査におけるカサノリ類の分布状況とスポット調査位置は図 6.11.1.13 に、スポット調査結果は表 6.11.1.41 に示すとおりである。

コドラート（2m×2m）内におけるカサノリ及びホソエガサの被度は全地点で 5%未満であった。株数は調査時期によって異なるものの、カサノリ、ホソエガサともに 1～10 本から 101～500 本まで確認された。成長段階はカサノリ、ホソエガサともに 1 月及び 2 月では幼体、輪生枝、傘状体が確認され、3 月には衰退した状態も確認された。

表 6.11.1.40　確認された重要な種一覧（カサノリ類）

No.	綱名	目名	科名	和名	調査時期			重要な種選定基準			
					R7.1	R7.2	R7.3	①環境省RL	②環境省 海洋生物RL	③水産庁 海洋生物RL	④改訂沖縄県 RDB第3版
1	緑藻	カサノリ	カサノリ	ホソエガサ	●	●	●	準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅰ類
2				カサノリ	●	●	●	絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
合計	1綱	1目	1科	2種類	2種類	2種類	2種類	2種類	0種類	0種類	2種類

以下の①～④のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

①環境省 RL　：「第５次レッドリスト（植物・菌類）の 公表について（お知らせ）」（令和 7 年 3 月 18 日報道発表、環境省）に記載されている種及び亜種

②環境省海洋生物 RL：「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」（平成 29 年 3 月 21 日報道発表、環境省）に記載されている種及び亜種

③水産庁海洋生物 RL：「海洋生物レッドリストの公表について」（平成 29 年 3 月 21 日報道発表、水産庁）に記載されている種及び亜種

- 絶滅危惧Ⅰ類　：絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA 類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- 絶滅危惧ⅠB 類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- 絶滅危惧Ⅱ類　：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧　：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 情報不足　：評価するだけの情報が不足している種
- 地域個体群　：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

④改訂沖縄県 RDB 第 3 版：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第 3 版-動物編-」（平成 29 年 5 月 17 日、沖縄県）に記載されている種及び亜種

- 絶滅危惧Ⅰ類　：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA類　：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- 絶滅危惧ⅠB類　：沖縄県ではⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- 絶滅危惧Ⅱ類　：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- 準絶滅危惧　：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- 情報不足　：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- 絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高い個体群



図 6.11.1.13（1）　カサノリ類の分布状況とスポット調査位置（第 1 回調査：令和 7 年 1 月）

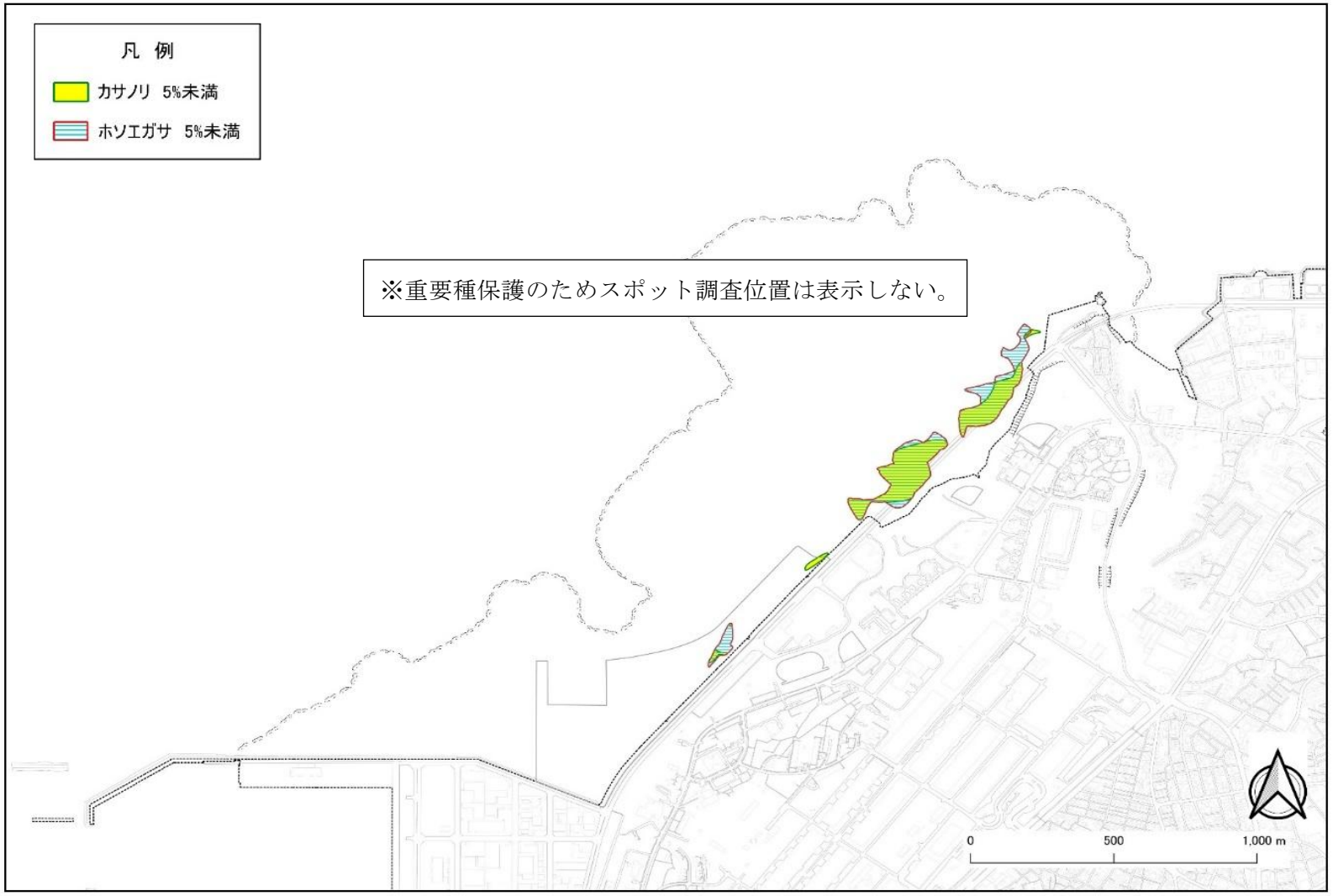


図 6.11.1.13（2）　カサノリ類の分布状況とスポット調査位置（第 2 回調査：令和 7 年 2 月）



図 6.11.1.13（3）　カサノリ類の分布状況とスポット調査位置（第 3 回調査：令和 7 年 3 月）

表 6.11.1.41（1）　カサノリ類スポット調査結果（第1回調査：令和7年1月）

項目		調査地点	St.a				St.b				St.c			
		調査日	令和7年1月16日				令和7年1月16日				令和7年1月16日			
		調査時刻	15:22				14:53				14:17			
地点概況	調査時の水深（m）		0.3				0.3				0.1			
	底質		砂礫				砂礫				砂礫			
	浮泥		+				−				+			
ｽﾎﾟｯﾄ調査	分類		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ	
2m×2m	被度		<5%		<5%		<5%		<5%		<5%		<5%	
	株数		R		R		+		+		+		++	
	個体群の成長段階		Ⅱ		Ⅱ		Ⅱ		Ⅱ		Ⅱ		Ⅱ～Ⅲ	
詳細調査	地点		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低	
0.5m×0.5m	分類		ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ
	株数		3	2	−	2	35	11	−	2	5	15	−	3
	成長段階		Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ
	着生基盤種類		Cb	Cb		Cb	Cb	Cb		Cb	Cb	Cb		Cb
	着生基盤埋没深さ（cm）		0～0.6		0～0.3		0～0.5		0～0.5		0～0.5		0～0.3	
	着生基盤長径（cm）		1.5～3		1.5～3		0.5～2		0.5～2.5		1.5～3		1～3	
	その他の海藻被度		<5%		<5%		<5%		<5%		5%		<5%	
	その他の海草被度		<5%		<5%		−		−		−		<5%	

項目		調査地点	St.d				St.e			
		調査日	令和7年1月16日				令和7年1月16日			
		調査時刻	13:33				13:15			
地点概況	調査時の水深（m）		0.5				0.4			
	底質		砂礫				砂礫			
	浮泥		+				−			
ｽﾎﾟｯﾄ調査	分類		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ	
2m×2m	被度		<5%		<5%		<5%		−	
	株数		++		+		c			
	個体群の成長段階		Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ			
詳細調査	地点		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低	
0.5m×0.5m	分類		ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ
	株数		50	15	9	2	108	−	6	−
	成長段階		Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ		Ⅰ～Ⅱ	
	着生基盤種類		Cb	Cb	Cb	Cb	Cm		Cm	
	着生基盤埋没深さ（cm）		0～0.5		0～1		0～2		0～0.5	
	着生基盤長径（cm）		2～3		0.5～4		1～4		0.5～5	
	その他の海藻被度		10%		5%		<5%		<5%	
	その他の海草被度		<5%		<5%		−		−	

注：1.水深は実測値を示す。
2.表中の「-」は確認されなかったことを示す。
3.各項目の凡例は以下の通りである。
浮泥堆積：+：部分的に少量確認される、++：全体的に少量確認される、+++：全体的に1mm以上の堆積が確認される
成長段階：Ⅰ：幼体、Ⅱ：輪生枝、Ⅲ：傘状体、Ⅳ：衰退した状態
株　数：R：1～10本、+：11～50本、++：51～100本、c：101～500本、vc：1,000本以上（概数記録）、−：出現せず
着生基盤：R：岩盤、S：転石、Pl：巨礫、Pm：大礫、Ps：小礫、Sh：貝殻、Cm：塊状ｻﾝｺﾞ礫、Cb：枝状ｻﾝｺﾞ礫、その他（ﾛｰﾌﾟ、空缶等）

表 6.11.1.41（2）　カサノリ類スポット調査結果（第2回調査：令和7年2月）

項目		調査地点	St.a				St.b				St.c			
		調査日	令和7年2月14日				令和7年2月14日				令和7年2月14日			
		調査時刻	15:08				14:39				14:11			
地点概況	調査時の水深（m）		0.2				0.2				0.2			
	底質		砂礫				砂礫				砂礫			
	浮泥		－				＋				＋			
ｽﾎﾟｯﾄ調査	分類		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ	
2m×2m	被度		<5%		<5%		<5%		<5%		<5%		<5%	
	株数		R		++		R		++		R		c	
	個体群の成長段階		Ⅱ		Ⅰ～Ⅲ		Ⅲ		Ⅰ～Ⅲ		Ⅰ		Ⅰ～Ⅲ	
詳細調査	地点		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低	
0.5m×0.5m	分類		ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ
	株数		4	16	2	5	1	23	1	11	3	158	2	21
	成長段階		Ⅱ	Ⅰ～Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ～Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ～Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ～Ⅱ
	着生基盤種類		Cb,Ps	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb
	着生基盤埋没深さ（cm）		0.2～0.5		0～0.5		0.2～0.5		0～0.5		0～0.5		0～0.5	
	着生基盤長径（cm）		1.5～5		1.5～3		0.5～4		2.5～4.5		1.5～6		2～4	
	その他の海藻被度		15%		10%		10%		<5%		<5%		<5%	
	その他の海草被度		<5%		<5%		10%		<5%		<5%		－	

項目		調査地点	St.d				St.e			
		調査日	令和7年2月14日				令和7年2月14日			
		調査時刻	13:43				12:53			
地点概況	調査時の水深（m）		0.2				<0.1			
	底質		砂礫				砂、岩盤			
	浮泥		－				なし			
ｽﾎﾟｯﾄ調査	分類		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ	
2m×2m	被度		<5%		<5%		<5%		<5%	
	株数		++		c		＋		＋	
	個体群の成長段階		Ⅰ～Ⅲ		Ⅰ～Ⅲ		Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ	
詳細調査	地点		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低	
0.5m×0.5m	分類		ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ
	株数		28	34	1	3	2	6	8	
	成長段階		Ⅰ～Ⅲ	Ⅰ～Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	－
	着生基盤		Cb	Cb,Ps	Cb	Cb	R	Cb	Ps	
	着生基盤埋没深さ（cm）		0～1		0～1		0～1		0～2	
	着生基盤長径（cm）		3～6		0.5～2		4～10		0.5～14	
	その他の海藻被度		15%		5%		5%		15%	
	その他の海草被度		－		－		－		<5%	

注：1.水深は実測値を示す。
2.表中の「-」は確認されなかったことを示す。
3.各項目の凡例は以下の通りである。
浮泥堆積：+：部分的に少量確認される、++：全体的に少量確認される、+++：全体的に1mm以上の堆積が確認される
成長段階：Ⅰ：幼体、Ⅱ：輪生枝、Ⅲ：傘状体、Ⅳ：衰退した状態
株　数：R：1～10本、+：11～50本、++：51～100本、c：101～500本、vc：1,000本以上（概数記録）、－：出現せず
着生基盤：R：岩盤、S：転石、Pl：巨礫、Pm：大礫、Ps：小礫、Sh：貝殻、Cm：塊状ｻﾝｺﾞ礫、Cb：枝状ｻﾝｺﾞ礫、その他（ﾛｰﾌﾟ、空缶等）

表 6.11.1.41（3）　カサノリ類スポット調査結果（第3回調査：令和7年3月）

項目		調査地点	St.a				St.b				St.c			
		調査日	令和7年3月17日				令和7年3月17日				令和7年3月17日			
		調査時刻	15:35				14:39				14:11			
地点概況	調査時の水深（m）		0.2				0.3				0.3			
	底質		砂礫				砂礫				砂礫			
	浮泥		+				+				+			
ｽﾎﾟｯﾄ調査	分類		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ	
2m×2m	被度		<5%		<5%		<5%		<5%		<5%		<5%	
	株数		+		++		++		+		c		+	
	個体群の成長段階		Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅳ		Ⅱ～Ⅳ		Ⅱ～Ⅳ		Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ	
詳細調査	地点		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低	
0.5m×0.5m	分類		ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ
	株数		4	19	7	3	58	29	12	7	347	10	76	14
	成長段階		Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅳ	Ⅲ～Ⅳ	Ⅱ～Ⅳ	Ⅱ～Ⅳ	Ⅱ～Ⅳ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅳ	Ⅱ～Ⅲ
	着生基盤種類		Cb	Cb	Cb,Ps	Cb,Ps	Cb,Ps	Cb,Ps	Cb,Ps	Cb,Ps	Cb	Cb	Cb	Cb
	着生基盤埋没深さ（cm）		0.2～0.5		0～0.5		0～0.8		0.5～7		0～1		0～0.5	
	着生基盤長径（cm）		3～6		2～6		2～4		0.5～6		3～11		2～12	
	その他の海藻被度		<5%		<5%		15%		<5%		<5%		<5%	
	その他の海草被度		－		－		<5%		<5%		－		－	

項目		調査地点	St.d				St.e			
		調査日	令和7年3月17日				令和7年3月17日			
		調査時刻	14:05				13:14			
地点概況	調査時の水深（m）		0.2				0.2			
	底質		砂礫				砂礫			
	浮泥		－				－			
ｽﾎﾟｯﾄ調査	分類		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ		ｶｻﾉﾘ		ﾎｿｴｶﾞｻ	
2m×2m	被度		<5%		<5%		<5%		<5%	
	株数		++		R		R		R	
	個体群の成長段階		Ⅰ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ		Ⅱ～Ⅲ	
詳細調査	地点		枠①：密度高		枠①：密度低		枠①：密度高		枠①：密度低	
0.5m×0.5m	分類		ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ	ｶｻﾉﾘ	ﾎｿｴｶﾞｻ
	株数		5	3	45	1	2	3	－	2
	成長段階		Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅰ～Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ～Ⅲ	Ⅱ		Ⅱ
	着生基盤種類		Cb	Cb	Cb	Cb	Cb	Cb		Cb
	着生基盤埋没深さ（cm）		0～3		0～5		0～3		0～1	
	着生基盤長径（cm）		3～11		3～6		2～4		2～3	
	その他の海藻被度		<5%		5%		<5%		<5%	
	その他の海草被度		<5%		<5%		<5%		<5%	

注：1.水深は実測値を示す。
2.表中の「-」は確認されなかったことを示す。
3.各項目の凡例は以下の通りである。
浮泥堆積：+：部分的に少量確認される、++：全体的に少量確認される、+++：全体的に1mm以上の堆積が確認される
成長段階：Ⅰ：幼体、Ⅱ：輪生枝、Ⅲ：傘状体、Ⅳ：衰退した状態
株　数：R：1～10本、+：11～50本、++：51～100本、c：101～500本、vc：1,000本以上（概数記録）、－：出現せず
着生基盤：R：岩盤、S：転石、Pl：巨礫、Pm：大礫、Ps：小礫、Sh：貝殻、Cm：塊状ｻﾝｺﾞ礫、Cb：枝状ｻﾝｺﾞ礫、その他（ﾛｰﾌﾟ、空缶等）

ウ）カサノリ類の本区域における分布特性の整理及び解析

カサノリ類の本区域における分布特性について、「平成 26 年度　那覇港（浦添ふ頭地区）公有水面埋立事業に係る事後調査報告書」（平成 27 年 7 月、浦添市土地開発公社・那覇港管理組合）を用いて、経年的な変化を整理及び解析した。

カサノリ類分布状況の経年変化は図 6.11.1.14 に、カサノリ分布状況の経年変化は図 6.11.1.15 に、ホソエガサ分布状況の経年変化は図 6.11.1.16 に示すとおりである。

カサノリ類の分布域は、浦添ふ頭地区のリーフ内において平成 15、21～25 年度に確認されており、直接改変部周辺の分布域南側では、分布域の分断化がみられ、平成 23 年度までは年々縮小する傾向にあったが、平成 23 年度から平成 26 年度にかけて大きな変化はみられなかった。

分布域北側においては、平成 23 年度には減少傾向がみられたが、その後、橋梁より海側の分布域において、顕著な減少傾向はみられなかった。

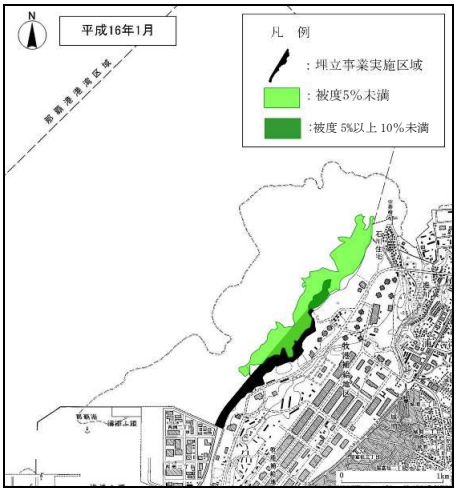
カサノリ類は、夏季に衰退し、冬季にサンゴ礫等を基盤に生長するという特徴があり、分布域は基盤の分布状況に依存する。そのため、台風や冬季風浪等に伴う強い波浪等の影響を受け、基盤の分布域が変化すると、カサノリ類の分布域も変化するため、外力条件によって、年変動が大きいと考えられる。

このような特徴を踏まえると、浦添ふ頭地区における分布域そのものは、毎年少しずつ変化しているものの、全体の分布位置や分布傾向は変わっていないことから、カサノリ類の分布は安定していると考えられる。

表 6.11.1.42　カサノリ類の分布面積

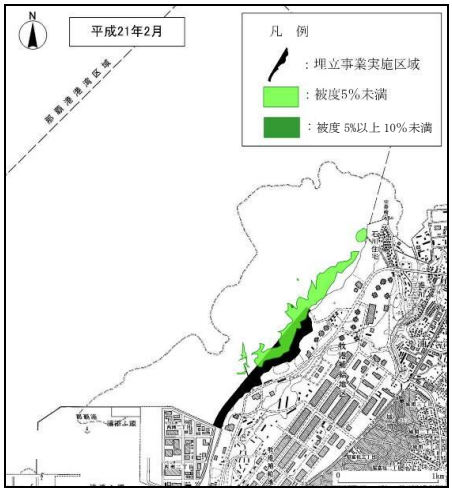
単位:ha

区分	被度	H16.1	H21.2	H22.1～2	H23.2	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
カサノリ	被度5%未満	－	－	－	－	10.8	16.0	14.5	11.9
	被度5%～10%未満	－	－	－	－	0.0	0.0	0.5	0.0
ホソエガサ	被度5%未満	－	－	－	－	10.0	15.9	12.1	9.7
	被度5%～10%未満	－	－	－	－	0.0	0.0	0.5	0.0
カサノリ類	被度5%未満	36.5	19.9	22.2	23.0	10.8	16.0	15.1	12.5
	被度5%～10%未満	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



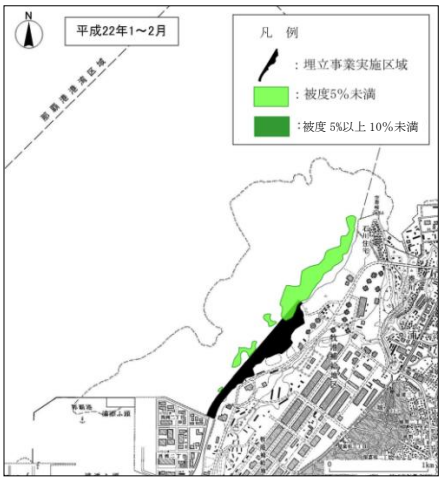
「那覇港（浦添ふ頭地区）港湾整備に伴う海域環境保全マニュアル」
（平成 18 年 3 月、那覇港管理組合）

工事前



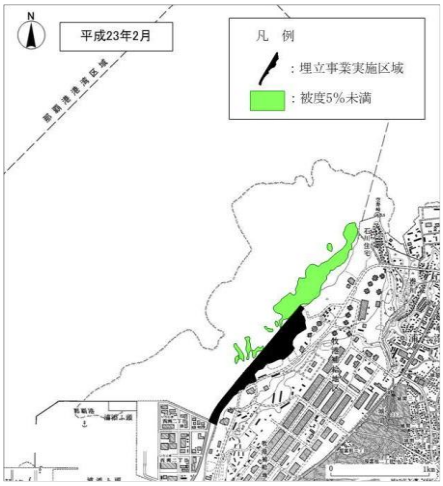
「平成 20 年度浦添ふ頭地区生物環境モニタリング調査委託報告書」
（平成 21 年 3 月、那覇港管理組合）

工事前



「平成 21 年度事後調査」

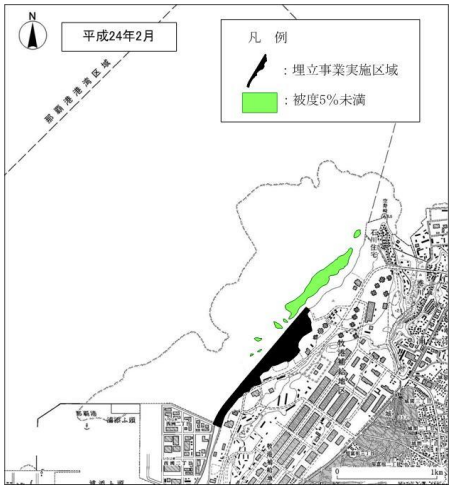
工事中



「平成 22 年度事後調査」

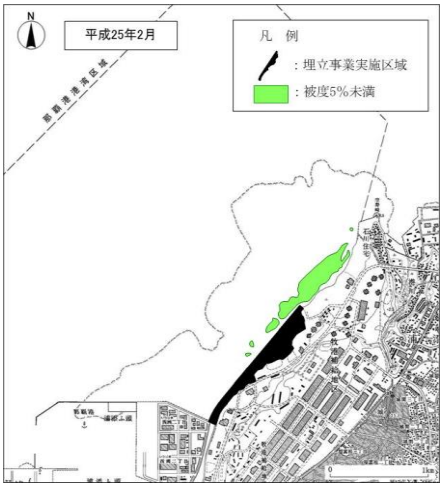
存在時

図 6.11.1.14（1）　カサノリ類分布状況の経年変化



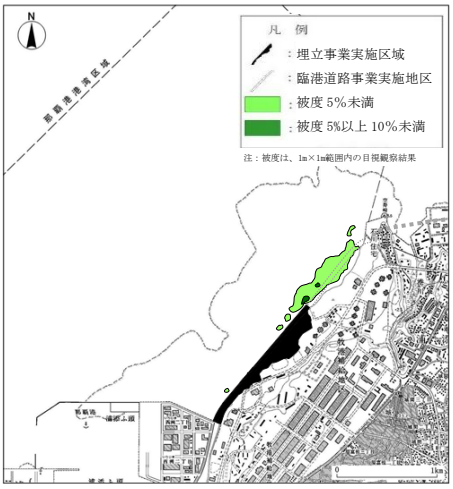
「平成 23 年度事後調査」

存在時



「平成 24 年度事後調査」

存在時



「平成 25 年度事後調査」

存在時

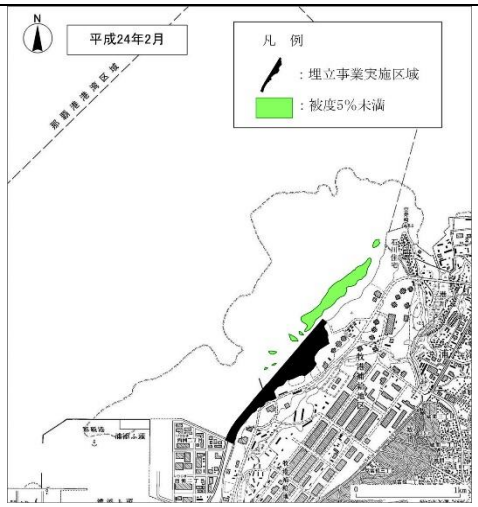


「平成 26 年度事後調査」

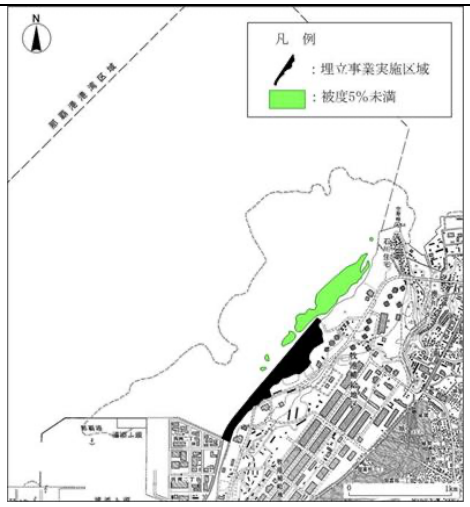
存在時

注：平成 26 年度は、橋梁部下部及びその周辺については、橋梁工事施工区域となっていたため、調査を行っていない。

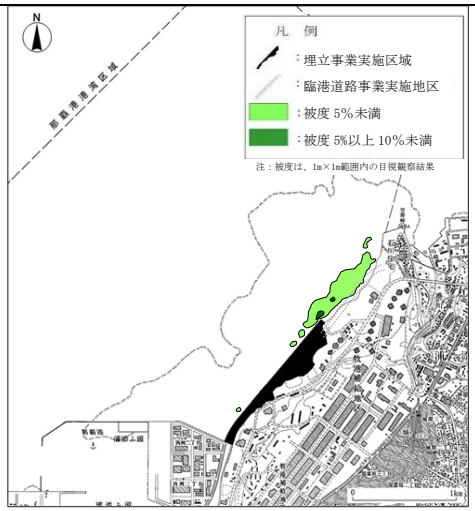
図 6.11.1.14（2）　カサノリ類分布状況の経年変化



「平成 23 年度事後調査」
存在時



「平成 24 年度事後調査」
存在時



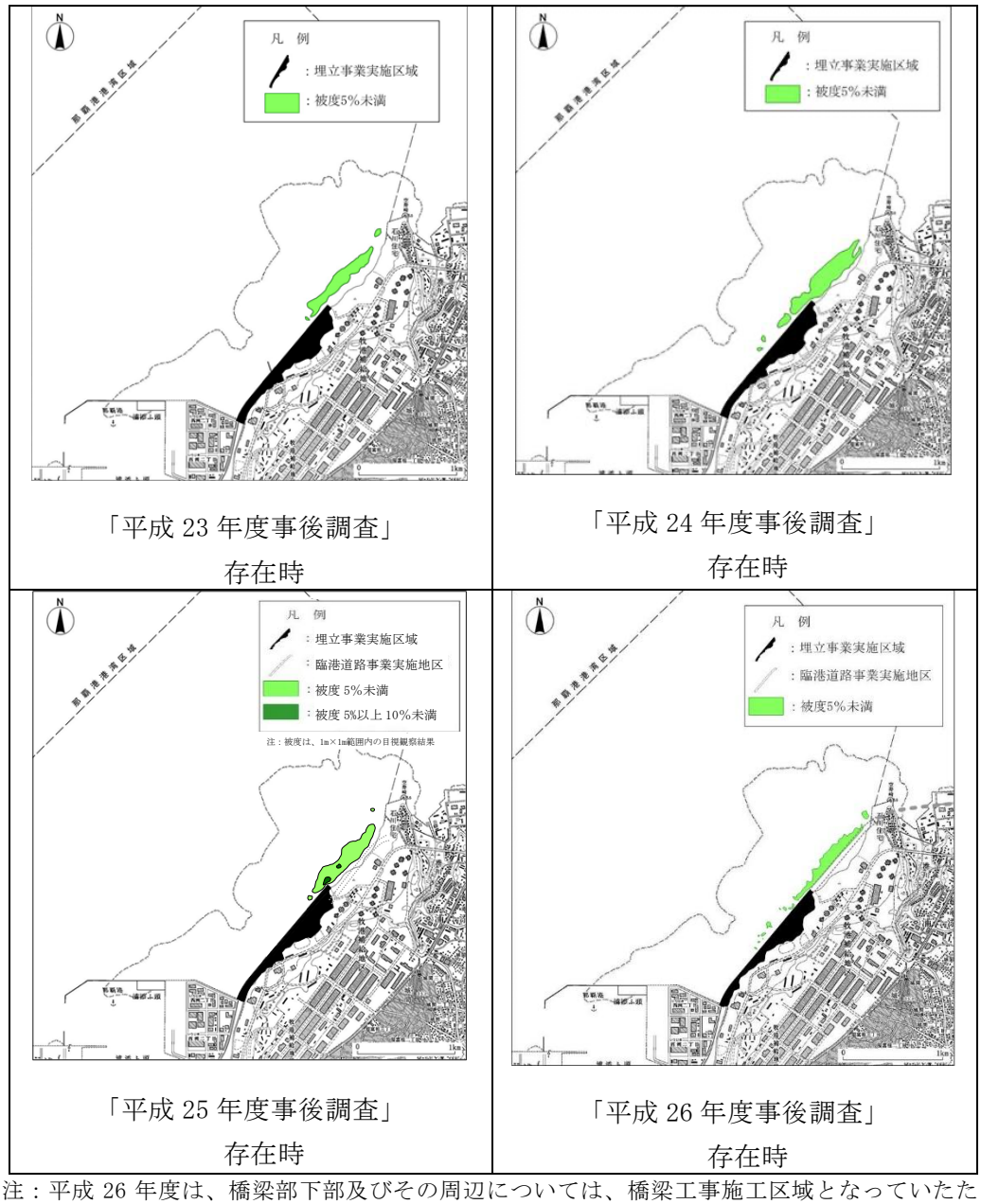
「平成 25 年度事後調査」
存在時



「平成 26 年度事後調査」
存在時

注：平成 26 年度は、橋梁部下部及びその周辺については、橋梁工事施工区域となっていたため、調査を行っていない。

図 6.11.1.15　カサノリ分布状況の経年変化



注：平成 26 年度は、橋梁部下部及びその周辺については、橋梁工事施工区域となっていたため、調査を行っていない。

図 6.11.1.16　ホソエガサ分布状況の経年変化

（シ）ウミガメ類

ア）測線調査

調査測線における海岸の状況は表 6.11.1.43、図 6.11.1.17 に、調査結果は表 6.11.1.44 に示すとおりである。また、他項目の調査実施時におけるウミガメ類の確認状況は、図 6.11.1.18 に示すとおりである。

調査測線において、潮上帯以上の高さまで砂浜が存在し、ウミガメ類の産卵が可能な場所は 1 区域（区域⑤）確認された。この区域を含む当該地域の海岸を対象に、令和 7 年 5～9 月に毎月 2 回の頻度で、上陸・産卵状況について日中の目視確認調査を実施した。

その結果、当該地域において、ウミガメ類の上陸跡及び産卵跡は確認されなかった。

ウミガメ類に関する他の調査時の確認状況としては、リーフ北側海域等で海中を遊泳する個体がみられたほか、区域①の砂浜前面において種不明ウミガメの死亡漂着個体が 1 個体確認された。

表 6.11.1.43　調査測線における海岸の状況

区域	海岸の状況	調査対象[注)]
①	潮上帯以上の高さまで砂浜が極一部のみ存在するが、草木に覆われており、流木などの漂着物が多数みられる。	×
②	潮上帯の表面は、礫・転石・瓦礫等で覆われている。	×
③	潮上帯以上の高さに礫の多く混じる砂浜が存在する。	×
④	潮上帯の表面は、礫・転石・瓦礫等で覆われている。	×
⑤	潮上帯以上の高さまで砂浜が存在する。 区域中央部は、排水口から沖向きの澪により洗掘している。	○
⑥	潮上帯の表面は、礫・転石・瓦礫等で覆われている。	×
⑦	潮上帯以上の高さに砂浜がない。	×
⑧	潮間帯は岩盤・転石であり、潮上帯は岩盤又は護岸である。	×
⑨	潮上帯以上の高さまで砂浜が存在するが、潮上帯付近に移動阻害要因となる護岸が存在する。	×

注：○：砂浜が存在し、ウミガメ類の産卵が可能な海岸
　　×：砂浜が存在せず、ウミガメ類の産卵に適さない海岸

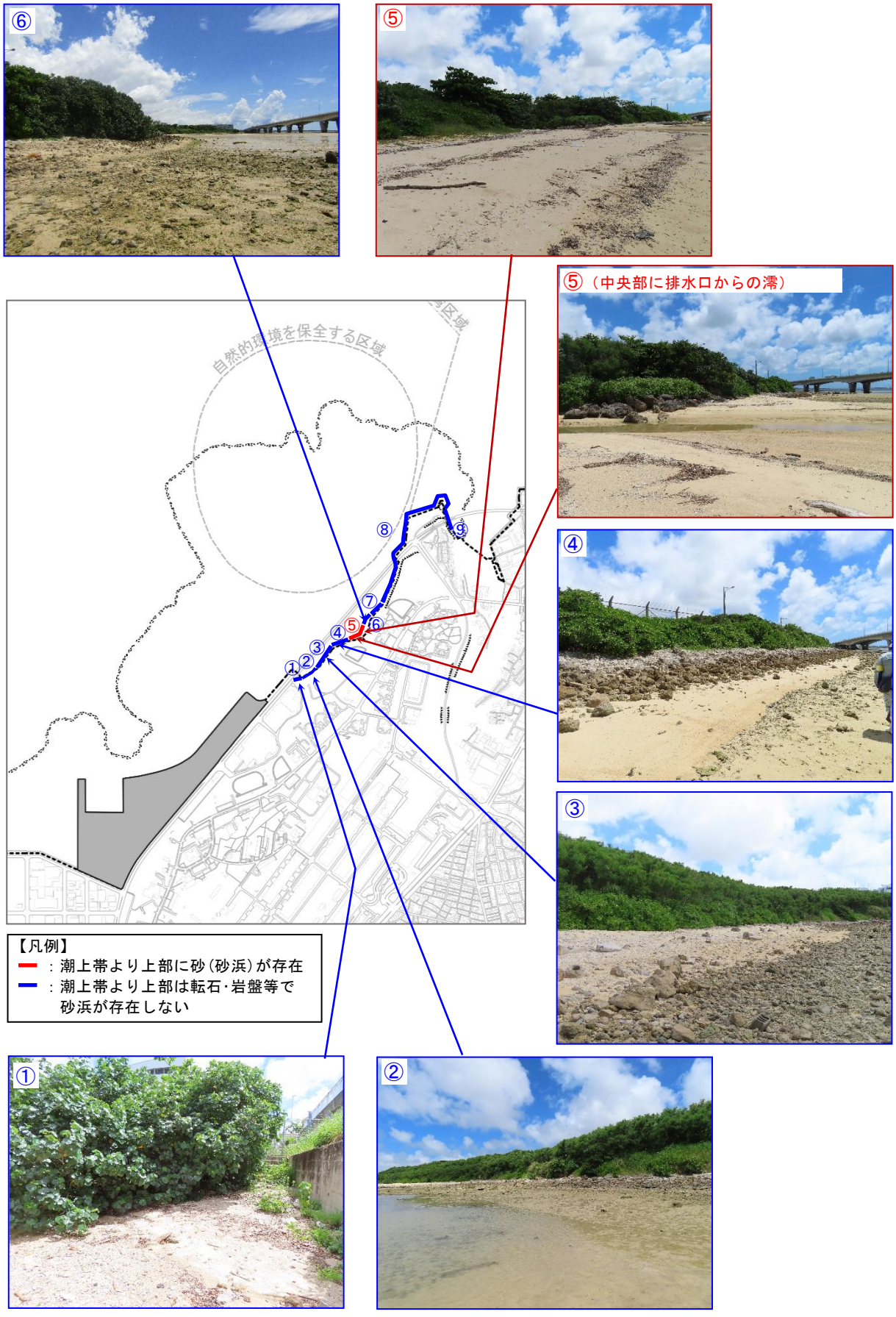


図 6.11.1.17（1）　調査測線の海岸状況（区域①～⑥）

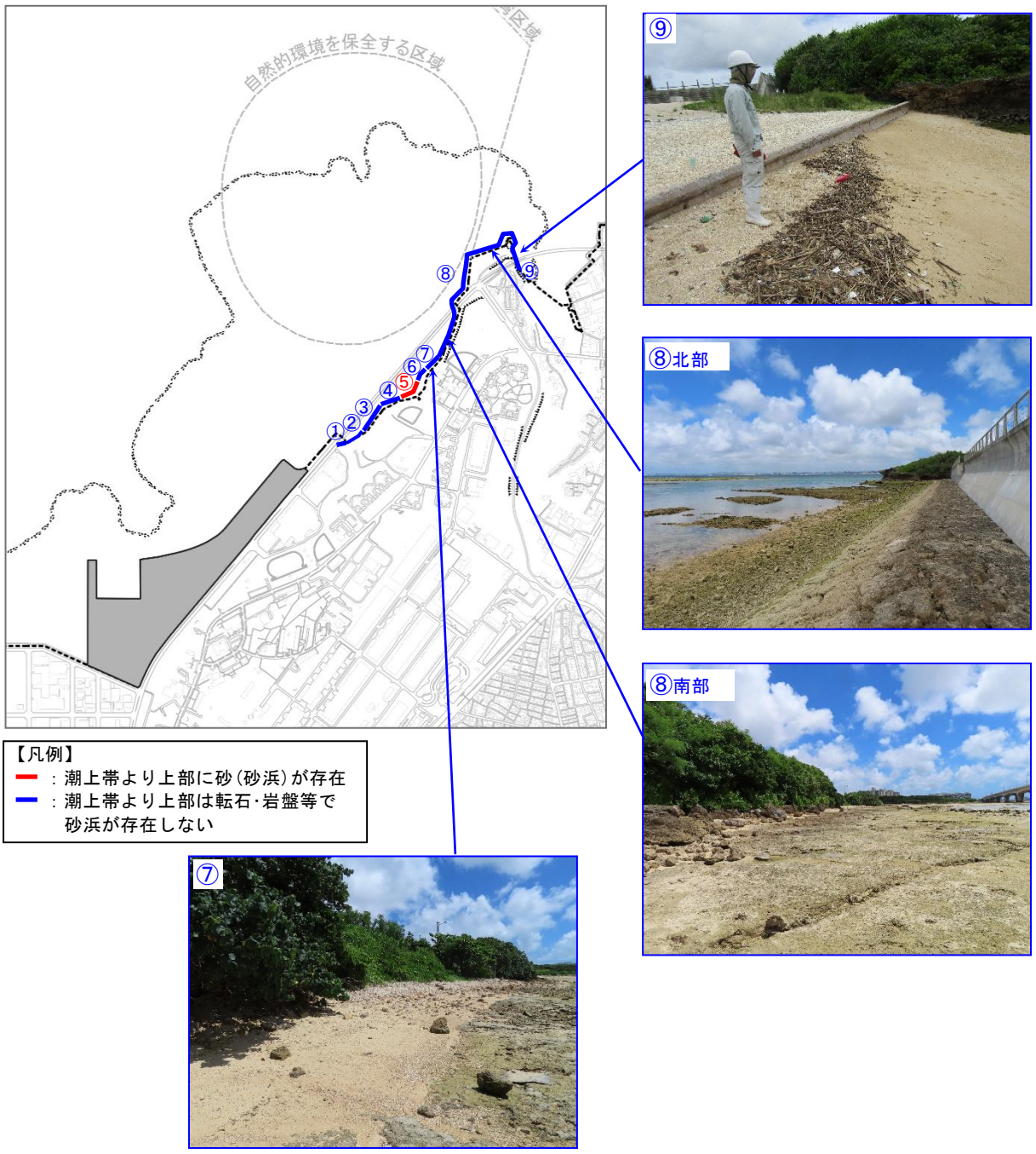


図 6.11.1.17（2）　調査測線の海岸状況（区域⑦～⑨）

表 6.11.1.44　ウミガメ類の測線調査結果

回次	調査期日	潮名	天候	調査結果	
				上陸跡	産卵跡
1	令和 7 年 5 月 13 日	大潮	晴	無し	無し
2	令和 7 年 5 月 29 日	中潮	曇	無し	無し
3	令和 7 年 6 月 12 日	大潮	晴	無し	無し
4	令和 7 年 6 月 27 日	中潮	晴	無し	無し
5	令和 7 年 7 月 11 日	大潮	曇	無し	無し
6	令和 7 年 7 月 24 日	大潮	雨	無し	無し
7	令和 7 年 8 月 8 日	大潮	晴	無し	無し
8	令和 7 年 8 月 25 日	中潮	晴	無し	無し
9	令和 7 年 9 月 8 日	大潮	晴	無し	無し
10	令和 7 年 9 月 19 日	中潮	晴	無し	無し

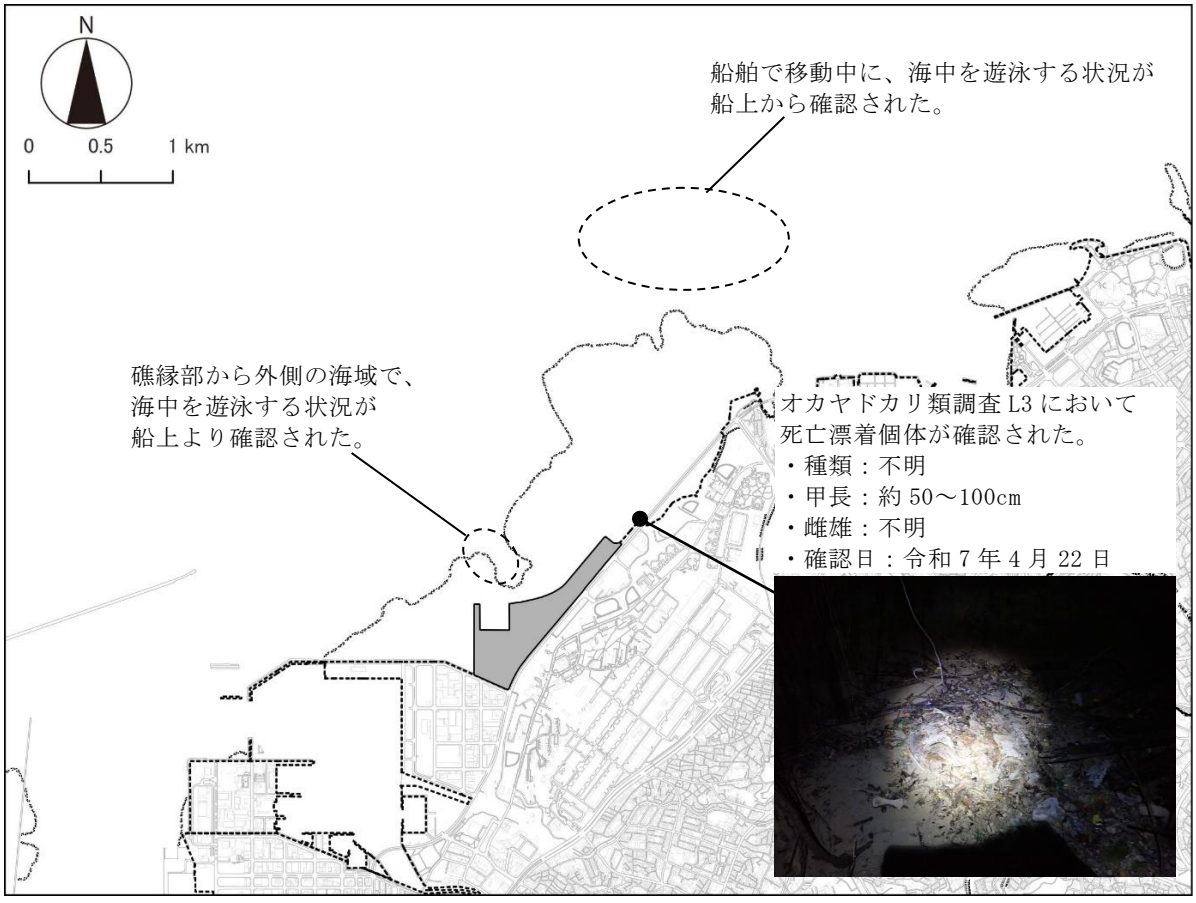


図 6.11.1.18　他項目の調査実施時におけるウミガメ類の確認状況

イ）確認調査

(a) 文献等調査

浦添ふ頭地区リーフ内及びその周辺におけるウミガメ類の上陸・産卵の記録は、文献等で確認されなかった。

沖縄県教育委員会は、平成 5 年度から 7 年度にかけて、県内の砂浜の状況やウミガメ類の産卵状況について、聞取調査及び現地調査を実施しているが、浦添市周辺については聞取調査で産卵の情報が得られなかった。このため現地調査地点（沖縄島に 63 か所及び周辺 12 島嶼に 48 か所）に選定されていない[出典 1]。環境省が実施しているモニタリングサイト 1000 におけるウミガメ類調査では、ウミガメ類が産卵に訪れる全国の主な砂浜 33 サイトが調査対象に選定されているが、沖縄島においてはサイトが設定されていない[出典 2]。また、NPO 法人 日本ウミガメ協議会の web サイトにおいて、沖縄島における産卵は、北部の海岸で比較的多く、中部では読谷村や恩納村、南部では糸満市大度海岸も有名であるとされている[出典 3]。このように、浦添ふ頭地区周辺は主要な産卵場ではなく、前述の測線調査における現地状況をみてもウミガメ類の産卵に適した海岸が極めて少ないことから、既往文献等における確認記録は存在しないと考えられる。

出典：1.「ウミガメ類生息実態調査報告書Ⅰ-沖縄島及び周辺離島における調査結果-」（平成 8 年、沖縄県教育委員会）
2. 環境省自然環境局生物多様性センター（2023）モニタリングサイト 1000 ウミガメ調査 2017-2021 年度とりまとめ報告書. 環境省自然環境局生物多様性センター, 山梨
3. 特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会 web サイト HOME＞ウミガメについて＞産卵地のご紹介 https://www.umigame.org/umigamenitsuite/cn10/kyoukasho_sanranti.html

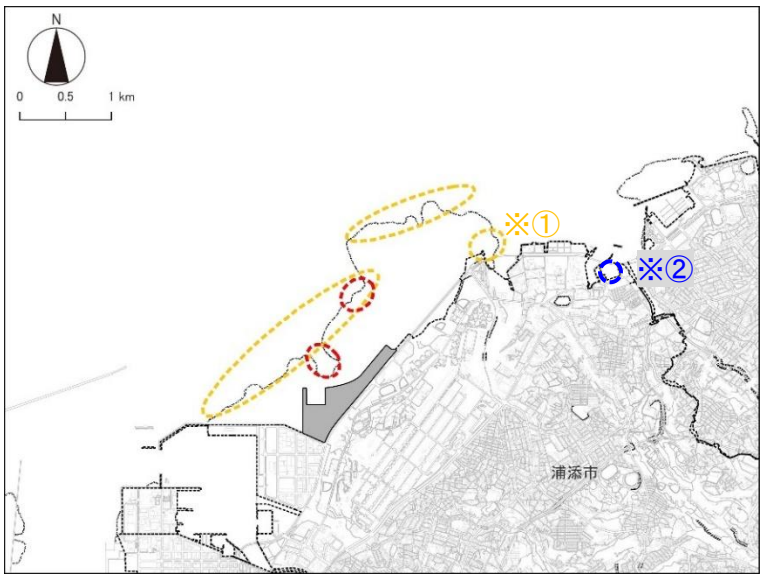
ウ）ヒアリング調査

ウミガメ類について、漁業者にヒアリングを実施した。ヒアリング調査の実施概要は表 6.11.1.45 に、ヒアリング調査結果は表 6.11.1.46 に示すとおりである。

表 6.11.1.45　ヒアリング調査実施概要

調査期日	令和 7 年 7 月 4 日 10：00～11:00
対象者	漁協職員 1 名

表 6.11.1.46　ヒアリング調査結果

対象生物	ヒアリング調査結果
ウミガメ類	・夜間の潜水漁では、黄破線の範囲の礁縁部で、水深 7～15m の岩に頭を突っ込んで眠っているウミガメが確認される。基本的にはアオウミガメでサイズは小型～中型の個体で 40～50cm くらいである。3 回に 1 回程度の頻度で見かける。宜野湾沖の沖の瀬もおそらく同じような状況である。 ・昼間の潜水漁では満潮時にカーミージーの黄破線※①の範囲辺りからリーフ内に入ってくるウミガメも確認されている。小型～中型のアオウミガメと思われる。リーフ内で頭を出しているのを見ることもある。 ・刺し網をする赤破線の範囲は、年に数回もない程度でウミガメがかかっており、前日に網を入れると、朝に死んでいることがある。小型～中型で 40cm くらいである。 ・夜間、まれに 30～40cm くらいのタイマイが眠っていることがある。 ・ウミガメは浦添で産卵していないだろうと漁業者は言っている。 ・小型定置網はなく、刺網も 1 人しかいないので、網でカメが死ぬことはあまりない。 ・今年の冬～春に、10cm くらいのアカウミガメがゴミと一緒に漁港内※②で浮いていたため、保護して美ら海水族館に引き取ってもらった。  注：ヒアリング時の受領資料より該当範囲を記載した。 ウミガメ類のヒアリング結果

（ス）海産哺乳類

ア）文献調査

海産哺乳類であるジュゴンについて収集した文献は表 6.11.1.47 に、文献調査結果概要は表 6.11.1.48 に示すとおりである。

表 6.11.1.47　収集した文献

No.	文献名	著者	発行年
1	ジュゴンと藻場の広域的調査 平成 13 年～17 年度　結果概要	環境省	平成 18 年
2	ジュゴンと地域社会との共生推進の取組（平成 18～27 年度結果概要について）	環境省	平成 28 年

表 6.11.1.48　文献調査結果概要

生物	文献調査結果
ジュゴン	①　1965～2005 年の期間において、空寿崎付近で羅網漂着個体の確認が 1 例報告されている。 ②　周辺海域では、1965～2005 年の期間において、読谷村～嘉手納町の沖合で羅網漂着個体の確認が 1 例報告されている。 ③　糸満市前面海域にて 1997 年にジュゴン目撃の一般情報が確認されている。

注：①～③の地点は図 6.11.1.19 と一致する。

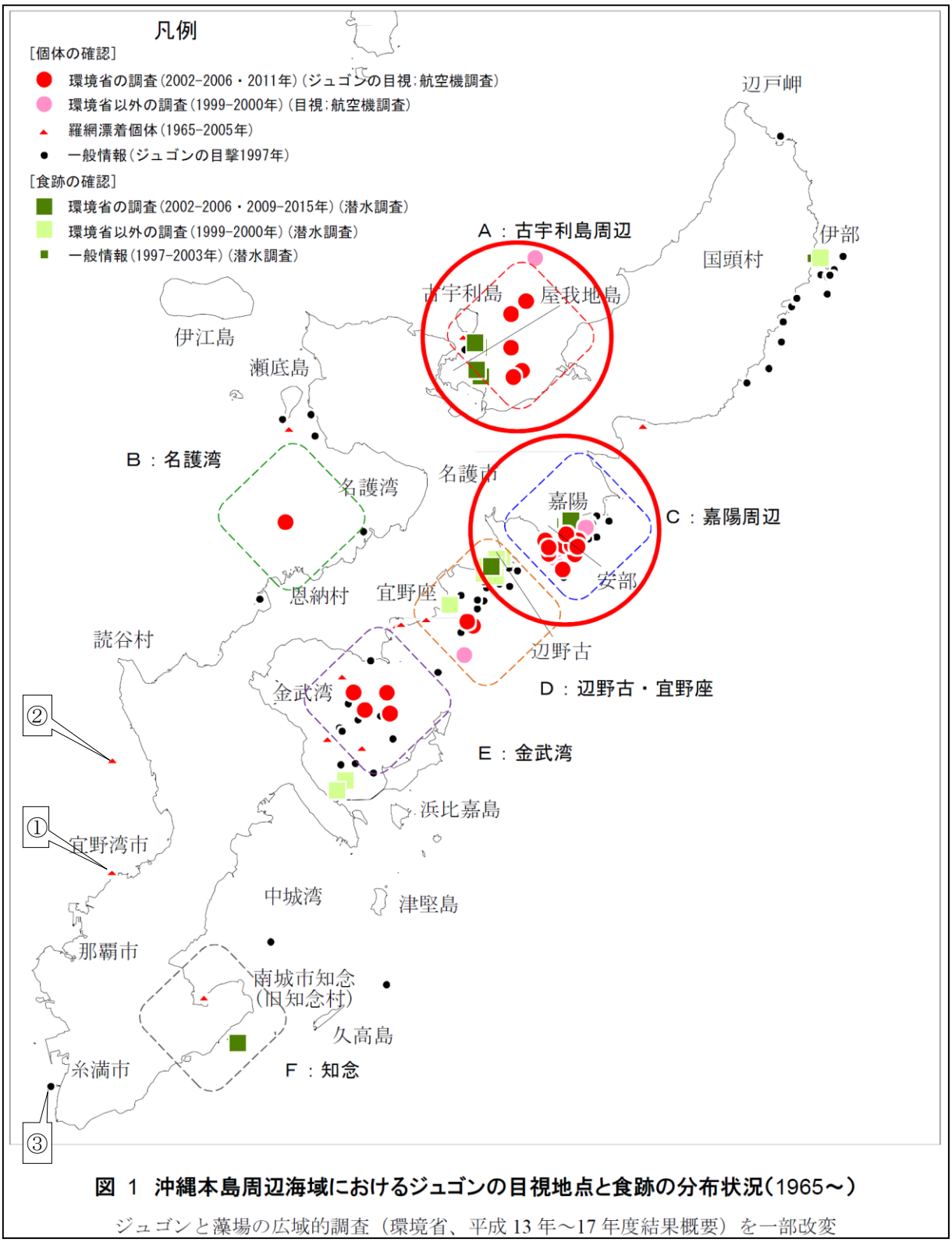


図 1 沖縄本島周辺海域におけるジュゴンの目視地点と食跡の分布状況(1965～)

ジュゴンと藻場の広域的調査（環境省、平成 13 年～17 年度結果概要）を一部改変

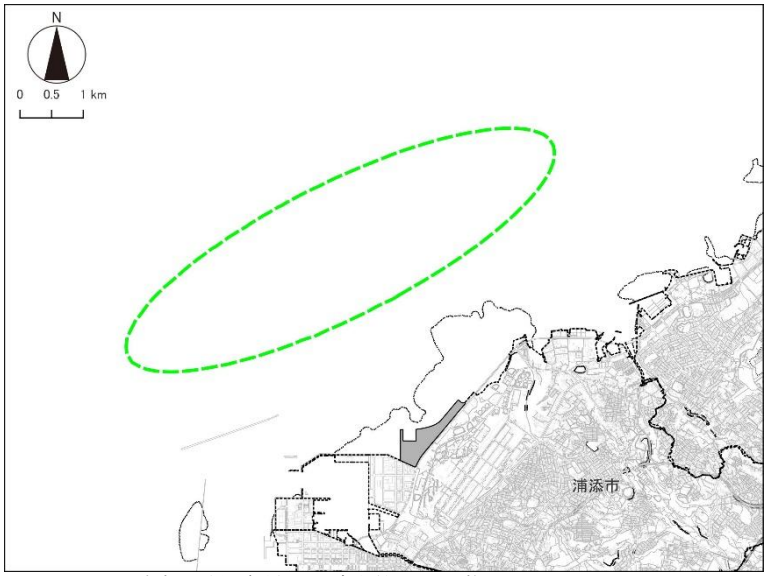
注：「ジュゴンと藻場の広域的調査平成 13 年～17 年度　結果概要」より転載

図 6.11.1.19　沖縄本島周辺海域におけるジュゴンの目視地点と食痕の分布状況(1965～2006)

イ）ヒアリング調査

海産哺乳類であるジュゴンとイルカ・クジラ類について、漁業者にヒアリングを実施した。ヒアリング調査結果は表 6.11.1.49 に示すとおりである。

表 6.11.1.49　ヒアリング調査結果

調査日	令和 7 年 7 月 4 日 10：00～11:00
対象者	漁協職員 1 名
対象生物	ヒアリング調査結果
海産哺乳類（ジュゴン イルカ・クジラ類）	・ジュゴンの存在について、聞いたことはない。 ・イルカ・クジラは緑破線の範囲内で非常に稀に確認される。クジラは緑破線の範囲よりももう少し沖合での発見が多い。 ・カーミージー沖くらいでイルカの背を見たという話はあったが、何頭もいたことはない。 ・3 年前くらいに、牧港漁港に迷いイルカが入ったことがあり、新聞記事に出た（沖縄タイムス、2023 年 4 月 24 日）。 ・ザトウクジラは 1～3 月あたりに見られるが、昼間海中で声を聞くことがそれほどないため結構遠い場所だと思われる。 ・浦添では混獲はない。  注：ヒアリング時の受領資料より該当範囲を記載した。 海産哺乳類のヒアリング結果

（セ）重要な種

ア）海域動物

既存の現地調査及び現地調査で確認された重要な種の一覧は表 6.11.1.50 に、重要な種の確認位置は図 6.11.1.20 に、確認された主な重要な種は表 6.11.1.51 に示すとおりである。

海域動物では、計 41 種類の重要な種が確認された。

現地調査では、絶滅危惧Ⅱ類（環境省 RL）や絶滅危惧Ⅱ類（沖縄県 RDB）に該当する種として、新生腹足目のミノムシガイ、マルスダレガイ目のリュウキュウサラガイ、ウラキツキガイ、アマオブネガイ目のレモンカノコ等が確認された。リーフ内ではクロベラ、オキナワヒシガイ等が確認された。

表 6.11.1.50　重要な種の一覧（海域動物）

No.	分類	門	和名	現地調査	選定基準			
					環境省RL	環境省海洋生物RL	沖縄県RDB	水産庁海洋生物RDB
1	サンゴ類	刺胞動物	ヒメサンゴ	○		準絶滅危惧		
2	魚類	脊椎動物	カスリフサカサゴ	○		準絶滅危惧		
3			クロベラ	○		準絶滅危惧		
4			アカテンコバンハゼ	○		準絶滅危惧		
5			アイコバンハゼ	○		準絶滅危惧		
6			キイロサンゴハゼ	○		準絶滅危惧		
7			フタイロサンゴハゼ	○		準絶滅危惧		
8			コバンハゼ	○		準絶滅危惧		
9	底生動物	軟体動物	レモンカノコ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
10			クサイロカノコ	○	準絶滅危惧			
11			キンランカノコ	○	準絶滅危惧			
12			ネジマガキ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
13			ヨウラクレイシダマシ	○			準絶滅危惧	
14			ミノムシガイ	○	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	
15			ホソスジヒバリガイ	○	準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅱ類	
16			ツキガイ	○			準絶滅危惧	
17			ウラキツキガイ	○	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	
18			チヂミウメノハナ	○			準絶滅危惧	
19			カブラツキガイ	○			準絶滅危惧	
20			ツマベニマメアゲマキ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
21			バライロマメアゲマキ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
22			カワラガイ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
23			オキナワヒシガイ	○	準絶滅危惧			
24			オウギカノコアサリ	○			準絶滅危惧	
25			ユウカゲハマグリ	○	絶滅危惧Ⅱ類		準絶滅危惧	
26			オミナエシハマグリ	○	準絶滅危惧			
27			オイノカガミ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
28			リュウキュウサラガイ	○			絶滅危惧Ⅱ類	
29			ヒノデガイの一種	○	準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅱ類	
30			ミクニシボリザクラ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
31			ハスメザクラ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
32			チガイザクラ	○	絶滅危惧Ⅱ類		準絶滅危惧	
33			アシガイ	○	準絶滅危惧			
34			ハスメヨシガイ	○	準絶滅危惧		準絶滅危惧	
35		星口動物	スジホシムシ	○		準絶滅危惧		
36		節足動物	ブビエスナモグリ	○		情報不足		
37			モバホソスナモグリ	○		情報不足		
38			*Naushonia lactoalbida*	○		情報不足		
39			リュウキュウカクエンコウガニ	○		情報不足	準絶滅危惧	
40			ヒメカクオサガニ	○		準絶滅危惧		
41			メナガオサガニ	○			準絶滅危惧	
出現種類数				41	20	14	23	0

注：改訂第3版ではミナミウロコガイが掲載。

以下の①～④のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

①環境省 RL　　：「環境省レッドリスト 2020 の公表について」（令和 2 年 3 月 27 日報道発表、環境省）に記載されている種及び亜種

②環境省海洋生物 RL：「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」（平成 29 年 3 月 21 日報道発表、環境省）に記載されている種及び亜種

③水産庁海洋生物 RL：「海洋生物レッドリストの公表について」（平成 29 年 3 月 21 日報道発表、水産庁）に記載されている種及び亜種

- 絶滅危惧Ⅰ類　：絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA 類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- 絶滅危惧ⅠB 類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- 絶滅危惧Ⅱ類　：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧　　：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 情報不足　　：評価するだけの情報が不足している種
- 地域個体群　　：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

④改訂沖縄県 RDB 第 3 版：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第 3 版-動物編-」（平成 29 年 5 月 17 日、沖縄県）に記載されている種及び亜種

- 絶滅危惧Ⅰ類　：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA 類：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- 絶滅危惧ⅠB 類：沖縄県ではⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- 絶滅危惧Ⅱ類　：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- 準絶滅危惧　　：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- 情報不足　　：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- 絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高い個体群

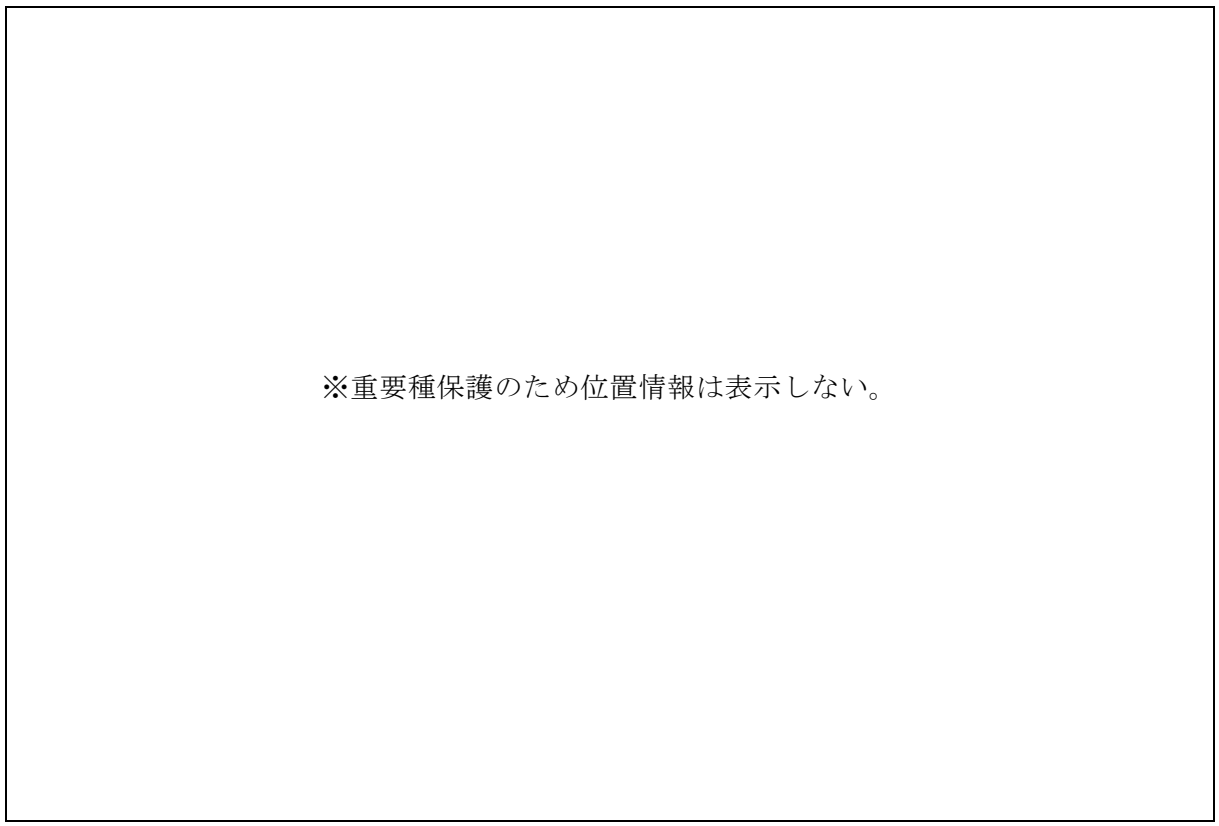
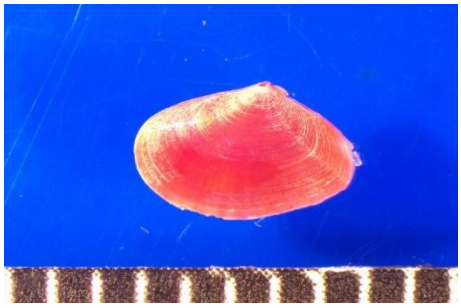


図 6.11.1.20　重要な種の確認位置（現地調査　海域動物）

表 6.11.1.51　確認された主な重要な種

	
クロベラ	ミノムシガイ
	
オキナワヒシガイ	リュウキュウサラガイ
	
ウラキツキガイ	レモンカノコ

イ）海域植物

既存の現地調査及び現地調査で確認された重要な種の一覧は表 6.11.1.52 に、重要な種の確認位置は図 6.11.1.21 に、確認された重要な種は表 6.11.1.53 に示すとおりである。

海域植物では、計 24 種類の重要な種が確認された。

現地調査では、絶滅危惧Ⅰ類（沖縄県 RDB）では、ホソエガサが確認され、絶滅危惧Ⅱ類（環境省 RL）や絶滅危惧Ⅱ類（沖縄県 RDB）では、カサノリ、コアマモ、マツバウミジグサ等が確認された。カサノリ、ホソエガサはリーフ内における橋梁部周辺で確認された。リュウキュウスガモ、ウミヒルモ、ウミジグサ、マツバウミジグサ等はリーフ内に広く確認された。

表 6.11.1.52　重要な種の一覧（海域植物）

No.	綱	和名	現地調査	選定基準		
				環境省RL	沖縄県 RDB	水産庁 海洋生物RDB
1	緑藻	オオネダシグサ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
2		マガタマモ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
3		ヒナイワズタ	○	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
4		クビレズタ	○	情報不足		
5		フササボテングサ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
6		ソリハサボテングサ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
7		ニセハウチワ	○		情報不足	
8		ウスガサネ	○	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
9		ホソエガサ	○	絶滅危惧I類	絶滅危惧I類	
10		カサノリ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
11	褐藻	ヒメヤハズ	○	情報不足	情報不足	
12		ヤバネモク	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
13		コバモク	○	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	
14	紅藻	ハイコナハダ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
15		フイリグサ	○	情報不足	準絶滅危惧	
16		リュウキュウオゴノリ	○	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
17		ベニゴウシ	○	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類	
18		カラゴロモ	○		絶滅危惧Ⅱ類	
19	単子葉植物	リュウキュウスガモ	○	準絶滅危惧		
20		ウミヒルモ	○	準絶滅危惧		
21		コアマモ	○		絶滅危惧Ⅱ類	
22		ウミジグサ	○	準絶滅危惧		
23		マツバウミジグサ	○	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	
24		ベニアマモ	○	準絶滅危惧		
出現種類数			24	21	19	0

以下の①～④のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

①環境省 RL　：「第５次レッドリスト（植物・菌類）の 公表について（お知らせ）」（令和 7 年 3 月 18 日報道発表、環境省）に記載されている種及び亜種

②環境省海洋生物 RL：「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」（平成 29 年 3 月 21 日報道発表、環境省）に記載されている種及び亜種

③水産庁海洋生物 RL：「海洋生物レッドリストの公表について」（平成 29 年 3 月 21 日報道発表、水産庁）に記載されている種及び亜種

- 絶滅危惧Ⅰ類　：絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA 類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- 絶滅危惧ⅠB 類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- 絶滅危惧Ⅱ類　：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧　：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 情報不足　：評価するだけの情報が不足している種
- 地域個体群　：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

④改訂沖縄県 RDB 第 3 版：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第 3 版-動物編-」（平成 29 年 5 月 17 日、沖縄県）に記載されている種及び亜種

- 絶滅危惧Ⅰ類　：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧ⅠA類：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- 絶滅危惧ⅠB類：沖縄県ではⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- 絶滅危惧Ⅱ類　：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- 準絶滅危惧　：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- 情報不足　：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- 絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高い個体群

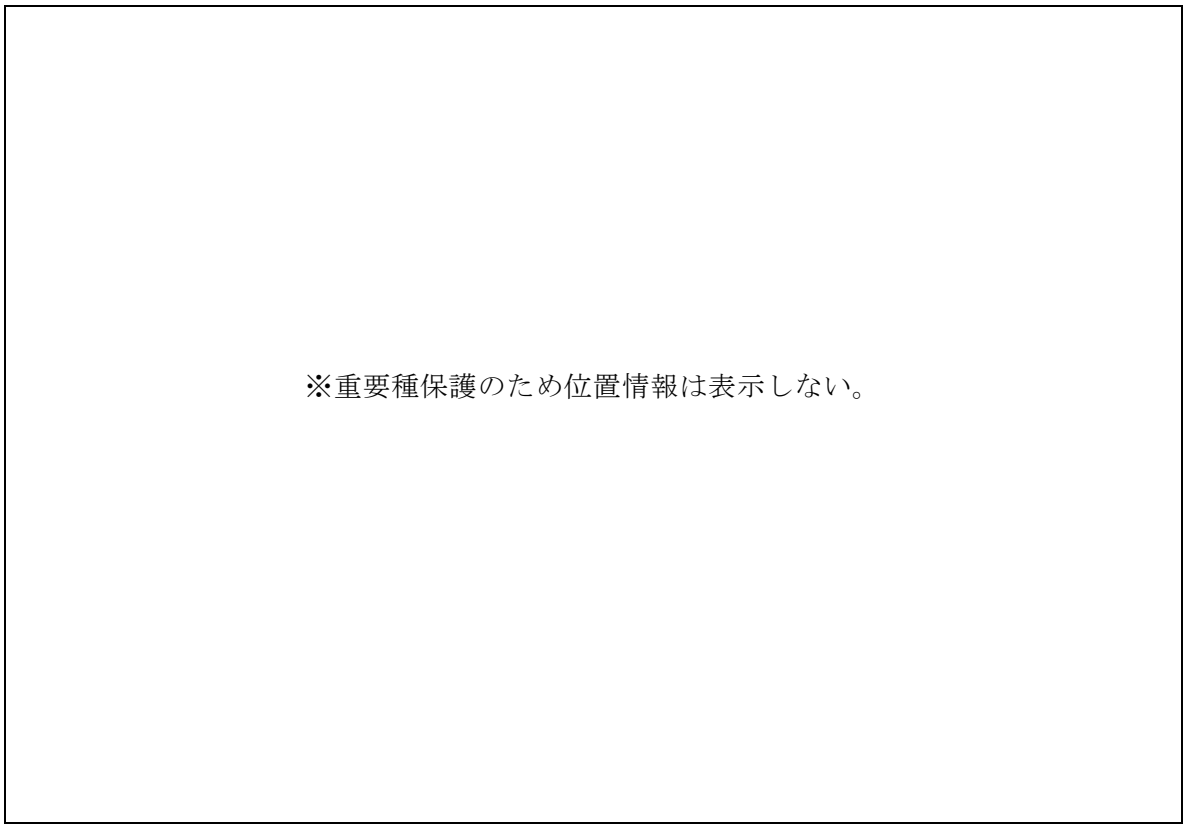
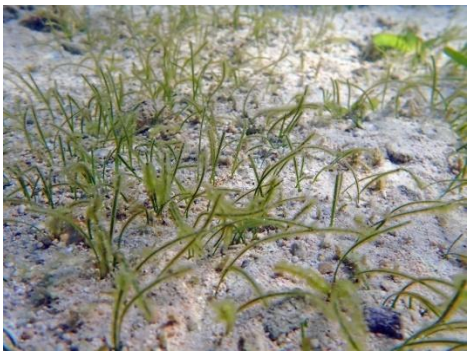


図 6.11.1.21　重要な種の確認位置（現地調査　海域植物）

表 6.11.1.53　確認された重要な種

<table>
<tr><td>
ホソエガサ</td><td>
カサノリ</td></tr>
<tr><td>
リュウキュウスガモ</td><td>
ウミヒルモ</td></tr>
<tr><td>
コアマモ</td><td>
ウミジグサ</td></tr>
<tr><td>
マツバウミジグサ</td><td></td></tr>
</table>

6.11.2 予測

海域生物の影響要因及びその内容は、表 6.11.2.1 に示すとおりである。

表 6.11.2.1 海域生物の影響要因及びその内容

項目	影響要因	内容
工事の実施	・護岸の工事 ・埋立ての工事	・ 濁りの発生による影響 ・ 土砂の堆積による影響 ・ 騒音の発生による影響 ・ 汚濁防止膜の設置による影響
施設等の存在及び供用	・埋立地の存在	・ 生息・生育場の減少による影響 ・ 潮流・波浪の変化による影響 ・ 水質の変化による影響 ・ 底質の変化による影響

(1) 工事の実施

1) 予測項目

（ア）本事業の実施による動植物の生育・生息環境の改変の程度

（イ）重要な動植物種の生育・生息環境への影響

2) 予測概要

予測の概要は表 6.11.2.2 に、予測地域は図 6.11.2.1 に、影響フローは図 6.11.2.2 に、予測の前提は表 6.11.2.3 に示すとおりである。

表 6.11.2.2 予測の概要（工事の実施）

予測の概要	
予測項目	本事業の実施による動植物の生育・生息環境の改変の程度、重要な動植物種の生育・生息環境への影響
予測方法	水環境の変化や生育・生息環境の改変の程度、重要な動植物種の生育・生息環境への影響の程度に関する事例等を踏まえて、影響フロー図を作成し、定性的に予測
予測地域	調査地域のうち、植物の生育、植生、動物の生息の特性を踏まえて、重要な種、重要な群落及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域
予測対象時期等	護岸及び埋立ての工事による影響が最大となる時期

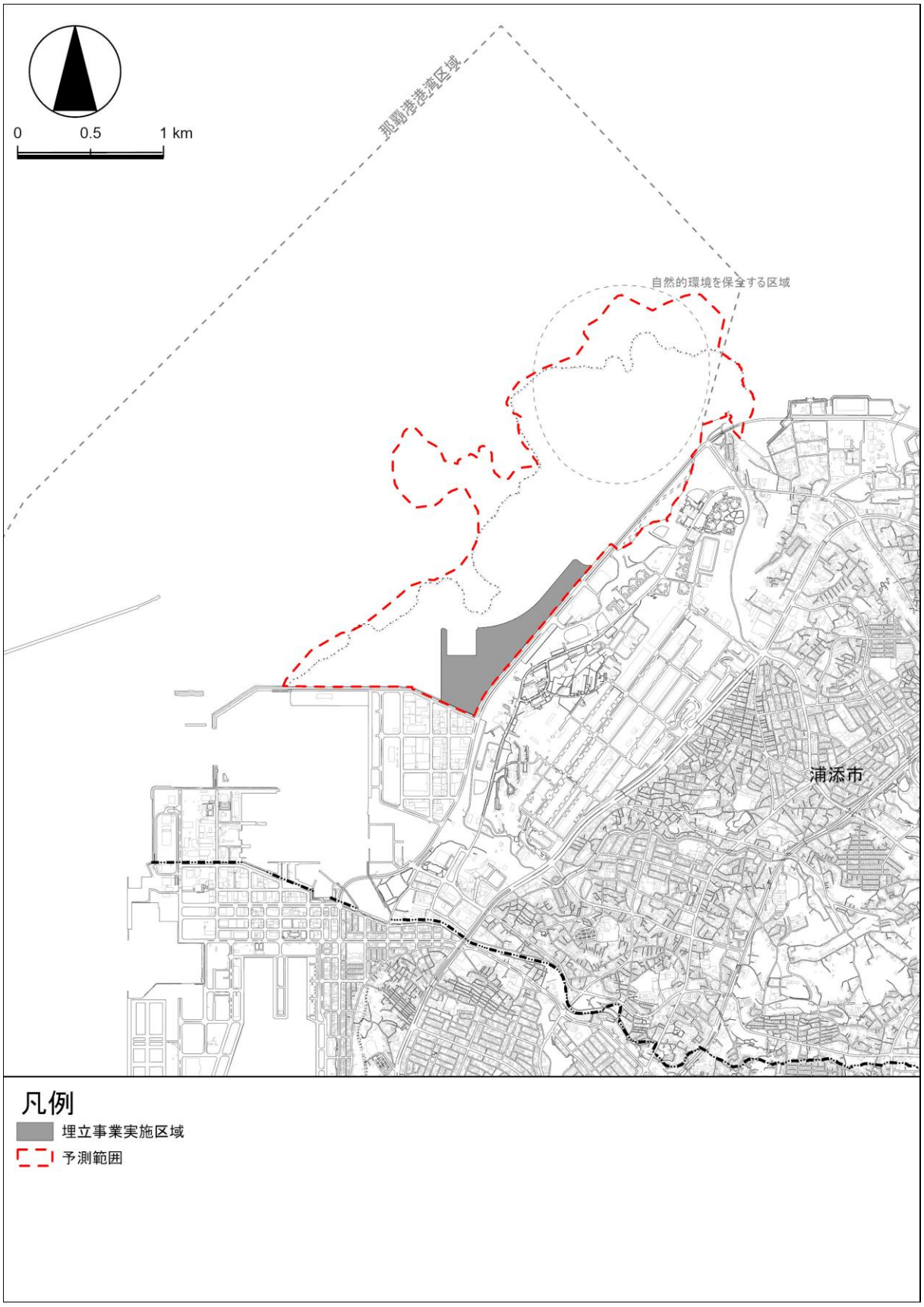
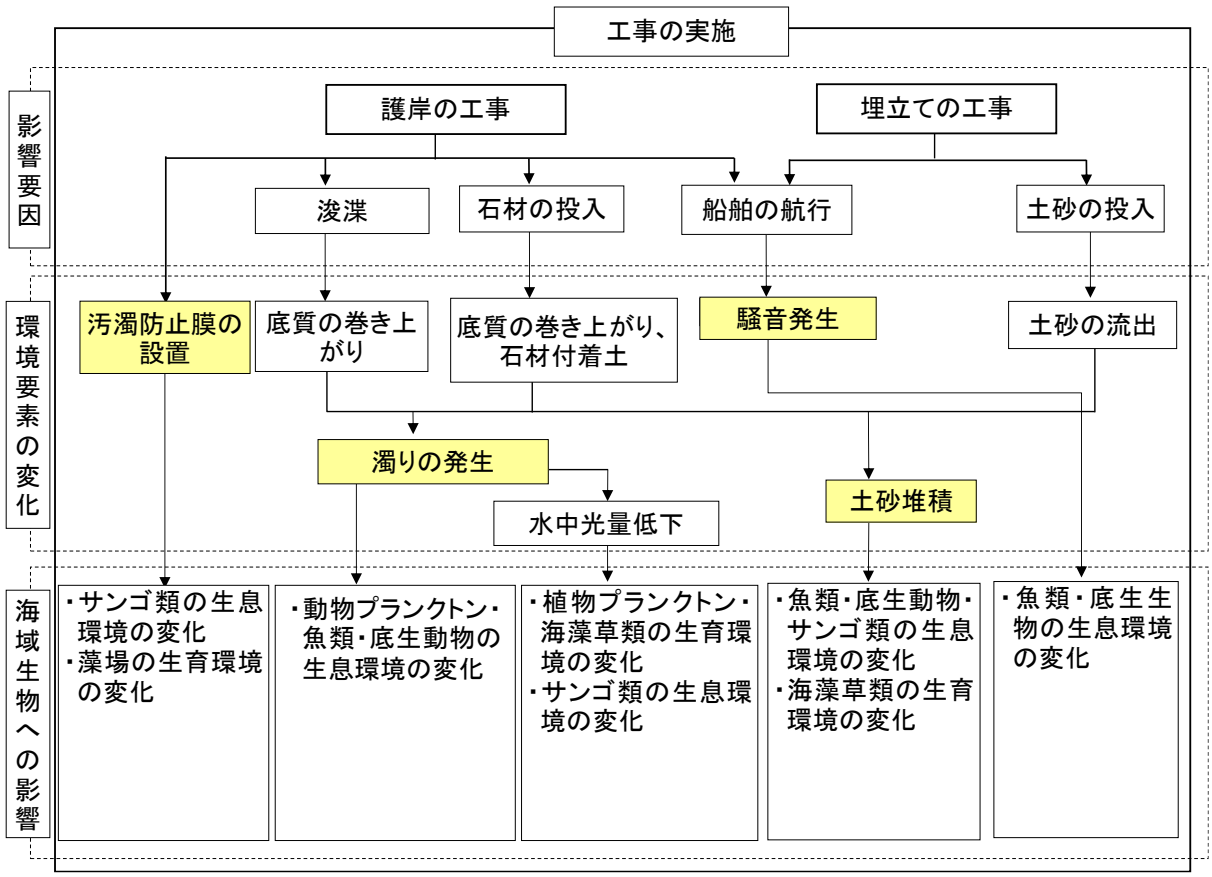


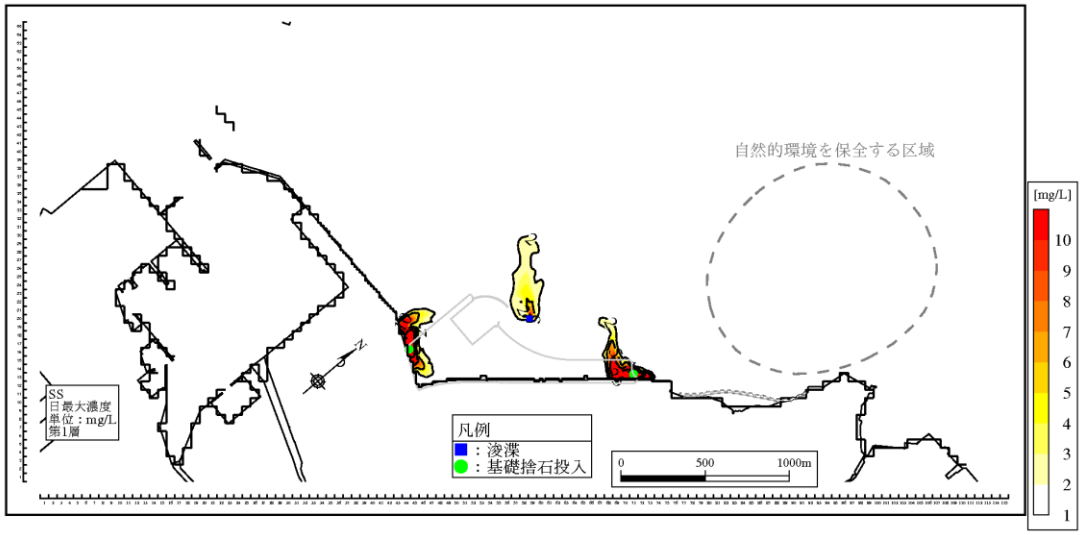
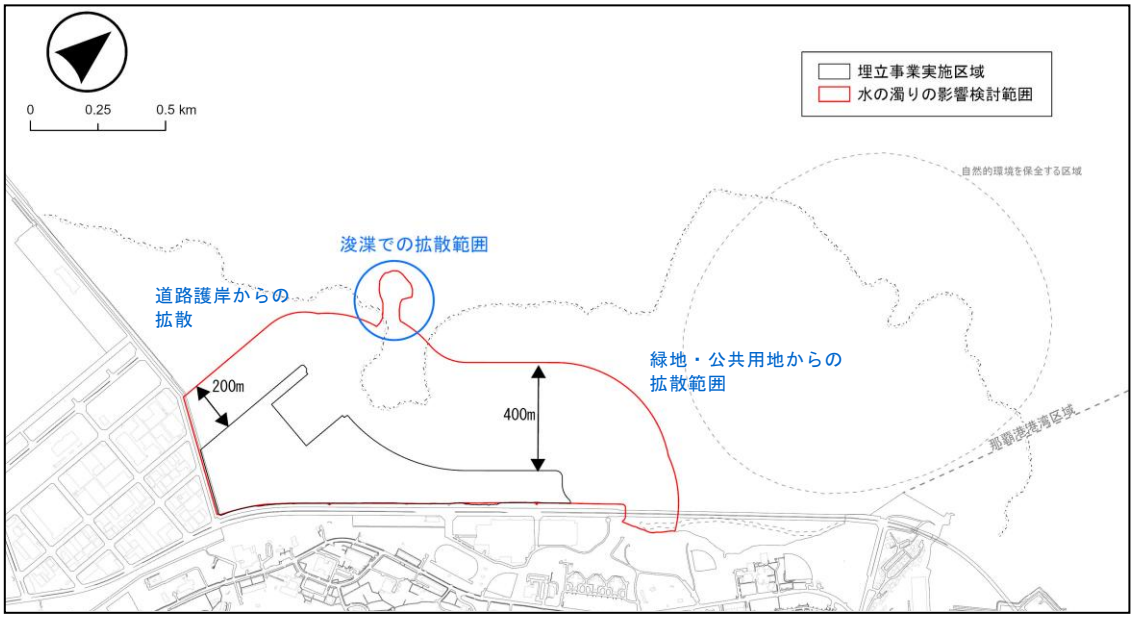
図 6.11.2.1　海域生物の予測地域



注：1. 黄色は海域生物に係る予測の影響要素として選定した項目を示す。
2. ウミガメ類及び海産哺乳類は、文献調査、ヒアリング調査及び現地調査において、本事業の影響が懸念されるリーフ内では確認されなかったことから対象外とした。

図 6.11.2.2　海域生物への影響フロー（工事の実施）

表 6.11.2.3（1）　予測の前提（工事の実施）

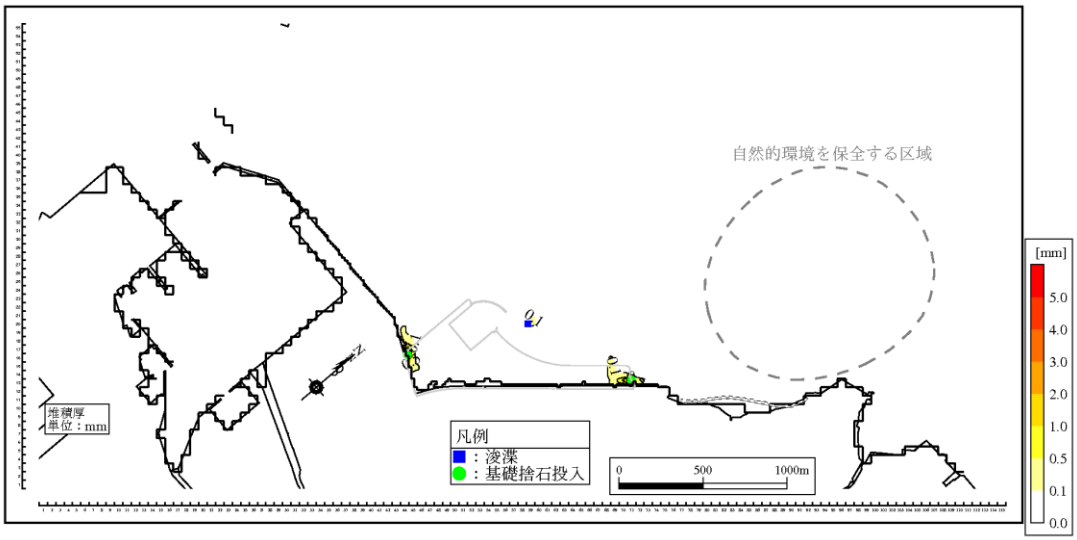
予測の前提	
SSの拡散	水産用水基準によると、人為的に加えられる懸濁物質は 2mg/L 以下と定められているため[出典]、SS の寄与濃度が日最大値 2mg/L 以上の範囲を海域生物の影響予測の対象とする。海域生物の影響予測では、第 1 層（平均水面から水深 2.0m）のシミュレーション結果を用いることとする。 当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。 シミュレーションではサンゴ類や海草藻場等の生物の生息・生育場付近において SS の発生量が最大となる時期を対象としている。しかし、護岸の基礎捨石工は同程度の施工量で各護岸の全区間施工することから、これらの範囲以外にも濁りが拡散することから、海域生物の予測にあたっては、護岸沿いに、下記に示す護岸からの距離と同程度拡散すると想定し、影響範囲の検討を行った。 ※自然的環境を保全する区域への SS の拡散はみられない。 【1 年次 1 ヶ月目、夏季、日最大値】  注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。 【海域生物での影響範囲】 

出典：「水産用水基準第 8 版(2018 年版)」（2018 年 8 月、社団法人日本水産資源保護協会）

表 6.11.2.3（2）　予測の前提（工事の実施）

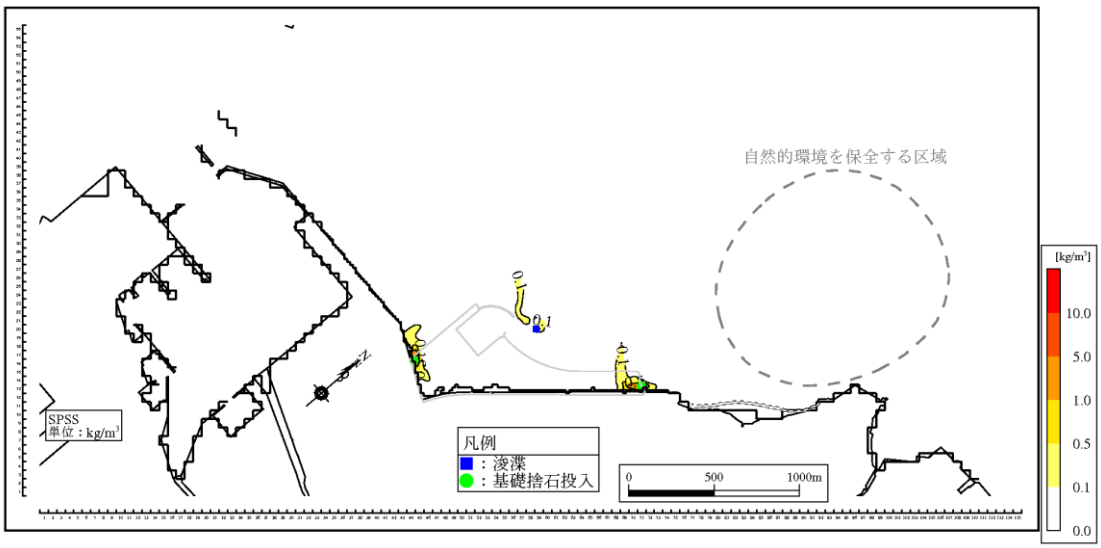
<table>
<tr><th colspan="2">予測の前提</th></tr>
<tr><td>土砂の堆積</td><td>
土砂の堆積のシミュレーション結果は下表に示すとおりである。
<table>
<tr><th>項目</th><th>シミュレーション結果</th></tr>
<tr><td>堆積厚</td><td>工事による水の濁り(SS)の堆積は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm/日以上の堆積が予測されており、夏季と冬季に共通している。</td></tr>
<tr><td>SPSS</td><td>工事による SPSS は、基礎捨石投入箇所近傍で 1kg/m³/日以上の堆積が予測されている。</td></tr>
</table>
※自然的環境を保全する区域への SS の堆積や SPSS はみられない。

【1 年次 1 ヶ月目・夏季・堆積厚】



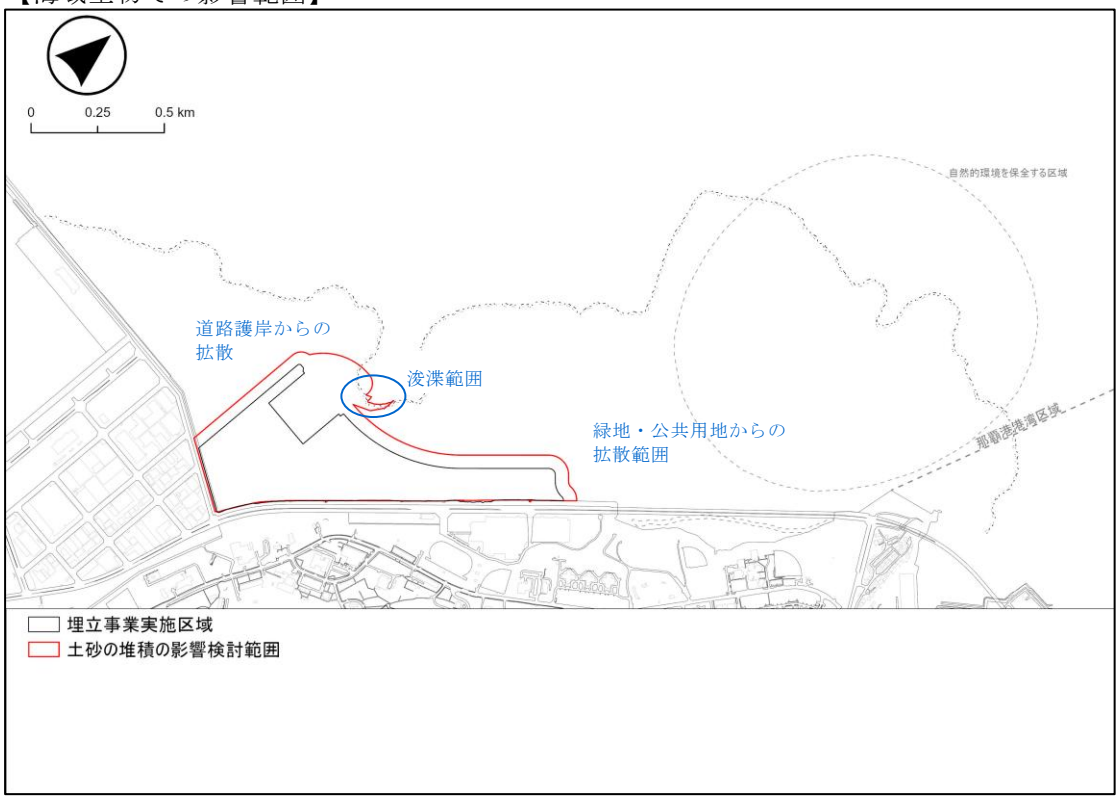
注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

【1 年次 1 ヶ月目・夏季・SPSS】



注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。
</td></tr>
</table>

表 6.11.2.3（3）　予測の前提（工事の実施）

予測の前提	
土砂の堆積	土砂の堆積及びSPSSのシミュレーション結果によると、堆積は護岸近傍のみとなっている。しかし、下図に示す土砂の堆積範囲以外にも、護岸沿いに土砂の堆積が想定され、海域生物の予測にあたっては、これらを踏まえ検討を行った。しかし、護岸の基礎捨石工は同程度の施工量で各護岸の全区間施工することから、これらの範囲以外にも護岸沿いに土砂の堆積が想定されることから、海域生物の予測にあたっては、護岸から 50m程度拡散すると想定し、影響範囲の検討を行った。
	【海域生物での影響範囲】 

3）予測結果

（ア）植物プランクトン

ア）濁りの発生による影響

植物プランクトンは、水中の栄養塩類を吸収して光合成を行うが、工事に伴い海域へ負荷される濁りが著しい場合、海中への光の透過率が低下するため、植物プランクトンの光合成活性が低下し、出現状況に影響を与えることが考えられる。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲においては植物プランクトンの生育環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度が 2mg/L を超えることはなく、植物プランクトンの生育環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、植物プランクトンの生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと予測した。

（イ）動物プランクトン

ア）濁りの発生による影響

動物プランクトンには、水中の有機懸濁物を濾過して摂食する種が存在する。工事に伴い海域へ負荷される濁りが著しい場合、その摂餌活動に影響が及ぶことが考えられる。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲においては動物プランクトンの生息環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度が 2mg/L を超えることはなく、動物プランクトンの生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、動物プランクトンの生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと予測した。

（ウ）魚卵・仔稚魚

ア）濁りの発生による影響

魚卵・仔稚魚については、工事に伴い海域へ負荷される濁りが著しい場合、濁り粒子が卵膜や仔稚魚のえら粘膜に付着して、孵化率や呼吸機能に影響を与えることが考えられる。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲においては魚卵・仔稚魚の生息環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度が 2mg/L を超えることはなく、魚卵・仔稚魚の生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、魚卵・仔稚魚の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと予測した。

（エ）魚類

ア）濁りの発生による影響

魚類については、工事に伴い海域へ負荷される濁りが著しい場合、濁り粒子がえら粘膜に付着して、呼吸機能に影響を与えることや、その場からの忌避行動を起こすことが考えられる。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。

海産魚類の行動は SS が 5mg/L 以上で影響を受けることが報告されているが[出典]、遊泳性魚類は濁りの影響域の外に移動し、穿孔性のハゼ科は生息孔内に潜る等、魚類は一時的に忌避すると考えられるため、魚類の生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

また、上記の範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 5mg/L を超えることはなく、魚類の生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、魚類の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと予測した。

出典：「水産用水基準第 8 版(2018 年版)」（2018 年 8 月、社団法人日本水産資源保護協会）

イ）土砂の堆積による影響

ハゼ類等の底生魚類については、土砂の海底への堆積が多く、底質環境が変化した場合、生息環境が変化することが考えられる。

SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。この範囲においてはハゼ科魚類の生息環境が変化する可能性が考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、移動能力のあるこれらのハゼ科魚類にとって、底質環境の大きな変化ではないと考えられる。

以上のことから、魚類の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は極めて小さいと予測した。

ウ）騒音の発生による影響

船舶の運航に伴う騒音は連動する振動が水中を伝播し、魚類は逃避する可能性がある。既往実験では、録音した漁船の水中音を生簀内や港内で発生させ、水中音に対する魚類の反応の観察が行われた。この実験によれば、マイワシは150dBで動きが多少鈍くなり、145dB 以下ではほとんど反応を示さず、ウマヅラハギやイシダイは165dB でも反応がみられなかった。また、天然のマアジを主体とする混成魚群では160～165dB で多少の反応を示す程度で 150dB 以下では反応はみられず、総体的に魚群の動きは小さかった[出典1]。

また、生息孔を持つハゼ類については、振動が海底を伝播し、影響を与える可能性があると考えられる。しかし、沖縄県中城湾におけるトカゲハゼに対する調査では、道路に隣接するトカゲハゼの生息干潟上で最大43.5dBの振動、最大68.1dBの騒音が観測されたが、振動・騒音の変化に伴うトカゲハゼの行動変化は確認されなかった[出典2]。

これらのことから、魚類の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う騒音による影響は極めて小さいと考えられる。

出典：1.「水中音の魚類に及ぼす影響」（平成9年、社団法人日本水産資源保護協会）
2.「平成 20 年度中城湾港泡瀬地区環境監視委員会第 1 回委員会資料」（平成 20 年度春季調査結果速報）」（平成21年、沖縄総合事務局那覇港湾空港整備事務所）

以上のことから、魚類の生息環境の変化について、濁りの発生、土砂の堆積、騒音の発生による影響は極めて小さいと予測した。

（オ）底生動物

ア）濁りの発生による影響

底生動物については、海域へ負荷される濁りが著しい場合、ろ過食性二枚貝類の摂餌行動やシャコガイ類に共生する褐虫藻の光合成活性に影響を及ぼすことが考えられる。本土での事例として、ろ過食性二枚貝類であるカキ類とアコヤガイは SS がそれぞれ 2mg/L 以上、約 7mg/L 以上で影響を受けることが報告されている。また、甲殻類のガザミ類は SS が 25mg/L 以上で影響を受けることが報告されている[出典]。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲においてはろ過食性二枚貝類の生息環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 2mg/L を超えることはなく、底生動物の生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

これらのことから、底生動物の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと考えられる。

出典：「水産用水基準第 8 版(2018 年版)」（2018 年 8 月、社団法人日本水産資源保護協会）

イ）土砂の堆積による影響

底生動物については、土砂の海底への堆積が多く、底質環境が変化した場合、生息環境が変化することが考えられる。

SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。この範囲においては底生動物の生息環境が変化する可能性が考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。また、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、底生動物の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと考えられる。

ウ）騒音の発生による影響

船舶の運航に伴う騒音は連動する振動が水中を伝播し、底生動物に影響を及ぼす可能性がある。

騒音の発生による底生動物への影響については知見が乏しいため、魚類への影響についての既往実験に着目すると、録音した漁船の水中音を生簀内や港内で発生させ、水中音に対する魚類の反応の観察が行われている。この実験によれば、マイワシは 150dB で動きが多少鈍くなり、145dB 以下ではほとんど反応を示さず、ウマヅラハギやイシダイは 165dB でも反応がみられなかった。また、天然のマアジを主体とする混成魚群では 160～165dB で多少の反応を示す程度で 150dB 以下では反応はみられず、総体的に魚群の動きは小さかった[出典 1]。録音した航空機の水中音を用いた既往実験でも、ほぼ同様の結果がみられている[出典 1]。

また、沖縄県中城湾におけるトカゲハゼに対する調査では、道路に隣接するトカゲハゼの生息干潟上で最大 43.5dB の振動、最大 68.1dB の騒音が観測されたが、トカゲハゼと同所的に生息するシオマネキ類やオサガニ類に、振動・騒音の変化に伴う行動変化は確認されなかった[出典 2]。

これらのことに加え、現況の空港運用時でも航空機騒音の発生に関わらず干潟生物を含む底生動物は広く分布していることから、底生動物の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う騒音による影響は極めて小さいと考えられる。

出典：1.「水中音の魚類に及ぼす影響」（平成 9 年、社団法人日本水産資源保護協会）
2.「平成 20 年度中城湾港泡瀬地区環境監視委員会第 1 回委員会資料」（平成 20 年度春季調査結果速報）」（平成 21 年、沖縄総合事務局那覇港湾空港整備事務所）

以上のことから、底生動物の生息環境の変化について、濁りの発生や騒音の発生による影響は極めて小さいと予測した。また、土砂の堆積により護岸近傍の局所的な範囲において、底生動物の生息環境が変化する可能性が考えられるが、大部分では土砂等の堆積はみられていないこと、影響が一時的であることから、土砂の堆積による影響は小さいと予測した。

（カ）サンゴ類

ア）濁りの発生による影響

サンゴ類については、濁りの発生に伴い光量が低下した場合、サンゴ類と共生する褐虫藻の光合成活性が低下し、その成長に影響を受けると考えられる[出典]。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。図 6.11.2.3 に示すとおり、護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲においてはサンゴ類の生息環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 2mg/L を超えることはなく、サンゴ類の生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、サンゴ類の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと考えられる。

出典：「サンゴ共生する港湾整備マニュアル案」（平成 11 年、財団法人港湾空間高度化センター　港湾・海域環境研究所）

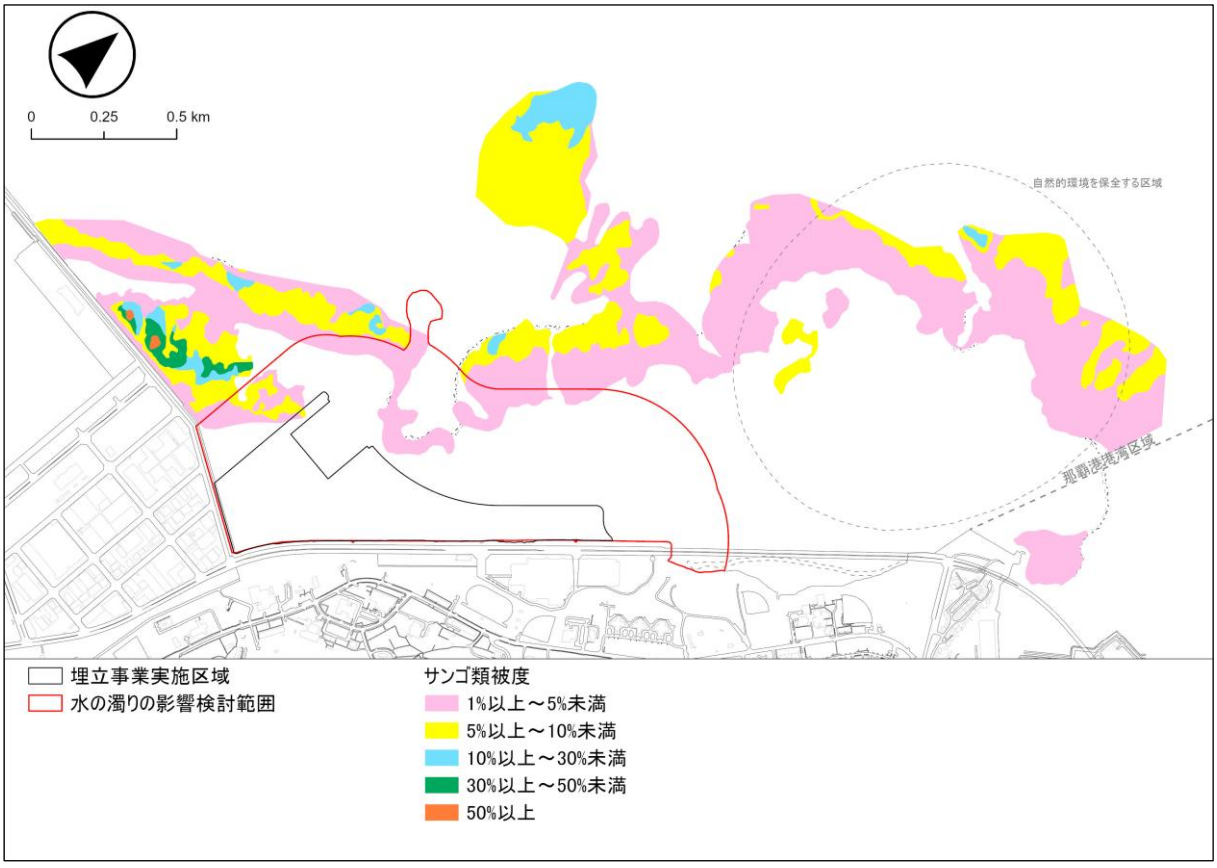


図 6.11.2.3　サンゴ類分布域（令和 7 年春季）と SS 拡散範囲

イ）土砂の堆積による影響

サンゴ類については、流出した土砂や浮泥が体表に堆積すると、ポリプや粘液で堆積粒子を除去しようとするが、そのためには相当のエネルギーを必要とする。また、大量に堆積して埋没すれば、数日で死亡する[出典]。

図 6.11.2.4 に示すとおり、SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。この範囲においては、サンゴ類は堆積した粒子を除去するのに粘液を分泌し、エネルギーを消費することになると考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。また、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、サンゴ類の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと考えられる。

出典：「サンゴ礁と共生する港湾整備マニュアル案」（平成 11 年、財団法人港湾空間高度化センター　港湾・海域環境研究所）

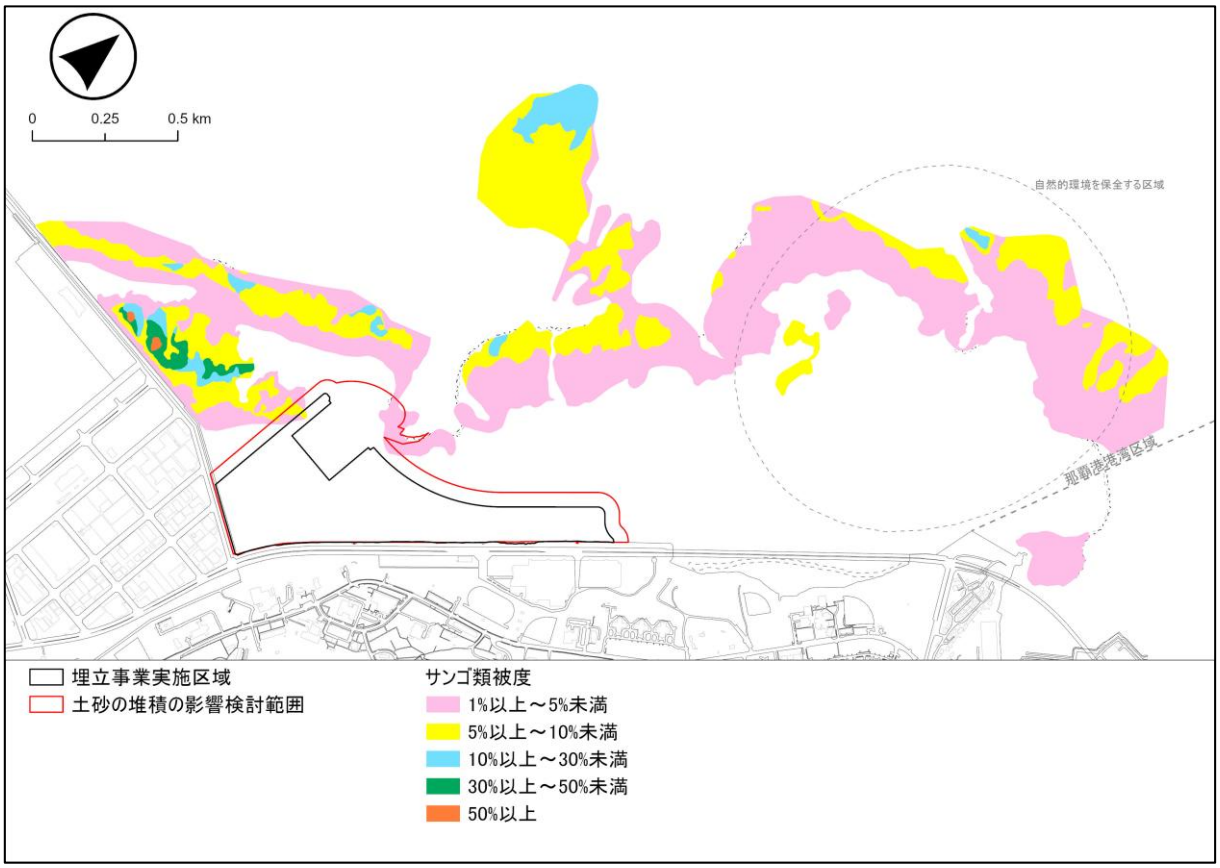


図 6.11.2.4　サンゴ類分布域（令和 7 年春季）と土砂の堆積の拡散範囲

ウ）汚濁防止膜の設置による影響

サンゴ類については、汚濁防止膜の設置により、図 6.11.2.5 に示す汚濁防止膜設置範囲近傍で、汚濁防止膜の設置による一部破損等の影響を受けるが、ほとんどが残存することから、サンゴ類の生息環境の変化について、汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと考えられる。

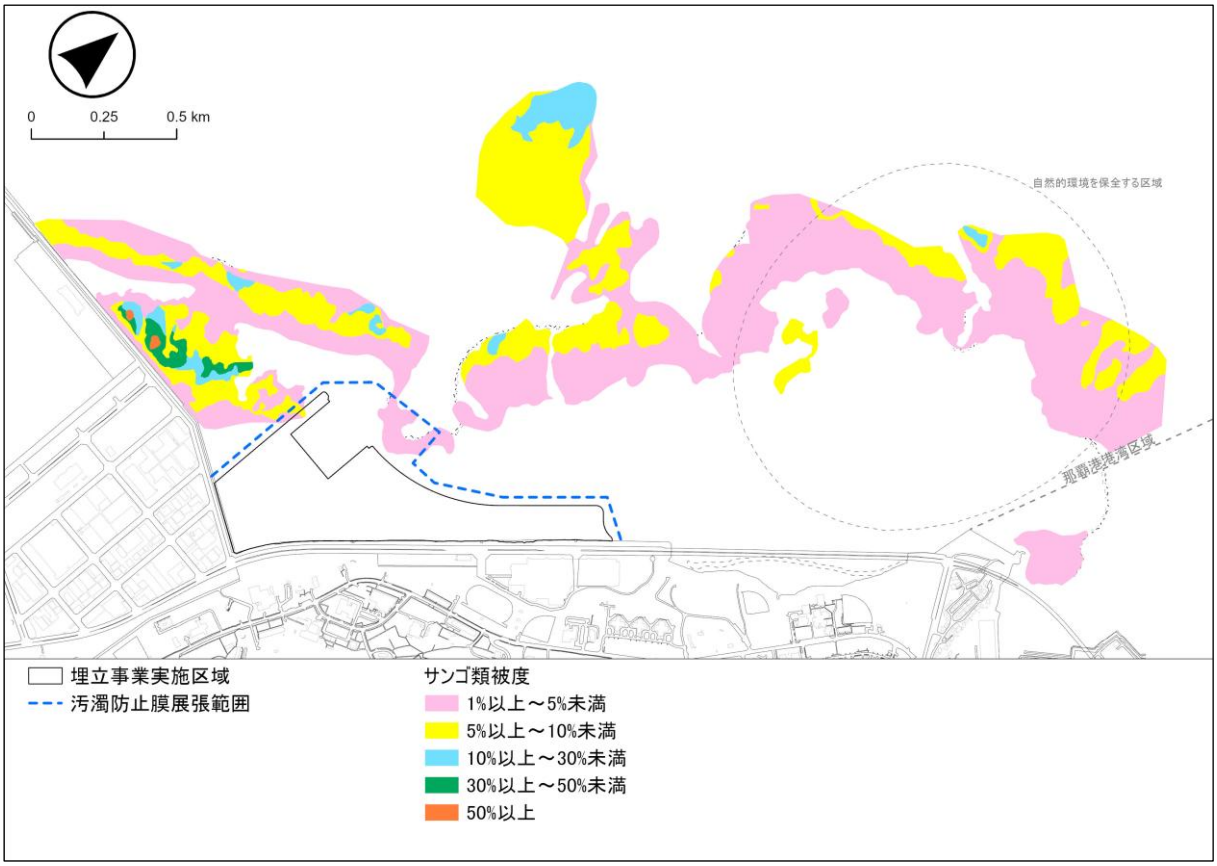


図 6.11.2.5　汚濁防止膜の設置範囲とサンゴ類分布域の重ね合わせ

以上のことから、サンゴ類の生息環境の変化について、濁りの発生や汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと予測した。また、土砂の堆積により護岸近傍の局所的な範囲において、サンゴ類の生息環境が変化する可能性が考えられるが、大部分では土砂等の堆積はみられていないこと、影響が一時的であることから、土砂の堆積による影響は小さいと予測した。

（キ）海藻草類

ア）濁りの発生による影響

海藻草類については、濁りの発生に伴い光量が低下した場合、光合成活性が低下し、その生育に影響を受けると考えられる。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。図 6.11.2.6 に示すとおり、護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲においては海藻草類の生育環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 2mg/L を超えることはなく、海藻草類の生育環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、海藻草類の生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと考えられる。

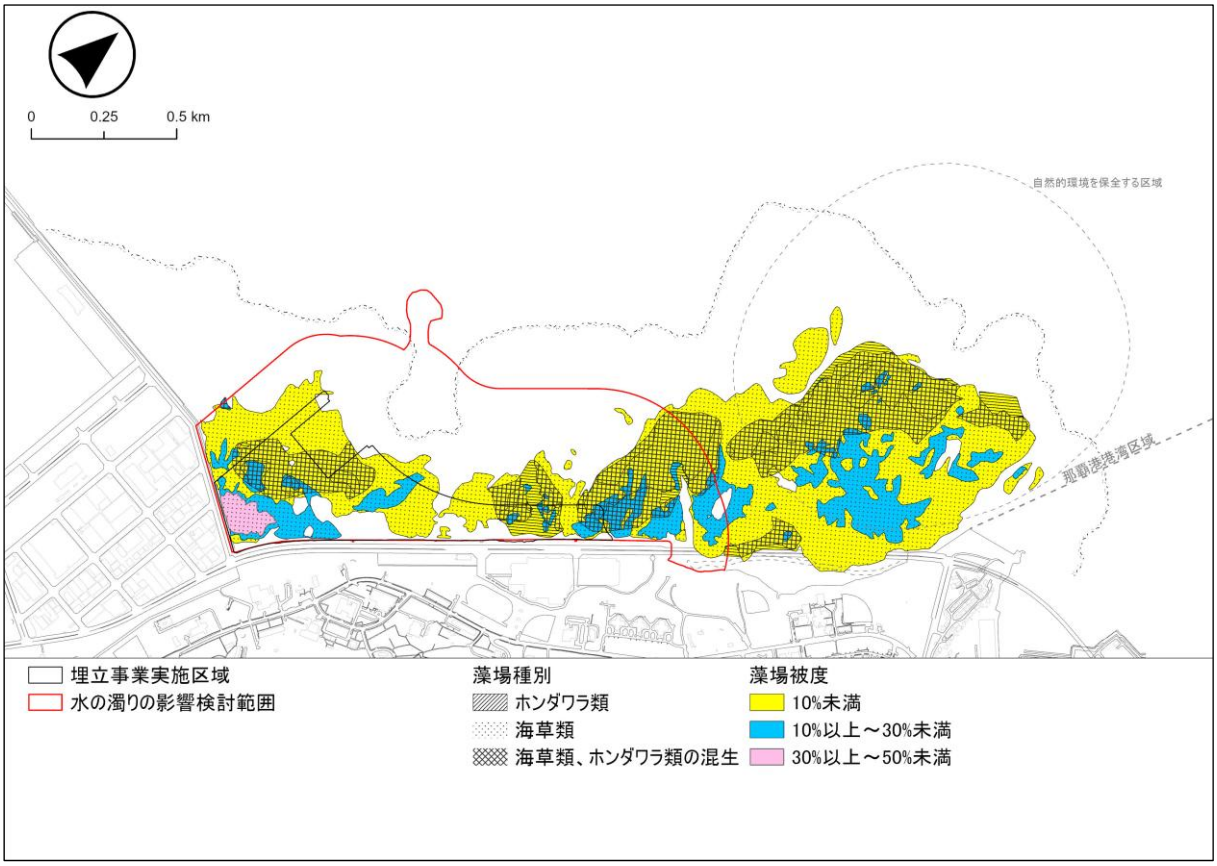


図 6.11.2.6　藻場分布域（令和 7 年春季）と SS 拡散範囲

イ）土砂の堆積による影響

海藻草類については、流出した土砂や浮泥の体表への堆積等により、光合成活性の低下が考えられる。また、土砂の堆積により底質が変化した場合、生育環境が変化すると考えられる。

図 6.11.2.7 に示すとおり、SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。この範囲においては海藻草類の生育環境が変化する可能性が考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。また、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、海藻草類の生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと考えられる。

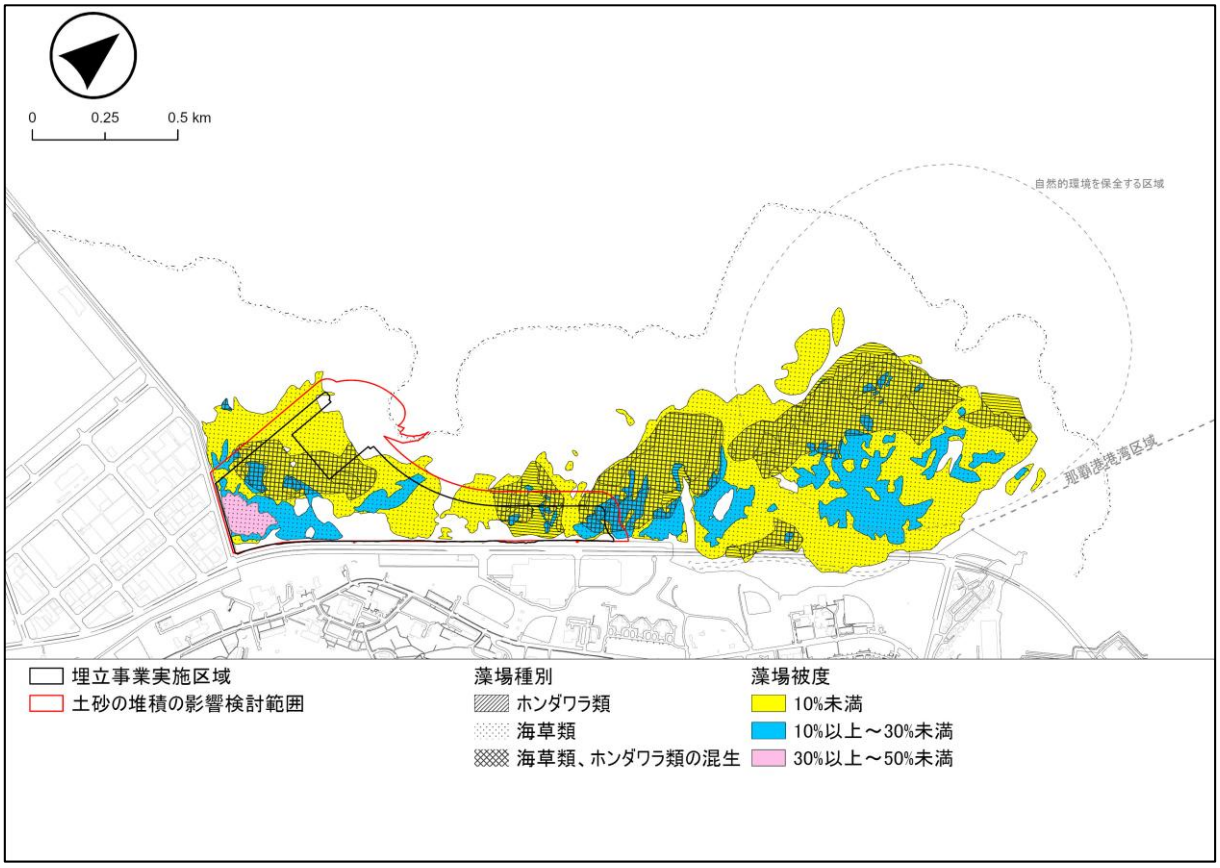


図 6.11.2.7　藻場分布域（令和 7 年春季）と土砂の堆積の拡散範囲

ウ）汚濁防止膜の設置による影響

海藻草類については、汚濁防止膜の設置により、図 6.11.2.8 に示すに示す汚濁防止膜設置範囲近傍で、汚濁防止膜の設置による一部破損等の影響を受けるが、ほとんどが残存することから、海藻草類の生育環境の変化について、汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと考えられる。

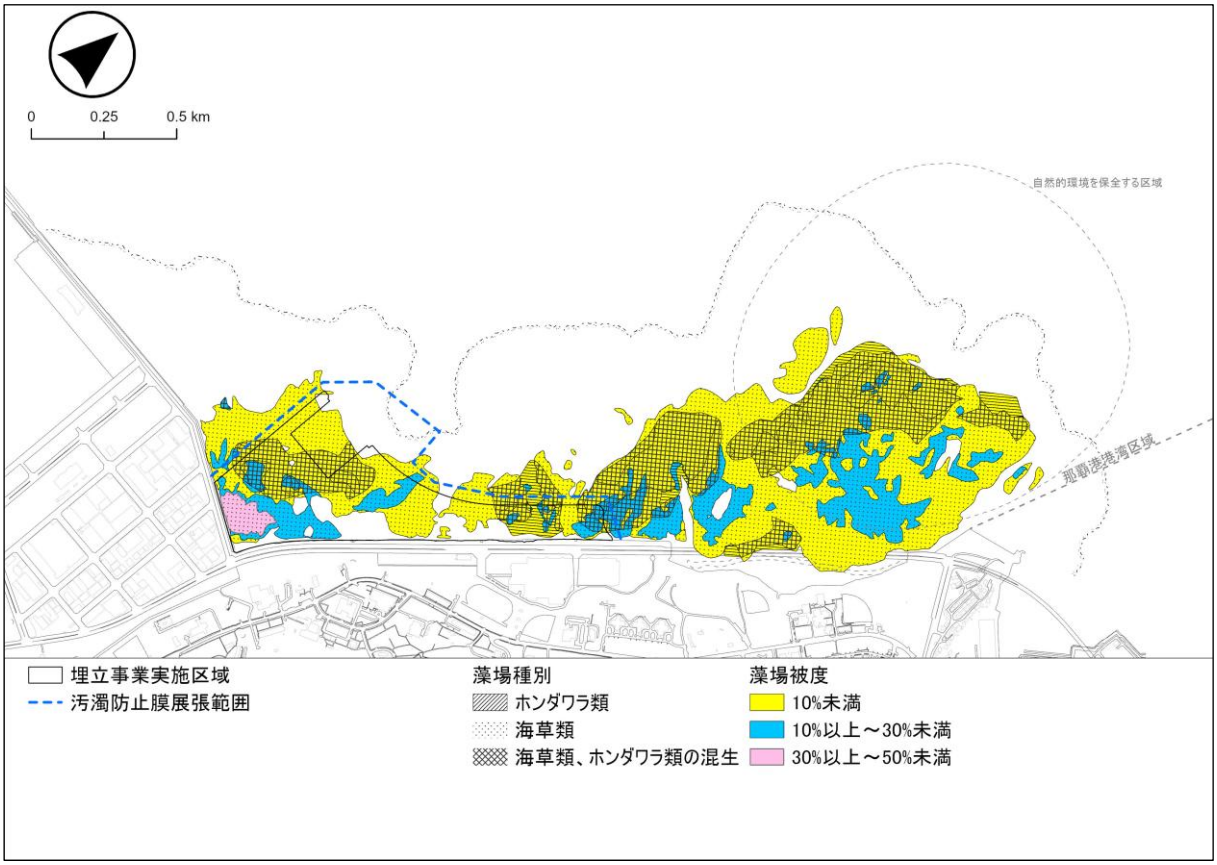


図 6.11.2.8　汚濁防止膜の設置範囲と藻場分布域の重ね合わせ

以上のことから、海藻草類の生育環境の変化について、濁りの発生や汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと予測した。また、土砂の堆積により護岸近傍の局所的な範囲において、海藻草類の生育環境が変化する可能性が考えられるが、大部分では土砂等の堆積はみられていないこと、影響が一時的であることから、土砂の堆積による影響は小さいと予測した。

（ク）重要な種

ア）海域動物

当該海域では、現地調査において、表 6.11.1.50 に示すように重要な種である海域動物は 41 種確認された。これらの確認位置について、工事の実施に係る間接的影響範囲（濁りの発生域）で整理した結果は、図 6.11.2.9 に示すとおりである。

以下では、それぞれの影響範囲で確認された種を対象として、影響予測を行う。

なお、騒音の発生については、「（エ）底生動物」と「（オ）魚類」で予測したように、重要な種に対しても影響を及ぼさないと考えられる。

(a) 濁りの発生による影響

底生動物については、海域へ負荷される濁りが著しい場合、ろ過食性二枚貝類の摂餌行動やシャコガイ類に共生する褐虫藻の光合成活性に影響を及ぼすことが考えられる。本土での事例として、ろ過食性二枚貝類であるカキ類とアコヤガイは SS がそれぞれ 2mg/L 以上、約 7mg/L 以上で影響を受けることが報告されている。また、甲殻類のガザミ類は SS が 25mg/L 以上で影響を受けることが報告されている[出典 1]。

サンゴ類については、濁りの発生に伴い光量が低下した場合、サンゴ類と共生する褐虫藻の光合成活性が低下し、その成長に影響を受けると考えられる[出典 2]。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲において、重要な種のうち、図 6.11.2.9 に示す 10 種が確認されており、ろ過食性二枚貝類やサンゴ類の生息環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 2mg/L を超えることはなく、底生動物の生息環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、重要な種の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと考えられる。

出典：1.「水産用水基準第 8 版(2018 年版)」（2018 年 8 月、社団法人日本水産資源保護協会）
2.「サンゴ共生する港湾整備マニュアル案」（平成 11 年、財団法人港湾空間高度化センター　港湾・海域環境研究所）

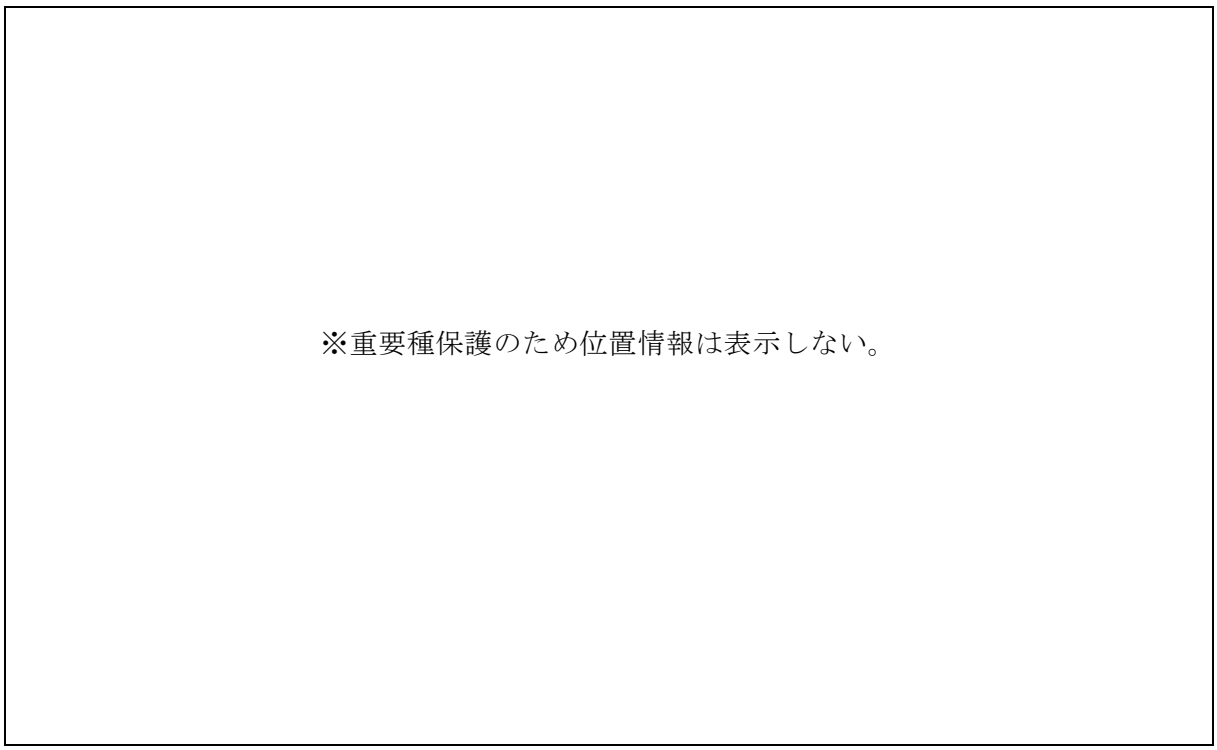


図 6.11.2.9　重要な種（海域動物）と SS 拡散範囲

(b) 土砂の堆積による影響

底生動物については、土砂の海底への堆積が多く、底質環境が変化した場合、生息環境が変化することが考えられる。

サンゴ類については、流出した土砂や浮泥が体表に堆積すると、ポリプや粘液で堆積粒子を除去しようとするが、そのためには相当のエネルギーを必要とする。また、大量に堆積して埋没すれば、数日で死亡する[出典]。

SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。この範囲において、重要な種のうち、図 6.11.2.10 に示す 4 種が確認されており、底生動物やサンゴ類の生息環境が変化する可能性が考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。また、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、重要な種の生息環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと考えられる。

出典：「サンゴ礁と共生する港湾整備マニュアル案」（平成 11 年、財団法人港湾空間高度化センター　港湾・海域環境研究所）



図 6.11.2.10　重要な種（海域動物）と土砂の堆積（基礎捨石投入箇所近傍）

重要な種（海域動物）の生息環境の変化について、工事の実施に伴う間接的影響が懸念された種は表 6.11.2.4 に示すとおりである。このうち、濁りの発生による影響は極めて小さく、4 種について、土砂の堆積による影響は小さいと予測した。

表 6.11.2.4　工事の実施に伴う間接的影響が懸念された重要な種（海域動物）

No.	綱	種名	間接的影響が懸念された種	
			濁りの発生	土砂の堆積
1	花虫	ヒメサンゴ	○	○
2	腹足	クサイロカノコ	○	
3		キンランカノコ	○	
4		ヨウラクレイシダマシ	○	○
5	二枚貝	ツマベニマメアゲマキ	○	○
6		オキナワヒシガイ	○	
7		オミナエシハマグリ	○	
8		オイノカガミ	○	
9		ミクニシボリザクラ	○	
10	軟甲	ヒメカクオサガニ	○	○
種類数			10	4

イ）海域植物

当該海域では、「現地調査」において、表 6.11.1.52 に示すように重要な種である海域植物は 24 種確認された。これらの確認位置について、工事の実施に係る間接的影響範囲（濁りの発生域；図 6.11.2.11）で整理した結果は、表 6.11.2.5 に示すとおりである。

当該海域において以前から注目度の高いカサノリ及びホソエガサは、「ウ）カサノリ類」においても分布域との重ね合わせを行うこととした。

(a) 濁りの発生による影響

海藻草類については、濁りの発生に伴い光量が低下した場合、光合成活性が低下し、その生育に影響を受けると考えられる。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。図 6.11.2.9 に示すとおり、護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。この範囲において、重要な種のうち、図 6.11.2.11 に示す 15 種が確認されており、海藻草類の生育環境が変化する可能性が考えられるが、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 2mg/L を超えることはなく、海藻草類の生育環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、重要な種の生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと考えられる。

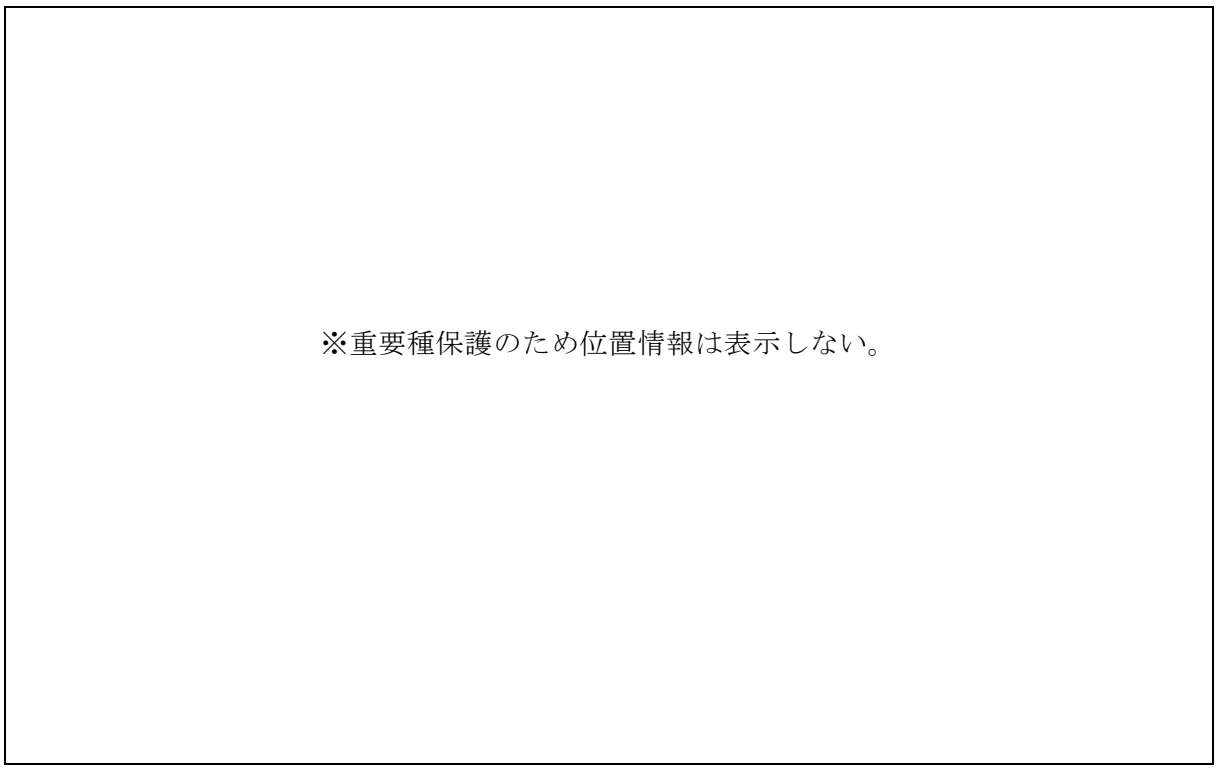


図 6.11.2.11　重要な種（海域植物）と SS 拡散範囲

(b) 土砂の堆積による影響

海藻草類については、土砂の堆積により底質が変化した場合、生育環境に影響を受けると考えられる。また、流出した土砂や浮泥の体表への堆積等により、光合成活性が低下することも考えられる。

SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。この範囲において、重要な種のうち、図 6.11.2.12 に示す 5 種が確認されており、海藻草類の生育環境が変化する可能性が考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。また、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、重要な種の生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと考えられる。

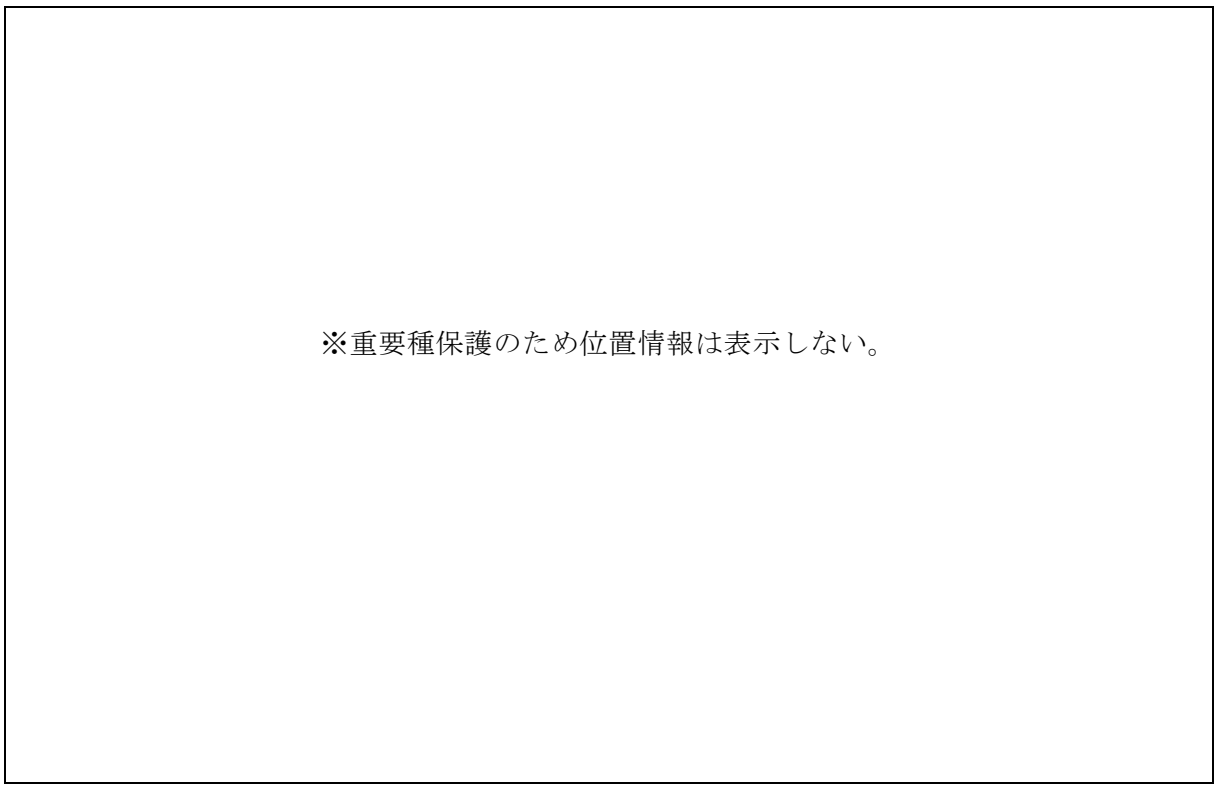


図 6.11.2.12　重要な種（海域植物）と土砂の堆積（基礎捨石投入箇所近傍）

(c) 汚濁防止膜の設置による影響

リュウキュウスガモ等の海草類については、汚濁防止膜の設置により、汚濁防止膜設置範囲近傍で、汚濁防止膜の設置による一部破損等の影響を受けるが、ほとんどが残存することから、重要な種（海域植物）の生育環境の変化について、汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、重要な種（海域植物）の生息環境の変化について、工事の実施に伴う間接的影響が懸念された種は表 6.11.2.5 に示すとおりである。このうち、濁りの発生、汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さく、5 種について、土砂の堆積による影響は小さいと予測した。

表 6.11.2.5　工事の実施に伴う間接的影響が懸念された重要な種（海域植物）

No.	綱	種名	間接的影響が懸念された種	
			濁りの発生	土砂の堆積
1	紅藻	ハイコナハダ	○	
2		リュウキュウオゴノリ	○	○
3	緑藻	オオネダシグサ	○	○
4		マガタマモ	○	○
5		クビレズタ	○	○
6		ヒナイワズタ	○	
7		フササボテングサ	○	
8		ウスガサネ	○	
9		ホソエガサ	○	
10		カサノリ	○	
11	単子葉植物	リュウキュウスガモ	○	○
12		ウミヒルモ	○	
13		ウミジグサ	○	
14		マツバウミジグサ	○	
15		ベニアマモ	○	
種類数			15	5

ウ）カサノリ類

(a) 濁りの発生による影響

カサノリ及びホソエガサについては、濁りの発生に伴い光量が低下した場合、光合成活性が低下し、その生育に影響を受けると考えられる。海水の滞留による濁り及び浮泥堆積等が生育阻害要因となるとされている[出典1]。

当該海域における現地調査での SS は平常時に 1mg/L 未満～2mg/L であった。図 6.11.2.13 及び図 6.11.2.14 に示すとおり、護岸及び埋立ての工事に伴い、平常時の SS が 2～4mg/L（寄与濃度が 2mg/L）以上の範囲は、SS 発生位置から最大 500m 程度の範囲に拡散すると予測されている。これらの範囲には、部分的ではあるもののカサノリ及びホソエガサの分布域が存在している。

濁り耐性実験において、カサノリは SS が 100mg/L の環境下に 7 日間暴露されても、95%の個体が緑色を呈し、影響はみられなかったことが報告されている[出典2]。このことから、7 日間程度であれば濃い濁りに対しても耐えられると考えられる。濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられる。

一方、この範囲外では、SS 寄与濃度の日最大値が 2mg/L を超えることはなく、カサノリ及びホソエガサの生育環境の変化は極めて小さいと考えられる。

以上のことから、カサノリ及びホソエガサの生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う濁りの発生による影響は極めて小さいと考えられる。

出典：1.「那覇港（浦添ふ頭地区）港湾整備に伴う海域環境保全マニュアル」（令和 7 年 11 月、那覇港管理組合）
2.「那覇空港滑走路増設事業に係る環境影響評価書」（平成 25 年 9 月、内閣府沖縄総合事務局・国土交通省大阪航空局）

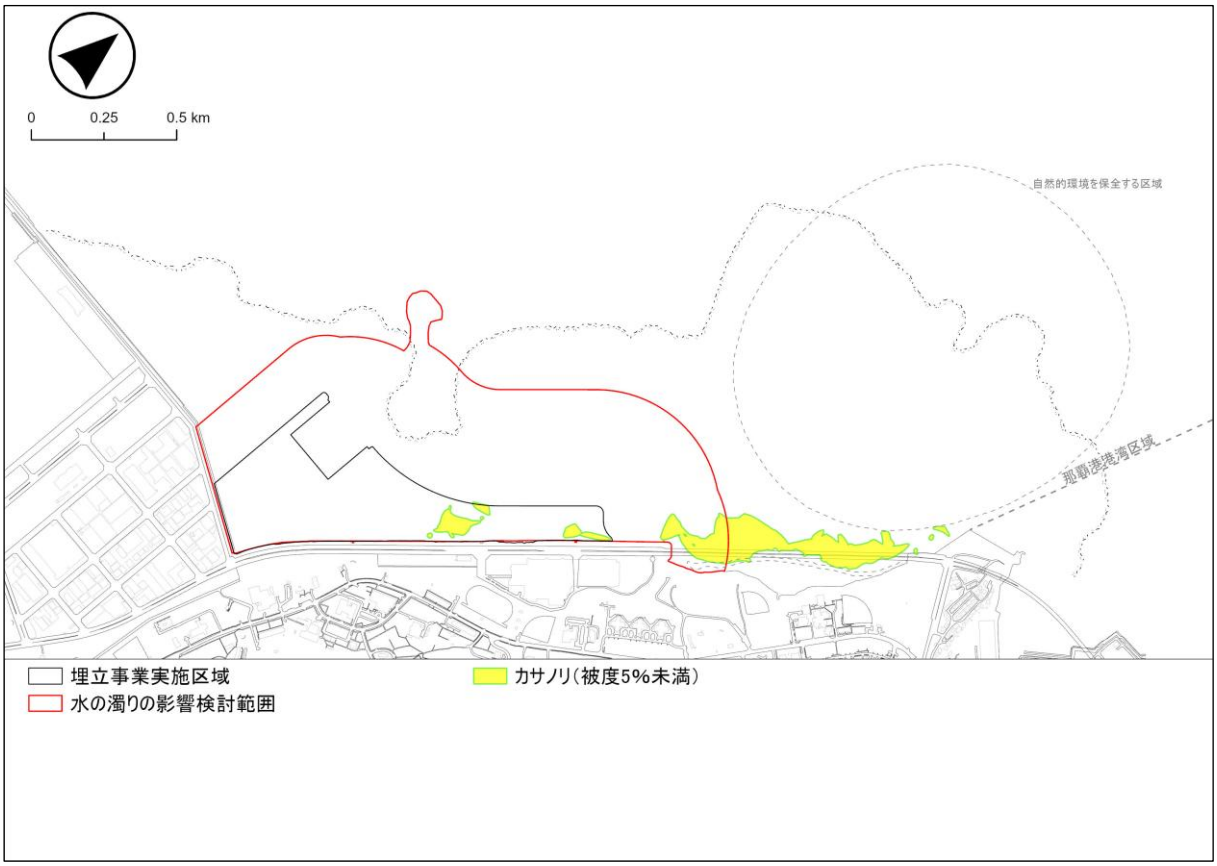


図 6.11.2.13　カサノリ分布域（令和 7 年 1～3 月）と SS 拡散堆積範囲

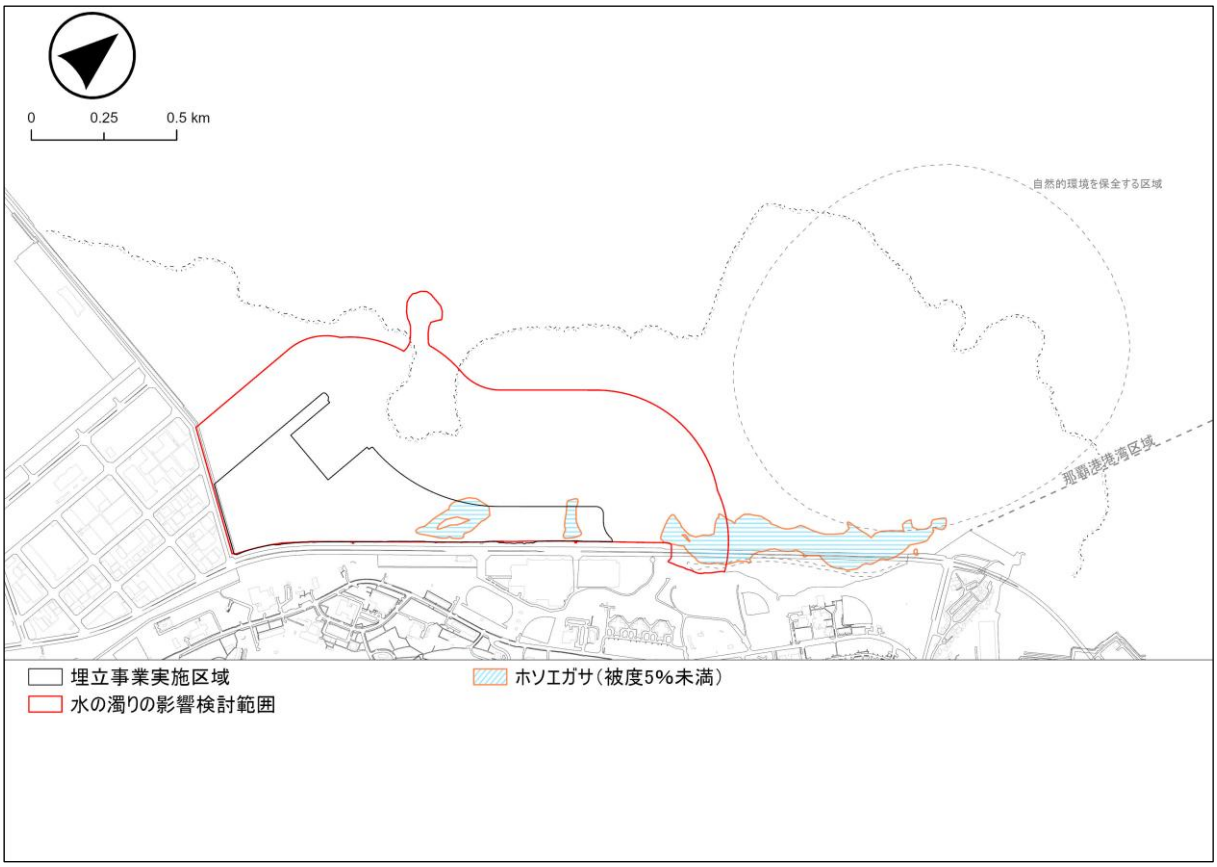


図 6.11.2.14　ホソエガサ分布域（令和 7 年 1～3 月）と SS 拡散堆積範囲

(b) 土砂の堆積による影響

カサノリ及びホソエガサについては、海水の滞留による濁り及び浮泥堆積等が生育阻害要因となるとされている[出典]。生育基盤への浮泥の堆積等により、生育環境に影響を受けると考えられる。また、流出した土砂や浮泥の体表への堆積等により、光合成活性が低下することも考えられる。

SS の堆積厚は、基礎捨石投入箇所近傍で 5mm 以上、SPSS は 1kg/m³以上の堆積が予測されている。図 6.11.2.15 及び図 6.11.2.16 に示すとおり、この範囲においてはカサノリ及びホソエガサの生育環境が変化する可能性が考えられるが、これらの土砂堆積は護岸近傍の局所的な範囲であり、大部分では土砂の堆積等はみられていない。また、濁りの発生が想定される浚渫や基礎捨石工は、工事の進捗に合わせて施工箇所を替えながら進めるため、影響は一時的であると考えられ、重要な種の生育環境の変化について、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと考えられる。

出典：「那覇港（浦添ふ頭地区）港湾整備に伴う海域環境保全マニュアル」（令和 7 年 11 月、那覇港管理組合）

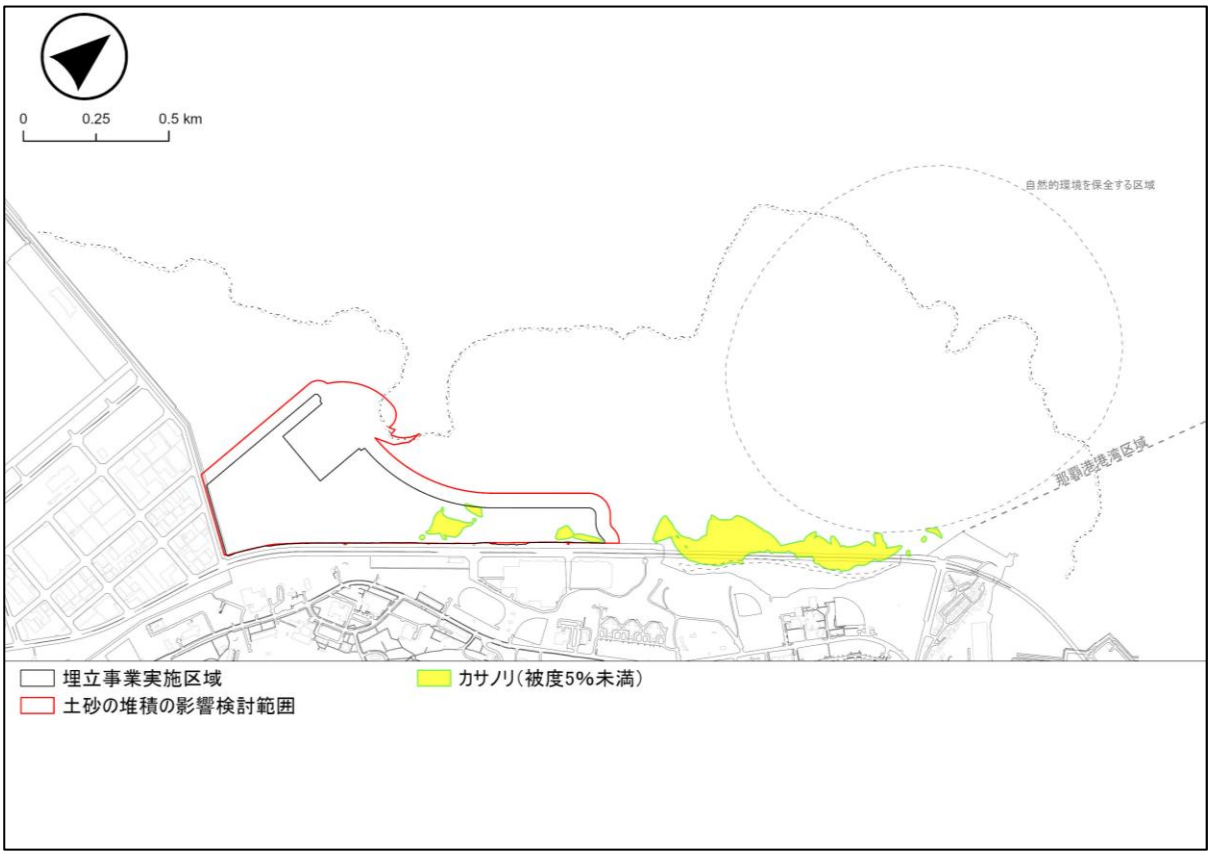


図 6.11.2.15　カサノリ分布域（令和 7 年 1～3 月）と土砂の堆積範囲

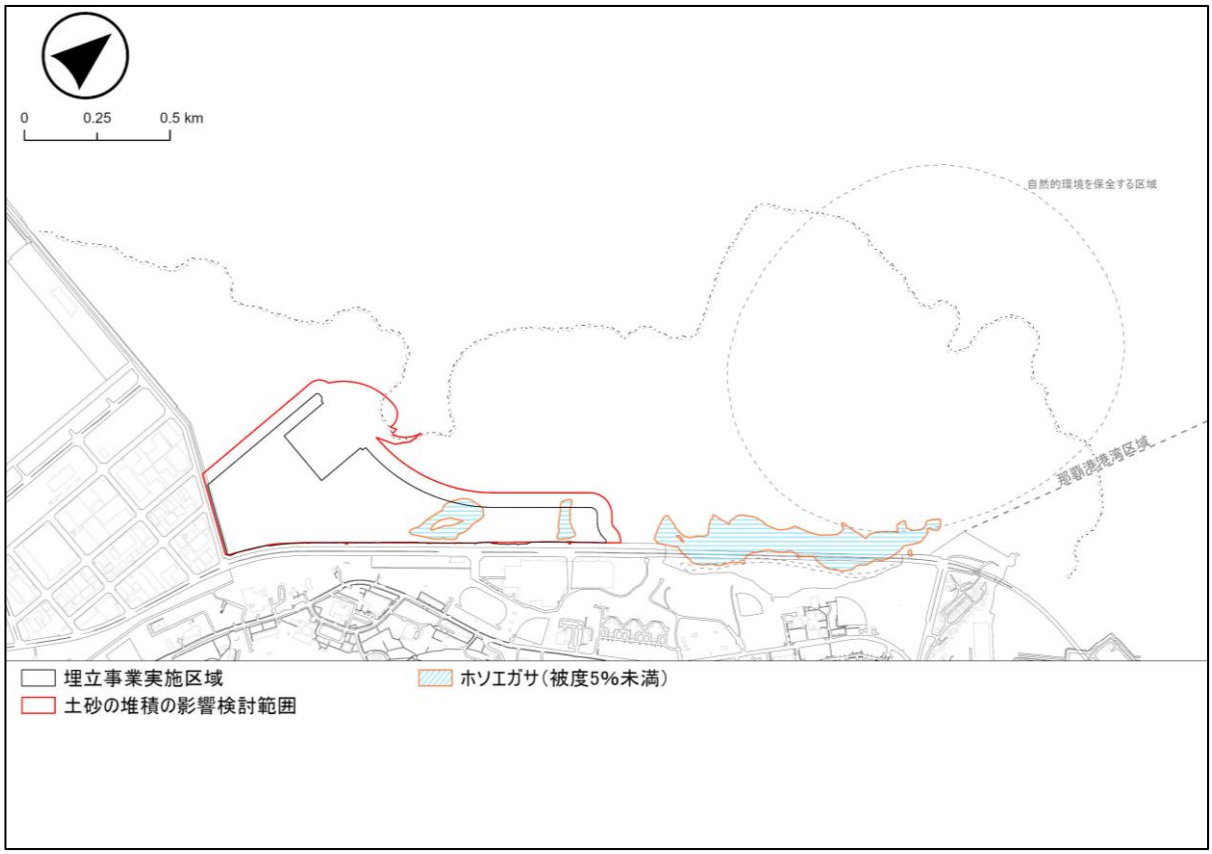


図 6.11.2.16　ホソエガサ分布域（令和 7 年 1～3 月）と土砂の堆積範囲

（c）汚濁防止膜の設置による影響

カサノリ及びホソエガサについては、汚濁防止膜の設置により、図 6.11.2.17 及び図 6.11.2.18 に示す汚濁防止膜設置範囲近傍で、汚濁防止膜の設置による一部破損等の影響を受ける。一方、ほとんどが残存することから、カサノリ及びホソエガサの生育環境の変化について、汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと考えられる。

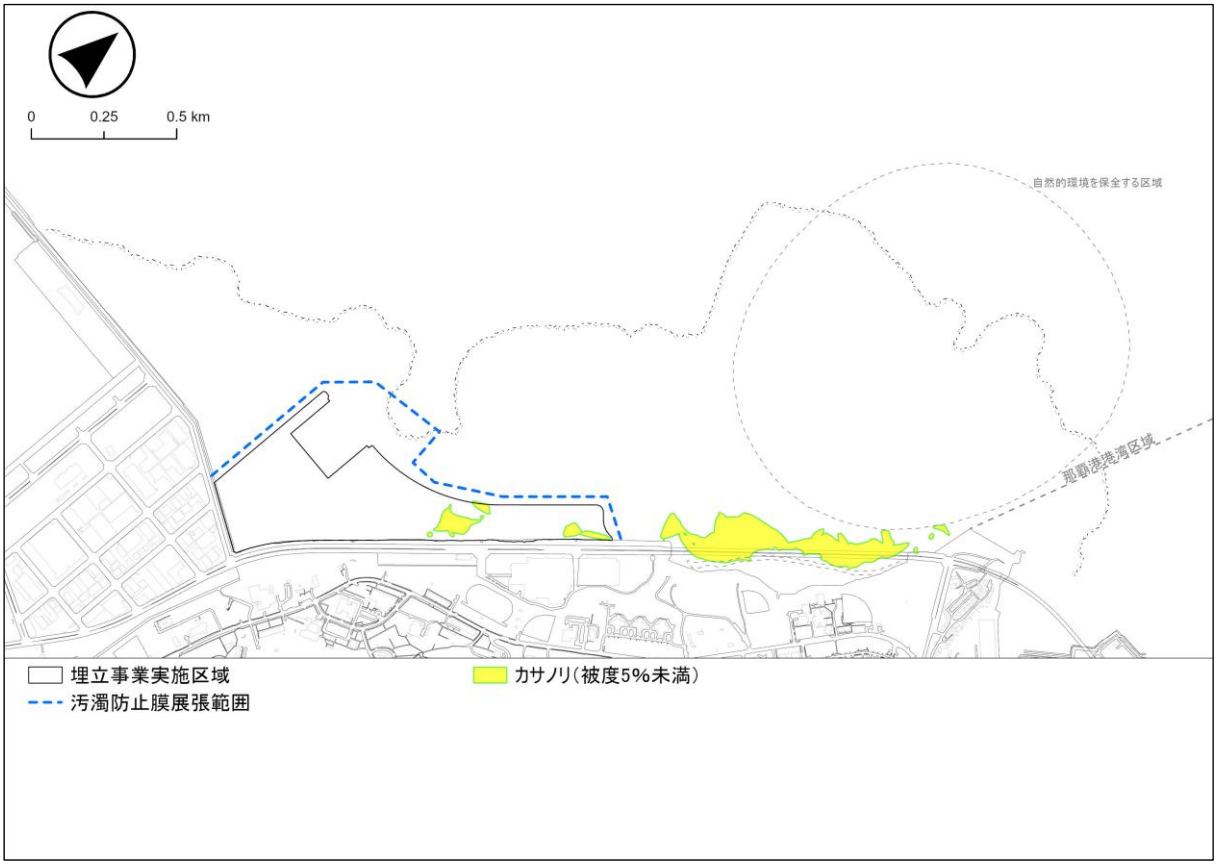


図 6.11.2.17　カサノリ分布域（令和 7 年 1～3 月）と汚濁防止膜の設置範囲

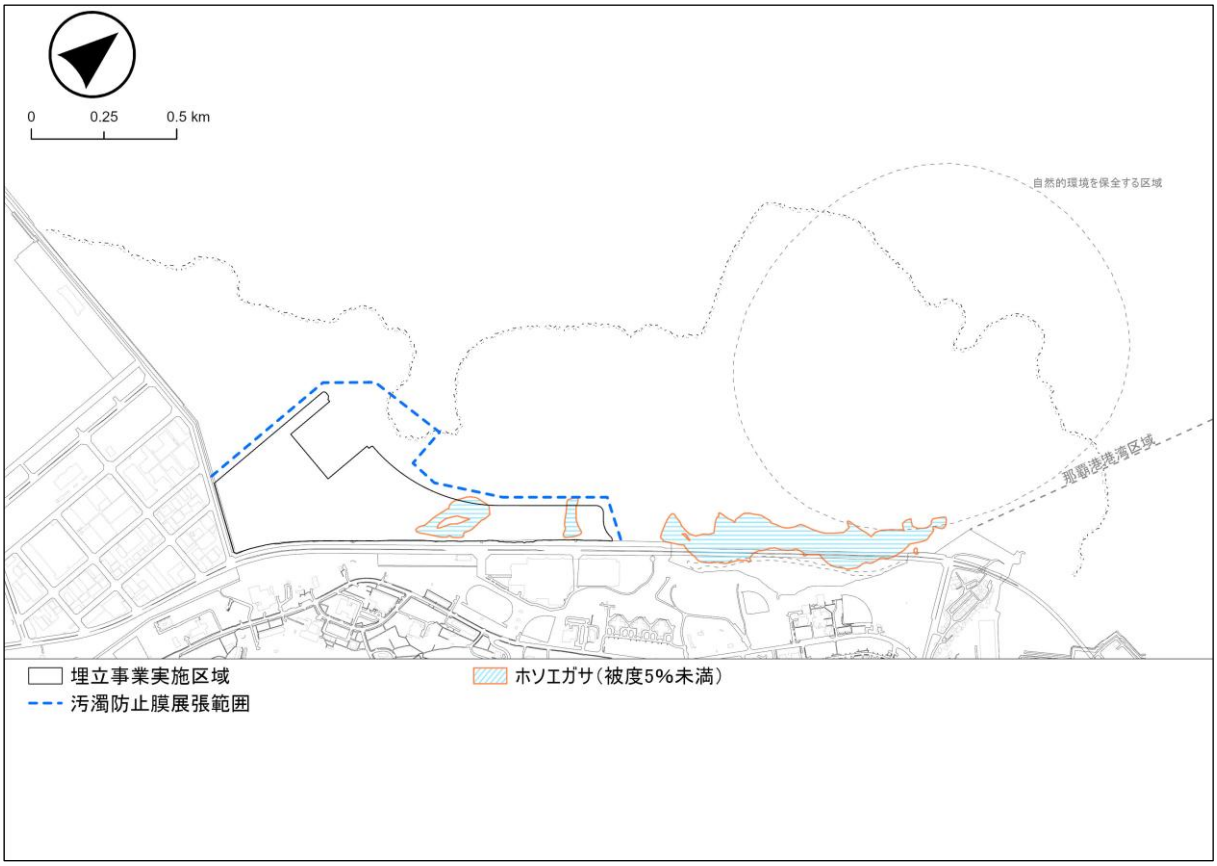


図 6.11.2.18　ホソエガサ分布域（令和 7 年 1～3 月）と汚濁防止膜の設置範囲

以上のことから、カサノリ及びホソエガサの生育環境の変化について、濁りの発生や汚濁防止膜の設置による影響は極めて小さいと予測した。また、土砂の堆積により護岸近傍の局所的な範囲において、カサノリ及びホソエガサの生育環境が変化する可能性が考えられるが、大部分では土砂等の堆積はみられていないこと、影響が一時的であることから、護岸及び埋立ての工事に伴う土砂の堆積による影響は小さいと予測した。

(2) 施設等の存在及び供用

1) 予測項目

（ア）本事業の実施による動植物の生育・生息環境の改変の程度

（イ）重要な動植物種の生育・生息環境への影響

2) 予測概要

予測の概要は表 6.11.2.6 に、予測地域は図 6.11.2.19 に、影響フローは図 6.11.2.20 に、予測の前提は表 6.11.2.7 に示すとおりである。

表 6.11.2.6 予測の概要（施設等の存在及び供用）

予測の概要	
予測項目	本事業の実施による動植物の生育・生息環境の改変の程度、重要な動植物種の生育・生息環境への影響
予測方法	水環境の変化や生育・生息環境の改変の程度、重要な動植物種の生育・生息環境への影響の程度に関する事例等を踏まえて、影響フロー図を作成し、定性的に予測
予測地域	調査地域のうち、植物の生育、植生、動物の生息の特性を踏まえて、重要な種、重要な群落及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域
予測対象時期等	埋立地が存在する時期

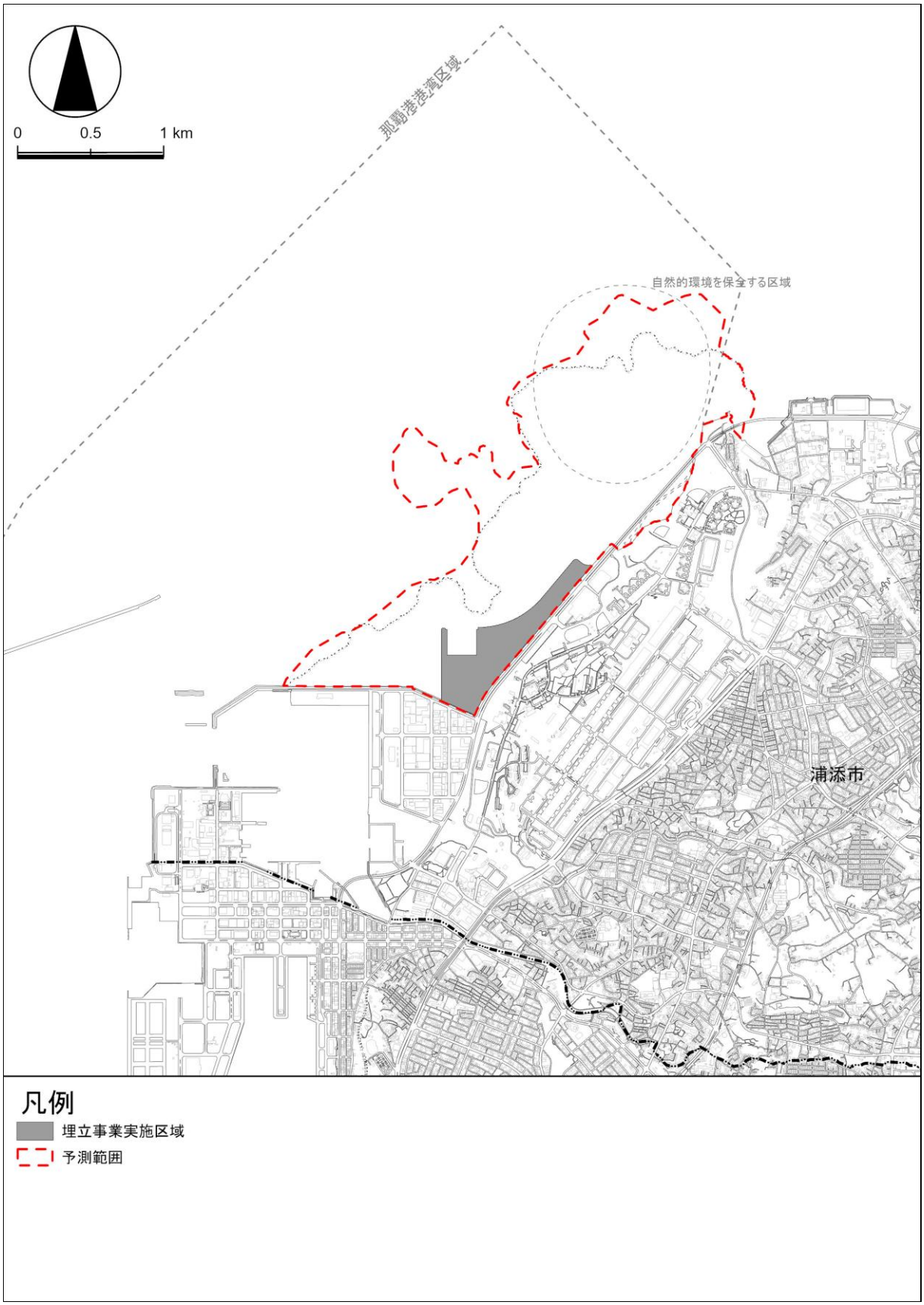
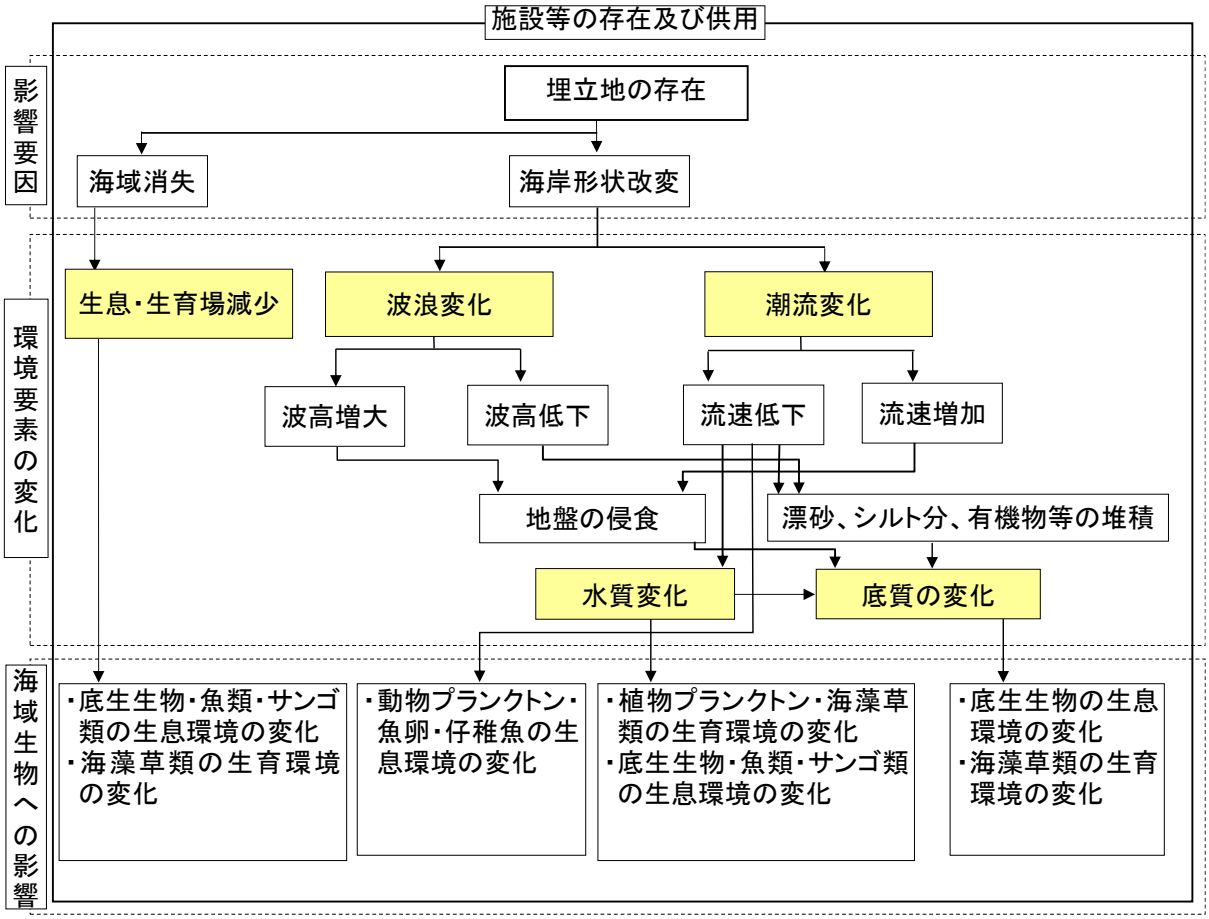


図 6.11.2.19　海域生物の予測地域



注：1. 黄色は海域生物に係る予測の影響要素として選定した項目を示す。
2. ウミガメ類及び海産哺乳類は、文献調査、ヒアリング調査及び現地調査において、本事業の影響が懸念されるリーフ内では確認されなかったことから対象外とした。

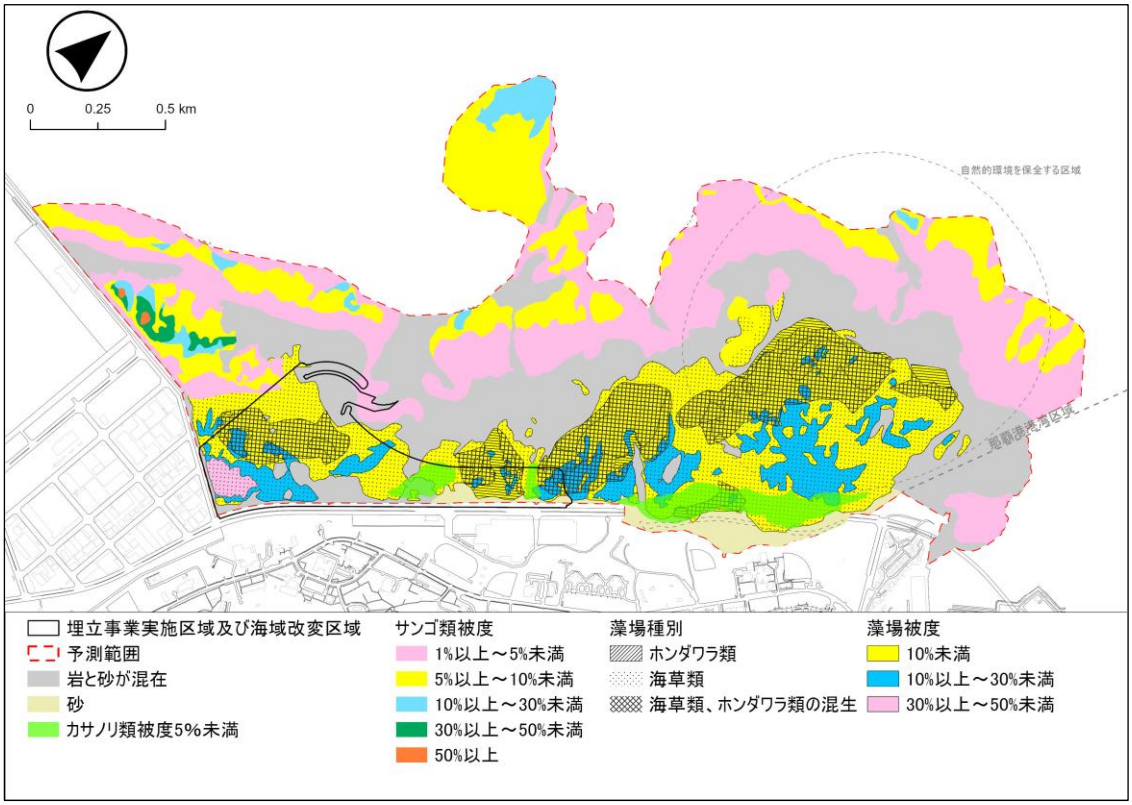
図 6.11.2.20　海域生物への影響フロー（施設等の存在及び供用）

表 6.11.2.7（1）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提

改変区域の面積とその割合

基盤環境		総面積	施設等の存在及び供用 埋立事業実施区域及び海域改変区域	
		ha	ha	%
サンゴ類	被度1%以上～5%未満	90.2	0.6	0.7%
	被度5%以上～10%未満	47.8	0.1	0.2%
	被度10%以上～30%未満	6.4	0.0	0.0%
	被度30%以上～50%未満	2.0	0.0	0.0%
	被度50%以上	0.2	0.0	0.0%
	合計	146.6	0.7	0.5%
海草藻場	被度10%未満	84.7	17.7	20.9%
	被度10%以上～30%未満	22.5	5.9	26.2%
	被度30%以上～50%未満	1.7	1.7	100.0%
	合計	108.9	25.3	23.2%
ホンダワラ藻場	被度10%未満	29.0	7.8	26.9%
	被度10%以上～30%未満	14.5	2.1	14.5%
	被度30%以上～50%未満	1.0	0.0	0.0%
	合計	44.5	9.9	22.2%
岩と砂が混在		86.5	8.1	9.4%
砂		8.3	1.4	16.9%
総計		350.3	35.5	10.1%



※自然的環境を保全する区域の改変はない。

注：1. 面積の表記が「0」であることは、改変が行われないことを示す。
2. サンゴ及び藻場の種別及び被度は令和 7 年春季調査結果を示す。
3. 海草藻場及びホンダワラ類藻場の一部は混成した状態で分布していることから、藻場面積は一部混成域を重複して計上。図中の藻場被度について、混成藻場では海草類の被度を示している。
4. 海底基盤「岩と砂が混在」は、岩盤上のくぼ地等にパッチ上に砂が分布している範囲を示す。

表 6.11.2.7（2）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

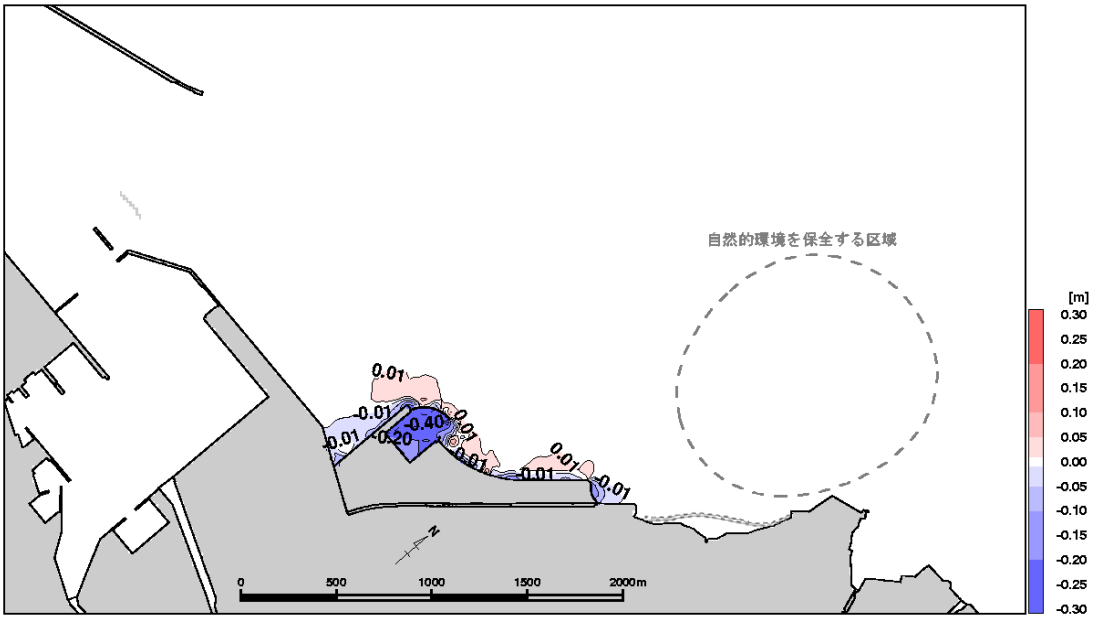
予測の前提

波浪の変化

範囲	シミュレーション結果
高波浪時 （台風時）	平均高潮位(M.H.W.L.)時には、最大±0.02m 程度の波高変化が生じたが、変化幅は小さく範囲も限定的であった。

※自然的環境を保全する区域での波浪変化はみられない。

【高波浪時・台風・平均高潮位】



注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（3）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

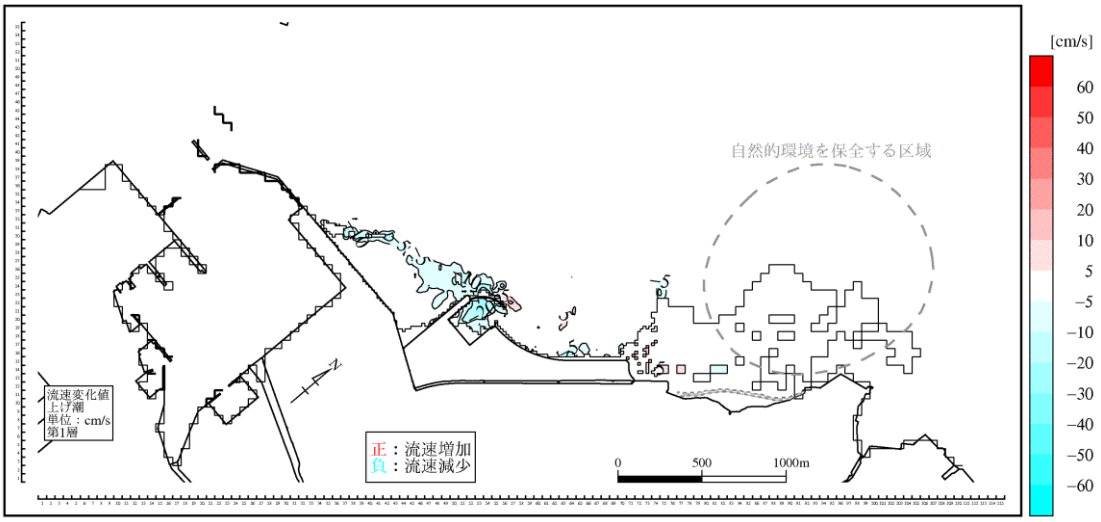
予測の前提

潮流の変化

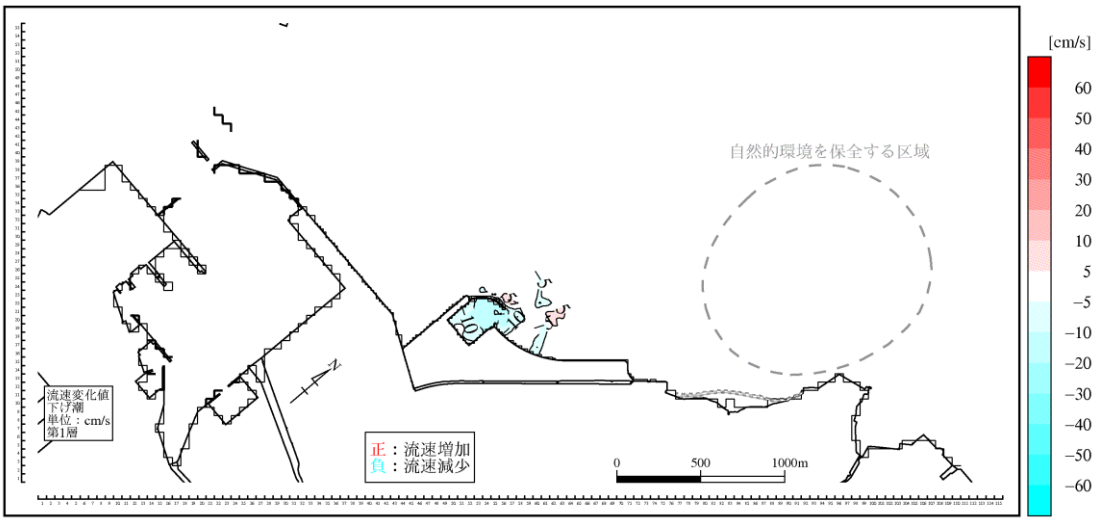
範囲	シミュレーション結果
夏季	新設のマリーナ内と入口の航路では、最大 10cm/s 程度の減少 埋立地西側の前面では、最大 5cm/s 程度の減少 北側防波堤の前面から公共用地護岸の前面では、最大 5cm/s 程度の減少と、5cm/s 程度の増加
冬季	新設のマリーナ内と入口の航路では、最大 40cm/s 程度の減少 埋立地西側の前面では、最大 10cm/s 程度の減少 北側防波堤の前面から公共用地護岸の前面では、最大 10cm/s 程度の減少と、10cm/s 程度の増加

※自然的環境を保全する区域での流速変化はみられない。

【上げ潮時・夏季・平均大潮】

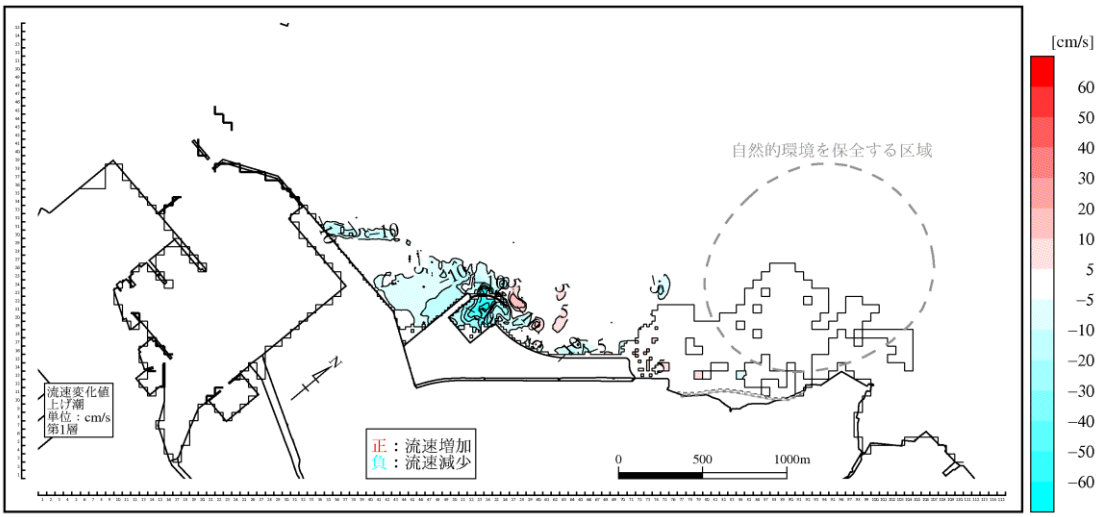
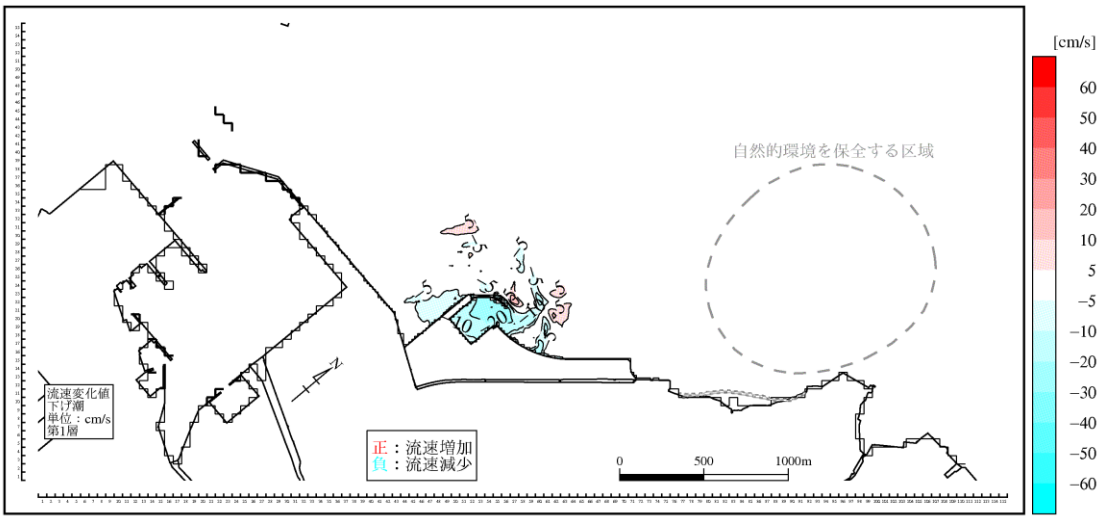


【下げ潮時・夏季・平均大潮】



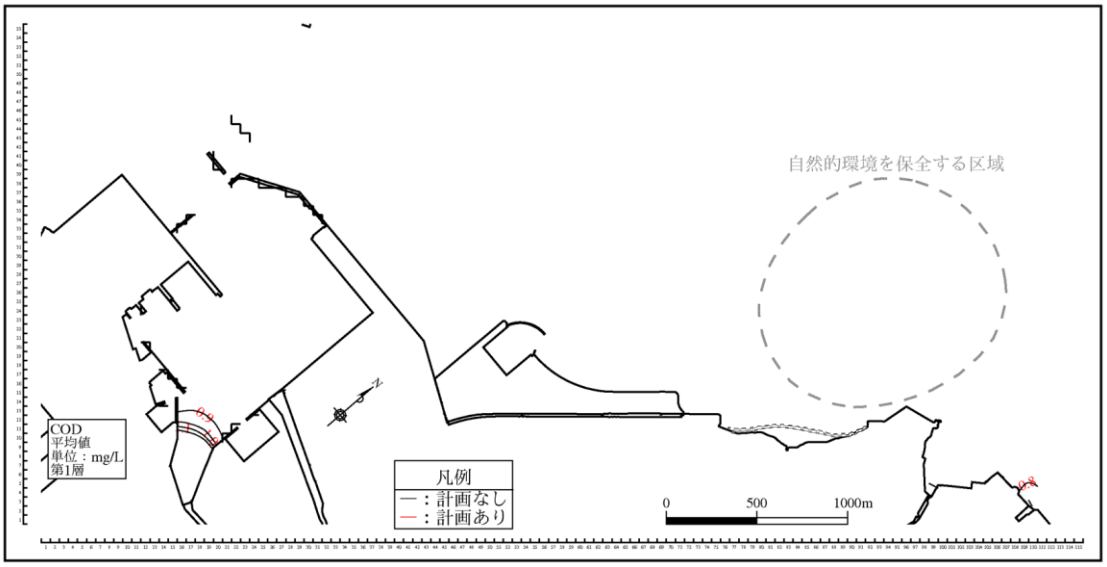
注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（4）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提	
潮流の変化（続き）	【上げ潮時・冬季・平均大潮】  【下げ潮時・冬季・平均大潮】 

注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

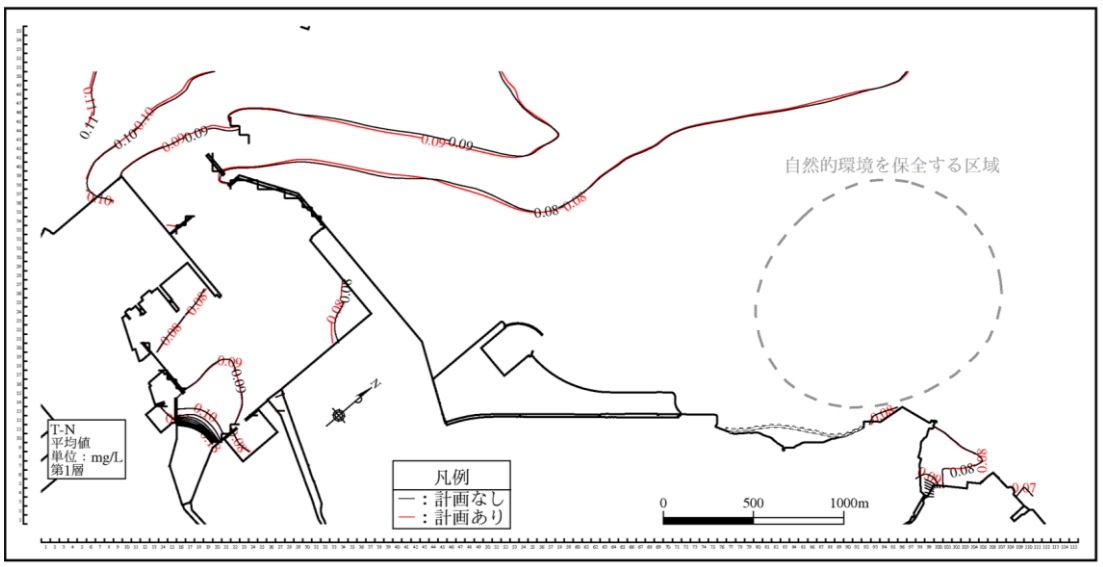
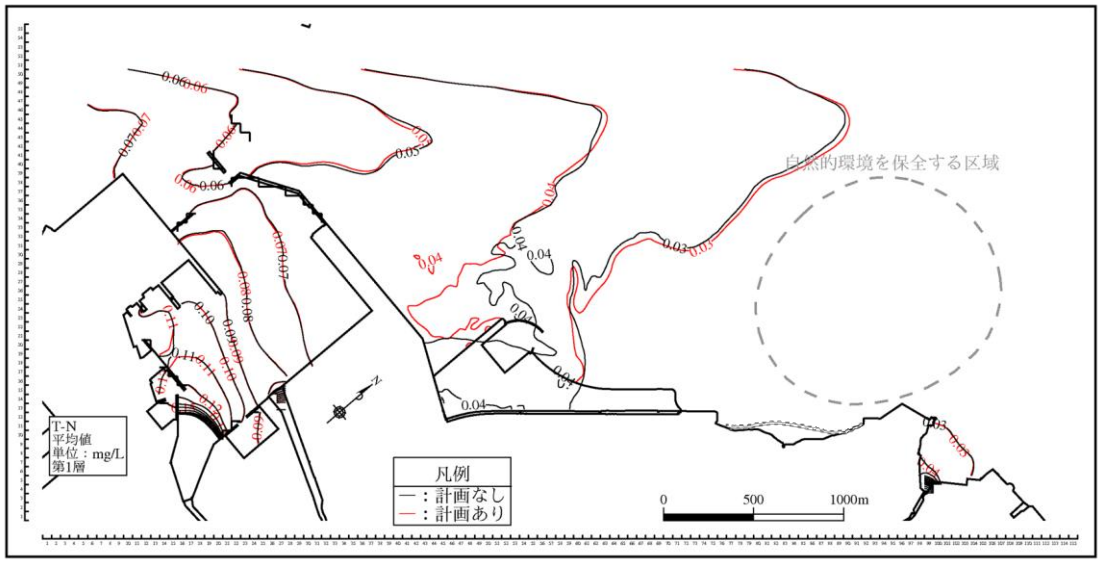
表 6.11.2.7（5）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

<table>
<tr><th colspan="2">予測の前提</th></tr>
<tr><td>水質の変化</td><td>
水質（COD、T-N（全窒素）、T-P（全りん））は以下に示すとおり、埋立地の存在に伴う変化はほとんどみられていない。自然的環境を保全する区域についても同様変化はない。
<table>
<tr><th>項目</th><th>シミュレーション結果</th></tr>
<tr><td>COD</td><td>COD 濃度の変化は±0.1mg/L 未満</td></tr>
<tr><td>T-N</td><td>夏季は T-N 濃度の変化は±0.01mg/L 未満
冬季はごくわずかな範囲で 0.01～0.02mg/L の濃度減少</td></tr>
<tr><td>T-P</td><td>T-P 濃度の変化は±0.001mg/L 未満</td></tr>
</table>
【水質濃度分布(COD)夏季】


</td></tr>
</table>

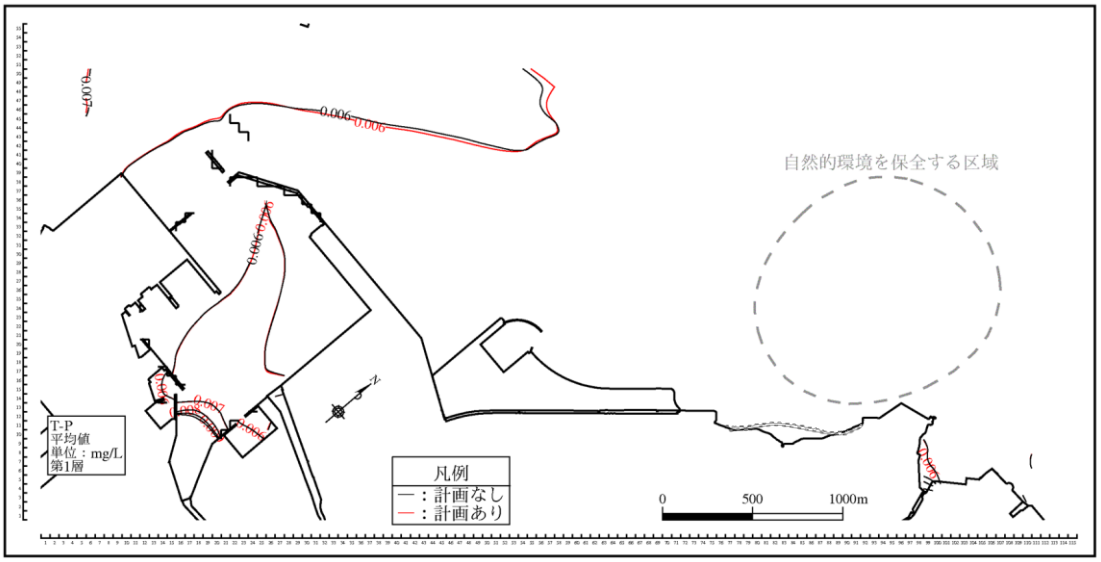
注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（6）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提	
水質の変化（続き）	【水質濃度分布(T-N)夏季】  【水質濃度分布(T-N)冬季】 

注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（7）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提	
水質の変化（続き）	【水質濃度分布(T-P)夏季】 

注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（8）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

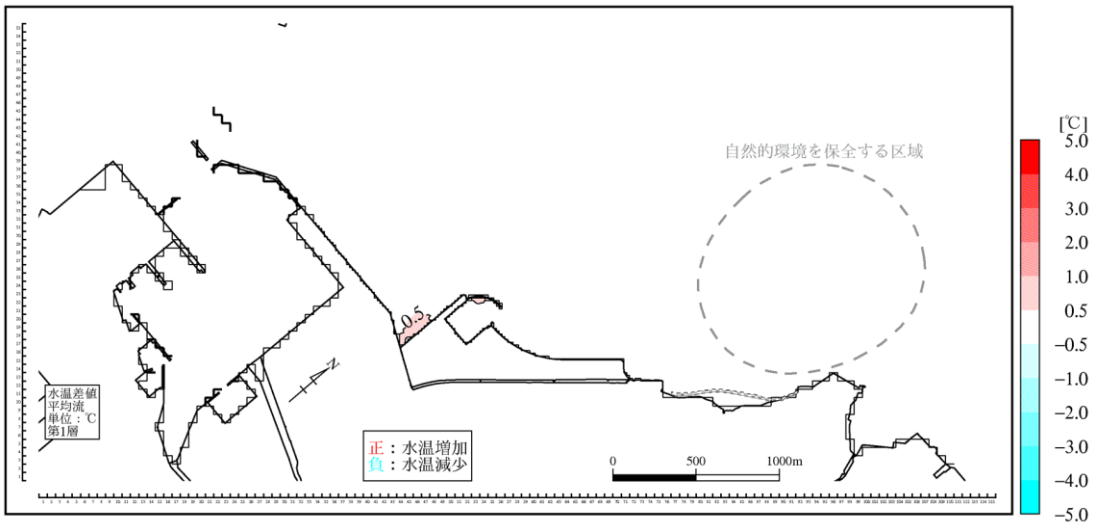
予測の前提

平常時の水温・塩分の変化

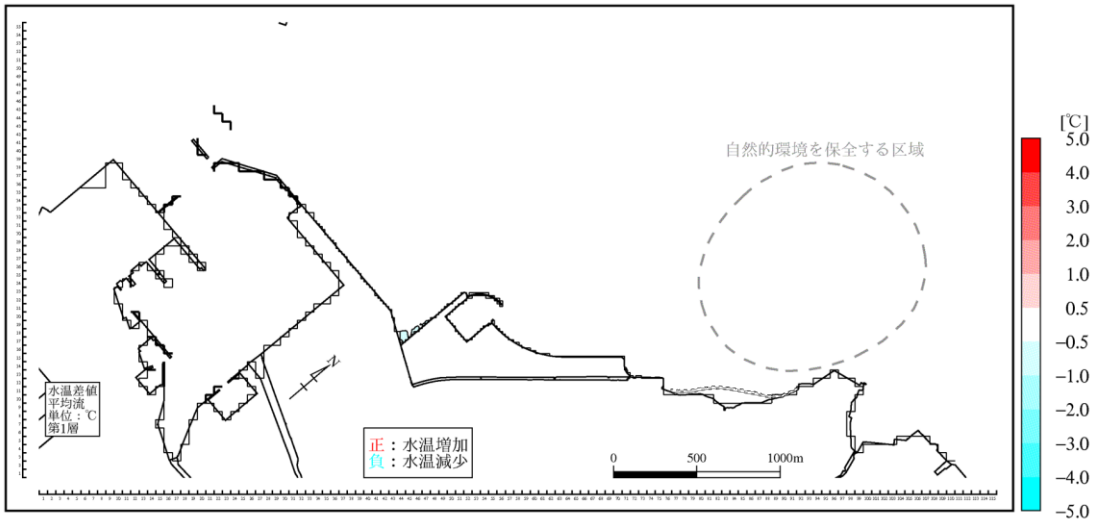
項目	シミュレーション結果
水温（平常時）	埋立地西側の前面で夏季に 0.5℃上昇、冬季に 0.5℃低下
塩分（平常時）	変化なし

※自然的環境を保全する区域での流速変化はみられない。

【水温・夏季・第 1 層】

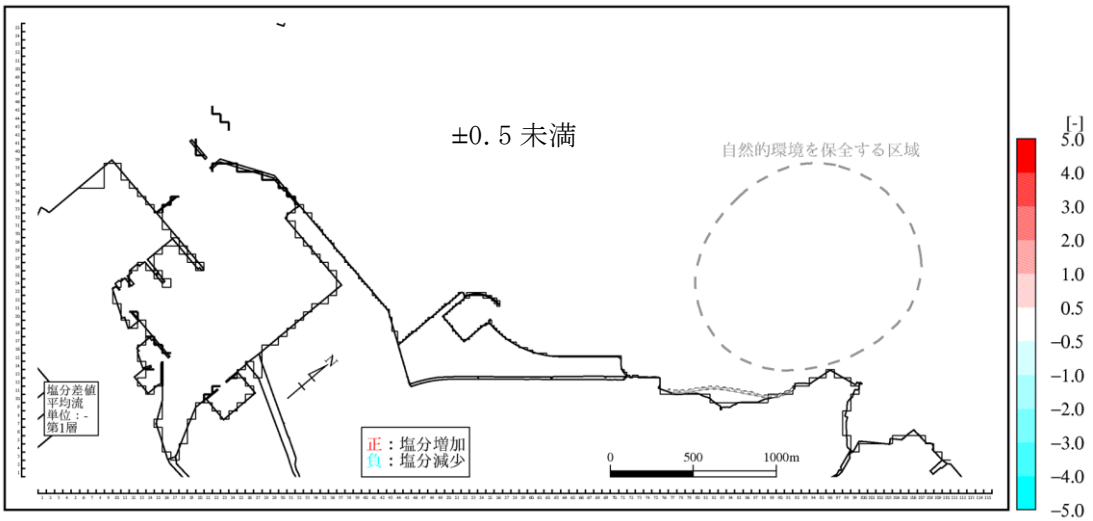
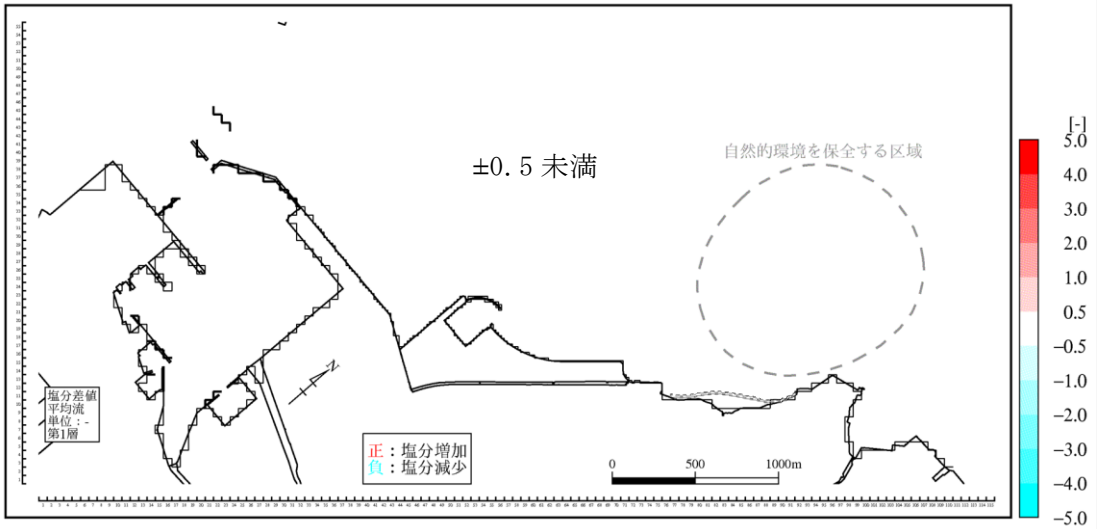


【水温・冬季・第 1 層】



注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（9）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提	
平常時の水温・塩分の変化（続き）	【塩分・夏季・第 1 層】  【塩分・冬季・第 1 層】 

注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

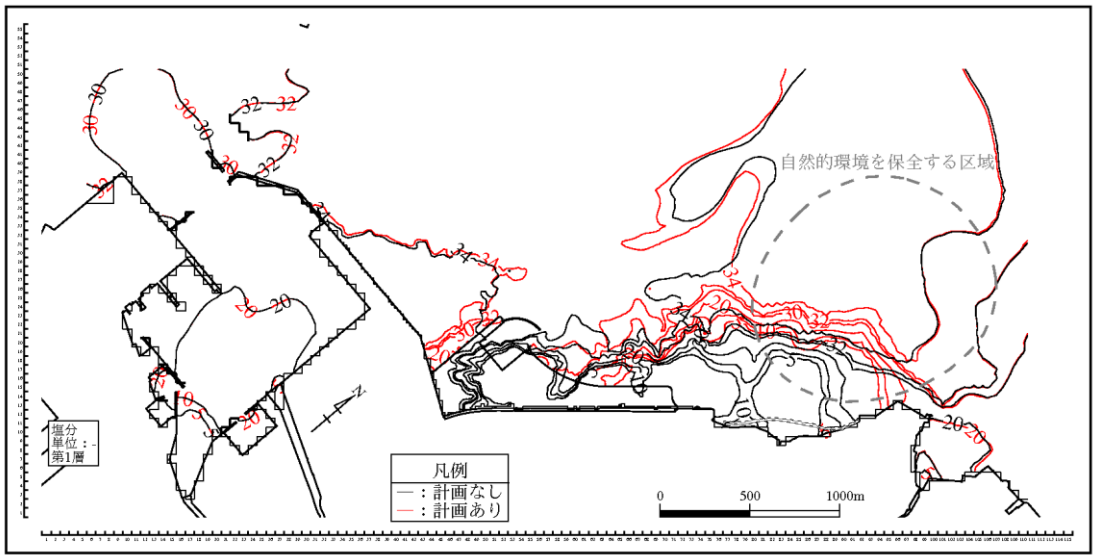
表 6.11.2.7（10）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提

10年確率降雨時の塩分の変化

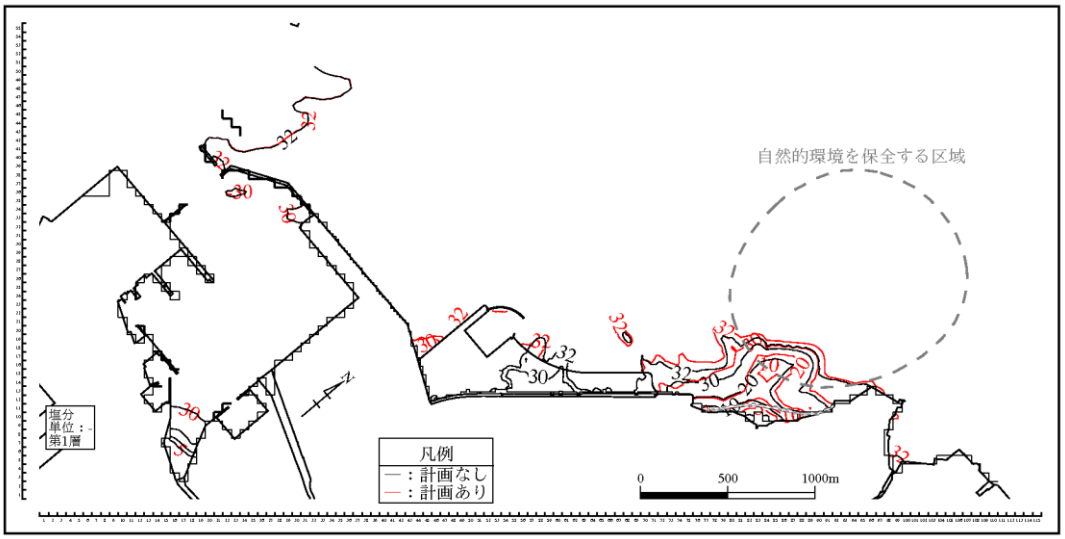
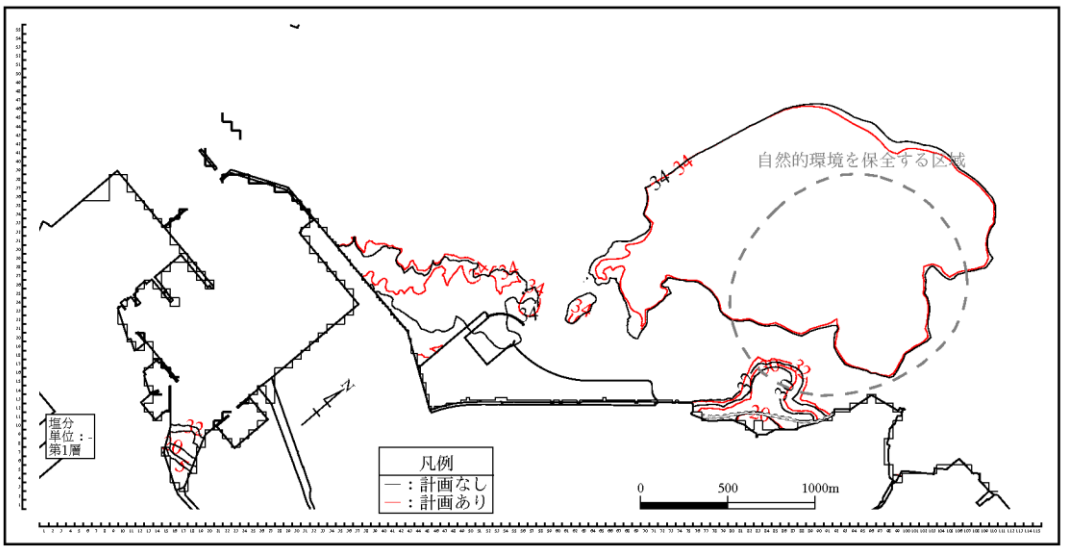
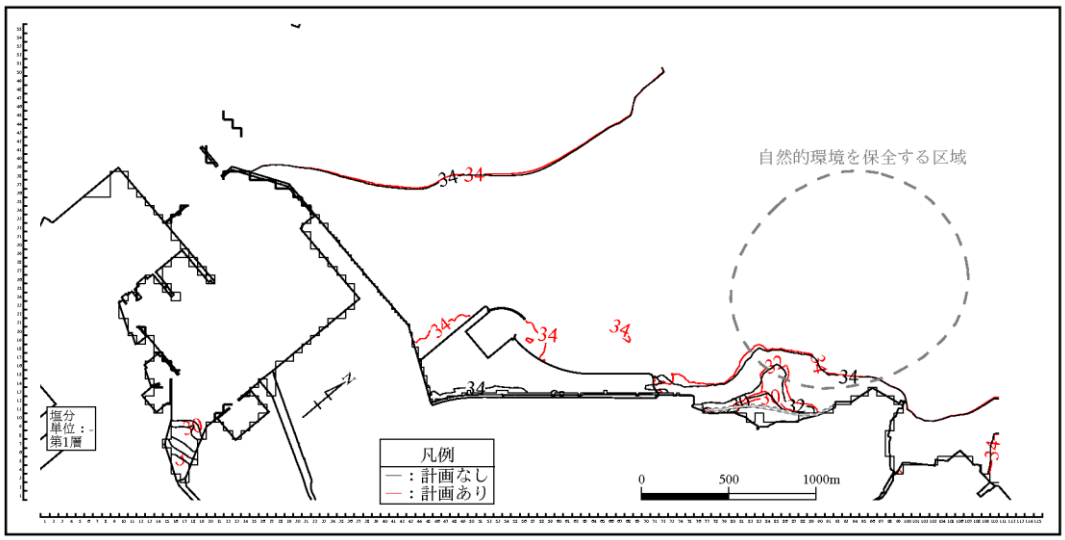
項目	シミュレーション結果
10年確率降雨時の塩分	将来の雨水排水の条件については、最も海域への影響（特に北側の自然的環境を保全する区域）が大きくなる条件として、以下を想定し予測を行った。 ・埋立地は舗装により雨水が埋立地へほとんど浸透しない ・埋立地及び既存の陸域からの排水を北側に向けて排水する ・降雨量については著しく降雨量の多い10年確率降雨を用いる 10年確率降雨での埋立地の雨水排水による影響について検討を行った結果、自然的環境を保全する区域を含む埋立地北側の広範囲で塩分の低下が確認された。概ね72時間後（3日後）にはほとんどの範囲で現況と同程度の塩分となっていた。 自然的環境を保全する区域においても塩分の低下が確認されているが、計画あり（本事業の埋立てあり）と計画なしを比較すると降雨ピーク時から24時間後にはリーフ内のほとんどの海域で±0.5以下となっており、埋立地の存在による影響は小さいと考えられる。 なお、現地の降雨時調査での降雨量は梅雨時期で約70mm/日、牧港補給地区（キャンプ・キンザー）からの排水は最大で0.1 m³/sと非常に少なかった。10年確率降雨の降雨量は約268mm/日と4倍近い降雨量であることから、通常の降雨では今回の予測結果のような低い塩分にはならないと考えられる。

【10年確率降雨降雨ピーク時、夏季】



注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

表 6.11.2.7（11）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提	
10年確率降雨時の塩分の変化の続き	【10年確率降雨降雨ピーク時から24時間後、夏季】 
	【10年確率降雨降雨ピーク時から48時間後、夏季】 
	【10年確率降雨降雨ピーク時から72時間後、夏季】 

注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。

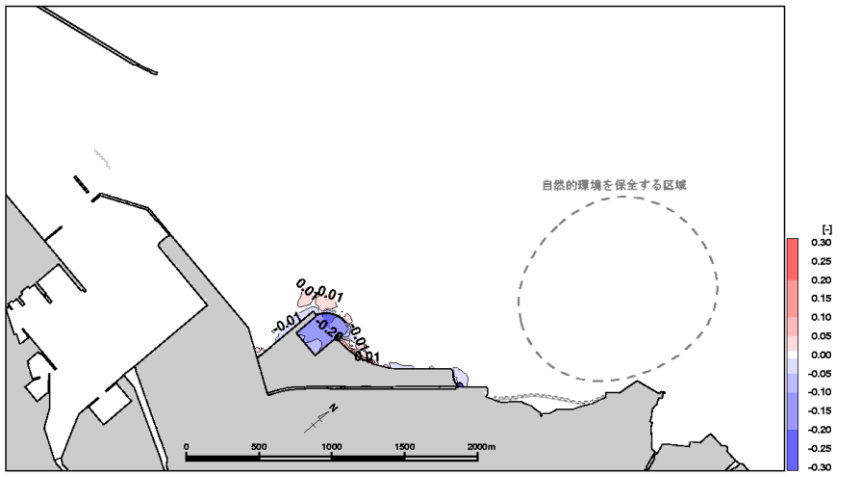
表 6.11.2.7（12）　予測の前提（施設等の存在及び供用）

予測の前提

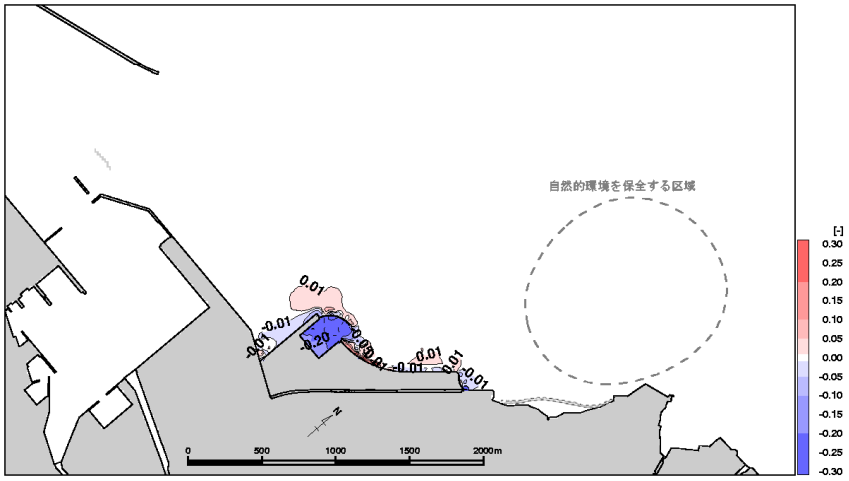
底質の変化（波浪によるシールズ数の変化）

範囲	シミュレーション結果
マリーナ内	マリーナ内においては埋立区域の存在により、粒径 0.075mm の細粒分のシールズ数が 0.05 未満の領域が生じており、防波堤の遮蔽の影響により細粒分が堆積しやすい環境となると考えられる
埋立地前面海域	±0.01 変化する程度で大きな変化はない

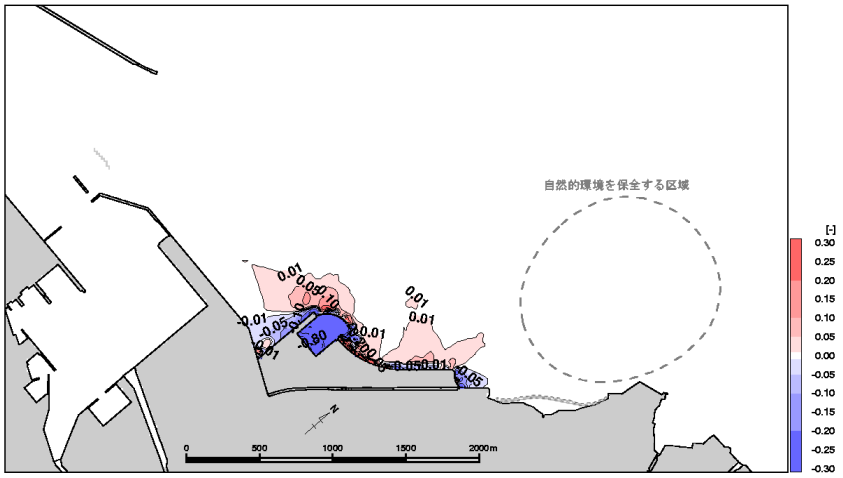
【台風時、大潮期の平均高潮位(M.H.W.L.)、粒径：0.859mm】



【台風時、大潮期の平均高潮位(M.H.W.L.)、粒径：0.407mm】



【台風時、大潮期の平均高潮位(M.H.W.L.)、粒径：0.075mm】



注：上記は埋立事業実施区域及び水環境の予測と関連する防波堤も表示している。